

感染症発生動向調査事業報告書

－ 第 39 報 －

[2020 年版]

大阪府

あ い さ つ

大阪府では、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の発生状況の把握や動向の分析を行い、広く情報提供することにより、感染症の発生やまん延を防止することを目的に感染症発生動向調査事業を実施しております。

実施にあたっては、一般社団法人大阪府医師会、定点医療機関をはじめとする関係各位の多大なるご尽力とご協力を賜っております。

さて、2020年に入ってから、新型コロナウイルス感染症の世界規模の感染拡大が生じ、府内でも同年1月末に患者を確認して以降、感染が急速に拡大し、社会経済に大きな影響を及ぼしております。

大阪府では、新型コロナウイルス感染症患者の情報を一元的に管理するため、いち早く独自システムを構築し運用してまいりました。その後、国が開発した新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム（HER-SYS）を導入したことにより、医療機関からの発生届の提出がオンラインで可能となり、医療機関・保健所・大阪府の関係者間で、迅速に情報共有できるようになりました。

さらに、感染動向の分析、感染拡大防止策の検討、医療提供体制の確保等のため、大阪府新型コロナウイルス対策本部、専門家会議、協議会を設置し、関係機関と連携を図り、新型コロナウイルス感染症の総合的な対策の強化に努めているところです。

また、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に設置された大阪府感染症情報センターでは、基幹情報センターとして、新型コロナウイルス感染症を含む大阪府全域の感染症情報を集積・解析し、府民及び関係者の皆様に提供しております。

感染症を取り巻く状況は日々刻々と変化しますが、関係各位におかれましては、本事業の趣旨をご理解いただき、より一層のご協力を賜りますようお願いいたします。あわせて、本報告書を感染症対策の資料として、また府民の健康増進の一助として、ご活用いただければ幸甚です。

本報告書の発行にあたり、感染症発生動向調査委員会の委員並びに関係各位の多大なるご尽力に対し、重ねて深く感謝の意を表します。

2021年（令和3年）8月

大阪府健康医療部長 藤井 睦子

目 次

あいさつ

2020年における事業概要	1
---------------	---

I 五類定点把握感染症（性感染症を除く）

1. 2020年の総括	5
1) 2020年に注目された感染症	6
[新型コロナウイルス感染症]	6
2) 感染症別・週別患者報告状況	9
3) 感染症別・ブロック別患者報告状況	11
4) 感染症別・年齢別別患者報告状況	12
2. 各感染症状況報告	
1) インフルエンザ定点把握疾患	
インフルエンザ	24
2) 小児科定点把握疾患	
RSウイルス感染症	26
咽頭結膜熱	28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30
感染性胃腸炎	32
水痘	34
手足口病	36
伝染性紅斑	38
突発性発しん	40
ヘルパンギーナ	42
流行性耳下腺炎	44
3) 眼科定点把握疾患	
急性出血性結膜炎	46
流行性角結膜炎	48
4) 基幹定点報告（週報）対象疾患	
細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌、クリプトコッカスを除く）	50
無菌性髄膜炎	51
マイコプラズマ肺炎	51
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	52
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）	52

5) 基幹定点報告（月報）対象疾患	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 -----	53
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 -----	53
薬剤耐性緑膿菌感染症 -----	54
2020年 感染症の動向（大阪府医師会 府医ニュース） -----	55
[各感染症データ] -----	56
II 五類定点把握感染症（性感染症）	
1) はじめに -----	83
2) 概況 -----	83
3) 疾患別患者数 -----	83
4) 男女別患者数 -----	84
5) 月別患者数 -----	86
6) 年齢階級別患者数 -----	86
III 一～五類 全数把握感染症	
1. 一類感染症 -----	93
2. 二類感染症 -----	93
3. 三類感染症 -----	93
4. 四類・五類感染症（全数把握分） -----	97
IV 検査情報	
1. ウイルス検査情報（大阪府・大阪市・堺市） -----	101
2. 細菌検査情報 -----	112
V その他	
大阪感染症情報解析委員会 「今週のトピックス」 -----	117
VI 資料	
大阪府感染症発生動向調査事業実施要綱 -----	145
大阪府感染症発生動向調査委員会設置要綱 -----	152
大阪感染症情報解析委員会運営要綱 -----	155
VII 指定届出機関一覧 -----	159

2020年における事業概要

感染症発生動向調査事業は、大阪府内の医療機関及び府内の政令市・中核市の協力のもと実施している。

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という。）」では、一類から五類感染症（全数把握と定点把握）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症の115感染症を対象とし、情報の収集、分析、提供、公開を行っている。

本事業で定点把握対象の五類感染症の発生状況を届け出る「指定届出機関（定点）」は、インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、性感染症定点、基幹定点及び疑似症定点からなっている。また、感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症について、2019年4月1日以降、定点の選定基準や届出基準が変更となった。

2020年12月末の指定数は、インフルエンザ定点298、小児科定点196、眼科定点52、性感染症定点64、疑似症定点22、基幹定点17である。

1 患者情報の収集

ファクシミリ又は新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(H E R - S Y S)等の活用により、医療機関からの患者情報を、全数把握対象感染症は直ちに（五類感染症にあっては一部を除いて7日以内に）、定点把握対象感染症は週報（一部月報）で収集している。さらに、収集した情報はコンピュータオンラインシステムにより国立感染症研究所（中央感染症情報センター）に報告している。

2 情報の解析・評価

学識経験者、医療関係団体・医療施設等の代表者、関係行政機関の職員等により構成される感染症発生動向調査に係る委員会において、収集した情報の解析・評価を行っている。

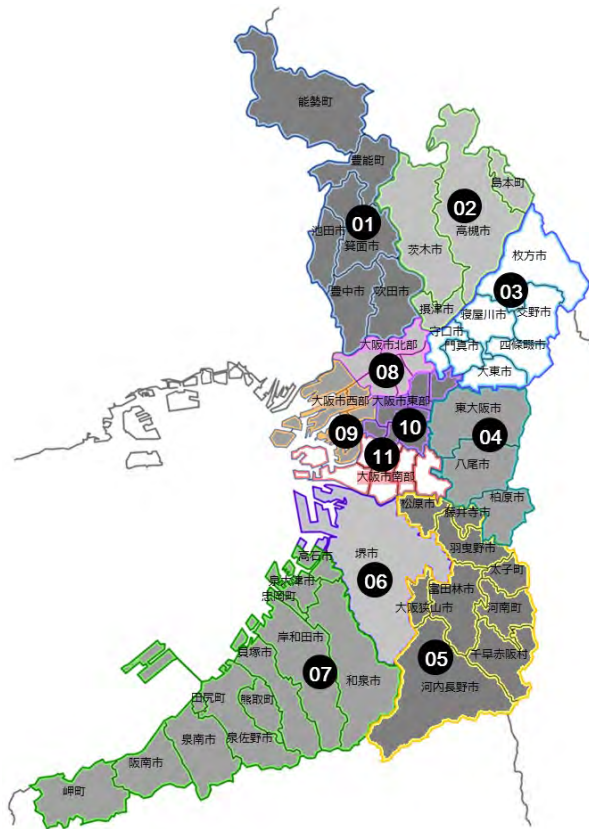
3 情報の提供・公開

大阪府は、委員会から報告された情報を全国情報と併せて週報とし、各定点医療機関、一般社団法人大阪府医師会、保健所、各市町村及び学校等関係機関に広く情報を提供している。また、大阪府感染症情報センターのホームページにも感染症情報を公開している。

4 病原体情報の収集

患者定点の中から病原体定点を選定し、これらの病原体定点から提供される検体についてウイルス検査、細菌検査を地方衛生研究所において行っている。併せて病院等が行った検査の情報収集を図っている。

ブロック地図・ブロック別人口動態



ブロック	市町村区分	定点数							人口*	出生数*
		週報				月報		疑似症		
		内科	小児科	眼科	基幹	STD	基幹			
① 豊能	豊中市、池田市、吹田市、箕面市、能勢町、豊能町	12	22	5	2	8	2	2	1,054,789	8,371
② 三島	高槻市、茨木市、摂津市、島本町	8	17	4	2	6	2	1	749,061	5,735
③ 北河内	守口市、寝屋川市、門真市、枚方市、大東市、四條畷市、交野市	15	26	6	2	8	2	3	1,136,577	7,483
④ 中河内	八尾市、柏原市、東大阪市	11	20	5	2	7	2	1	824,600	5,473
⑤ 南河内	藤井寺市、松原市、羽曳野市、富田林市、大阪狭山市、河内長野市、河南町、太子町、千早赤阪村	8	16	4	2	4	2	2	590,934	3,527
⑥ 堺市	堺市	10	19	5	2	7	2	1	824,403	5,925
⑦ 泉州	和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、田尻町、熊取町、岬町	13	20	6	1	6	1	2	881,351	5,946
⑧ 大阪市北部	北区、都島区、淀川区、東淀川区、旭区	6	14	5	1	7	1	4	698,692	5,395
⑨ 大阪市西部	福島区、此花区、西区、港区、大正区、西淀川区	5	10	2	1	2	1	2	488,005	3,969
⑩ 大阪市東部	中央区、天王寺区、浪速区、東成区、生野区、城東区、鶴見区	7	15	6	1	4	1	2	756,134	6,296
⑪ 大阪市南部	阿倍野区、住吉区、住之江区、東住吉区、平野区、西成区	7	17	4	1	5	1	2	810,645	5,314
合計		102	196	52	17	64	17	22	8,815,191	63,434

2021年1月1日現在

* 2020年大阪府毎月推計人口より (<http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/jinkou/jinkou-xlslist.html>)

2020年 感染症発生動向調査 カレンダー

	週	月	火	水	木	金	土	日
12月	1週	30	31	1	2	3	4	5
1月	2週	6	7	8	9	10	11	12
	3週	13	14	15	16	17	18	19
	4週	20	21	22	23	24	25	26
	5週	27	28	29	30	31	1	2
	2月	6週	3	4	5	6	7	8
7週		10	11	12	13	14	15	16
8週		17	18	19	20	21	22	23
9週		24	25	26	27	28	29	1
3月	10週	2	3	4	5	6	7	8
	11週	9	10	11	12	13	14	15
	12週	16	17	18	19	20	21	22
	13週	23	24	25	26	27	28	29
	14週	30	31	1	2	3	4	5
4月	15週	6	7	8	9	10	11	12
	16週	13	14	15	16	17	18	19
	17週	20	21	22	23	24	25	26
	18週	27	28	29	30	1	2	3
5月	19週	4	5	6	7	8	9	10
	20週	11	12	13	14	15	16	17
	21週	18	19	20	21	22	23	24
	22週	25	26	27	28	29	30	31
6月	23週	1	2	3	4	5	6	7
	24週	8	9	10	11	12	13	14
	25週	15	16	17	18	19	20	21
	26週	22	23	24	25	26	27	28
	27週	29	30	1	2	3	4	5

	週	月	火	水	木	金	土	日
7月	28週	6	7	8	9	10	11	12
	29週	13	14	15	16	17	18	19
	30週	20	21	22	23	24	25	26
	31週	27	28	29	30	31	1	2
8月	32週	3	4	5	6	7	8	9
	33週	10	11	12	13	14	15	16
	34週	17	18	19	20	21	22	23
	35週	24	25	26	27	28	29	30
	36週	31	1	2	3	4	5	6
9月	37週	7	8	9	10	11	12	13
	38週	14	15	16	17	18	19	20
	39週	21	22	23	24	25	26	27
	40週	28	29	30	1	2	3	4
10月	41週	5	6	7	8	9	10	11
	42週	12	13	14	15	16	17	18
	43週	19	20	21	22	23	24	25
	44週	26	27	28	29	30	31	1
11月	45週	2	3	4	5	6	7	8
	46週	9	10	11	12	13	14	15
	47週	16	17	18	19	20	21	22
	48週	23	24	25	26	27	28	29
	49週	30	1	2	3	4	5	6
12月	50週	7	8	9	10	11	12	13
	51週	14	15	16	17	18	19	20
	52週	21	22	23	24	25	26	27
	53週	28	29	30	31	1	2	3

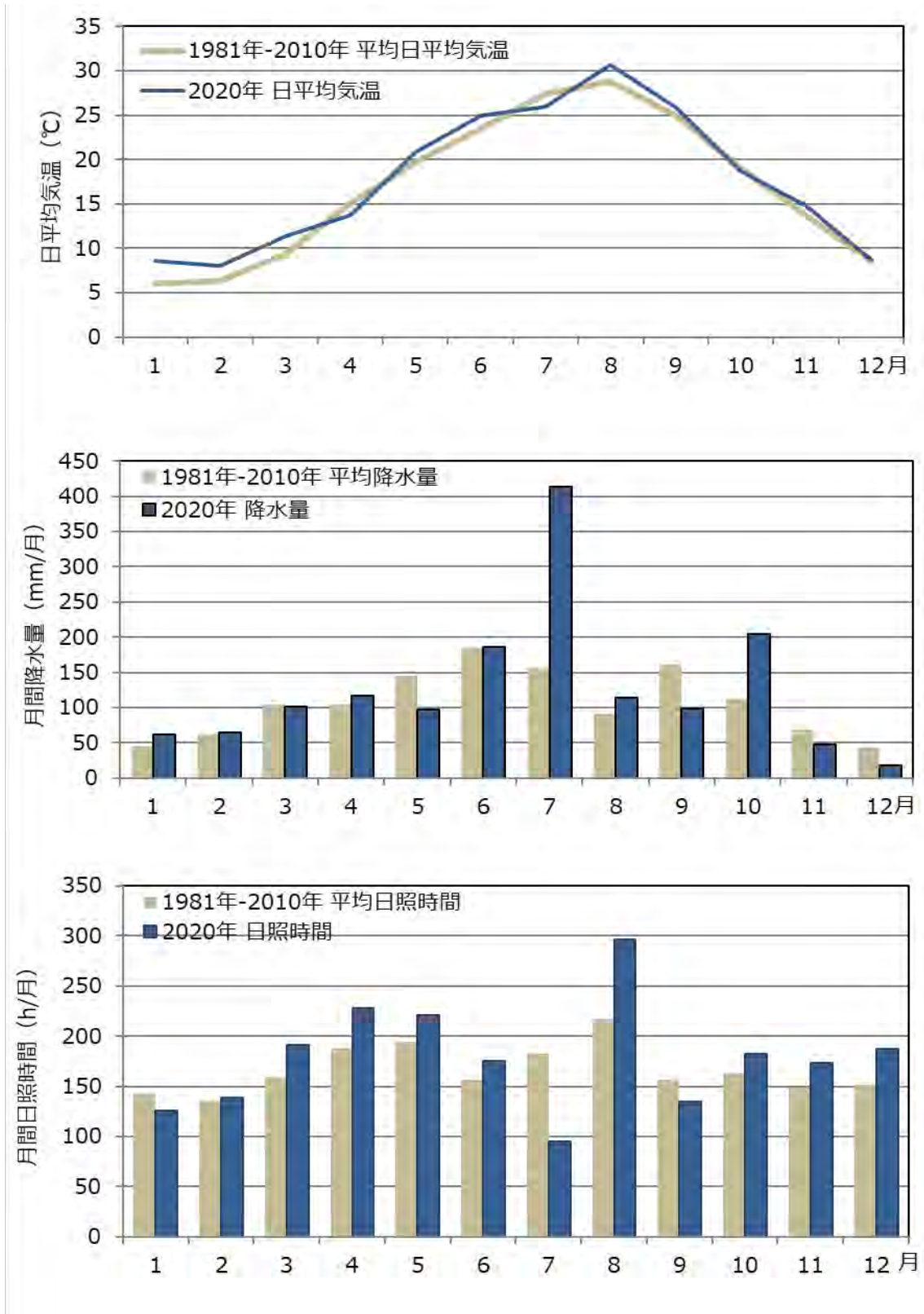
調査期間は月曜日から日曜日までの1週間を単位としています。

第1、第15～22週*、第31週、第39週、第53週を除く毎水曜日に感染症情報解析委員会を開催しました。

*新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態措置とし、書面により開催しました。

大阪の気象条件

2020年と過去30年間平均値の比較



大阪管区气象台 大阪府の気象 2020年（令和2年）年報より作成

I 五類定点把握感染症
(性感染症を除く)

I 五類定点把握感染症（性感染症を除く）

1. 2020年の総括

2020（令和2）年の大阪府感染症発生動向調査事業における五類定点把握感染症（性感染症を除く）の特徴について概説する（表）。2020年は、全ての小児科定点疾患、眼科定点疾患、基幹定点疾患が減少傾向にあった。この理由は、2020年、新型コロナウイルス感染症流行に伴う、新しい生活様式への変化（手洗い、マスクの着用、身体的距離の確保、密閉、密集、密接の回避）、および、小中学校・義務教育学校・高校の休校措置によると考えられる。米国を始めとして、諸外国の報告でも、新型コロナウイルス感染症流行時に、小児感染症やインフルエンザの報告数が激減しており、同じ理由だと考えられる。

全国では、定点あたりの年平均の週間報告数として、感染性胃腸炎、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱、水痘、ヘルパンギーナの順であった。大阪府では、インフルエンザ、感染性胃腸炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、咽頭結膜熱、水痘、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の順であり、全国の発生動向や傾向と若干の相違が認められている。

大阪府の発生動向について、2019年と比較すると、インフルエンザの年平均の週間報告数が5.63から2.70へ、昨年より、52.0%の減少が見られた。また、感染性胃腸炎の年平均の週間報告数が5.39から2.28へ、昨年より、57.7%の減少が見られた。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が2.19から0.90へ、昨年より、58.9%の減少が見られた。

（文責：本村）

表 定点あたり年平均の週間報告数

全 国			大 阪 府		
順位	感染症	定点あたり 報告数	順位	感染症	定点あたり 報告数
1	感染性胃腸炎	2.51	1	インフルエンザ	2.70
2	インフルエンザ	2.16	2	感染性胃腸炎	2.28
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.20	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.90
4	突発性発しん	0.39	4	突発性発しん	0.37
5	流行性角結膜炎	0.25	5	咽頭結膜熱	0.20
6	咽頭結膜熱	0.21	6	水痘	0.17
7	水痘	0.19	7	ヘルパンギーナ	0.15
8	ヘルパンギーナ	0.15	8	流行性角結膜炎	0.13

1) 2020 年に注目された感染症

[新型コロナウイルス感染症]

背 景

新型コロナウイルス感染症（Coronavirus disease 2019: COVID-19）は、2019 年 12 月、中華人民共和国湖北省武漢市において世界で初めて確認された。日本国内では 2020 年 1 月 15 日、大阪府では 1 月 29 日に初の COVID-19 患者が確認された。世界保健機関（World Health Organization: WHO）は、2020 年 1 月 30 日、COVID-19 について、国際保健規則に基づき「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（Public Health Emergency of International concern: PHEIC）」を宣言した。その後、WHO は世界的な感染拡大の状況、重症度等から 2020 年 3 月 11 日、COVID-19 をパンデミック（世界的な大流行）とみなせると表明した。日本において、2 月 1 日に COVID-19 は指定感染症および検疫感染症に指定された。

COVID-19 は新興感染症であることから、臨床症状や感染様式等の新しい知見が日々蓄積されており、2020 年 2 月 7 日時点で 2-12.5 日とされていた COVID-19 の潜伏期間は、2020 年 6 月 30 日時点には平均で 5-6 日、最大で 14 日間とされた¹⁾。

COVID-19 症例発生状況

大阪府内では 2020 年第 6 週（2020 年 2 月 3 日～2 月 9 日）から 2020 年第 53 週（2020 年 12 月 28 日～2021 年 1 月 3 日）までに新型コロナウイルス感染症（COVID-19）症例が 31,089 例報告されている（図 1）。（2020 年 2 月 3 日以前は 2020 年 1 月 29 日判明の 1 例が武漢市関連症例として報告されているが、指定感染症の指定前の症例であったため、本報告書の解析からは除外している。）

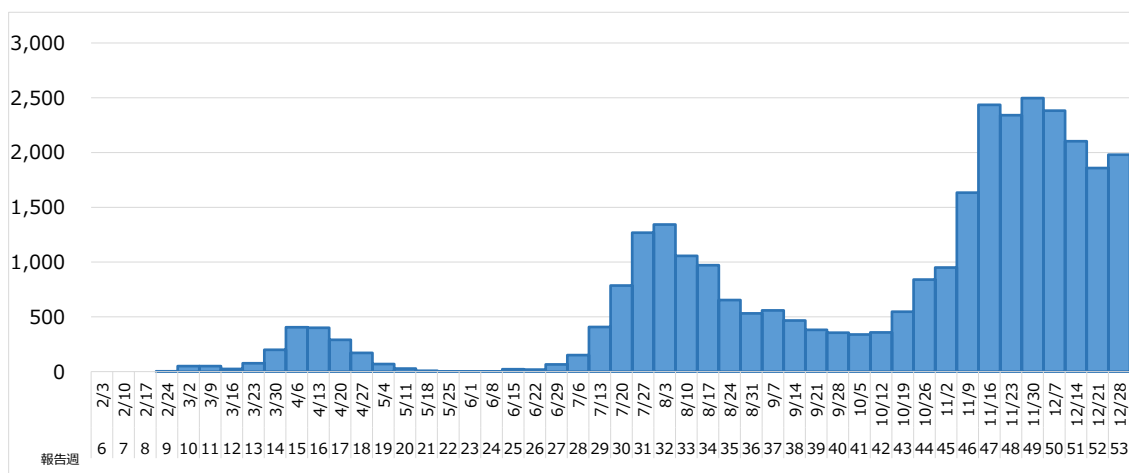


図 1 大阪府内症例の判明週別流行曲線 2020 年 2 月 3 日～2021 年 1 月 3 日* (n= 31,089)

*2021 年 1 月 3 日までに新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS)に受付された症例が含まれる

指定感染症となって以降、大阪では2020年第9週に初めてCOVID-19が報告されたが、その直後の第10週から報告数が急増し50例、第15週には400例を超えた。

2020年は第15週から17週毎に3つのピークが形成されており、そのそれぞれのピークは新しいピークになるほど大きくなる傾向が見られ、第15週（4月6日～4月12日）は405例、第32週（8月3日～8月9日）は1,343例、第49週（11月30日～12月6日）は2,497例であった。

感染拡大時期には、感染拡大防止策が国または大阪府で積極的に実施された。2020年4月7日には新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく政府の“緊急事態宣言”に基づき、大阪府は「不要不急の外出の自粛」と「イベント開催の自粛」などを要請した。8月6日～20日にはミナミ地区の一部区域を対象にした接待を伴う飲食店等に対する休業要請、5人以上での飲食の自粛要請（8月1日～31日）による積極的な感染拡大防止策が実施された。また、11月27日～12月15日には大阪市北区・中央区への施設休業等の要請、12月16日～12月29日には大阪市全域への施設休業等の要請が実施された。

大阪府内で2月1日以降判明した症例31,089例のうち男性が16,467例（53%）であった（図2）。年齢分布は20歳～50歳代で65%を占め、30歳および40歳代では男性の割合が57%と他の年齢階級より高い傾向にあった（図2）。10歳代未満の症例割合は少なかった。

年齢階級別の人口10万人あたり症例数（表1）は20歳代で最も高く、続いて30歳代、40歳代であった。他方、10歳未満の症例数は最も少なかった。

2020年2月3日～2021年1月3日に報告された症例のうち死亡例は616例であり致死率は2.0%であった（表2）。男性の致死率は2.2%で、女性の1.8%に比べて致死率が高かった。年齢階級別、性別の致死率は80歳以上の男性で最も高く18.0%であった。この期間においては30歳代以下の死亡例は確認されていない。

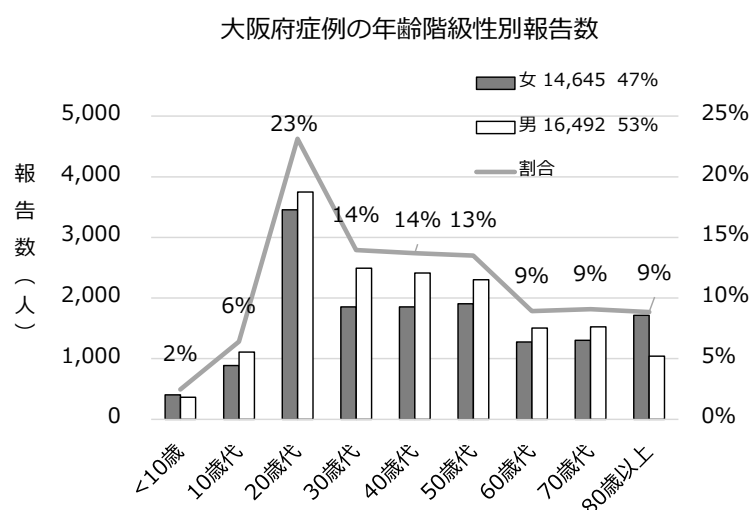


図2 大阪府内症例の年齢階級別性別報告数
2020年2月3日～2021年1月3日（n= 31,089）

表1 10万人あたり症例報告数*

年齢階級	累計		府内人口
	累積報告数(人)	10万人当り報告数(人)	府内人口** (千人)
≥80歳	2,746	394.5	696
70歳代	2,824	254.2	1,111
60歳代	2,778	257.5	1,079
50歳代	4,198	376.5	1,115
40歳代	4,256	310.2	1,372
30歳代	4,344	426.7	1,018
20歳代	7,192	759.5	947
10歳代	1,990	252.5	788
<10歳	761	110.9	686
計	31,089	352.8	8,813

* 大阪府内で報告された症例であり、府外在住症例を含む。

**人口は令和元年度大阪府統計年鑑による。

表2 2020年2月3日～2021年1月3日報告例における累計死亡例数(人)*

年齢階級	男			女			計		
	症例数	死亡数	致死率(%)	症例数	死亡数	致死率(%)	症例数	死亡数**	致死率(%)
≥80歳	1,037	187	18.0	1,709	201	11.8	2,746	388	14.1
70歳代	1,521	117	7.7	1,303	44	3.4	2,824	161	5.7
60歳代	1,503	38	2.5	1,275	11	0.9	2,778	49	1.8
50歳代	2,298	13	0.6	1,900	1	0.1	4,198	14	0.3
40歳代	2,409	4	0.2	1,847	0	0.0	4,256	4	0.1
30歳代	2,490	0	0.0	1,854	0	0.0	4,344	0	0.0
20歳代	3,743	0	0.0	3,449	0	0.0	7,192	0	0.0
10歳代	1,105	0	0.0	885	0	0.0	1,990	0	0.0
<10歳	361	0	0.0	400	0	0.0	761	0	0.0
計	16,467	359	2.2	14,622	257	1.8	31,089	616	2.0

致死率は(死亡例数/同年齢階級の累計症例数)で算出。

*2021/1/20日時点で死亡が確認されている症例

**新型コロナ関連死亡として報告されたもの

参 考 文 献

- 1) WHO coronavirus disease 2019 (COVID-19) situation report-73 (2 April 2020).
<https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200402-sitrep-73-covid-19.pdf>

(文責：柿本)

2) 感染症別・週別患者報告状況

「2020年（令和2）年の総括」で記した疾患について、定点あたり報告数の最高値が報告された週や最高値を示した（表1）。2020年は、新型コロナウイルス感染症流行に伴う、新しい生活様式への変化（手洗い、マスクの着用、身体的距離の確保、密閉、密集、密接の回避）、および、3月2日に小中学校・義務教育学校・高校の休校措置による報告数の減少を勘案する必要がある。インフルエンザは、2019年と同じ1月第4週に最高値 21.19を示したが、過去5年と比べて、最も低い定点あたり報告数となった。2020年1月は、A型インフルエンザウイルス H1pdm型が主として検出され、B型インフルエンザウイルスはVictoria系統が検出されていた。感染性胃腸炎は、毎年、12月に最高値に到達するが、2020年は、1月第5週に最高値を示している。その後は、0.63（5月第1週）から2.77（12月第3週）と、例年に比べ、非常に低い報告数で推移している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、毎年、二峰性の流行パターンを示すが、2017年と2018年は5月に、2019年は12月に最高値に達しているが、2020年は1月第5週であった。近年、マイコプラズマ肺炎が、上位5疾患に入ることは稀であるが、2020年は1月第2週に最高値を示した。水痘は、2020年は1月第2週に最高値を示した。上記の5疾患は、2020年1月中に最高値を示しており、新型コロナウイルス感染症が注目された前後である。その後、非医療的（行政）介入によって、報告数が減少しており、2020年の感染症発生動向の特徴であると考えられる。

2020年と2019年における感染症発生動向の増減を比較すると、2020年は、全ての小児科定点疾患、眼科定点疾患、基幹定点疾患が減少傾向にあった（表2）。特に、減少率が一番大きかったのは、感染性胃腸炎（ロタウイルス）で前年比98.4%減、次いで、手足口病で97.0%、RSウイルス感染症で91.0%、伝染性紅斑で89.0%、ヘルパンギーナが73.0%減と続く。手足口病は奇数年に流行し、伝染性紅斑は4年周期に流行し2019年が当該年であるため、前年比の減少率が大きかったと考えられる。感染性胃腸炎（ロタウイルス）、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナは、新しい生活様式への変化や学校一斉休校のため、大幅に減少したと考えられる。

（文責：本村）

表1. 定点あたり報告数の最高値が報告された週および最高値（2020年）

大阪府				
	疾患	定点あたり報告数の最高値が報告された週	定点あたり報告数の最高値	警報レベル開始基準値
1	インフルエンザ	4週（1月第4週）	21.19	30
2	感染性胃腸炎	5週（1月第5週）	5.74	20
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5週（1月第5週）	3.16	8
4	マイコプラズマ肺炎	2週（1月第2週）	0.69	未設定
5	水痘	2週（1月第5週）	0.54	2

表2. 2020年と2019年における感染症発生動向比較

インフルエンザ定点疾患	2020年	2019年
インフルエンザ ↓	42,963	88,389

小児科定点疾患	2020年	2019年
RSウイルス感染症 ↓	1,129	12,478
咽頭結膜熱 ↓	2,049	5,167
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ↓	9,386	22,513
感染性胃腸炎 ↓	23,692	55,374
水痘 ↓	1,776	3,227
手足口病 ↓	622	20,733
伝染性紅斑 ↓	754	6,840
突発性発しん ↓	3,809	3,867
ヘルパンギーナ ↓	1,554	5,756
流行性耳下腺炎 ↓	558	836
合計	45,329	136,791

眼科定点疾患	2020年	2019年
急性出血性結膜炎 ↓	11	21
流行性角結膜炎 ↓	359	875
合計	370	896

基幹定点疾患	2020年	2019年
細菌性髄膜炎 ↓	10	18
無菌性髄膜炎 ↓	15	31
マイコプラズマ肺炎 ↓	93	129
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	1	1
感染性胃腸炎（ロタウイルス） ↓	6	382
合計	125	561

3) 感染症別・ブロック別患者報告状況

大阪府内を 11 ブロック（① 豊能、② 三島、③ 北河内、④ 中河内、⑤ 南河内、⑥ 堺市、⑦ 泉州、⑧ 大阪市北部、⑨ 大阪市西部、⑩ 大阪市東部、⑪ 大阪市南部）に分け、各ブロックの構成市町村、定点数、人口、出生数を解析評価した。感染症別に、1 年間でより流行が認められた地域を定点あたりの年平均報告数を表に要約した。年平均の定点あたり報告数から地域ブロックを評価した場合、上位 8 疾患のうち、南河内は 3 疾患（感染性胃腸炎、手足口病、伝染性紅斑）で首位を占めていた（表）。一方、豊能ブロックは 3 疾患（A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RS ウイルス感染症、伝染性紅斑）で、最下位であった。

（文責：本村）

表. 感染症別・ブロック別患者報告状況（網掛けは最高ブロックと定点あたり報告数）

インフルエンザ		感染性胃腸炎		A 群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		手足口病	
豊能	2.17	豊能	1.70	豊能	0.44	豊能	0.04
三島	1.68	三島	1.98	三島	0.62	三島	0.03
北河内	2.94	北河内	2.42	北河内	1.15	北河内	0.08
中河内	3.04	中河内	3.08	中河内	1.11	中河内	0.05
南河内	3.34	南河内	3.39	南河内	1.15	南河内	0.08
堺市	2.64	堺市	1.41	堺市	0.92	堺市	0.06
泉州	2.54	泉州	2.75	泉州	1.20	泉州	0.06
大阪市北部	3.54	大阪市北部	2.16	大阪市北部	0.79	大阪市北部	0.08
大阪市西部	5.32	大阪市西部	2.49	大阪市西部	0.85	大阪市西部	0.03
大阪市東部	1.76	大阪市東部	1.12	大阪市東部	0.53	大阪市東部	0.05
大阪市南部	2.08	大阪市南部	2.51	大阪市南部	0.99	大阪市南部	0.07
府内平均	2.70	府内平均	2.28	府内平均	0.90	府内平均	0.06

RS ウイルス感染症		伝染性紅斑		ヘルパンギーナ		咽頭結膜熱	
豊能	0.04	豊能	0.03	豊能	0.05	豊能	0.11
三島	0.07	三島	0.06	三島	0.16	三島	0.22
北河内	0.10	北河内	0.05	北河内	0.11	北河内	0.21
中河内	0.12	中河内	0.07	中河内	0.07	中河内	0.31
南河内	0.18	南河内	0.23	南河内	0.26	南河内	0.14
堺市	0.06	堺市	0.04	堺市	0.13	堺市	0.12
泉州	0.15	泉州	0.08	泉州	0.31	泉州	0.29
大阪市北部	0.18	大阪市北部	0.08	大阪市北部	0.15	大阪市北部	0.21
大阪市西部	0.20	大阪市西部	0.03	大阪市西部	0.13	大阪市西部	0.09
大阪市東部	0.06	大阪市東部	0.08	大阪市東部	0.04	大阪市東部	0.18
大阪市南部	0.10	大阪市南部	0.05	大阪市南部	0.26	大阪市南部	0.23
府内平均	0.11	府内平均	0.07	府内平均	0.15	府内平均	0.20

4) 感染症別・年齢別患者報告状況

インフルエンザ定点、基幹定点を除いた小児科定点における年齢報告数で最も多かった年齢は 1 歳代、次いで 5 歳代、1 歳未満、4 歳代、と続く。1 歳代の報告数の多い疾患は、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、手足口病、突発性発しん、ヘルパンギーナ、であった。インフルエンザは 10-14 歳代の報告数が多かった。20 歳以上の報告数の多い疾患は、急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎である。5 歳代の報告数の多い疾患は、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎であった。4 歳代の報告数の多い疾患は、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。水痘は 10-14 歳代の報告数が多かった。

インフルエンザは、小児科定点に加え、内科定点医療機関からも報告されるため、10 歳から 14 歳代の報告数が最多で、次いで 20 歳以上であった。小学校、中学校、職場など、集団生活を送る世代に多い疾患である。眼科定点疾患の急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎は 20 歳以上が多い。

(文責：本村)

表. 定点あたり報告数の最高値が報告された年齢区分
(網掛けは最高年齢区分と定点あたり報告数)

疾患名	最高値が報告された年齢区分
インフルエンザ	10～14 歳代
R S ウイルス感染症	1 歳未満
咽頭結膜熱	1 歳代
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4 歳代
感染性胃腸炎	1 歳代
水痘	10～14 歳代
手足口病	1 歳代
伝染性紅斑	5 歳代
突発性発しん	1 歳代
ヘルパンギーナ	1 歳代
流行性耳下腺炎	5 歳代
急性出血性結膜炎	20 歳以上
流行性角結膜炎	20 歳以上

2020年 感染症別・週別報告状況（全国集計）

	1月					2月					3月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	
インフルエンザ	64,864	90,915	83,238	89,579	70,130	44,944	37,214	30,681	23,645	15,544	6,390	2,670	1,341	750	
RSウイルス感染症	657	1,027	866	1,035	1,126	1,021	867	915	885	857	770	496	346	338	
咽頭結膜熱	660	1,656	1,063	1,307	1,239	1,437	1,198	1,243	1,047	1,067	949	800	620	484	
A群溶血性レン球菌咽頭炎	2,193	7,700	7,740	10,092	11,067	11,307	10,329	11,630	9,491	9,242	7,337	5,412	5,049	4,648	
感染性胃腸炎	5,293	19,305	19,041	22,691	21,973	20,176	18,201	17,653	13,109	11,283	9,103	6,959	6,719	5,935	
水痘	945	2,063	940	1,363	957	1,243	1,171	1,250	1,191	1,157	1,111	829	754	637	
手足口病	345	622	480	524	516	462	392	348	299	248	290	253	230	179	
伝染性紅斑	489	1,983	1,610	1,667	1,486	1,256	978	959	802	803	829	666	687	526	
突発性発しん	284	1,016	963	976	953	909	915	949	790	833	842	910	934	1,023	
ヘルパンギーナ	41	103	59	69	96	72	70	60	72	78	55	43	47	77	
流行性耳下腺炎	68	180	174	181	147	172	166	156	146	150	157	148	156	141	
急性出血性結膜炎	4	8	5	4	8	1		4	3	5	5	1	10	7	
流行性角結膜炎	158	464	294	276	301	289	284	307	296	297	189	183	220	180	
細菌性髄膜炎	3	8	5	13	8	6	10	6	10	8	12	3	10	15	
無菌性髄膜炎	3	10	12	12	11	9	10	12	8	9	12	7	6	7	
マイコプラズマ肺炎	75	223	160	152	151	147	144	192	175	172	209	120	102	106	
クラミジア肺炎（オム病を除く）		1		2			3	4	1	3	1	2	7	2	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	8	8	4	18	26	16	27	5	14	10	10	7	6	9	

	7月				8月						9月			
	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	
インフルエンザ	9	3	4	8	1	6		2	3	2	4	7	7	
RSウイルス感染症	42	52	42	62	108	64	97	96	177	173	231	205	209	
咽頭結膜熱	501	564	521	635	525	414	579	470	553	542	555	397	475	
A群溶血性レン球菌咽頭炎	3,132	2,987	2,230	2,230	1,974	1,079	1,686	1,647	1,827	1,786	1,974	1,527	2,220	
感染性胃腸炎	6,870	7,152	5,485	6,720	5,578	3,337	5,696	5,727	6,170	5,944	5,795	4,538	5,451	
水痘	383	321	344	363	355	330	364	287	302	336	387	361	394	
手足口病	436	386	378	481	552	338	519	449	486	437	387	359	363	
伝染性紅斑	59	52	56	57	58	28	27	44	32	37	38	31	49	
突発性発しん	1,789	1,717	1,546	1,674	1,478	1,000	1,550	1,651	1,611	1,607	1,553	1,170	1,371	
ヘルパンギーナ	725	1,098	1,264	1,454	2,264	1,202	1,302	1,624	1,292	1,124	1,090	636	831	
流行性耳下腺炎	189	182	140	204	133	87	174	166	171	191	182	140	157	
急性出血性結膜炎	8	4	4	2	1	1	6	4	3	2	2		1	
流行性角結膜炎	131	133	111	168	152	96	173	173	178	152	163	113	175	
細菌性髄膜炎	8	5	3	5	9	7	4	3	10	3	11	7	3	
無菌性髄膜炎	9	12	10	4	9	9	8	9	12	8	7	9	9	
マイコプラズマ肺炎	26	24	29	41	52	25	30	28	33	31	30	13	31	
クラミジア肺炎（オム病を除く）	1	1	1	1	1	3			1				1	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	2	1		1	2		2	4	1	2	2	2	2	

I 五類定点把握感染症（性感染症を除く）

4月				5月				6月				
15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
431	235	119	65	24	15	14	9	15	7	6	9	11
278	248	131	68	26	22	13	18	24	22	18	17	46
454	421	430	419	253	294	243	269	343	405	442	422	479
3,982	3,421	2,589	2,015	1,181	1,796	1,687	1,958	2,223	2,306	2,260	2,692	2,926
5,088	4,652	3,801	3,247	2,318	3,473	3,610	4,128	4,893	5,424	5,837	6,368	6,547
538	487	351	339	235	299	276	265	304	347	282	241	320
167	163	108	127	116	174	164	234	334	406	390	333	417
494	380	258	293	166	199	141	147	102	82	69	53	48
1,070	1,021	1,124	1,009	748	1,098	1,187	1,405	1,625	1,780	1,816	1,797	1,816
86	64	70	53	40	40	52	100	124	153	275	450	635
128	158	139	123	108	126	146	140	165	192	201	197	189
7	7	3	3	2	2	2	4	1	2	5	5	2
162	132	121	83	76	97	99	99	115	112	112	135	137
4	12	10	8	4	10	11	6	11	10	11	14	9
10	5	11	5	5	4	5	10	11	13	10	9	16
113	90	111	54	36	50	31	31	37	41	23	23	26
1	3	1	1	1	2	1		4	1	1	1	1
4	6	7	3	3	4	2	2	2		2	3	2

10月				11月					12月				合計
41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
17	20	29	32	23	22	44	49	63	58	71	69	69	563,487
308	284	305	383	346	325	326	309	328	383	396	433	276	18,097
359	425	462	495	569	660	804	757	845	943	973	993	465	35,125
2,469	2,369	2,509	2,422	2,026	2,284	2,563	2,000	2,490	2,517	2,501	2,419	1,082	200,223
5,412	5,434	5,592	5,500	5,688	6,588	7,556	6,696	7,657	8,921	9,243	10,007	4,455	420,039
376	435	481	561	590	641	738	691	676	665	604	566	322	31,768
429	399	360	387	323	327	384	356	418	367	323	278	121	18,364
38	52	53	35	32	44	44	32	40	48	45	25	18	18,247
1,406	1,379	1,347	1,368	1,226	1,320	1,427	1,218	1,218	1,237	1,207	1,116	558	65,537
819	836	741	709	506	493	426	388	421	371	245	226	121	25,292
173	159	167	132	132	151	166	145	143	137	135	117	46	8,073
1	1	3	5	4	3	3	4	1	4	2	3	3	185
166	169	145	163	127	179	172	152	171	171	132	136	62	9,081
4	7	7	5	12	5	4	7	4	8	10	12	6	406
9	13	9	7	9	8	8	9	8	5	8	5	1	456
31	37	33	29	19	34	28	22	25	23	18	20	14	3,520
				1	1					1			57
		2	1	2	1	1	1		1	3	2	7	250

2020年 感染症別・週別定点あたり報告状況（全国集計）

	1月					2月					3月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	
インフルエンザ	13.94	18.31	16.74	18.02	14.12	9.06	7.49	6.19	4.77	3.14	1.29	0.54	0.27	0.15	
RSウイルス感染症	0.22	0.32	0.27	0.33	0.35	0.32	0.27	0.29	0.28	0.27	0.24	0.16	0.11	0.11	
咽頭結膜熱	0.22	0.52	0.33	0.41	0.39	0.45	0.38	0.39	0.33	0.34	0.30	0.25	0.20	0.15	
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.74	2.43	2.44	3.18	3.49	3.57	3.26	3.67	3.00	2.92	2.32	1.71	1.60	1.47	
感染性胃腸炎	1.79	6.09	6.00	7.15	6.92	6.36	5.74	5.57	4.14	3.56	2.87	2.21	2.13	1.88	
水痘	0.32	0.65	0.30	0.43	0.30	0.39	0.37	0.39	0.38	0.37	0.35	0.26	0.24	0.20	
手足口病	0.12	0.20	0.15	0.17	0.16	0.15	0.12	0.11	0.09	0.08	0.09	0.08	0.07	0.06	
伝染性紅斑	0.17	0.63	0.51	0.53	0.47	0.40	0.31	0.30	0.25	0.25	0.26	0.21	0.22	0.17	
突発性発しん	0.10	0.32	0.30	0.31	0.30	0.29	0.29	0.30	0.25	0.26	0.27	0.29	0.30	0.32	
ヘルパンギーナ	0.01	0.03	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	
流行性耳下腺炎	0.02	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	
急性出血性結膜炎	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01			0.01		0.01	0.01		0.01	0.01	
流行性角結膜炎	0.25	0.67	0.42	0.40	0.43	0.42	0.41	0.44	0.42	0.42	0.27	0.26	0.31	0.26	
細菌性髄膜炎	0.01	0.02	0.01	0.03	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	0.03	0.01	0.02	0.03	
無菌性髄膜炎	0.01	0.02	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03	0.01	0.01	0.01	
マイコプラズマ肺炎	0.16	0.47	0.33	0.32	0.31	0.31	0.30	0.40	0.37	0.36	0.44	0.25	0.21	0.22	
クラミジア肺炎（ワム病を除く）							0.01	0.01		0.01			0.01		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.02	0.02	0.01	0.04	0.05	0.03	0.06	0.01	0.03	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	

	7月				8月						9月			
	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	
インフルエンザ														
RSウイルス感染症	0.01	0.02	0.01	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	0.06	0.05	0.07	0.06	0.07	
咽頭結膜熱	0.16	0.18	0.17	0.20	0.17	0.14	0.18	0.15	0.17	0.17	0.18	0.13	0.15	
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.99	0.94	0.71	0.71	0.63	0.35	0.54	0.52	0.58	0.57	0.63	0.48	0.70	
感染性胃腸炎	2.17	2.26	1.74	2.13	1.79	1.10	1.81	1.81	1.95	1.88	1.85	1.44	1.72	
水痘	0.12	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	0.09	0.10	0.11	0.12	0.11	0.12	
手足口病	0.14	0.12	0.12	0.15	0.18	0.11	0.16	0.14	0.15	0.14	0.12	0.11	0.11	
伝染性紅斑	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	
突発性発しん	0.57	0.54	0.49	0.53	0.47	0.33	0.49	0.52	0.51	0.51	0.50	0.37	0.43	
ヘルパンギーナ	0.23	0.35	0.40	0.46	0.72	0.39	0.41	0.51	0.41	0.36	0.35	0.20	0.26	
流行性耳下腺炎	0.06	0.06	0.04	0.06	0.04	0.03	0.06	0.05	0.05	0.06	0.06	0.04	0.05	
急性出血性結膜炎	0.01	0.01	0.01				0.01	0.01						
流行性角結膜炎	0.19	0.19	0.16	0.24	0.22	0.14	0.25	0.25	0.26	0.22	0.24	0.16	0.25	
細菌性髄膜炎	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	
無菌性髄膜炎	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	
マイコプラズマ肺炎	0.05	0.05	0.06	0.09	0.11	0.05	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.03	0.06	
クラミジア肺炎（ワム病を除く）						0.01								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）								0.01						

I 五類定点把握感染症（性感染症を除く）

4月				5月				6月				
15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
0.09	0.05	0.02	0.01									
0.09	0.08	0.04	0.02	0.01	0.01		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
0.14	0.13	0.14	0.13	0.08	0.09	0.08	0.09	0.11	0.13	0.14	0.13	0.15
1.26	1.09	0.82	0.65	0.37	0.57	0.53	0.62	0.70	0.73	0.72	0.85	0.92
1.61	1.48	1.21	1.04	0.74	1.10	1.14	1.31	1.55	1.72	1.85	2.01	2.07
0.17	0.15	0.11	0.11	0.07	0.09	0.09	0.08	0.10	0.11	0.09	0.08	0.10
0.05	0.05	0.03	0.04	0.04	0.06	0.05	0.07	0.11	0.13	0.12	0.11	0.13
0.16	0.12	0.08	0.09	0.05	0.06	0.04	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02
0.34	0.32	0.36	0.32	0.24	0.35	0.38	0.44	0.51	0.56	0.58	0.57	0.57
0.03	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.03	0.04	0.05	0.09	0.14	0.20
0.04	0.05	0.04	0.04	0.03	0.04	0.05	0.04	0.05	0.06	0.06	0.06	0.06
0.01	0.01						0.01			0.01	0.01	
0.23	0.19	0.17	0.12	0.11	0.14	0.14	0.14	0.17	0.16	0.16	0.19	0.20
0.01	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
0.02	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.02	0.02	0.03
0.24	0.19	0.23	0.11	0.08	0.10	0.06	0.06	0.08	0.09	0.05	0.05	0.05
	0.01							0.01				
0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01						0.01	

10月				11月					12月				平均
41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
		0.01	0.01			0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	2.16
0.10	0.09	0.10	0.12	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.12	0.13	0.14	0.09	0.11
0.11	0.13	0.15	0.16	0.18	0.21	0.25	0.24	0.27	0.30	0.31	0.31	0.15	0.21
0.78	0.75	0.79	0.77	0.64	0.72	0.81	0.63	0.79	0.80	0.79	0.77	0.35	1.20
1.71	1.71	1.77	1.74	1.80	2.08	2.39	2.12	2.42	2.82	2.92	3.17	1.44	2.51
0.12	0.14	0.15	0.18	0.19	0.20	0.23	0.22	0.21	0.21	0.19	0.18	0.10	0.19
0.14	0.13	0.11	0.12	0.10	0.10	0.12	0.11	0.13	0.12	0.10	0.09	0.04	0.11
0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.11
0.44	0.44	0.43	0.43	0.39	0.42	0.45	0.39	0.38	0.39	0.38	0.35	0.18	0.39
0.26	0.26	0.23	0.22	0.16	0.16	0.13	0.12	0.13	0.12	0.08	0.07	0.04	0.15
0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.01	0.05
			0.01	0.01			0.01		0.01				0.00
0.24	0.24	0.21	0.23	0.18	0.26	0.25	0.22	0.25	0.25	0.19	0.20	0.09	0.25
0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.03	0.01	0.02
0.02	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01		0.02
0.06	0.08	0.07	0.06	0.04	0.07	0.06	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.03	0.14
													0.00
										0.01		0.01	0.01

2020年 感染症別・週別報告状況（大阪府内集計）

		1月					2月				3月				
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週
定点数	インフルエンザ*	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
	小児科	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197
	眼科	51	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	
	基幹	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
インフルエンザ		3,348	5,689	5,569	6,358	5,078	3,480	3,493	3,321	2,965	2,197	760	306	157	92
RSウイルス感染症		42	96	91	93	97	68	86	78	65	78	46	44	27	33
咽頭結膜熱		12	78	42	63	81	92	69	69	55	59	53	48	27	28
A群溶血性レンカ球菌咽頭炎		81	415	415	524	623	566	481	545	414	432	371	236	254	228
感染性胃腸炎		315	1,127	906	1,102	1,131	957	881	996	697	595	499	358	391	326
水痘		40	107	58	65	62	71	42	70	62	58	51	41	38	33
手足口病		6	32	13	21	14	19	16	15	9	4	10	7	10	12
伝染性紅斑		19	103	82	67	62	53	26	42	38	36	29	27	34	20
突発性発しん		12	60	42	53	62	56	47	56	42	47	45	51	71	54
ヘルパンギーナ			2	1	6	6	6	4	2	5	5	3	2	4	4
流行性耳下腺炎		1	10	16	17	7	3	11	7	9	5	15	7	6	8
急性出血性結膜炎			2	1	1										1
流行性角結膜炎		1	12	5	9	10	9	9	7	9	10	8	6	14	9
合計（RSウイルス-流行性角結		529	2,044	1,672	2,021	2,155	1,900	1,672	1,887	1,405	1,329	1,130	827	876	756
細菌性髄膜炎				1				1				1			
無菌性髄膜炎			1	2							1	1			1
マイコプラズマ肺炎			11	5	4	7	4	5	5	6	11	1	6	4	2
クラミジア肺炎（オウム病を除く）															1
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1						
合計（細菌性髄膜炎-ロタウイルス）			12	8	4	7	4	6	6	6	12	3	6	5	3

		7月				8月					9月			
		28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週
定点数	インフルエンザ*	300	300	300	300	300	300	300	300	301	301	301	300	299
	小児科	196	196	196	196	196	196	196	196	197	197	197	196	195
	眼科	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
	基幹	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
インフルエンザ		3		1					1	1		2		5
RSウイルス感染症		2	1	1	3	1		1	3		2	2	2	3
咽頭結膜熱		25	30	30	53	31	44	58	35	56	65	50	44	40
A群溶血性レンカ球菌咽頭炎		132	122	76	103	75	53	77	74	81	115	118	73	88
感染性胃腸炎		409	417	314	390	340	171	370	383	383	419	384	316	346
水痘		19	14	27	20	23	17	14	13	20	10	20	29	16
手足口病		14	13	15	15	20	8	18	15	23	18	17	11	13
伝染性紅斑		3	2	2	1	4	1			2		2		2
突発性発しん		108	111	91	114	90	67	92	95	116	97	88	67	78
ヘルパンギーナ		21	31	29	40	52	29	46	80	64	93	95	61	94
流行性耳下腺炎		5	19	9	17	11	11	17	7	15	6	13	12	15
急性出血性結膜炎														
流行性角結膜炎		3	4	5	9	5		9	13	13	13	4	6	5
合計（RSウイルス-流行性角結		741	764	599	765	652	401	702	718	773	838	793	621	700
細菌性髄膜炎										1		1		
無菌性髄膜炎			1		1	1		1	1					
マイコプラズマ肺炎		1	1		2	2			1		1	1		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）														
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		1											1	
合計（細菌性髄膜炎-ロタウイルス）		2	2		3	3		1	2	1	1	2	1	

I 五類定点把握感染症（性感染症を除く）

4月				5月				6月				
15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
299	299	299	299	299	299	298	298	299	300	300	300	300
196	196	196	196	196	196	195	195	195	196	196	196	196
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
41	10	2	1	1	2	2		3		1	2	1
27	27	9			3		2	3	1		3	10
22	23	15	9	6	12	9	6	5	16	11	15	29
163	108	83	83	60	70	53	67	73	94	83	117	123
296	244	224	210	123	189	234	235	291	327	377	407	407
26	27	10	20	15	18	13	18	20	16	11	14	21
7	13	8	8	4	14	5	24	15	18	26	15	16
13	13	7	10	6	5	2	7	2	2	3	1	
63	60	56	55	46	70	66	74	93	119	108	104	103
9		4	5	3	4	9	18	8	6	9	11	20
7	12	7	16	10	11	13	14	10	13	16	12	13
				1				1	1	1		
4	6	7	4	3	3	1	6	3	5	4	4	9
637	533	430	420	277	399	405	472	523	618	649	703	751
					2							2
						1		1	1			
4	1				4	1			1			
4	1				6	2		1	2			2

10月				11月					12月				合計
41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
299	299	299	298	299	299	299	298	298	298	298	298	298	15,871
195	195	195	195	196	196	196	196	196	196	196	196	196	10,397
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	2,755
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	848
3	2	1	2	8	2	4	6	11	4	12	10	6	42,963
2	5	3	3	2	3	1	7	9	14	13	14	3	1,129
30	34	38	39	35	46	49	43	49	49	58	50	14	2,049
89	99	114	110	118	107	129	106	142	141	121	118	43	9,386
354	352	375	359	364	393	449	446	439	446	470	542	216	23,692
15	27	22	25	32	47	52	52	69	61	45	37	23	1,776
4	10	4	3	5	4	7	9	5	3	3	4		622
1	3	1	1	2			2	3	4	4	5		754
85	73	90	72	60	78	79	67	64	74	64	50	24	3,809
75	94	96	76	71	59	55	41	47	21	11	11	6	1,554
12	10	7	10	2	14	10	10	9	8	14	14	5	558
							2						11
9	9	6	6	5	10	11	10	8	8	9	2		359
676	716	756	704	696	761	842	795	844	829	812	847	334	45,699
1													10
	1												15
	1										1		93
													1
										2		1	6
1	2									2	1	1	125

2020年 感染症別・週別定点あたり報告状況（大阪府内集計）

	1月					2月				3月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週
定点数	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
インフルエンザ	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300
小児科	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197	197
眼科	51	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
基幹	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
インフルエンザ	11.16	18.96	18.56	21.19	16.93	11.60	11.64	11.07	9.88	7.32	2.53	1.02	0.52	0.31
RSウイルス感染症	0.21	0.49	0.46	0.47	0.49	0.35	0.44	0.40	0.33	0.40	0.23	0.22	0.14	0.17
咽頭結膜熱	0.06	0.40	0.21	0.32	0.41	0.47	0.35	0.35	0.28	0.30	0.27	0.24	0.14	0.14
A群溶血性链球菌咽頭炎	0.41	2.11	2.11	2.66	3.16	2.87	2.44	2.77	2.10	2.19	1.88	1.20	1.29	1.16
感染性胃腸炎	1.60	5.72	4.60	5.59	5.74	4.86	4.47	5.06	3.54	3.02	2.53	1.82	1.98	1.65
水痘	0.20	0.54	0.29	0.33	0.31	0.36	0.21	0.36	0.31	0.29	0.26	0.21	0.19	0.17
手足口病	0.03	0.16	0.07	0.11	0.07	0.10	0.08	0.08	0.05	0.02	0.05	0.04	0.05	0.06
伝染性紅斑	0.10	0.52	0.42	0.34	0.31	0.27	0.13	0.21	0.19	0.18	0.15	0.14	0.17	0.10
突発性発しん	0.06	0.30	0.21	0.27	0.31	0.28	0.24	0.28	0.21	0.24	0.23	0.26	0.36	0.27
ヘルパンギーナ		0.01	0.01	0.03	0.03	0.03	0.02	0.01	0.03	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02
流行性耳下腺炎	0.01	0.05	0.08	0.09	0.04	0.02	0.06	0.04	0.05	0.03	0.08	0.04	0.03	0.04
急性出血性結膜炎		0.04	0.02	0.02										0.02
流行性角結膜炎	0.02	0.23	0.10	0.17	0.19	0.17	0.17	0.13	0.17	0.19	0.15	0.12	0.27	0.17
細菌性髄膜炎			0.06				0.06				0.06			
無菌性髄膜炎		0.06	0.13							0.06	0.06			0.06
マイコプラズマ肺炎		0.69	0.31	0.25	0.44	0.25	0.31	0.31	0.38	0.69	0.06	0.38	0.25	0.13
クラミジア肺炎（オウム病を除く）													0.06	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							0.06							

	7月				8月						9月			
	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	
定点数	300	300	300	300	300	300	300	300	301	301	301	300	299	
インフルエンザ	300	300	300	300	300	300	300	300	301	301	301	300	299	
小児科	196	196	196	196	196	196	196	196	197	197	197	196	195	
眼科	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	
基幹	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	
インフルエンザ	0.01		0.00					0.00	0.00		0.01		0.02	
RSウイルス感染症	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		0.01	0.02		0.01	0.01	0.01	0.02	
咽頭結膜熱	0.13	0.15	0.15	0.27	0.16	0.22	0.30	0.18	0.28	0.33	0.25	0.22	0.21	
A群溶血性链球菌咽頭炎	0.67	0.62	0.39	0.53	0.38	0.27	0.39	0.38	0.41	0.58	0.60	0.37	0.45	
感染性胃腸炎	2.09	2.13	1.60	1.99	1.73	0.87	1.89	1.95	1.94	2.13	1.95	1.61	1.77	
水痘	0.10	0.07	0.14	0.10	0.12	0.09	0.07	0.07	0.10	0.05	0.10	0.15	0.08	
手足口病	0.07	0.07	0.08	0.08	0.10	0.04	0.09	0.08	0.12	0.09	0.09	0.06	0.07	
伝染性紅斑	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01			0.01		0.01		0.01	
突発性発しん	0.55	0.57	0.46	0.58	0.46	0.34	0.47	0.48	0.59	0.49	0.45	0.34	0.40	
ヘルパンギーナ	0.11	0.16	0.15	0.20	0.27	0.15	0.23	0.41	0.32	0.47	0.48	0.31	0.48	
流行性耳下腺炎	0.03	0.10	0.05	0.09	0.06	0.06	0.09	0.04	0.08	0.03	0.07	0.06	0.08	
急性出血性結膜炎														
流行性角結膜炎	0.06	0.08	0.10	0.17	0.10		0.17	0.25	0.25	0.25	0.08	0.12	0.10	
細菌性髄膜炎									0.06		0.06			
無菌性髄膜炎		0.06		0.06	0.06		0.06	0.06						
マイコプラズマ肺炎	0.06	0.06		0.13	0.13			0.06		0.06	0.06			
クラミジア肺炎（オウム病を除く）														
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.06											0.06		

I 五類定点把握感染症（性感染症を除く）

4月				5月				6月				
15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
299	299	299	299	299	299	298	298	299	300	300	300	300
196	196	196	196	196	196	195	195	195	196	196	196	196
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
0.14	0.03	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01		0.01		0.00	0.01	0.00
0.14	0.14	0.05			0.02		0.01	0.02	0.01		0.02	0.05
0.11	0.12	0.08	0.05	0.03	0.06	0.05	0.03	0.03	0.08	0.06	0.08	0.15
0.83	0.55	0.42	0.42	0.31	0.36	0.27	0.34	0.37	0.48	0.42	0.60	0.63
1.51	1.24	1.14	1.07	0.63	0.96	1.20	1.21	1.49	1.67	1.92	2.08	2.08
0.13	0.14	0.05	0.10	0.08	0.09	0.07	0.09	0.10	0.08	0.06	0.07	0.11
0.04	0.07	0.04	0.04	0.02	0.07	0.03	0.12	0.08	0.09	0.13	0.08	0.08
0.07	0.07	0.04	0.05	0.03	0.03	0.01	0.04	0.01	0.01	0.02	0.01	
0.32	0.31	0.29	0.28	0.23	0.36	0.34	0.38	0.48	0.61	0.55	0.53	0.53
0.05		0.02	0.03	0.02	0.02	0.05	0.09	0.04	0.03	0.05	0.06	0.10
0.04	0.06	0.04	0.08	0.05	0.06	0.07	0.07	0.05	0.07	0.08	0.06	0.07
				0.02			0.02		0.02	0.02		
0.08	0.12	0.13	0.08	0.06	0.06	0.02	0.12	0.06	0.10	0.08	0.08	0.17
					0.13							0.13
						0.06		0.06	0.06			
0.25	0.06				0.25	0.06			0.06			

10月				11月					12月				平均	
41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週		
299	299	299	298	299	299	299	298	298	298	298	298	298	298	299
195	195	195	195	196	196	196	196	196	196	196	196	196	196	196
52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52	52
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
0.01	0.01	0.00	0.01	0.03	0.01	0.01	0.02	0.04	0.01	0.04	0.03	0.02	2.70	
0.01	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.04	0.05	0.07	0.07	0.07	0.02	0.11	
0.15	0.17	0.19	0.20	0.18	0.23	0.25	0.22	0.25	0.25	0.30	0.26	0.07	0.20	
0.46	0.51	0.58	0.56	0.60	0.55	0.66	0.54	0.72	0.72	0.62	0.60	0.22	0.90	
1.82	1.81	1.92	1.84	1.86	2.01	2.29	2.28	2.24	2.28	2.40	2.77	1.10	2.28	
0.08	0.14	0.11	0.13	0.16	0.24	0.27	0.27	0.35	0.31	0.23	0.19	0.12	0.17	
0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	0.04	0.05	0.03	0.02	0.02	0.02		0.06	
0.01	0.02	0.01	0.01	0.01			0.01	0.02	0.02	0.02	0.03		0.07	
0.44	0.37	0.46	0.37	0.31	0.40	0.40	0.34	0.33	0.38	0.33	0.26	0.12	0.37	
0.38	0.48	0.49	0.39	0.36	0.30	0.28	0.21	0.24	0.11	0.06	0.06	0.03	0.15	
0.06	0.05	0.04	0.05	0.01	0.07	0.05	0.05	0.05	0.04	0.07	0.07	0.03	0.05	
							0.04						0.00	
0.17	0.17	0.12	0.12	0.10	0.19	0.21	0.19	0.15	0.15	0.17	0.04		0.13	
0.06													0.01	
	0.06												0.02	
	0.06										0.06		0.11	
													0.00	
										0.13		0.06	0.01	

2020年 感染症別・ブロック別報告状況（大阪府内集計）

疾病名	ブロック名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	合計
		豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市北部	大阪市西部	大阪市東部	大阪市南部	
定点数	*1 インフルエンザ	1,802	1,368	2,193	1,615	1,272	1,516	1,749	1,060	772	1,166	1,358	15,871
	*2 小児科	1,166	901	1,398	1,054	848	986	1,060	742	507	795	940	10,397
	*3 眼科	265	212	318	265	212	265	318	265	106	317	212	2,755
	*4 基幹	106	106	106	106	53	106	53	53	53	53	53	848
*1	インフルエンザ	3,915	2,315	6,541	4,832	4,245	4,053	4,440	3,753	3,952	2,049	2,868	42,963
*2	RSウイルス感染症	49	60	145	132	149	64	156	130	99	47	98	1,129
	咽頭結膜熱	126	196	300	323	118	119	310	155	44	142	216	2,049
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	509	562	1,624	1,170	974	919	1,267	583	416	424	938	9,386
	感染性胃腸炎	1,981	1,780	3,395	3,253	2,876	1,402	2,913	1,600	1,246	892	2,354	23,692
	水痘	155	137	296	230	151	93	205	224	84	125	76	1,776
	手足口病	51	31	116	54	69	55	59	62	17	41	67	622
	伝染性紅斑	38	52	78	75	198	40	84	58	12	67	52	754
	突発性発しん	412	181	587	563	415	174	487	340	163	179	308	3,809
	ヘルパンギーナ	58	143	148	77	220	134	324	109	67	32	242	1,554
	流行性耳下腺炎	22	69	98	44	66	36	58	53	42	38	32	558
*3	急性出血性結膜炎			2	4		3	2					11
	流行性角結膜炎	22	34	60	33	28	30	39	33	15	52	13	359
	合計	3,423	3,245	6,849	5,958	5,264	3,069	5,904	3,347	2,205	2,039	4,396	45,699
*4	細菌性髄膜炎	1	2	2			4				1		10
	無菌性髄膜炎	5	3			1	5				1		15
	マイコプラズマ肺炎	14	20	12	6	1	24	1			15		93
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）						1						1
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)		1			1	4						6
	合計 {細菌性髄膜炎 - 感染性胃腸炎(ロタウイルス)}	20	26	14	6	3	38	1			17		125
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	104	70	32	41	379	59	56	40	15		46	842
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	7	1			18	8	32					66
	薬剤耐性緑膿菌感染症	2						1					3
	合計 (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 - 薬剤耐性緑膿菌感染症)	113	71	32	41	397	67	89	40	15		46	911

*1 インフルエンザ定点把握疾患
 *2 小児科定点把握疾患
 *3 眼科定点把握疾患
 *4 基幹定点把握疾患

2020年 感染症別・年齢別報告状況（大阪府内集計）

疾病名	年齢区分																合計		
	6ヶ月未満	12ヶ月未満	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	15歳	20歳	30歳	40歳		50歳	60歳
*1 インフルエンザ	189	661	1,778	1,735	2,063	2,597	3,130	3,438	3,367	3,296	2,885	8,170	1,504	8,150				42,963	
RSウイルス感染症	181	228	343	172	99	41	27	8	9	8	2	8	3				1,129		
咽頭結膜熱	17	173	789	328	231	186	106	72	31	24	11	31	13	37				2,049	
A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	9	49	396	718	1,058	1,342	1,262	1,072	816	570	435	941	128	590				9,386	
感染性胃腸炎	326	1,574	3,343	2,387	2,016	1,623	1,532	1,253	1,071	986	887	2,707	801	3,186				23,692	
水痘	18	48	122	106	126	162	226	185	199	162	143	228	21	30				1,776	
*2 手足口病	6	48	196	113	83	62	39	21	12	11	12	16	2	1				622	
伝染性紅斑	1	11	52	63	78	114	124	102	63	55	31	54	6				754		
突発性発しん	43	1,162	2,012	428	106	50	5	1					2				3,809		
ヘルパンギーナ	5	110	555	395	175	105	45	26	11	11	9	12	13	82				1,554	
流行性耳下腺炎	1		11	25	49	69	84	69	59	51	33	71	6	30				558	
*3 急性出血性結膜炎														11				11	
流行性角結膜炎	1	3	4	4	7	6	2	1	5	3		5	12	306				359	
合計	608	3,406	7,823	4,739	4,028	3,760	3,452	2,810	2,276	1,881	1,563	4,073	996	4,284				45,699	
*4 細菌性髄膜炎	1			1					1		1	1						5	10
無菌性髄膜炎											1	2	1		1	5	3	2	15
マイコプラズマ肺炎			6	6	5	7	8	9	8	6	3	19	2	3	3	3		5	93
クラミジア肺炎（わん病を除く）					1														1
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1				1	1				1	1	1							6
合計 {細菌性髄膜炎 - 感染性胃腸炎(ロタウイルス)}	2		6	7	7	8	8	9	9	7	6	23	3	3	4	8	3	12	125
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	28	4	7	4	3	7	2	5	9	1	2	14	12	20	28	49	53	594	842
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	2	23	5	4	2	1	1					2	2			1	22	66
薬剤耐性緑膿菌感染症																	2	1	3
合計 (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 - 薬剤耐性アシネトバクター 感染症)	29	6	30	9	7	9	3	6	9	1	2	14	14	22	28	49	56	617	911

*1 インフルエンザ定点把握疾患
 *2 小児科定点把握疾患
 *3 眼科定点把握疾患
 *4 基幹定点把握疾患

2. 各感染症状況報告

1) インフルエンザ定点把握疾患

●インフルエンザ

令和 2 年（2020 年）のインフルエンザの患者発生は、第 35 週までは 2019/2020 シーズンを、第 36 週以降は 2020/2021 シーズンが反映されている。令和 2 年の大阪府でのインフルエンザ定点からの累積報告数は 42,961（定点あたり累積報告数：143.68）であり、定点あたり累積報告数の全国平均値（114.27）は上回ったものの、前年の大阪府の累積報告数：88,386（定点あたり累積報告数：293.64）よりも大幅な減少がみられた。定点あたり報告数の週別の推移をみると、大阪府、全国平均値ともに 2020 年の第 4 週（大阪府：21.12、全国平均：18.02）であり、その後は急激に減少し、第 16 週以降はどちらも 0.05 を下回った状態が 2020 年第 53 週まで続いている（図）。そしてこの状況は 2021 年に入っても（2021 年第 25 週現在）継続されている。

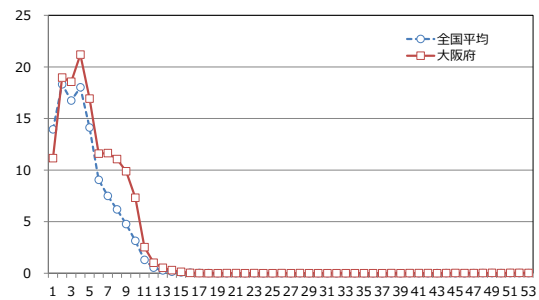


図 2020 年のインフルエンザ定点あたり報告数週別推移
(全国平均、大阪府)

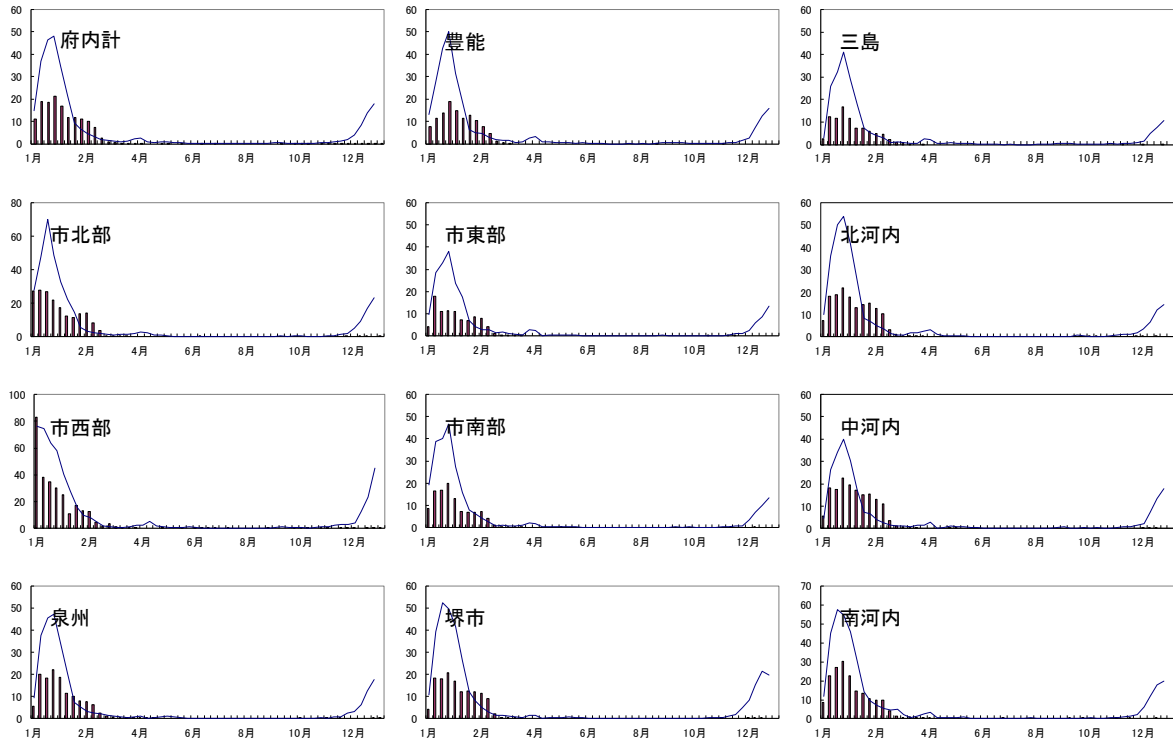
2020 年の国内のインフルエンザウイルス株の検出状況を見ると、(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>) 総検出数は 2,710 株であり、内訳をみると AH1pdm09 2,009 株 (74.1%)、AH3 亜型 42 株 (1.5%)、B ビクトリア系統 653 株 (24.1%)、B 山形系統 2 株 (0.1%)、B 系統不明 4 株 (0.1%) であった。総検出数 2,710 株中、2019/2020 年シーズン（2020 年第 35 週まで）中に検出されたのは 2,708 株であり、2020/2021 年シーズン（2020 年第 36 週以降）に検出されたのは 2 株であった。一方、大阪府は総検出数 191 株であり、AH1pdm09 109 株 (57.1%)、AH3 亜型 2 株 (1.0%)、B ビクトリア系統 79 株 (41.1%)、B 山形系統 0 株 (0.0%)、B 系統不明 1 株 (0.5%) であった。この 191 株は全て 2019/2020 年シーズン（2020 年第 35 週まで）中に検出されたものであり、2020/2021 年シーズン（2020 年第 36 週以降）に検出されたものは無かった。

2019/2020 年シーズンのインフルエンザの発生動向は、例年よりも流行の立ち上がりが早く 2019 年も 11 月中には定点あたり報告数は大阪府、全国平均値ともに流行開始基準を超え、12 月中には患者報告数の急激な立ち上がりがみられていたが、2020 年 1 月に入るとその増加速度は例年と比べて鈍いものとなり、第 4 週を超えてからは急激な減少がみられ、結果的には例年と比べて流行のピーク、流行の規模ともに例年と比べてかなり小さいシーズンとなった。この原因としては、2019 年末から中国を起点として発生し、その後短期間に世界中に流行が拡大し、現在も継続している新型コロナウイルス感染症の流行の影響が大きかったものと推定される。2020/2021 年シーズンに至ってはインフルエンザの国内の流行はほぼみられなかったと言っても過言ではない。しかしながら現在の状況は新型コロナウイルス感染症流行の影響によるものであり、この影響が小さくなれば再びインフルエンザの流行も復活してくる可能性があり、今後もインフルエンザに対する注意深いサーベイランスは継続していくべきであると思われる。
(文責：安井)

インフルエンザ

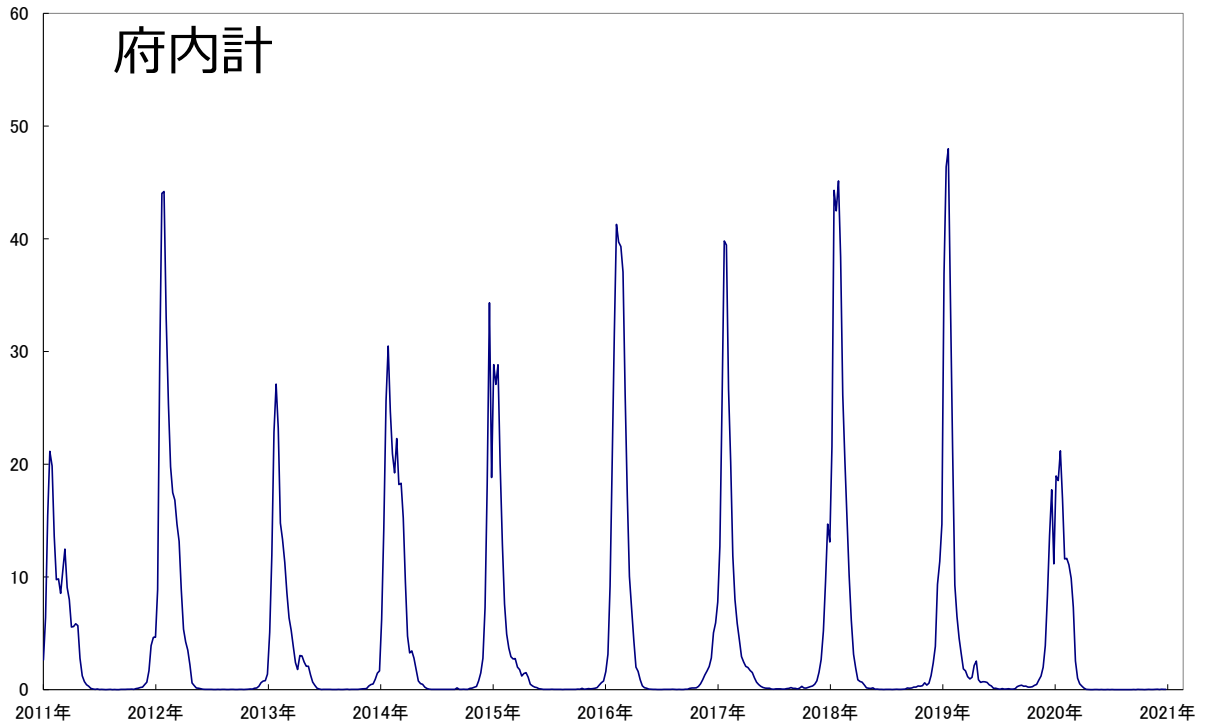
線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたりインフルエンザ報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

2) 小児科定点把握疾患

●RS ウイルス感染症

2020 年の RS ウイルス感染症の患者報告数は 1,129 例で、前年比 91.0%減、小児科・眼科定点把握疾患総報告数の 2.5%を占めた。定点あたり報告数の年平均は 0.11 で、順位は第 8 位であった。

全国集計においては 18,097 例の報告で、前年比 87.1%減、小児科・眼科定点把握疾患総報告数の 2.1%を占めた。定点あたり報告数の年平均は 0.11 で、順位は第 10 位であった。

週別（月別）の定点あたりの報告数は、第 1 週（1 月）の 0.21 に始まり第 2 週（1 月）から第 5 週（1 月）まで 0.47 前後で推移した後漸減し第 18 週（4 月）から第 47 週（11 月）の間は 0.03 以下で推移し、報告なしの週も散見された。第 48 週（11 月）から第 52 週（12 月）にかけては 0.07 程度に達する軽度な増加が認められた。年間を通しての最大は第 2 週（1 月）と第 5 週（1 月）の 0.49 であった。

全国集計の同報告数は、第 1 週（1 月）の 0.22 に始まり第 11 週（3 月）までは 0.2 を超えていたが第 5 週（1 月）に年間最高の 0.35 となった後は漸減し、第 15 週（4 月）から第 40 週（9 月）までは 0.1 未満で推移し、第 21 週（5 月）には年間最低の 0.00（実報告件数 13 件）となった。第 41 週（10 月）から第 52 週（12 月）にかけては軽度な増加が見られ 0.10-0.14 で推移した。

年齢別患者発生数は、1 歳児の 343 例が最も多く、以下 12 か月未満児の 228 例、6 か月未満児の 181 例、2 歳児の 172 例で、0 歳児から 2 歳児で全体の 81.8%を占めた。

ブロック別年間患者報告数の上位 5 ブロックは⑦泉州(156 例)、⑤南河内(149 例)、③北河内(145 例)、④中河内(132 例)、⑧大阪市北部(130 例)であった。

ブロック別定点あたり年間平均報告数の上位 5 ブロックは⑨大阪市西部(0.20)、⑤南河内・⑧大阪市北部(0.18)、⑦泉州(0.15)、④中河内(0.12)であった。

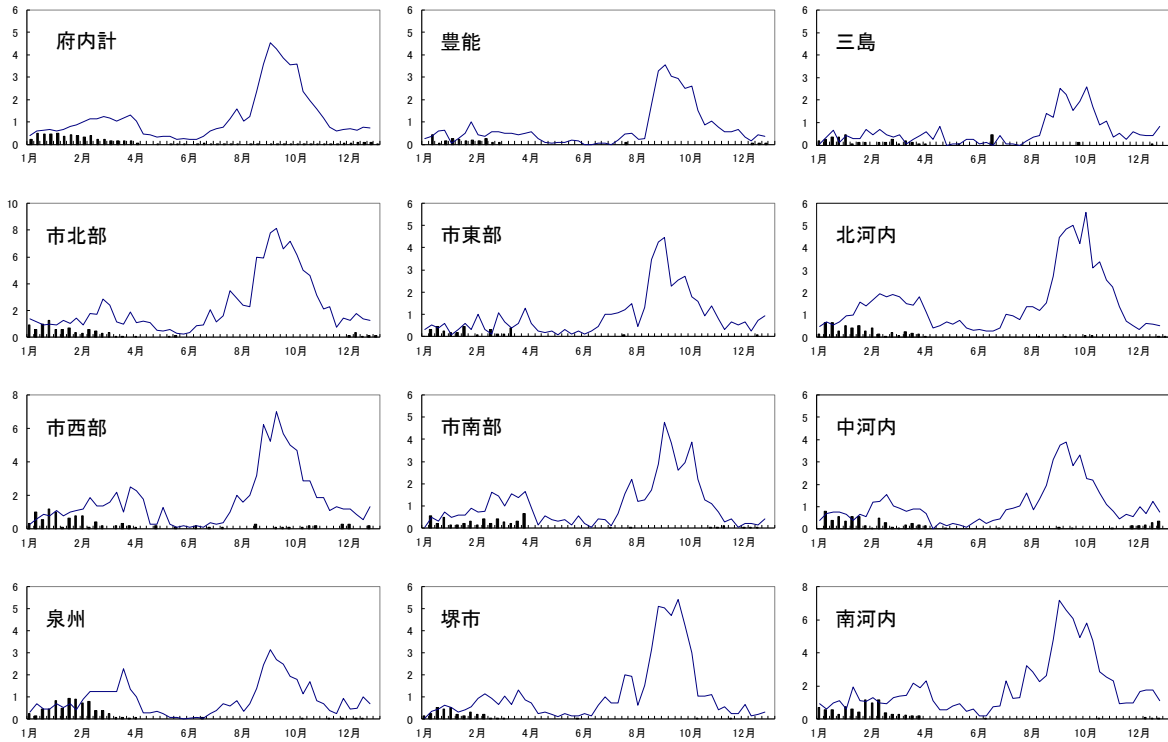
病原体定点医療機関からの検体数は 58 件で、そのうち 18 検体(31.0%)からウイルスが検出され、RSA が 10 例であった。その他にライノウイルスが 5 例、アデノウイルス 1 型、アデノウイルス 5 型、コクサッキー A4 型がそれぞれ 1 例であった。

(文責：山本)

RS ウイルス感染症

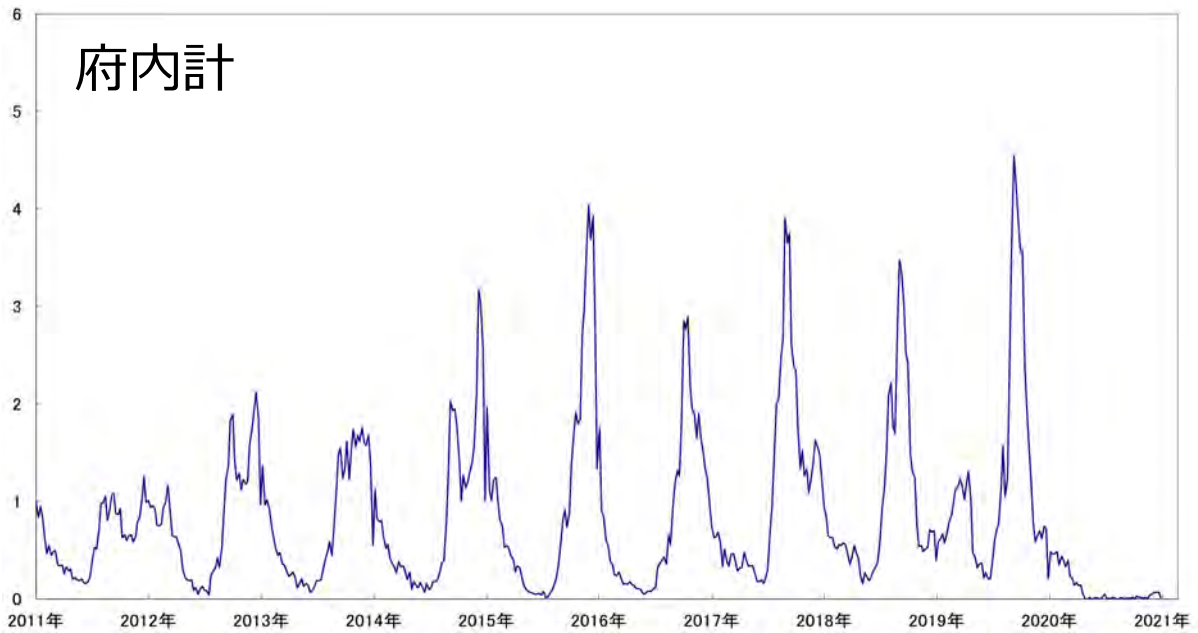
線 (2019 年第 1 週～第 52 週)

棒 (2020 年第 1 週～第 53 週)



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線 (2011 年 1 週～2020 年 53 週)



定点あたり RS ウイルス感染症報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●咽頭結膜熱

2020 年の咽頭結膜熱の患者報告数は 2,049 例で、前年比 60.3%減、小児科・眼科定点把握疾患総報告数の 4.5%を占めた。定点あたり報告数の年平均は 0.20 で、順位は第 4 位であった。

全国集計においては 35,123 例の報告で、前年比 53.4%減、小児科・眼科定点把握疾患層報告数の 4.1%を占めた。定点あたり報告数の年平均は 0.21 で、順位は第 5 位であった。

週別（月別）の定点あたりの報告数は、第 1 週（1 月）の 0.06 に始まり第 6 週（2 月）に年間最高の 0.47 となった後漸減し第 16 週（4 月）までは 0.10 を超えて推移した。第 17 週（4 月）から第 26 週（6 月）の間は 0.10 以下で推移し、第 27 週（6 月）以降は増減を伴い第 37 週（9 月）に 0.33、51 週（12 月）に 0.30 のピークを形成しながら 0.13-0.33 程度で推移した。

全国集計の同報告数は、第 1 週（1 月）の 0.22 に始まり第 2 週（1 月）に年間最高の 0.52 となった後漸減し第 13 週（3 月）までは 0.20 を超えていた。第 14 週（3 月）から 45 週（11 月）までは 0.2 以下で推移したが、第 46 週以降漸増し第 51 週（12 月）・第 52 週（12 月）には 0.31 となった。

年齢別患者発生数は、1 歳児の 789 例が最も多く、以下 2 歳児の 328 例、3 歳児の 231 例、4 歳児の 186 例、12 カ月未満児の 173 例で、0 歳児から 5 歳児で全体の 89.3%を占めた。

ブロック別年間患者報告数の上位 5 ブロックは④中河内(323 例)、⑦泉州(310 例)、③北河内(300 例)、⑪大阪市南部(216 例)、②三島(196 例)であった。

ブロック別定点あたり年間平均報告数の上位 5 ブロックは④中河内(0.31)、⑦泉州(0.29)、⑪大阪市南部(0.23)、②三島(0.22)、③北河内・⑧大阪市北部(0.21)、であった。

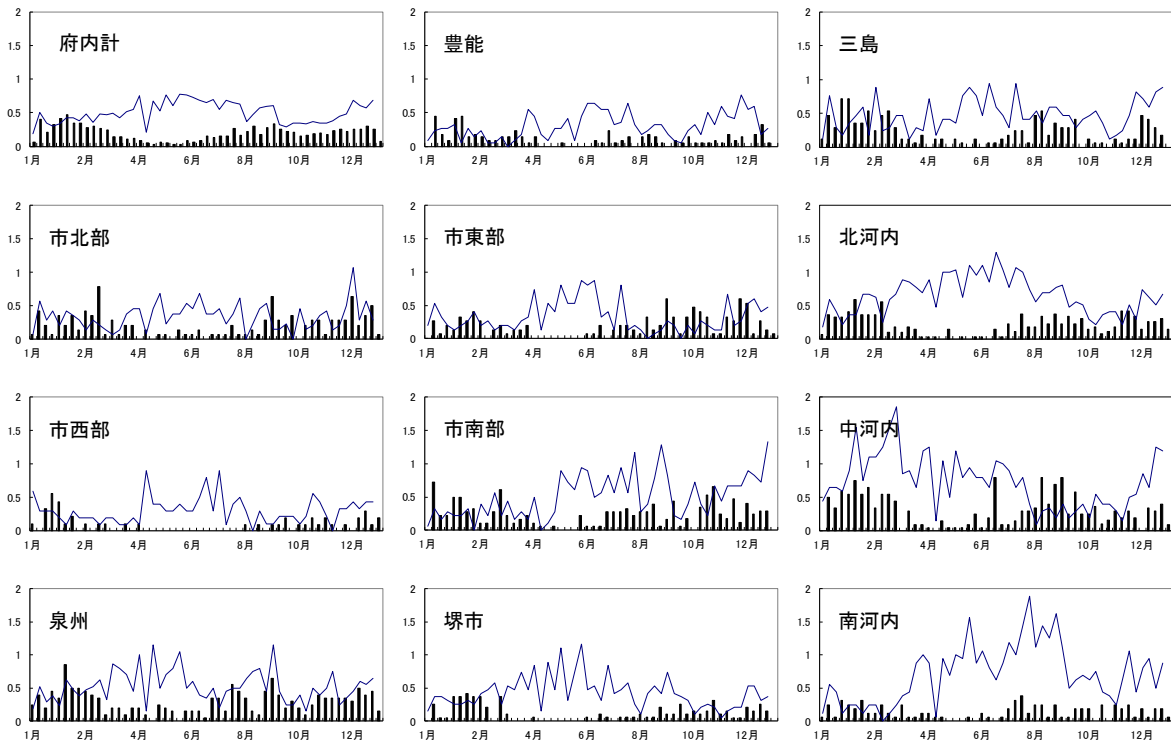
病原体定点医療機関からの検体数は 29 件で、そのうち 17 検体(58.6%)からウイルスが検出された。内訳はアデノウイルス 2 型が 9 例、アデノウイルス 3 型が 2 例、ライノウイルスが 2 例、以下アデノウイルス 1 型・アデノウイルス 5 型・ヒトメタニューモウイルス・パラインフルエンザウイルス 1 型(RS ウイルス B 型との重複感染 1 例を含む)がそれぞれ 1 例であった。

(文責：山本)

咽頭結膜熱

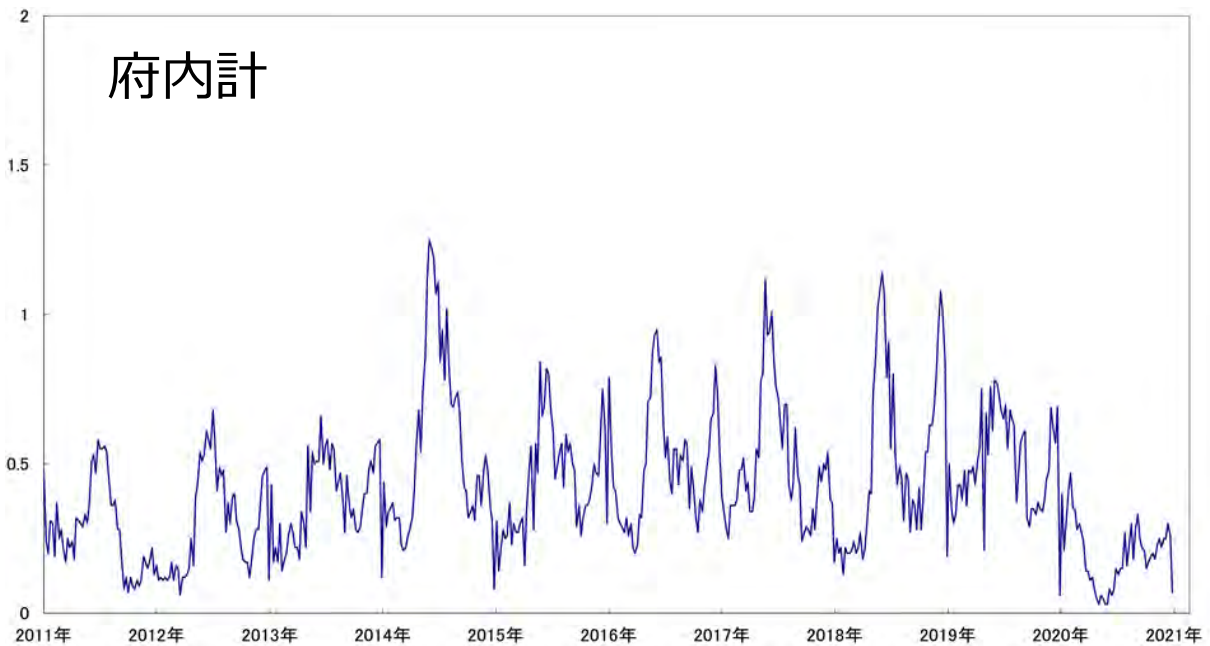
線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたり咽頭結膜熱報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

●A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2020年のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の患者報告数は9,386例で、前年比58.3%減、総報告数(小児科・眼科定点報告対象疾患)の20.5%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は0.90で、順位は第2位であった。

全国集計では200,223例の報告で、前年比43.6%減、総報告数(小児科・眼科定点報告対象疾患)の23.6%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は1.20で、順位は第2位であった。

週別(月別)の定点あたりの報告数の推移では、第1週(1月)0.41で始まり、第2週(1月)から増加し、第5週(1月)に年間最高値3.16となった。その後減少傾向となり、第15週(4月)以降第53週(12月)まで1未満が続いた。例年にみられた初夏と冬のピークは認められなかった。

全国集計では、第1週(1月)0.74で始まり、第2週(1月)から増加傾向となり、第8週(2月)に年間最高値3.67となった。その後減少し、第17週(4月)以降第53週(12月)まで1未満が続いた。全国でも初夏と冬のピークは認められなかった。

年齢別患者報告数は、4歳の1,342例が最も多く、以下5歳1,262例、6歳1,072例、3歳1,058例と続き、3歳から6歳で全体の50.4%を占めた。

ブロック別年間患者報告数の上位5ブロックは、③北河内(1,624例)、⑦泉州(1,267例)、④中河内(1,170例)、⑤南河内(974例)、⑪大阪市南部(938例)の順であった。

ブロック別定点あたりの年平均報告数の上位5ブロックは、⑦泉州(1.20)、③北河内(1.15)、⑤南河内(1.15)、④中河内(1.11)、⑪大阪市南部(0.99)の順であった。

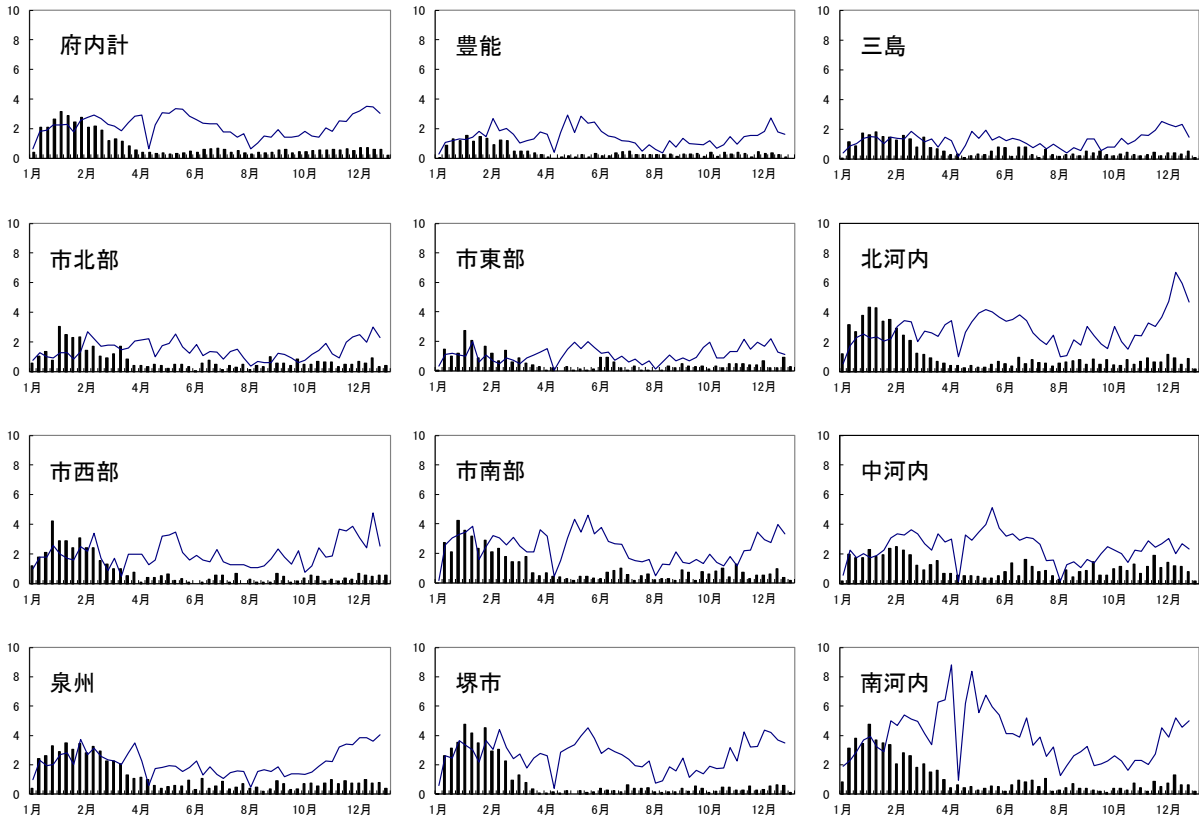
ブロック別・週別定点あたりの報告数の上位5ブロックは、⑤南河内(第5週、4.75)、⑥堺市(第5週、4.74)、⑥堺市(第8週、4.53)、③北河内(第5週、4.33)、③北河内(第6週、4.30)の順であった。

(文責：富吉)

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

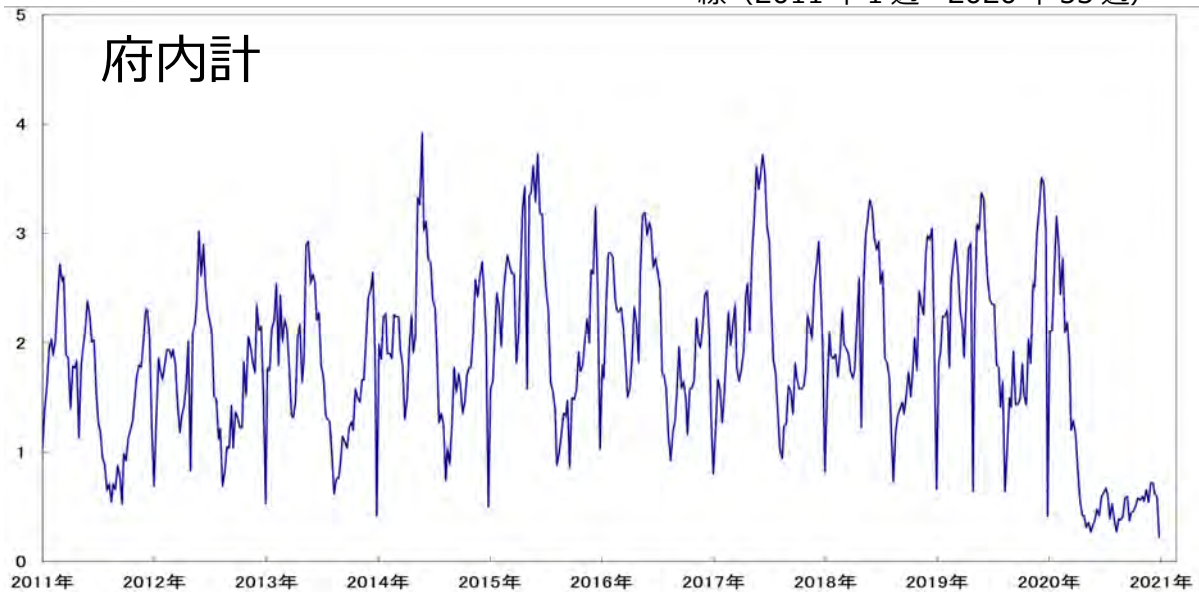
線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたり A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告数（府内計）の週別推移（10 年グラフ）

●感染性胃腸炎

2020年の感染性胃腸炎の報告数は23,692例で、前年より31,682例、57.2%減少した。小児科・眼科定点報告対象12疾患総報告数の51.8%を占め、第1位であった。定点あたり報告数の年平均は2.28で、前年5.39より57.7%の減少であり、過去10年でみると最低値であった。全国集計では報告数420,039例で、前年より48.1%減少し、総報告数の49.4%を占めた。定点あたり報告数は年平均2.51と前年4.92より49.0%減少し、過去10年で最低値であった。

定点あたり報告数を週別にみると、第1週1.60から第2週5.72へと急激に増加し、第5週に年間最高値5.74に達した。その後は第8週の5.06から減少に転じて、第19週に年間最低値である0.63になった。第19週以降は緩やかに増加し第29週2.13に達した後減少に転じ、第33週に0.87となった。第34週1.89から第45週1.86まではほぼ横ばいで推移し、その後第52週2.77まで増加し、第53週1.10となった。全国集計では、第1週1.79から急激に増加し、第4週に年間最高値7.15に達した。その後減少に転じ、第19週に年間最低値である0.74となった。それ以降第29週2.26まで徐々に増加し、第30週から第44週まで1.10~2.13の間で推移した。第44週1.74から増加傾向となり第52週3.17に達した後第53週1.44となった。

定点あたり報告数の月別平均値は、1月、2月、3月、12月、11月、7月の順で高かった。例年であれば春から初夏にかけて二峰性のピークを作り、夏から秋にかけて低値をとり、晩秋から増加し始め冬にピークを持つ流行曲線となるが、2020年は1月にピークを作った後例年になく低値を取り続け、秋から冬にかけてのピークを作らない特異な流行曲線を示した。

ブロック別定点あたり報告数のピーク値が警報開始基準値20.0を超えたブロックは無かった。ブロック別定点あたり報告数の年平均は、⑤南河内 3.39、④中河内 3.08、⑦泉州 2.75、⑪大阪市南部 2.51、⑨大阪市西部 2.49、③北河内 2.42、⑧大阪市北部 2.16、②三島 1.98、①豊能 1.70、⑥堺市 1.41、⑩大阪市東部 1.12の順であった。

年齢別報告数(0~9歳)は、1歳、2歳、3歳、0歳、4歳、5歳、6歳、7歳、8歳、9歳の順に多かった。0~4歳の報告数は11,269例で全体の47.6%を占めた。5~9歳が5,729例(24.2%)、10~14歳が2,707例(11.4%)、15歳以上が3,987例(16.8%)で、各年齢の全体に占める割合は例年と較べて9歳以下が減少し、10歳以上が増加した。

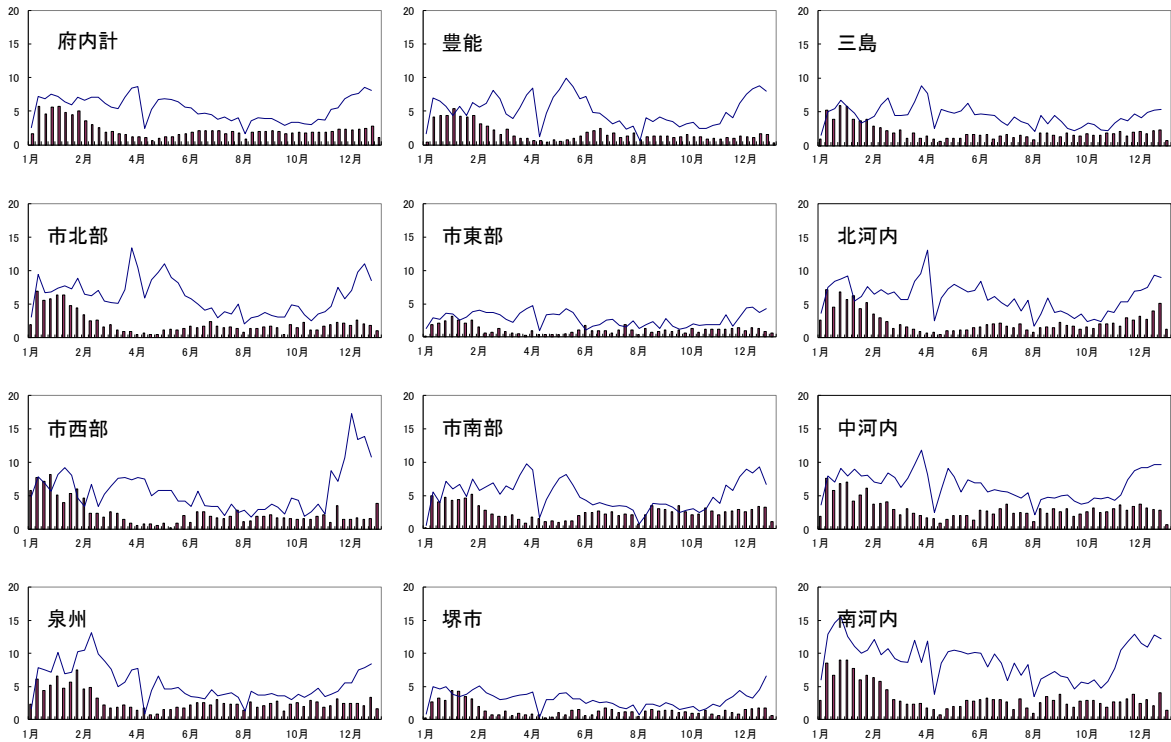
ウイルス検出は73検体のうち陽性だったのは32検体で、陽性率43.8%であった。病原体別でみると、ノロウイルス24件(陽性検体の75.0%、うちノロウイルスGII.4が16件)、アデノウイルスが4件(陽性検体の12.5%)、アストロウイルス4件(陽性検体の12.5%)等であった。

(文責：吉田)

感染性胃腸炎

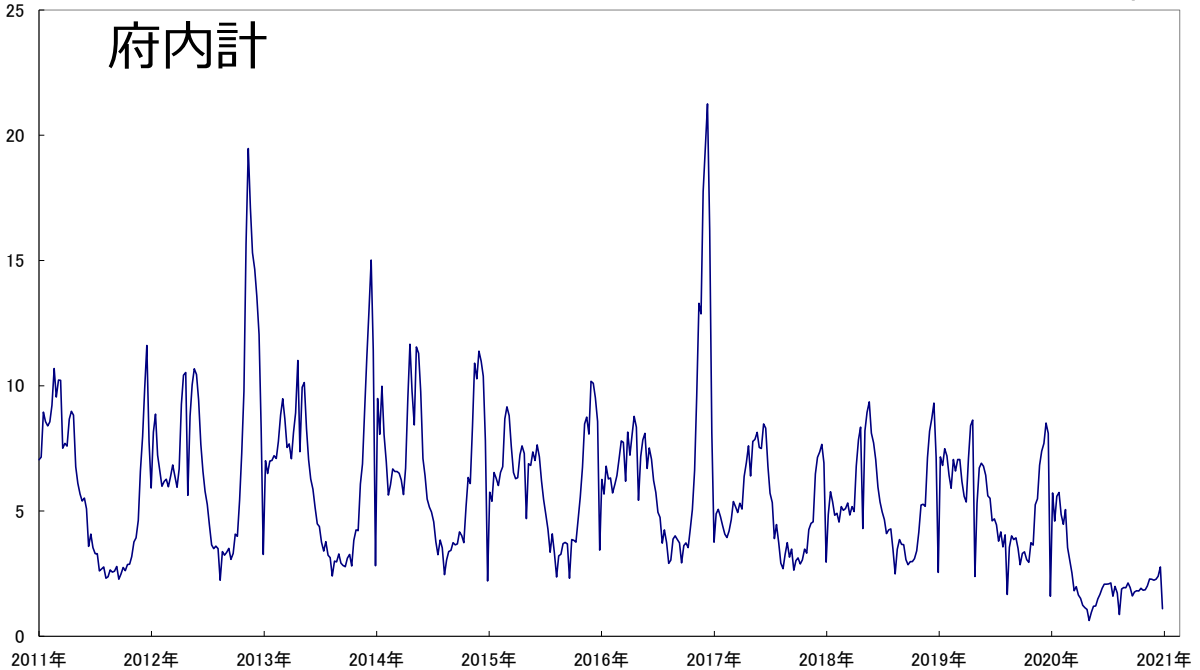
線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたり感染性胃腸炎報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

●水痘

2020年の水痘の報告数は1,776例で、前年3,227例より1,451例、45.0%減少した。小児科・眼科定点報告対象12疾患総報告数の3.9%を占め、第5位であった。2008年～2010年は第2～3位であったが、2011年～2014年は第3～4位、2015年は第5位であり、2016年以降は8～9位と年々減少していた。定点あたり報告数の年平均は0.17で、前年0.31より45.2%減少した。全国集計では報告数31,768例で前年56,798例より25,030例、44.1%減少した。総報告数の3.7%を占め、定点あたり報告数は年平均0.19と前年0.35より45.7%減少した。

定点あたり報告数を週別にみると、第1週0.20から第2週に年間最高値である0.54まで増加した後、増減を繰り返しながら減少し、第17週に年間最低値である0.05に達した。その後0.05～0.15の間で小刻みな増減を繰り返し、第41週0.08より再び増加し、第49週に0.35に達した。その後減少に転じ、第53週0.12となった。全国集計では、第1週0.32から第2週に年間最高値である0.65まで増加した後、増減を繰り返しながら減少し、第19週に年間最低値である0.07に達した。0.08～0.12の間で小刻みな増減を繰り返した後、第35週0.09から緩やかに増加し、第47週に0.23に達した後減少に転じ、第53週0.10となった。

定点あたり報告数の月別平均値は、1月、2月、11月、3月、12月、10月、4月、7月、9月、8月、6月、5月の順で高かった。例年とは違い、ピークは冬のみであり、初夏から秋にかけて低値をとる流行曲線であった。定点あたり報告数の年平均および年間最高値は、いずれも前年よりも低値であり、感染症法が施行され現在の感染症発生動向調査事業の体制となった1999年以降の22年間で最も低値であった。

ブロック別定点あたり報告数の年平均は、⑧大阪市北部 0.30、④中河内 0.22、③北河内 0.21、⑦泉州 0.19、⑤南河内 0.18、⑨大阪市西部 0.17、⑩大阪市東部 0.16、②三島 0.15①豊能 0.13、⑥堺市 0.09、⑪大阪市南部 0.08、の順であった。

年齢別報告数(0～9歳)は、5歳、7歳、6歳、4歳および8歳、9歳、3歳、1歳、2歳、0歳の順に多かった。0～4歳の報告数および全体に占める割合は、2014年(6,691例、68.4%)、2015年(3,179例、57.4%)、2016年(2,044例、48.0%)、2017年(1,706例、42.3%)、2018年(1,346例、34.3%)、2019年(1,065例、33.0%)、2020年(582例、32.8%)であり、2014年10月に水痘ワクチンが小児の定期接種に導入されて以降、報告数・割合とも大幅に減少している。5～9歳の報告数は915例(前年1,693例)で全体の51.5%(前年52.5%)と減少した。10～14歳の報告数は228例(前年410例)と減少し、割合は12.8%(前年12.7%)で前年と著変なかった。15歳以上は51例(2.9%)であり、割合は前年1.8%よりやや増加した。

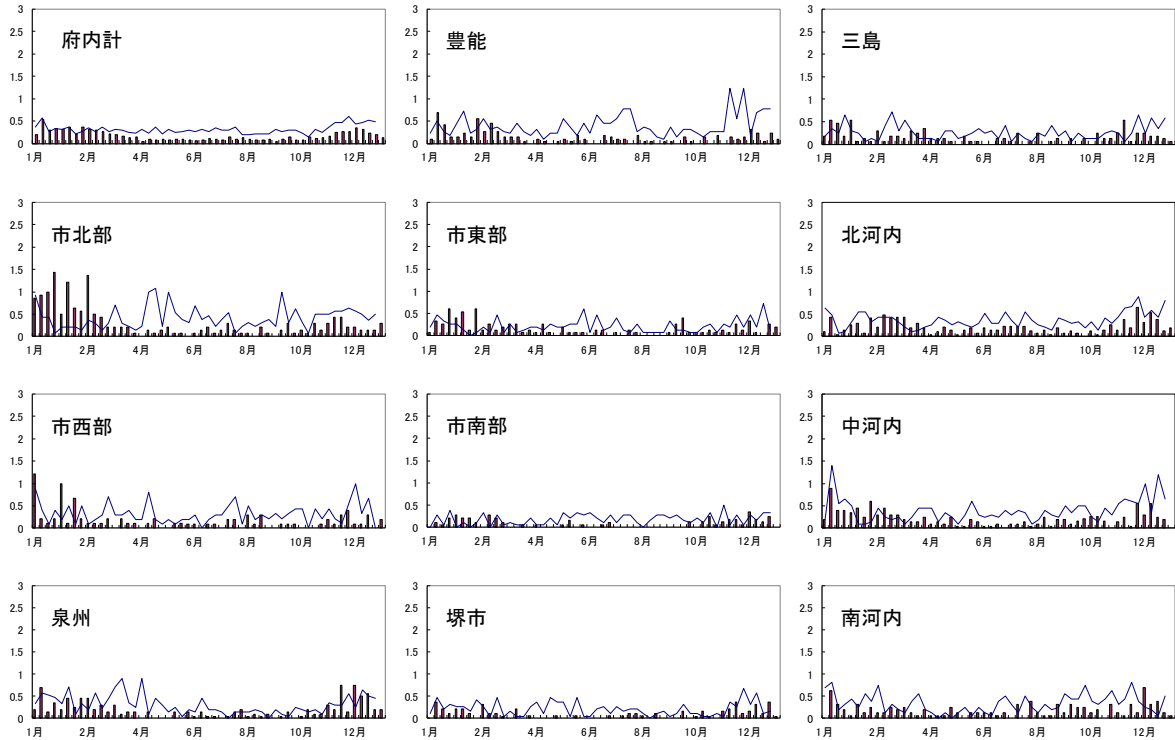
咽頭拭い液6検体中3件から水痘带状疱疹ウイルスが検出された。

(文責：吉田)

水痘

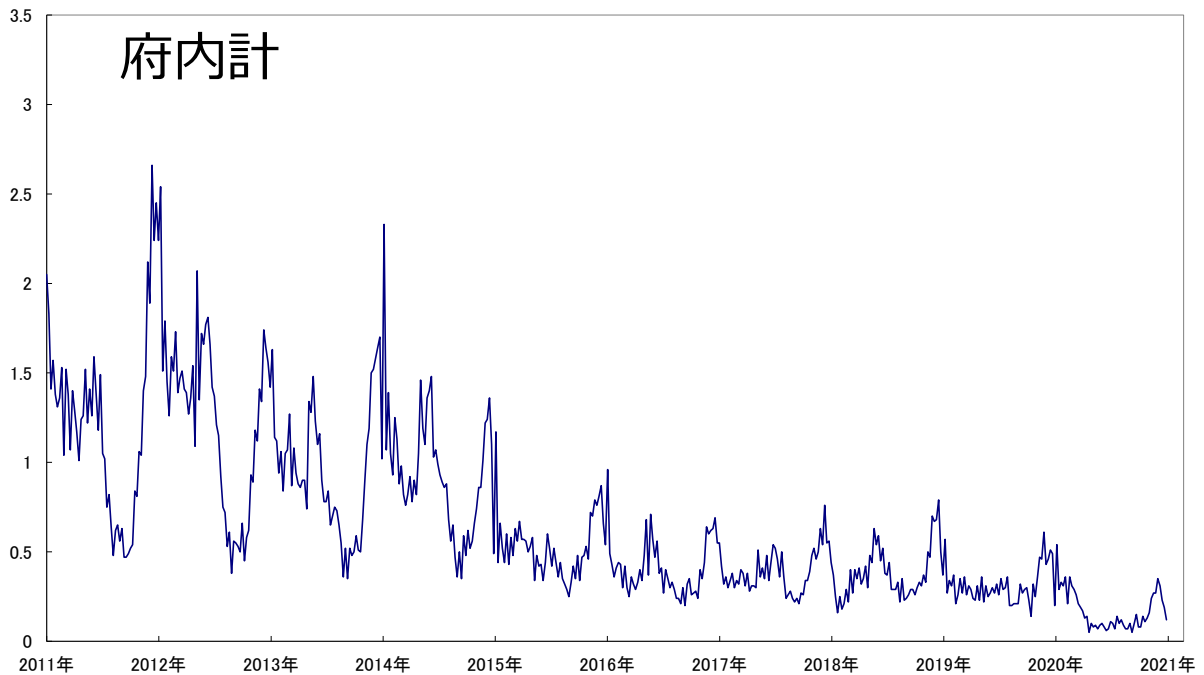
線 (2019年第1週～第52週)

棒 (2020年第1週～第53週)



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線 (2011年1週～2020年53週)



定点あたり水痘報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

●手足口病

手足口病 (hand, foot, and mouth disease : HFMD) は、口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス性感染症であり、乳幼児を中心に主に夏季に流行する疾患である。日本国内では主に春から夏にかけて流行する感染症であり、例年 7 月の中旬か下旬が流行のピークとなり、8 月以降患者発生数は減少していく、という経過を辿っている。主な病原ウイルスは、以前はコクサッキー A16 (CA16)、エンテロウイルス 71 (EV71) であるとされてきたが、2009 年頃よりコクサッキー A6 (CA6) を原因ウイルスとする手足口病が目立つようになり、それとともに CA6 の検出割合が増加してきている。

手足口病に特徴的な発疹は口腔粘膜、従来は手掌、足底や足背などの四肢末端に出現する 2~3 mm の水疱性発疹とされてきたが、CA6 を原因ウイルスとする手足口病の場合の発疹は 5mm 前後と水痘を想起させるほどに大きく、上腿、殿部、上腕部、頸部等広範囲にみられることも少なくない。また、これまでの手足口病とは異なり、39℃以上の高熱をきたすこともしばしば認められている。

2020 年 (令和 2 年) の小児科定点医療機関からの手足口病の累積報告数は、大阪府は 622 (定点あたり累積報告数 3.17 ; 暫定値) であり、国内全体では 18,632 (定点あたり累積報告数 5.83 ; 暫定値) と共に 2004 年以降では最も低い値だった。2020 年は大阪府、国内全体共に夏期に流行のピークは認められず、どちらも第 2 週の定点あたり報告数 (大阪府 0.16、国内 0.20) が年間を通して最高値であり、流行期間というものが年間を通してみられなかった (図)。

2020 年に全国で手足口病と診断された患者由来検体から検出されたウイルス株数 (暫定値) は、全国で 71 と患者数の減少を反映して過去 10 年間で最も少ない値であり、CA16 57.7%、CA10 2.8% の順であり、前年には 56.8% と最多を占めた CA6 は、EV71 と共に 0.0% で検出されなかった。大阪府内で検出されたウイルス株数は 4 と前年の 68 よりも大幅に減少し、コクサッキー A4 (CA4) が 50.0% と半数を占めていた。

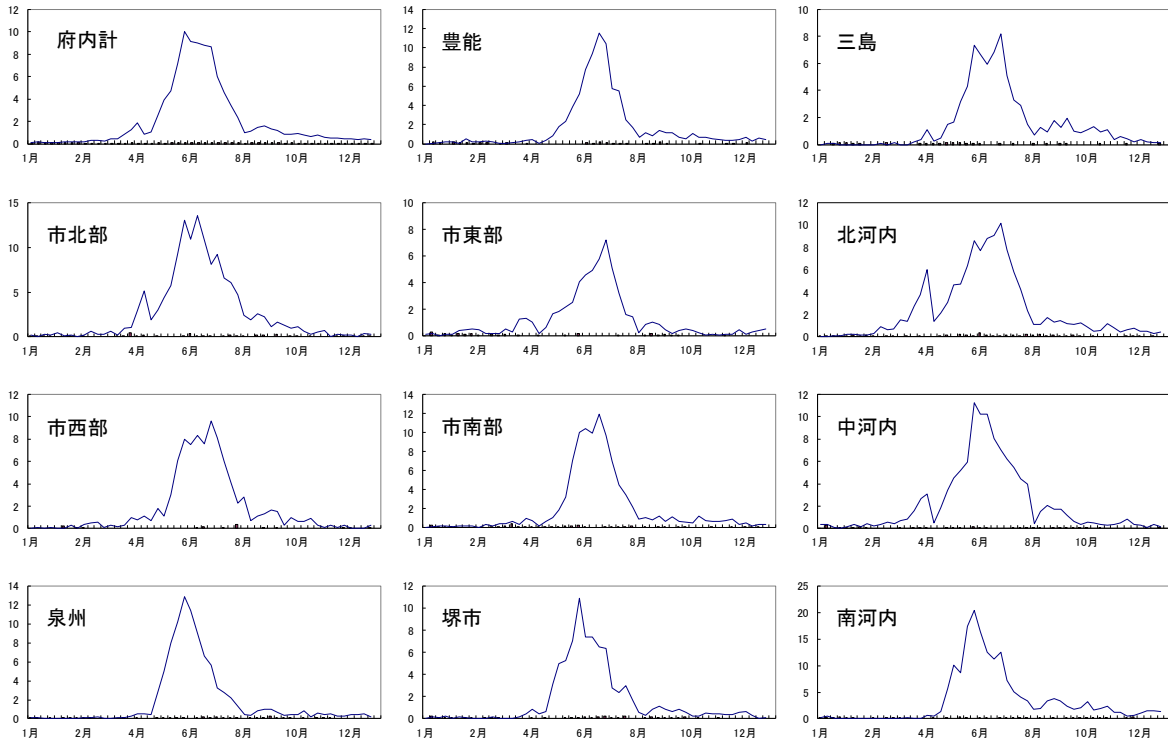
2020 年の手足口病の患者数が例年と比べて大きく減少し、流行期間と呼べるものが見られなくなり、原因ウイルスとされるエンテロウイルスの検出数も例年と比べて大きく減少したのは、新型コロナウイルス感染症の流行の影響に負うところが大きいと思われる。この「影響」が異なるウイルス間の干渉によるものか、あるいは新型コロナウイルス感染症に対する対策の徹底によるのか等、その理由は今のところ不明であるが、新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなれば、手足口病の国内流行も復活してくる可能性が高いと思われる。

(文責 : 安井)

手足口病

線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

(2004年1週～2020年53週)

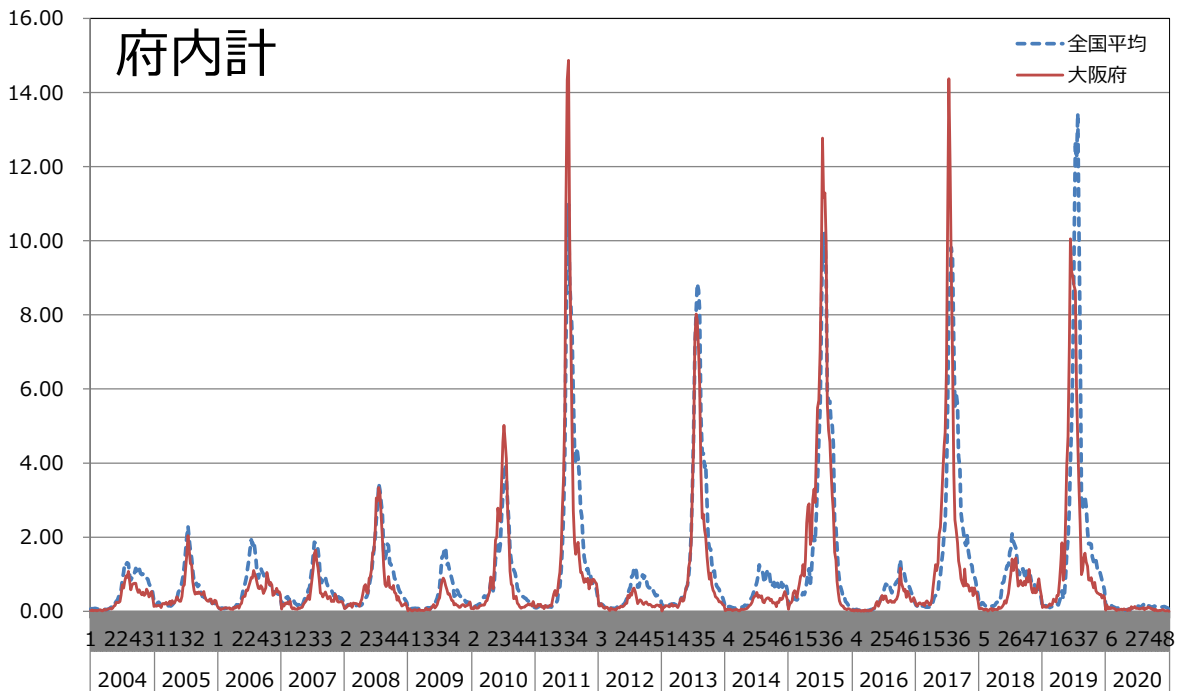


図 2004年～2020年の手足口病定点あたり報告数の週別推移（全国平均、大阪府）

2004年～2020年定点あたり手足口病報告数（全国平均、府内計）の週別推移

●伝染性紅斑

2020 年の伝染性紅斑の報告数は 754 例で、前年の 6,840 例より 6,086 例、89.0%減少した。小児科・眼科定点報告対象 12 疾患総報告数の 1.6%を占め、第 8 位であった。定点あたり報告数の年平均は 0.07 で、前年 0.67 より 89.6%の減少であった。全国集計では報告数 18,247 例で前年 108,223 例より 83.1%減少し、総報告数の 2.1%を占めた。定点あたり報告数は年平均 0.11 と前年 0.66 より 83.3%減少した。

定点あたり報告数を週別にみると、第 1 週 0.10 から第 2 週に年間最高値である 0.52 に達した後、第 21 週の 0.01 まで減少し、その後は第 53 週まで 0.00~0.04 の間で推移した。全国集計では、第 1 週 0.17 から第 2 週に年間最高値である 0.63 に達した後、第 25 週 0.02 まで減少し、その後は第 53 週まで 0.01~0.02 の間で推移した。

定点あたり報告数の月別平均値は、1 月、2 月、3 月、4 月、5 月、12 月、7 月、6・10 月、8・11 月、9 月の順で多かった。春から夏にかけて増加する例年の流行曲線とは異なり、1 月にピークを作った後急速に減少し、春以降は例年になく低いレベルで推移した。

過去 10 年では、2011 年、2015 年、2019 年とおよそ 4 年毎に比較的大規模な流行がおこっている。2019 年の年間最高値 1.30 は過去 10 年間でも最高値であったが、本年は大流行と大流行の間の時期の比較的小さな流行に留まっている。

ブロック別定点あたり報告数の年平均は、⑤南河内 0.23、⑩大阪市東部 0.08、⑦泉州 0.08、⑧大阪市北部 0.08、④中河内 0.07、②三島 0.06、⑪大阪市南部 0.50、③北河内 0.05、⑥堺市 0.04、①豊能 0.03、⑨大阪市西部 0.03 の順であった。

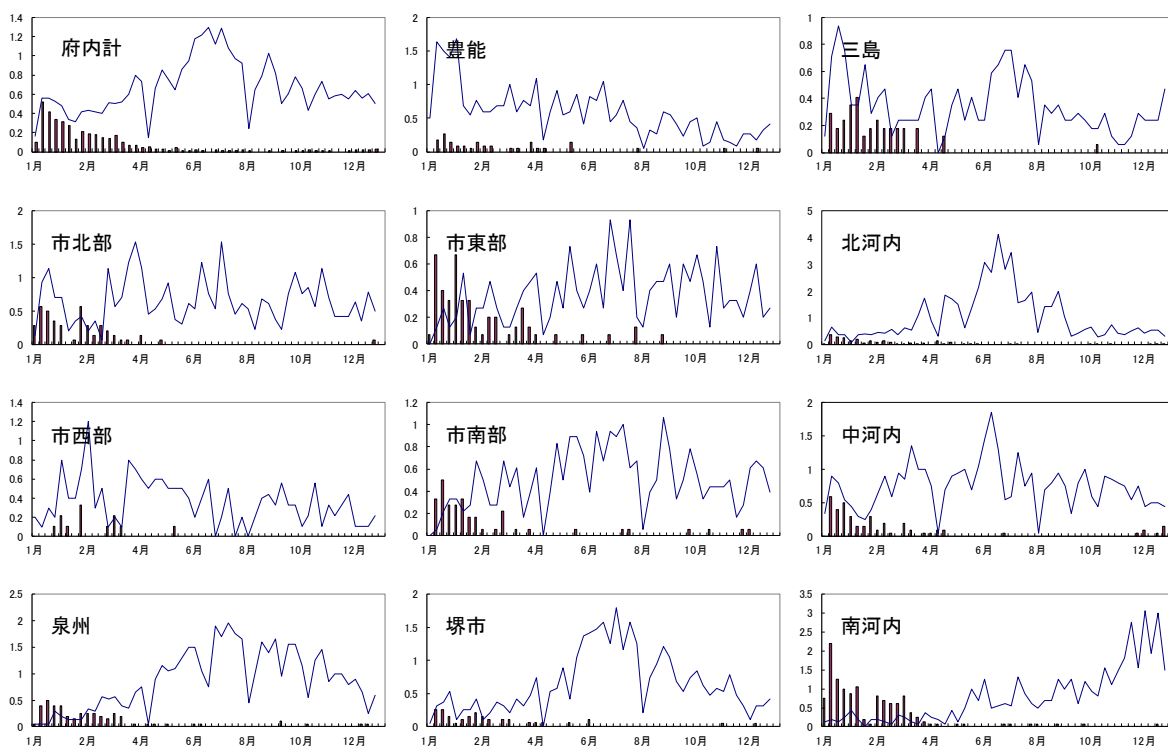
年齢別報告数（0~9 歳）は、5 歳、4 歳、6 歳、3 歳、2 歳・7 歳、8 歳、1 歳、9 歳、0 歳の順に多かった。5~9 歳の報告数は 375 例で全体の 49.7%を占めた。0~4 歳、10~14 歳、15 歳以上の報告数と割合はそれぞれ 319 例（42.3%）、54 例（7.2%）、6 例（0.8%）であった。

（文責：吉田）

伝染性紅斑

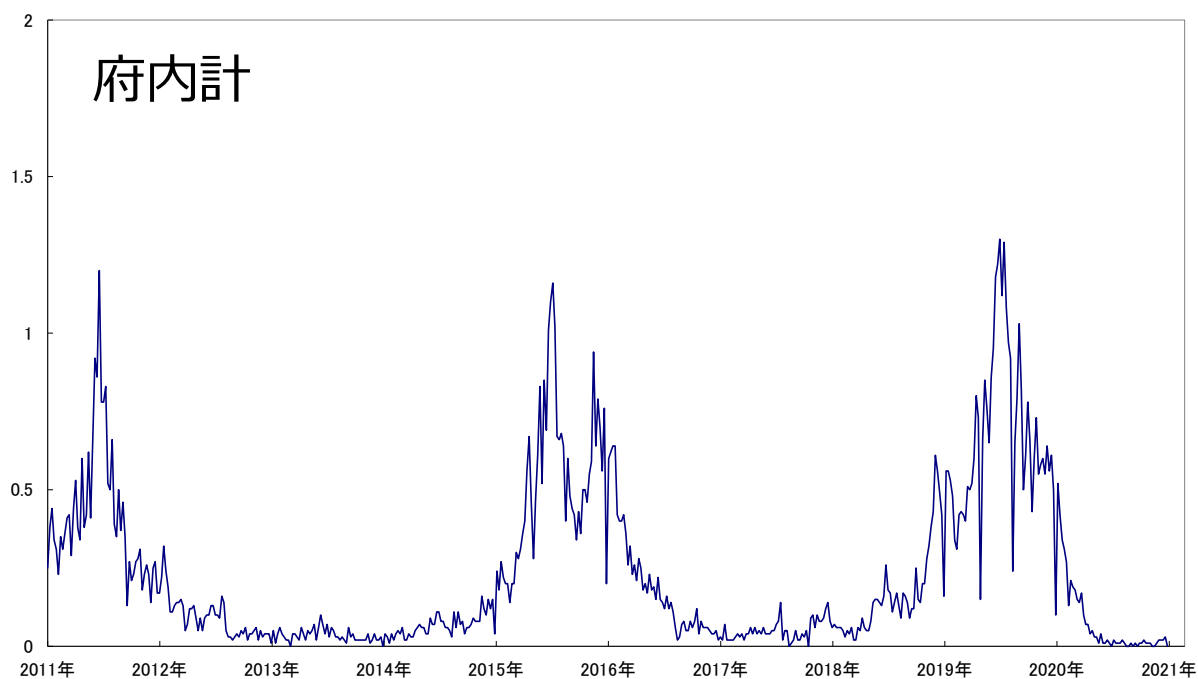
線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたり伝染性紅斑報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

●突発性発しん

2020年の突発性発しんの患者報告数は3,809例で、前年比1.5%減、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の8.3%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は0.37で、順位は第3位であった。

全国集計では65,537例の報告で、前年比1.6%増、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の7.7%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は0.39で、順位は第3位であった。

月別（週別）の定点あたりの報告数の推移では、1月（第1週～第5週）の平均は0.23で、その後漸増して、6月（第23週～第27週）および7月（第28週～第31週）の平均はともに0.54と最高となった。その後漸減して、12月（第50週～第53週）の平均は0.27であった。年間最低値は第1週（1月）の0.06、年間最高値は第24週（6月）の0.61であった。

全国集計では、1月（第1週～第5週）の平均は0.27で、その後漸増して、6月（第23週～第27週）の平均は0.56と最高となった。その後漸減して、12月（第50週～第53週）の平均は0.33であった。年間最低値は第1週（1月）の0.10、年間最高値は第25週（6月）の0.58であった。

本疾患は、季節性がなく、毎週の定点あたり報告数が一定しているといわれているが、春から夏にかけて多くなり、秋から冬にかけて少くなる傾向がみられた。有意差検定は行なっていないが、定点あたりの報告数の多い6月と少ない1月で約2倍の差があった。

年齢別患者報告数は、1歳の2,012例（52.8%）が最も多く、0歳が1,205例（31.6%）、2歳が428例（11.2%）であり、0歳と1歳で全体の84.5%、2歳を含めると95.7%を占めた。

ブロック別年間患者報告数の上位5ブロックは、③北河内（587例）、④中河内（563例）、⑦泉州（487例）、⑤南河内（415例）、①豊能（412例）の順であった。

ブロック別定点あたりの年平均報告数の上位5ブロックは、④中河内（0.53）、⑤南河内（0.49）、⑦泉州（0.46）、⑧大阪市北部（0.46）、③北河内（0.42）の順、下位5ブロックは、⑥堺市（0.18）、②三島（0.20）、⑩大阪市東部（0.23）、⑨大阪市西部（0.32）⑪大阪市南部（0.33）の順で、本年も昨年と同様に最上位と最下位では約2倍以上の差があった。

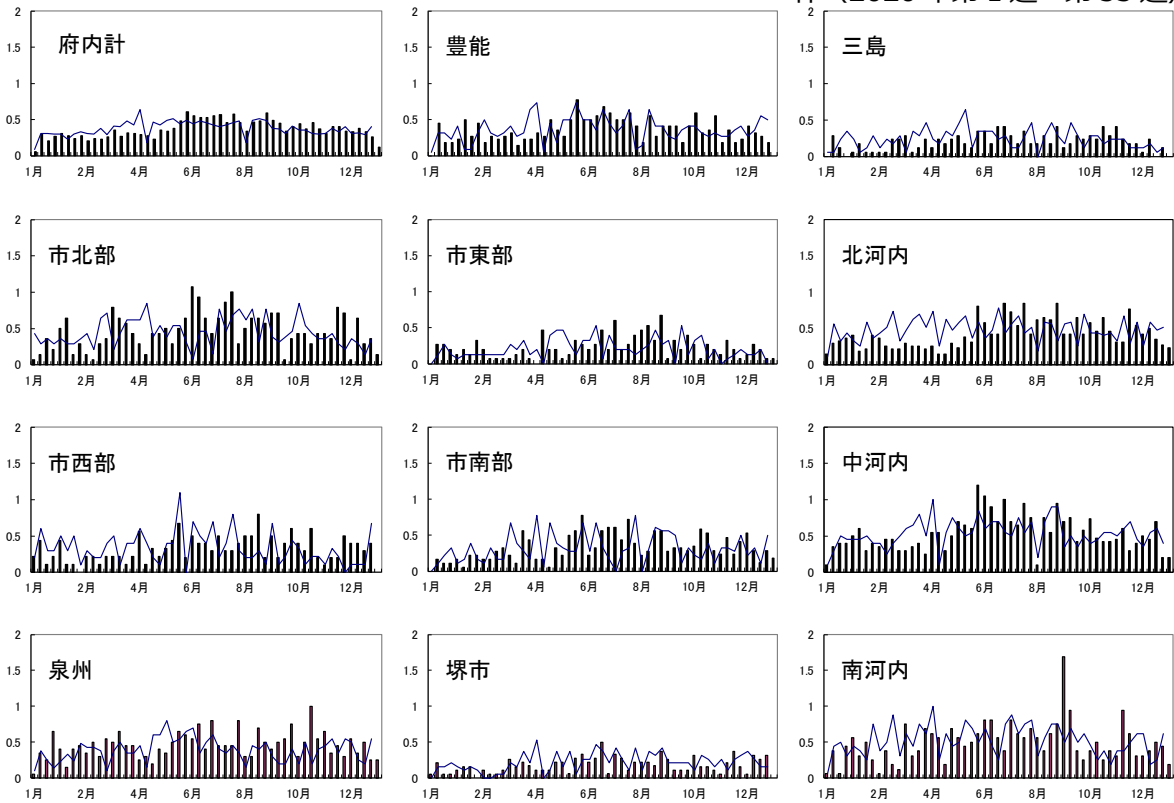
本疾患の特性としてブロック間の差が比較的生じにくいと考えられているが、例年上位と下位では差があり、定点医療機関における受診患者年齢に偏りがどうかどうかなど検討が必要と考えられる。

（文責：富吉）

突発性発しん

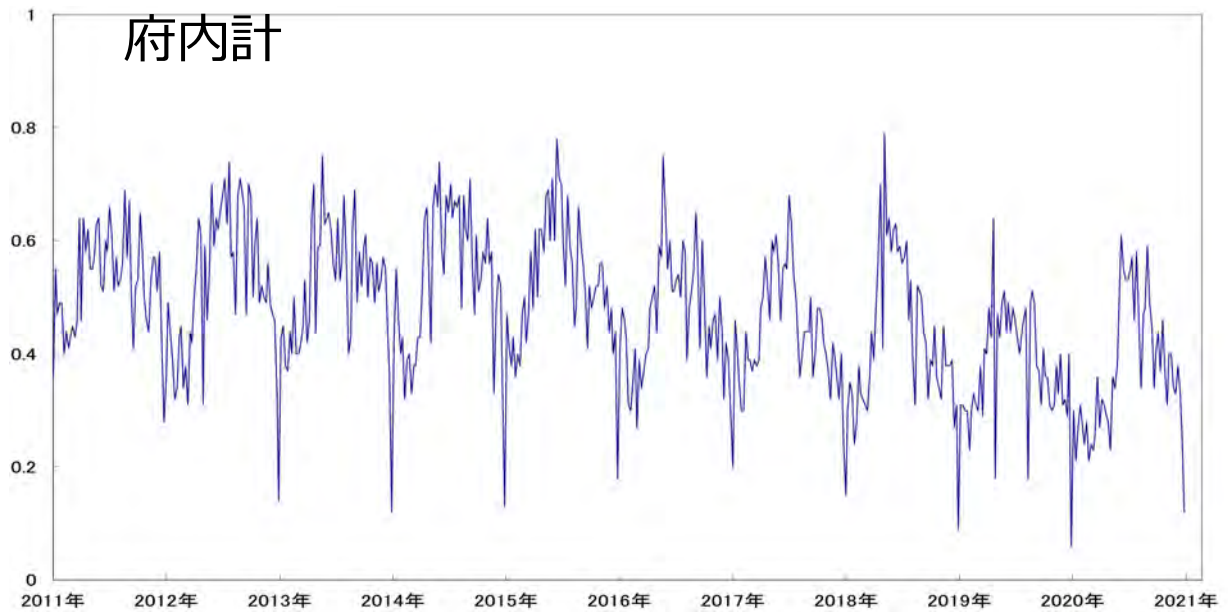
線 (2019年第1週~第52週)

棒 (2020年第1週~第53週)



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線 (2011年1週~2020年53週)



定点あたり突発性発しん報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

●ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは、定点あたり報告数が、7 月末にピークを迎える夏型感染症である。大阪府では、2014 年 (9,704 例)、2016 年 (8,563 例) と隔年で流行したが、2017 年以降、大規模な流行はなく、報告数に変動がみられない。2017 年は 4,967 例、2018 年は 5,293 例、2019 年は 5,756 例と横ばい傾向が続き、流行の周期がずれてきている可能性がある。

2020 年の報告数は 1,554 例で前年比 70.0%減と著明に減少で、小児科定点総報告数の 3.4%を占めた。大阪府における小児科定点あたり報告数の年平均は 0.15 で、順位は 7 位であった。日本全国における小児科定点あたり報告数の年平均は 0.15 で、順位は 8 位である。

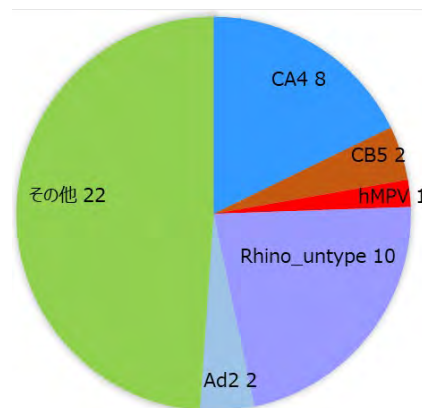
週別 (月別) の定点あたり報告数の推移では、第 1 週から第 26 週 (6 月第 4 週) まで 0.1 未満で推移しており、第 27 週以降、0.10 となり増加に転じていた。第 43 週 (10 月第 3 週) に 0.49 となり最大値に到達した。大阪では、毎年、7 月に最大値に到達するが、2020 年は、新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式による行動変容のためか、10 月に最大値に達している。その後、第 51 週 (12 月第 2 週) には 1.00 を下まわった。

全国的には、大阪とほぼ同じように、第 25 週 (6 月第 3 週) まで 0.1 未満で推移していたが、第 26 週以降、0.14 となり増加に転じていた。第 32 週 (8 月第 1 週) に最大値 0.72 となっている。その後、減少し、第 51 週 (12 月第 2 週) には 1.00 を下まわった。大阪と同様に、1.0 を超えることはなかった。

年齢別患者発生数では、多い順に、1 歳 555 例 (29.2%)、2 歳 395 例 (20.0%)、3 歳 175 例 (13.4%)、0 歳 115 例 (12.0%)、4 歳 105 例 (8.5%) の順で、0~4 歳で全体の 86.6%を占めた。

ブロック別患者発生数では、定点あたりのブロック別年平均報告数の上位 5 ブロックは、⑦泉州 0.31、⑪大阪市 南部・⑤南河内 0.26、②三島 0.16、⑧大阪市 北部 0.15、の順であった。ブロック別・週別定点あたり報告数の上位 5 ブロックは、⑦泉州 第 35 週 1.60 (8 月 4 週)、⑪大阪市 南部 第 44 週 1.53 (10 月 4 週)、⑤南河内 第 41 週 1.38 (10 月 1 週)、⑧大阪市 北部 第 42 週 1.14 (10 月 2 週)、⑦泉州 第 37 週 1.11 (9 月 1 週)、の順で、警報レベル開始基準値 6.00 を上回ったブロックはなかった。

病原体検出の陽性率は 46.7%であった。コクサッキーウイルス A4 型(CA4) (8)、コクサッキーウイルス B5 型(CB5) (2)、ヒトメタニューモウイルス(hMPV) (1)、ライノウイルス (Rhino_unttype) (10)、アデノウイルス 2 型(Ad2) (2)などが検出された。



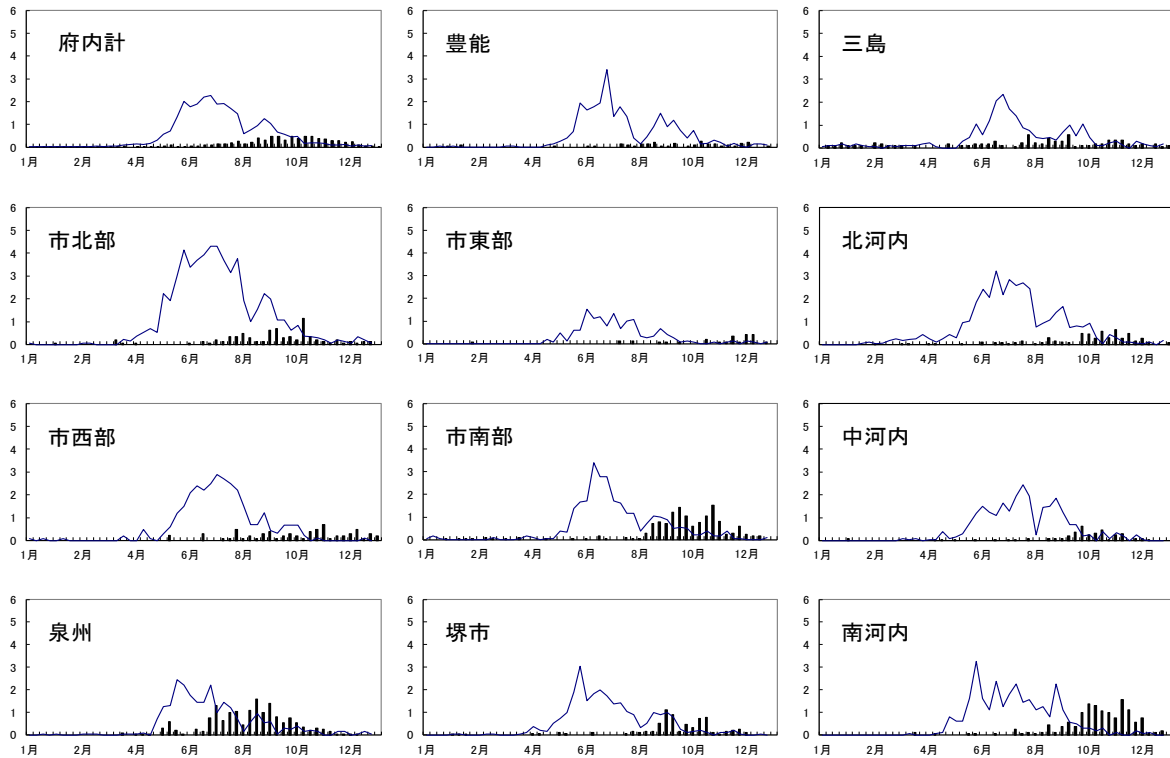
大阪府のヘルパンギーナ患者由来ウイルスの検出状況 (2020 年、総検出数(45))

(文責：本村)

ヘルパンギーナ

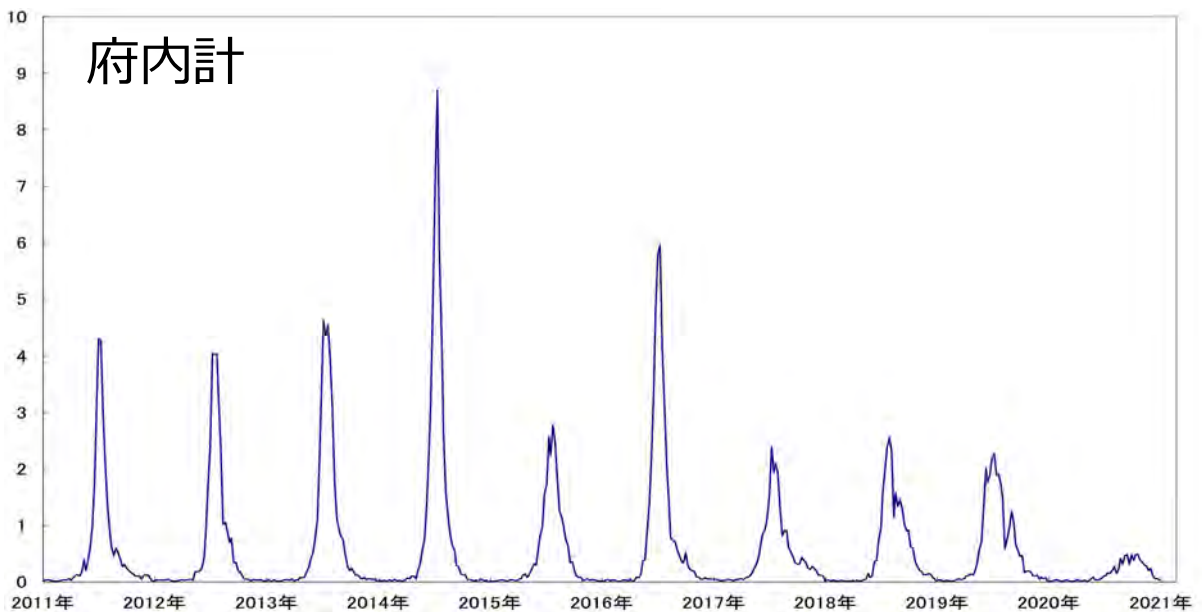
線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたりヘルパンギーナ報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

●流行性耳下腺炎

2020 年の流行性耳下腺炎の患者報告数は 558 例で、前年比 33.3%減、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 1.2%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 0.05 で、順位は第 11 位であった。過去 10 年間で最も大きな流行となった 2016（平成 28）年から 4 年連続して減少した。

全国集計では 8,073 例の報告で、前年比 46.7%減、総報告数（小児科・眼科定点報告対象疾患）の 0.9%を占めた。定点あたりの報告数の年平均は 0.05 で、順位は第 11 位であった。

週別（月別）の定点あたりの報告数の推移では、年間を通じて流行はみられず、年間最高値は第 29 週（7 月）の 0.10、年間最低値は第 1 週（1 月）、第 45 週（11 月）の 0.01 であった。

全国集計でも、年間を通じて流行はみられず、年間最高値は第 2 週（1 月）、第 4 週（1 月）、第 24 週（6 月）～第 29 週（7 月）、第 31 週（7 月）、第 34 週（8 月）、第 37 週（9 月）、第 38 週（9 月）の 0.06、年間最低値は第 53 週（12 月）の 0.01 であった。

年齢別患者報告数は、5 歳の 84 例が最も多く、以下 10 歳から 14 歳 71 例、4 歳、6 歳ともに 69 例、7 歳 59 例、8 歳 51 例と続き、3 歳から 6 歳で全体の 48.6%を占めた。

ブロック別年間患者報告数の上位 5 ブロックは、③北河内（98 例）、②三島（69 例）、⑤南河内（66 例）、⑦泉州（58 例）、⑧大阪市北部（53 例）の順であった。

ブロック別定点あたりの年平均報告数の上位 5 ブロックは、⑨大阪市西部（0.08）、⑤南河内（0.08）、②三島（0.08）、③北河内（0.07）、⑧大阪市北部（0.07）の順であった。

ブロック別・週別定点あたりの報告数の上位 5 ブロックは、⑨大阪市西部（第 12 週、0.44）、⑧大阪市北部（第 36 週、0.36）、⑨大阪市西部（第 7 週、0.33）、⑤南河内（第 27 週、0.31）、②三島（第 29 週、0.29）の順であった。

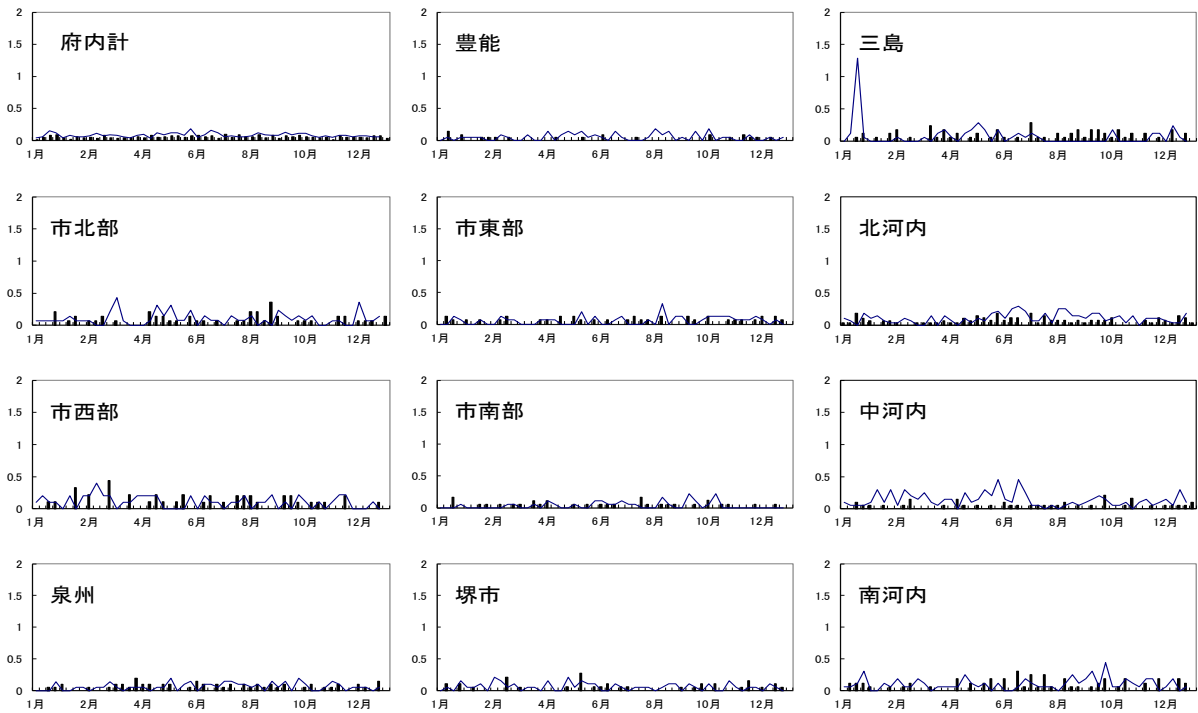
病原体定点医療機関からのウイルス検体の提出は 6 検体あったが、陽性検体はなかった。

（文責：富吉）

流行性耳下腺炎

線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたり流行性耳下腺炎報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

3) 眼科定点把握疾患

●急性出血性結膜炎

2020 年（令和 2 年）の急性出血性結膜炎の報告数は、11 例で前年より 10 例減少し、一定点眼科医療機関あたり 0.00 であった。

週別発生状況では、府内合計で定点あたり最高が、第 2 週と第 48 週の 0.04（2 例）で、第 3 週、第 4 週、第 14 週、第 19 週、第 22 週、第 24 週、第 25 週の 0.02(1 例)が続いた。報告の無い週が 44 週あった。

年間平均ブロック別で定点あたり高かったのは、④中河内の 0.02 で、以下③北河内、⑥堺市、⑦泉州の 0.01 と続いた。他の 7 ブロックからの報告はなかった。

年齢別では、本疾患も流行性角結膜炎と同様に例年成人の発生が多く、20 歳以上の報告数が 11 例と、全体の 100.0%を占めた。

最近 6 年間の一眼科定点あたりの急性出血性結膜炎発生例件数

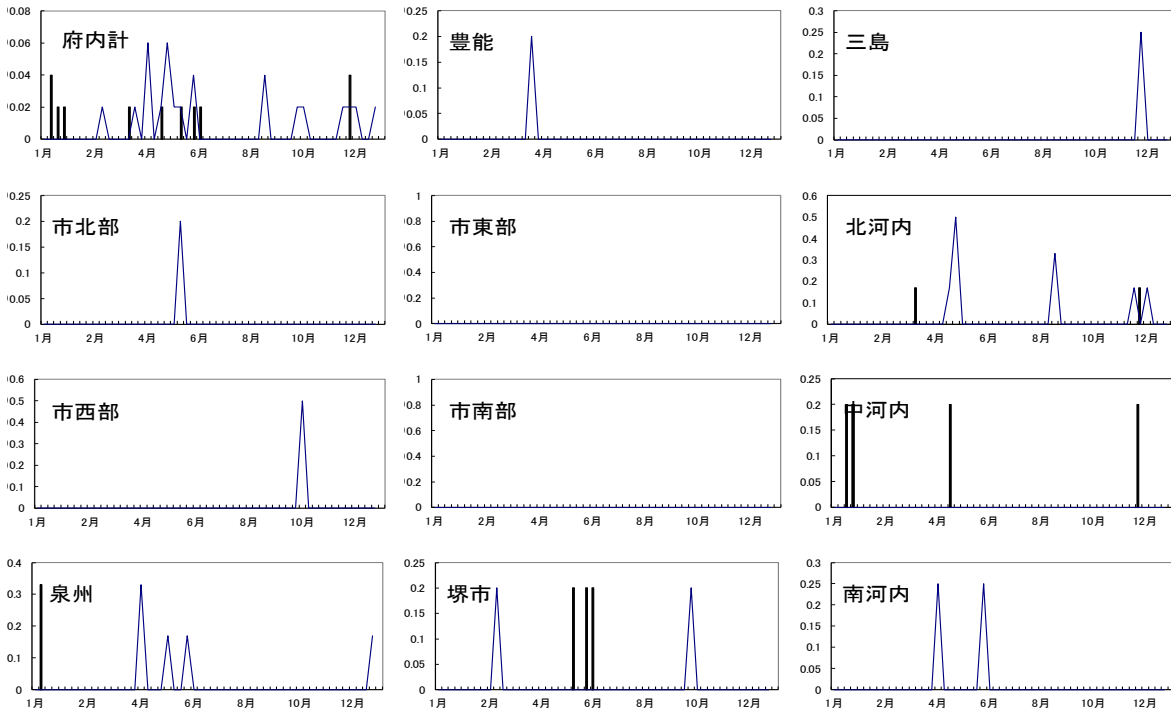
	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
大阪府	0.02	0.01	0.02	0.02	0.01	0.00
全 国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00

（文責 宮浦）

急性出血性結膜炎

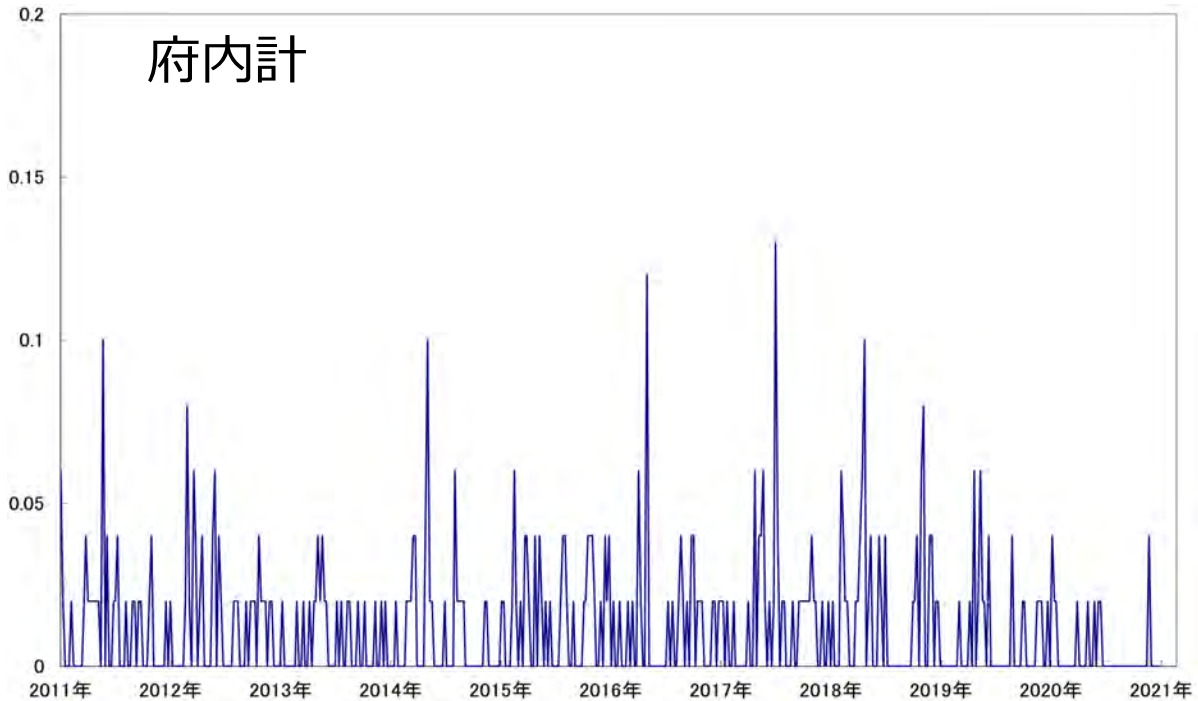
線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたり急性出血性結膜炎報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

●流行性角結膜炎

2020年の流行性角結膜炎の報告数は前年の59.0%減の359例で、一定点眼科医療機関あたり0.13であった。

週別発生状況では、府内合計で最も報告数の多かったのは、第13週の定点あたり0.27で、第35週、第36週、37週の0.25がこれに続き、以下、第2週の0.23、第47週の0.21となり、前年同様に府内で定点あたり1.0を超えた週はなかった。本疾患は夏型感染症とされているが、発生件が少ないとその傾向は減弱する。本年は、第6週から第14週（2月～3月）までの9週に全体の22.6%、第41週から第49週（10月～11月）までの9週に全体の20.6%の報告があった。

ブロック別・週別では、定点あたりの報告数が最も多かったのは②三島36週の1.25で、次いで③北河内13週の1.0、以下④中河内37週と51週、⑥堺市31週、⑧大阪市北部13週と41週の0.8が続いた。

年間平均ブロック別で報告数が最も多かったのは、③北河内0.19で、次いで②三島、⑨大阪市西部、⑩大阪市東部の0.14、⑤南河内0.13の順であった。最も低かったのは、⑪大阪市南部の0.06であった。

年齢別では、例年どおり成人（20才以上）の発生件数が多く、本年も306例と全体の85.2%を占めた。

本年も、大阪府内の定点あたりの報告数は、全国集計よりも低かった。

最近6年間の一眼科定点あたりの流行性角結膜炎発生例件数

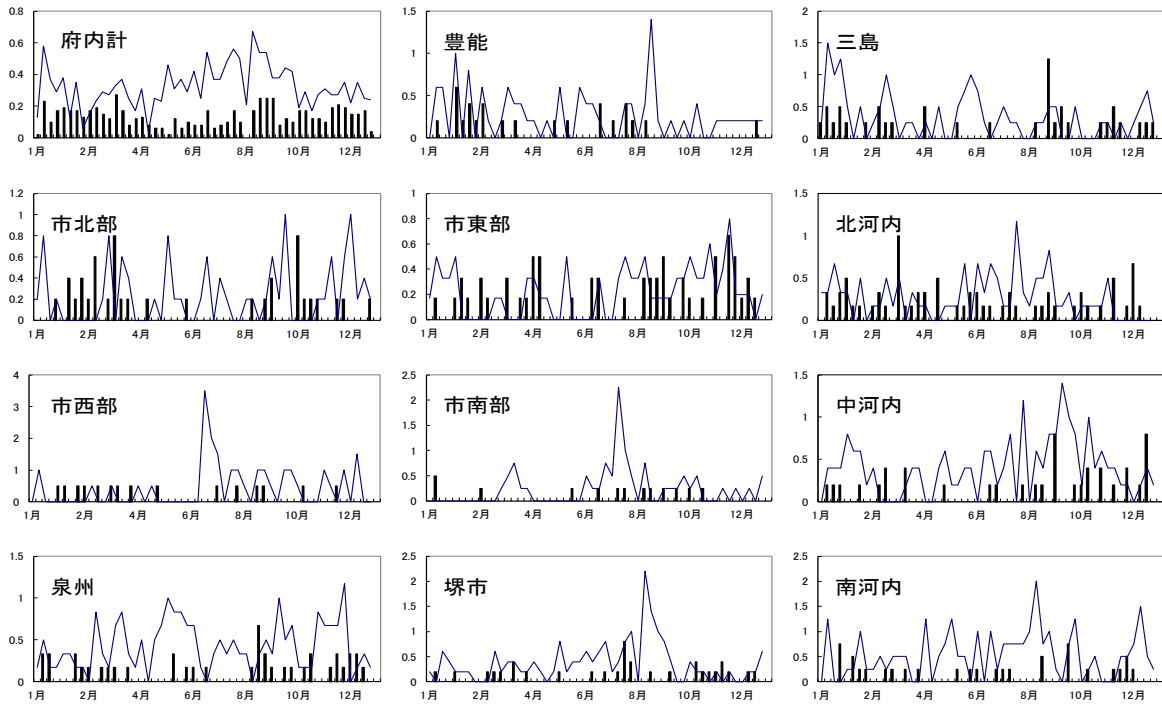
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
大阪府	0.38	0.54	0.41	0.48	0.32	0.13
全 国	0.69	0.73	0.74	0.85	0.64	0.25

(文責 宮浦)

流行性角結膜炎

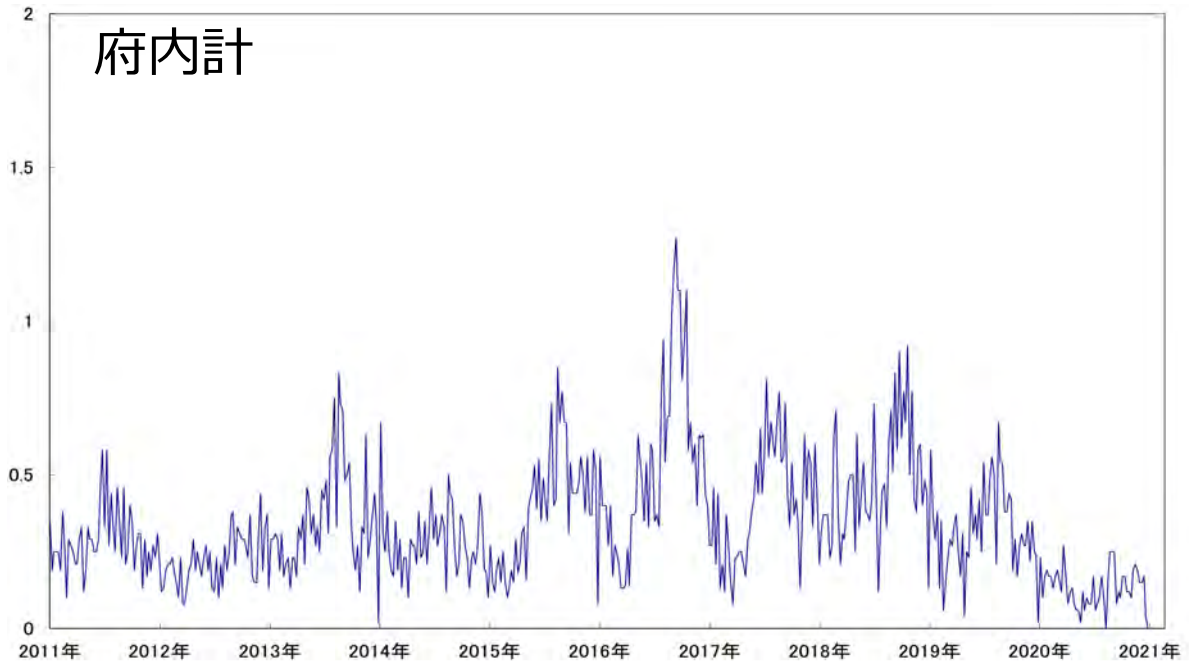
線（2019年第1週～第52週）

棒（2020年第1週～第53週）



ブロック毎の定点あたり報告数の週別推移

線（2011年1週～2020年53週）



定点あたり流行性角結膜炎報告数（府内計）の週別推移（10年グラフ）

4) 基幹定点報告（週報）対象疾患

基幹病院定点報告（週報）対象疾患は、5 類感染症の中の細菌性髄膜炎（2013 年 4 月から髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌による、髄膜炎を含む侵襲性感染症が、2014 年 9 月から播種性クリプトコッカス症が全数報告疾患となったので、本項の対象疾患から除く。）、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎（オウム病を除く）、及び、2013 年 10 月から報告対象となった感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る、以下ロタウイルス胃腸炎）の 5 疾患である。

表 基幹病院定点報告（週報）対象疾患のブロック別報告数および定点あたり報告数

ブロック	細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	
	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年	2019 年	2020 年
(1)豊能	2	1	7	5	6	14	1	0	52	0
(2)三島	7	2	1	3	24	20	0	0	48	1
(3)北河内	0	2	0	0	30	12	0	0	9	0
(4)中河内	0	0	2	0	13	6	0	0	20	0
(5)南河内	1	0	0	1	2	1	0	0	49	1
(6)堺	0	4	20	5	31	24	0	1	55	4
(7)泉州	8	0	1	0	10	1	0	0	85	0
大阪市	0	1	0	1	13	15	0	0	64	0
合計	18	10	31	15	129	93	1	1	382	6
定点あたり大阪	1.10	0.63	1.90	0.94	7.91	5.81	0.06	0.06	23.44	0.38
定点あたり全国	0.96	0.85	1.71	0.95	12.68	7.36	0.13	0.12	9.82	0.52
定点数	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16

表には 2019 年 2020 年の大阪府・市の各基幹定点からの報告数を示した。基幹病院数は 16 ある。1999 年の事業開始時から病院間で報告症例数の差が大きく、ブロック別の検討はしなかった。また、2020 年は新型コロナウイルス感染症の流行のため、緊急事態宣言が発せられるなどから、ヒトとヒトの接触で伝搬する感染症の疫学に大きな影響がみられた。

以下に、各疾患について述べる。

●細菌性髄膜炎

（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌、クリプトコッカスを除く）

10 例が報告されている。定点あたり 0.63 で、検出された病原体には水痘帯状疱疹ウイルス 1 例が含まれており、これを除くと 9 例となる。2019 年は 18 例であるが、ロタウイルス 8

例が含まれており、これを除くと10例であった。年齢は0カ月1例、2歳1例、5～9歳2例、10歳1例、60～69歳2例、70～79歳代3例であった。原因菌には肺炎マイコプラズマ3例（7～10歳）、リステリア菌1例（2歳）、ブドウ球菌2例、連鎖球菌1例、未記載1例であった。髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌、クリプトコッカスによる髄膜炎は5類全数報告を参照されたい。また、肺炎マイコプラズマを細菌性髄膜炎の原因とすべきか、明確な規定が望まれる。

全国集計では2020年は406例の報告があり、定点あたり0.85、2018年は定点あたり0.96であった。原因菌にはB群レンサ球菌9.6%、黄色ブドウ球菌4.9%、肺炎球菌2.4%、大腸菌1.2%、リステリア菌2.2%、肺炎マイコプラズマ4.4%、などが多いが、また、原因菌がウイルスおよび原因菌不明の症例が合計58.2%を占めていた。

●無菌性髄膜炎

2020年は15例が報告され、クリプトコッカス1例を除くと14例で定点あたり0.88で2019年は31例、定点あたり1.90で、前年比52%減であった。年齢は1～4歳3例、10～14歳3例、20～29歳4例、30～39歳4例であった。月別では8月3例と多く、5～8月に57%の症例があった。原因微生物としては、水痘帯状疱疹ウイルス（VZV）1例で、その他は陰性または記載なし、あった。一方、本報告書のウイルス検査結果では無菌性髄膜炎症例の髄液や便・咽頭などから2例のべ3株が検出され、型不明のエンテロウイルス1例、インフルエンザAH1pdm09+RSV同時検出例1例であった。疾患名がその他の1例の髄液からヒトパレコウイルス3型が検出されている。

全国集計では2020年は456例、定点あたり0.95、2019年は811例、定点あたり1.71で、2020年は前年比43.8%減であった。原因病原体は88.2%が不明、VZV175例、単純ヘルペス6例、他の病原体はエンテロウイルス1例など、1例ずつである。肺炎マイコプラズマ10例、クリプトコッカス8例が含まれている。国立感染症研究所のIASRのデータをみると無菌性髄膜炎の原因ウイルス検査は2019年の534例から2020年の94例と82.4%の減少で、2020年にはE30の9例が最も多かった。

●マイコプラズマ肺炎

93例の報告があり、定点あたり5.81で、2019年の定点あたり7.91に比し27.9%減であった。年齢分布は（図1-1）6歳をピークに、1～12歳に多かった。2020年の府内の週別報告数および全国の週別報告数を図1-2に示した。本疾患は例年9月頃から増加するが、2020年は秋以降はたいへん少ない状態で推移した。大阪では本疾患は2006年、2011年、2016年をピークとする流行を繰り返しており、2020年は増加することが予測されていた。

全国集計では2020年は定点あたり7.36で、2019年の12.38に比し、42.0%減であった。

診断方法は核酸検出(PCR・LAMP等)が39%、抗原検出が29%、血清抗体価が31%で、2016年以後の検査方法の選択に、大きな変化はみられない。抗原検出の低い感度・偽陽性の存在、血清抗体価の上昇までの日数、高抗体価の長期間の持続に、診断上の注意が必要である。急性期の検査として、核酸検出は感度、特異性が最も優れている、と報告されている。

●クラミジア肺炎(オウム病を除く)

クラミジア・トラコマチス(*Chlamydia trachomatis*)による新生児期の肺炎と肺炎クラミジア(*Chlamydia pneumoniae*)による肺炎が含まれる。オウム病(*Chlamydia psittaci*)は4類全数報告感染症である。

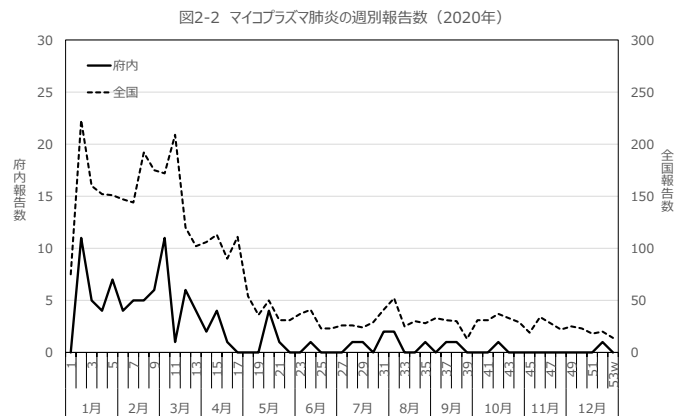
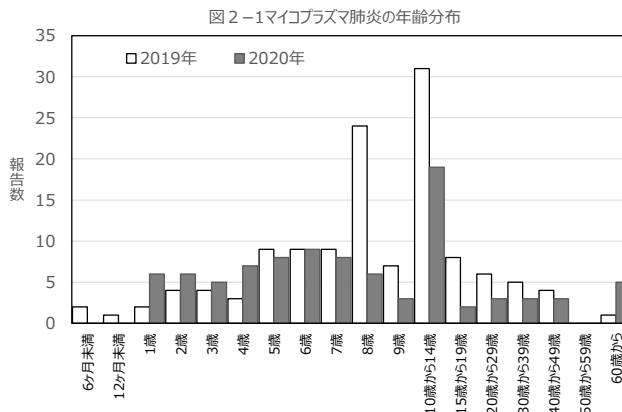
2020年は1例の報告で、2歳、男、検査方法は、当事業ではじめての核酸検出によるものである。クラミジア肺炎は抗体検査で診断されてきたが、以前から、特異性が低いとされている。全国集計では57例の報告で、定点あたり0.12で、2019年の8%減であった。本事業におけるクラミジア肺炎の報告数は以前の1/10程度とすくなく、その要因は、信頼できる血清診断が存在しないことによるものであった。新型コロナウイルス感染症の流行後に、Filmarray[®]など多種類の呼吸器感染症のウイルス、細菌の検出が可能な診断機器の普及がすすんでいるようであり、今後、本疾患の報告も増加すると思われる。

●感染性胃腸炎

(病原体がロタウイルスであるものに限る、以下ロタウイルス胃腸炎)

6例が報告され、定点あたり0.38で、2019年に比し99%の著しい減少であった。週別報告数は51~53週に⑥堺から3例の報告があった。年齢は1歳、2歳が各3例であった。全国では定点あたり0.52であり、2019年の9.82に比し、95%減であった。

(文責：塩見)



5) 基幹定点報告（月報）対象疾患

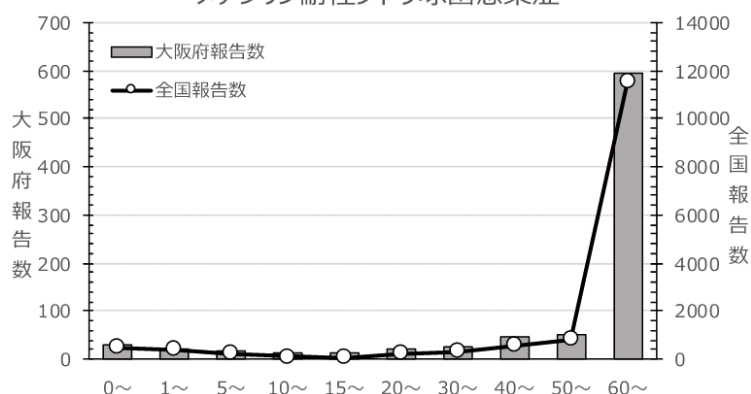
基幹定点報告（月報）対象感染症は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の3疾患である。基幹定点報告（月報）対象感染症を報告する大阪府内の基幹病院定点数は17であった。これら薬剤耐性菌は抗菌薬の不適切な使用を背景として、薬剤耐性菌が世界的に増加する一方、新たな抗菌薬の開発は減少傾向にあり、国際社会でも大きな課題となっている。

●メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

⑩大阪市東部を除く10ブロックから前年比5.9%増の842例の報告があり、定点あたり報告数は49.53であった。年齢別構成は0歳児32例、1～4歳児21例、5～9歳児19例、10～14歳14例、15～19歳12例、20～29歳20例、30～39歳28例、40～49歳49例、50～59歳53例、**60歳以上594例であり、60歳以上が70.5%**を占め、ほぼ前年同様の分布であった。

全国情報（NESID年報 2021年3月8日現在）では前年比8.0%減の14,938例の報告があり、定点あたり報告数は31.19と大阪府より少なかった。全国の年齢別構成をみると60歳以上が11,511例と77.1%を占めた。大阪府内の報告数は、全国の5.6%であった。

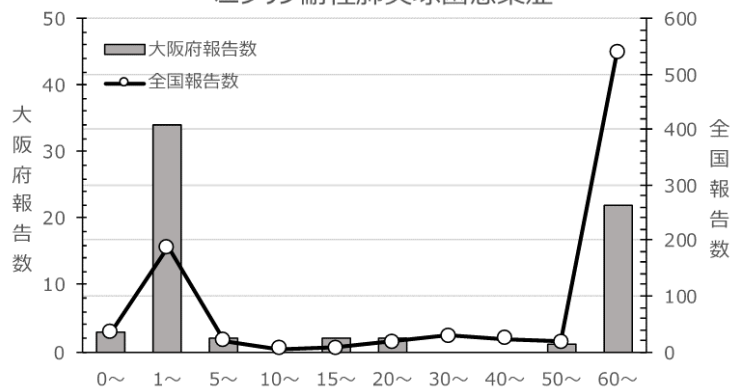
メチシリン耐性ブドウ球菌感染症



●ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

⑦泉州32例、⑤南河内18例、⑥堺市8例、①豊能7例、②三島1例の5ブロックから、前年比18.5%減の66例の報告があり、定点あたり報告数は3.88であった。年齢別構成では0歳児3例、1～4歳児34例、5～9歳児2例、10～14歳0例、15～19歳2例、20～29歳2例、30～39歳0例、40～49歳0例、50～59歳1例、**60歳以上22例であり、0～4歳児と60歳以上が多く、それぞれ56.1%**

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



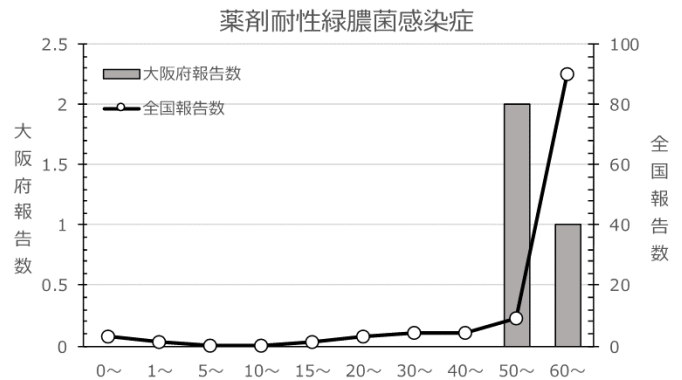
33.3%であった。前年同様に0～4歳児と60歳以上の年齢群での報告数が多かった。

全国情報（NESID年報）では前年比49.9%減の879例と半減しており、定点あたり報告数は1.84と大阪府より少なかった。全国の年齢別構成をみると0～4歳児と60歳以上が多く、それぞれ25.3%、61.3%と大阪府と同様であった。大阪府内の報告数は、全国の7.5%であった。

●薬剤耐性緑膿菌感染症

①豊能2例、⑦泉州1例の2ブロックから3例報告があった。前年6例から減少した。定点あたり報告数は0.18であった。年齢別構成は、50～59歳2例、60歳以上1例であった。

全国情報（NESID年報）では前年比6.5%減の115例の報告があり、定点あたり報告数は0.24と大阪府より多かった。全国の年齢別構成をみると60歳以上が90例と78.3%を占めた。大阪府内の報告数は、全国の2.6%であった。



(文責：原田)

2020年4月28日 大阪府医師会より、府医ニュースとして掲載した。

(7) 2021年(令和3年)4月28日(毎週水曜日発行、但し第2週を除く) 大阪府医ニュース (昭和25年9月7日第三種郵便物認可)(第2962号)

2020(令和2)年 感染症の動向

大阪府・大阪市・堺市・東大阪市・高槻市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市
感染症発生動向調査委員会

感染症発生動向調査事業は医師会、大阪府、政令・中核市の密接な連携の下に実施されている。大阪府感染症情報解析委員会は毎週水曜日に開催され、定点の先生方からの毎週の患者情報と、大阪健康安全基盤研究所(森ノ宮センター、天王寺センター)、堺市衛生研究所の病原体検出情報とを併せて解析・評価し、還元している。2020年の感染症発生動向調査結果の概要を報告する。

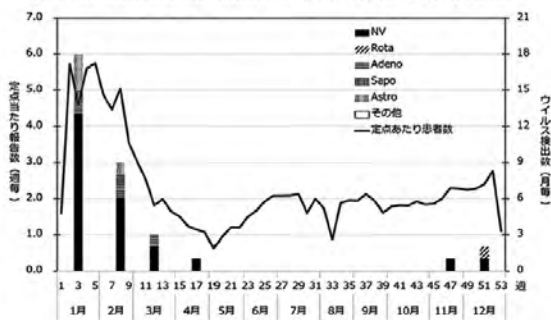
はじめに

2020年、大阪府の小児科定点は196、インフルエンザ定点は298、眼科定点は52、基幹病院定点は16であり、前年とほぼ同様である。小児科・眼科定点疾患の1年間の患者報告数の総計は45,699人で前年より66.8%減少した。インフルエンザを除く疾患別では感染性胃腸炎が1位であり、次いでA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹、咽頭結膜熱、水痘の順である。第6位以下は、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎であった。上位5疾患はそれぞれ全体の51.8%、20.5%、8.3%、4.5%、3.9%で、5疾患の合計が全体の89.0%を占めた。

感染性胃腸炎

第1位の感染性胃腸炎の患者報告数は23,692人で、前年に比し57.2%減少し、定点あたり報告数は2.28であった。年齢別では1歳が3,343人(14.1%)と最も多く、2歳が2,387人(10.1%)、3歳が2,016人(8.5%)であり、3歳までで全体の32.7%を占めた。季節別では春期(3月~5月)に16.6%、夏期(6月~8月)に21.0%、秋期(9月~11月)に21.1%、冬期(12月~2月)に41.3%と冬期に多かった。週別定点あたり報告数では第5週(5.74)と第2週(5.72)にピークがあり、第8週(5.06)以後は減少した。年末のピークは第52週(2.77)であった。検出されたウイルスは、ノロウイルスが24株、アデノウイルスが4株、アストロウイルスが4株、ロタウイルスが1株、サボウイルスが1株であった(図1)。基幹定点医療機関からの届出でロタウイルス感染性胃腸炎の報告数は6人であった。

(図1) 感染性胃腸炎ウイルス分離状況
 実線：定点あたり患者数(週ごと)、棒：ウイルス検出数(月ごと)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第2位のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9,386人で、前年に比し58.3%減少し、定点あたり0.90であった。年齢別では4歳が1,342人(14.3%)で最も多く、5歳が1,262人(13.4%)、6歳が1,072人(11.4%)、3歳が1,058人(11.3%)と続き、全体の50.4%を占めた。季節別では春期に23.5%、夏期に13.7%、秋期に15.0%、冬期に47.8%であり、冬期に多かった。週別定点あたり報告数では第5週(3.16)にピークがあった。以後は減少し第15週(0.83)に1以下となり、第53週まで1を超えることがなかった。

突発性発疹

第3位の突発性発疹は3,809人で、前年に比し15%減少し、定点あたり0.37であった。年齢別では1歳が2,012人(52.8%)で最も多く、6カ月から12カ月未満が1,162人(30.5%)、2歳が428人(11.2%)と続き、全体の94.5%を占めた。季節別では春期に19.9%、夏期に37.0%、秋期に26.2%、冬期に16.9%であり、夏期に多かった。週別定点あたり報告数では第24週(0.61)が最多であり、第25週(0.55)から第29週(0.57)までと、第31週(0.58)、第36週(0.59)で0.5を超えた。

咽頭結膜熱

第4位の咽頭結膜熱は2,049人で、前年に比し60.3%減少し、定点あたり0.20であった。年齢別では1歳が789人(38.5%)で最も多く、2歳が328人(16.0%)、3歳が231人(11.3%)、4歳が186人(9.1%)であり、全体の74.9%を占めた。季節別では春期に15.5%、夏期に21.4%、秋期に27.4%、冬期に35.7%であり、冬期に多かった。週別定点あたり報告数では第6週(0.47)、第5週(0.41)がピークであった。

水痘

第5位の水痘は1,776人で、前年に比し45.0%減少し、定点あたり0.17であった。年齢別では10歳

から14歳が228人(12.8%)、5歳が226人(12.7%)、7歳が199人(11.2%)、6歳が185人(10.4%)、4歳と8歳がそれぞれ162人(9.1%)であり、全体の65.3%を占めた。季節別では春期に20.7%、夏期に14.0%、秋期に23.4%、冬期に41.9%であり、冬期に多かった。週別定点あたり報告数では第2週(0.54)が最多であった。

インフルエンザ

インフルエンザの患者報告数は42,963人で前年に比し51.4%減少し、定点あたり2.70であった。年齢別では10~14歳が8,170人(19.0%)と最も多く、20歳以上が8,150人(19.0%)、6歳が3,438人(8.0%)、7歳が3,367人(7.8%)、8歳が3,296人(7.7%)、5歳が3,130人(7.3%)の順であった。19/20シーズンは週別定点あたり報告数が20を超えたのは第4週(21.19)であり、以後は減少し、第13週(0.52)に1以下となり終息した。以後は第53週(0.02)まで1を超えることはなかった。19/20シーズンに検出されたインフルエンザウイルスはAH1pdm09が224株、AH3亜型が10株、B型Victoriaが81株、B型Yamagataが1株であった。AH1pdm09は1月、B型Victoriaは2月にピークがあった(図2)。

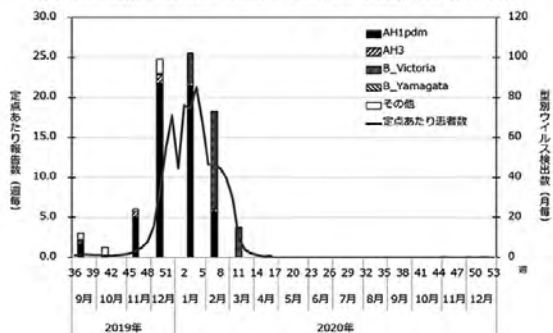
2020年は、新型コロナウイルスの流行に伴う社会隔離政策や様々な感染予防策により、3月以降のその他の感染症の発生が激減した。上記疾患の報告患者数の発生率が冬期に多いのはその影響がある。

おわりに

1982(昭和57)年に感染症発生動向調査事業を開始して38年が経過しました。この間、関係各位のご理解・ご支援により、貴重な調査結果が集積されています。これらの調査結果の解析や発信が医療や感染症対策に資し、府民の健康・安心・安全に寄与しています。2021年もご理解・ご支援の程よろしくお願いいたします。

報告：東野博彦(河内医師会)

(図2) インフルエンザウイルス分離状況
 実線：定点あたり患者数(週ごと)、棒：ウイルス検出数(月ごと)



[各感染症データ]

インフルエンザ

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能	260	391	469	636	507	383	428	354	260	154	43	23	5														
三島	64	323	303	434	305	192	190	150	128	122	56	19	21	4		1											
北河内	307	770	789	919	754	546	600	635	533	442	137	55	24	15	9	1											
中河内	165	546	526	678	582	517	450	465	389	330	105	34	22	9	8				1	1							
南河内	205	546	648	729	544	347	318	258	233	232	98	31	16	23	4	1	1										
堺市	127	535	524	603	493	352	364	354	333	261	69	17	3	8	5												
泉州	190	662	608	726	614	383	336	265	255	211	90	37	26	14	7	5	1	1	1								
大阪市北部	549	558	535	435	346	250	233	279	285	165	78	16	9	6	3											1	
大阪市西部	1,164	536	488	426	354	157	241	188	180	70	27	49	16	7	3	2				1			3		1	1	1
大阪市東部	92	393	242	250	241	165	152	191	174	97	27	10	10	1	1												
大阪市南部	225	429	437	522	338	188	181	182	195	113	30	15	5	5	1					1							
合計	3,348	5,689	5,569	6,358	5,078	3,480	3,493	3,321	2,965	2,197	760	306	157	92	41	10	2	1	1	2	2		3		1	2	1

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能	7.65	11.50	13.79	18.71	14.91	11.27	12.59	10.41	7.65	4.53	1.27	0.68	0.15														
三島	2.46	12.42	11.65	16.69	11.73	7.39	7.31	5.77	4.92	4.69	2.15	0.73	0.81	0.15		0.04											
北河内	7.31	18.33	18.79	21.88	17.95	13.00	14.29	15.12	12.69	10.52	3.26	1.31	0.57	0.36	0.21	0.02											
中河内	5.50	18.20	17.53	22.60	19.40	17.23	15.00	15.50	12.97	11.00	3.50	1.13	0.73	0.30	0.27				0.03	0.03							
南河内	8.54	22.75	27.00	30.38	22.67	14.46	13.25	10.75	9.71	9.67	4.08	1.29	0.67	0.96	0.17	0.04	0.04										
堺市	4.38	18.45	18.07	20.79	17.00	12.14	12.55	12.21	11.48	9.00	2.38	0.59	0.10	0.28	0.18												
泉州	5.76	20.06	18.42	22.00	18.61	11.61	10.18	8.03	7.73	6.39	2.73	1.12	0.79	0.42	0.21	0.15	0.03	0.03	0.03								
大阪市北部	27.45	27.90	26.75	21.75	17.30	12.50	11.65	13.95	14.25	8.25	3.90	0.80	0.45	0.30	0.15											0.05	
大阪市西部	83.14	38.29	34.86	30.43	25.29	11.21	17.21	13.43	12.86	5.00	1.93	3.50	1.14	0.50	0.21	0.14				0.07			0.21		0.07	0.07	0.07
大阪市東部	4.18	17.86	11.00	11.36	10.96	7.50	6.91	8.68	7.91	4.41	1.23	0.46	0.46	0.05	0.05												
大阪市南部	8.65	16.50	16.81	20.08	13.00	7.23	6.96	7.00	7.50	4.35	1.15	0.58	0.19	0.19	0.04						0.04						
合計	11.16	18.96	18.56	21.19	16.93	11.60	11.64	11.07	9.88	7.32	2.53	1.02	0.52	0.31	0.14	0.03	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01		0.01		0.00	0.01	0.00

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
～5ヶ月	31	44	31	16	19	9	10	9	5	8	2	1		2		1					1						
～11ヶ月	68	140	102	101	73	51	33	21	16	23	17	3	4		2											1	
1歳	159	362	315	274	190	113	91	71	67	63	37	12	7	1	3		1										1
2	118	331	256	246	185	138	100	96	83	80	49	22	11	6	5	5											
3	129	343	298	288	244	163	155	103	129	100	53	24	16	9	6	1											
4	123	388	388	417	314	186	202	167	130	143	71	27	29	6		1											
5	113	353	418	492	441	271	234	223	214	196	100	41	13	11	9					1							
6	106	317	406	461	444	309	352	275	312	253	118	48	23	10	1												
7	117	260	369	484	444	348	348	358	319	242	56	19	1	2													
8	87	225	378	488	402	326	379	360	351	227	43	11	10	5	1								1				
9	100	235	280	395	370	284	274	388	311	181	42	9	4	5	4												
10～14	302	688	947	1,312	1,022	772	882	940	717	477	63	17	9	13	2										1		
15～19	191	223	197	225	183	109	115	82	96	46	15	10	2	1	1												
20～	1,704	1,780	1,184	1,159	747	401	318	228	215	158	94	62	28	21	7	2	1	1	1	1	1		2			1	
合計	3,348	5,689	5,569	6,358	5,078	3,480	3,493	3,321	2,965	2,197	760	306	157	92	41	10	2	1	1	2	2		3		1	2	1

[各感染症データ]

インフルエンザ

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週	
							1										1									3,915	
																		1				1			1		2,315
													1	1						1	1		1			6,541	
																				1	1	1	2			4,832	
2										2	4						1		1				1			4,245	
																	1				1	1	2			4,053	
												1					1		1					3	2	4,440	
																				1		1	1		2	3,753	
1		1						1			1	1	1		2	4			1	4	7		5	6	2	3,952	
														1				1	1							2,049	
																						1				2,868	
3		1					1	1		2		5	3	2	1	2	8	2	4	6	11	4	12	10	6	42,963	

7月				8月				9月				10月				11月				12月				平均		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
							0.03										0.03				0.04			0.04		2.17
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00									1.68	
													0.02	0.02							0.02	0.02		0.02		2.94
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					0.03	0.03	0.07	0.00	0.00	3.04
0.08										0.08	0.17						0.04		0.04							3.34
																	0.03				0.03	0.03	0.07			2.64
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.09	0.06	2.54
																				0.05		0.05	0.05			3.54
0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07			0.07	0.07	0.07		0.13	0.27		0.07	0.27	0.47			0.33	0.40	0.13	5.32
														0.05				0.05	0.05							1.76
																							0.04			2.08
0.01		0.00					0.00	0.00		0.01		0.02	0.01	0.01	0.00	0.01	0.03	0.01	0.01	0.02	0.04	0.01	0.04	0.03	0.02	2.70

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
																										189
																		1			1	1		1	2	661
			1									2		1						1	3		1	2	1,778	
												2												1	1	1,735
																										2,063
1																		1		1	1	1		1	1	2,597
																										3,130
																										3,438
																										3,367
																	1								1	3,296
																		1			2					2,885
												1						1	1		1		1	1	1	8,170
								1									2			1	1	2	2	2	2	1,504
2							1			2			3	1	1	1	3	1	2	1	2	4	5		5	8,150
3		1					1	1		2		5	3	2	1	2	8	2	4	6	11	4	12	10	6	42,963

[各感染症データ]

RS ウイルス感染症

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月							
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	
豊能		9	1	3	6	5	3	4	3	6	2	2																
三島	3	4	6	6	8	1	2	2		2	2	4	1	3	2	1	1					1						8
北河内	4	18	18	8	14	12	14	8	11	4	1	6	2	7	5	4	1											
中河内		16	8	11	7	11	11	3	1	10	6	2	1	4	5	4	3			1								
南河内	11	9	9	5	12	10	7	19	16	19	6	5	5	4	3	3											1	
堺市	3	5	10	9	10	4	3	6	4	4	1	1	1											1				
泉州	5	3	9	9	17	10	19	18	15	16	8	8	5	2	2	1	2										2	
大阪市北部	13	8	14	18	8	8	10	5	4	8	7	4	5	1	1	1	1					1	2					
大阪市西部	3	9	5	11	9	1	6	7	7	1	4	2		2	3	2	1				2		1				2	
大阪市東部		5	7	4	3	3	7			1		5	2	2	6													
大阪市南部		10	4	9	3	3	4	6	3	8	4	8	5	4	6	12												
合計	42	96	91	93	97	68	86	78	65	78	46	44	27	33	27	27	9				3	2	3	1		3	10	

2) ブロック別・週別定あたり報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能		0.41	0.05	0.14	0.27	0.23	0.14	0.18	0.14	0.27	0.09	0.09															
三島	0.18	0.24	0.35	0.35	0.47	0.06	0.12	0.12		0.12	0.12	0.24	0.06	0.18	0.12	0.06	0.06										0.47
北河内	0.15	0.67	0.67	0.30	0.52	0.44	0.52	0.30	0.41	0.15	0.04	0.22	0.07	0.26	0.19	0.15	0.04										
中河内		0.80	0.40	0.55	0.35	0.55	0.55	0.15	0.05	0.50	0.30	0.10	0.05	0.20	0.25	0.20	0.15			0.05							
南河内	0.69	0.56	0.56	0.31	0.75	0.63	0.44	1.19	1.00	1.19	0.38	0.31	0.31	0.25	0.19	0.19											0.06
堺市	0.16	0.26	0.53	0.47	0.53	0.21	0.16	0.32	0.21	0.21	0.05	0.05	0.05											0.06			
泉州	0.25	0.15	0.45	0.45	0.85	0.50	0.95	0.90	0.75	0.80	0.40	0.40	0.25	0.10	0.10	0.05	0.10										0.10
大阪市北部	0.93	0.57	1.00	1.29	0.57	0.57	0.71	0.36	0.29	0.57	0.50	0.29	0.36	0.07	0.07		0.07						0.07	0.14			
大阪市西部	0.33	1.00	0.56	1.22	1.00	0.11	0.67	0.78	0.78	0.11	0.44	0.22		0.22	0.33	0.22	0.11			0.22			0.11			0.20	
大阪市東部		0.33	0.47	0.27	0.20	0.20	0.47			0.07		0.33	0.13	0.13	0.40												
大阪市南部		0.56	0.22	0.50	0.17	0.17	0.22	0.33	0.17	0.44	0.22	0.44	0.28	0.22	0.33	0.67											
合計	0.21	0.49	0.46	0.47	0.49	0.35	0.44	0.40	0.33	0.40	0.23	0.22	0.14	0.17	0.14	0.14	0.05				0.02	0.01	0.02	0.01		0.02	0.05

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月	13	26	12	12	12	7	11	13	11	12	7	7	4	4	3	4					1						1
-11ヶ月	9	26	14	23	23	14	14	15	10	22	7	4	4	6	8	6	5				1				1		3
1歳	10	24	33	26	33	26	27	29	17	19	10	18	8	8	9	5	1				1			1			2
2	7	6	14	18	13	9	18	7	10	9	11	11	7	7	3	6	2										
3	2	9	6	9	11	6	7	7	10	9	8	1	2	2	2	1						1					1
4				2	2	1	5	5	3	3	2	2	1	3	1	3	1										3
5	1	2	4	2	3	1	1	2	2	2	1	1	1	1		2											1
6		1	2				1				1													1			1
7		1	1	1			3	1			1																
8			3																						1		1
9								1																			
10-14			2				1							2	1												
15-19																											
20-		1																							1		
合計	42	96	91	93	97	68	86	78	65	78	46	44	27	33	27	27	9				3	2	3	1		3	10

[各感染症データ]

RS ウイルス感染症

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計				
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週	
			2																			1	1	1		49	
											2												1			60	
						1				1			2	2									1	1	1	145	
1									2		1						1			3	3	4	6	7		132	
														1								2	1	1		149	
														1							1					64	
														1								1	1			156	
																	1		1			2	5	1	2	2	130
1		1					3			1	1	1		1	2	2				3	3			2		99	
			1																					1			47
		1		1												1	1	2				1	1	1		98	
2	1	1	3	1		1	3		2	2	2	3	2	5	3	3	2	3	1	7	9	14	13	14	3	1,129	

7月				8月				9月				10月				11月				12月			平均			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
			0.09																			0.05	0.05	0.05		0.04
											0.12												0.06			0.07
						0.04				0.04			0.08	0.08									0.04	0.04		0.10
0.05									0.10		0.05						0.05			0.15	0.15	0.20	0.30	0.35		0.12
														0.06								0.13	0.06	0.06		0.18
														0.05						0.05						0.06
														0.05				0.05		0.05		0.05	0.05			0.15
																				0.14	0.36	0.07	0.14	0.14		0.18
0.10		0.10					0.30			0.10	0.10	0.10		0.10	0.20	0.20				0.30	0.30			0.20		0.20
			0.07																				0.07			0.06
		0.06		0.06												0.06	0.06	0.12			0.06	0.06	0.06			0.10
0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		0.01	0.02		0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.03	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.04	0.05	0.07	0.07	0.07	0.02	0.11

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
	1			1									1	1	1			2		1	2	5	3	2	1	181
			2						1	1				1		3	1						2	2		228
							2		1	1	2	1		3	1		1	1		3	2	5	4	7	2	343
1		1											1		1					2	3	3	1	1		172
1																						1	1	1	1	99
							1													1			1	1		41
																										27
																					1					8
																				1						9
						1																				8
			1									1											1			2
																										8
																										0
												1														3
2	1	1	3	1		1	3		2	2	2	3	2	5	3	3	2	3	1	7	9	14	13	14	3	1,129

[各感染症データ]

咽頭結膜熱

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能		10	4	2	9	10	3	4	3	2	2	3	3	5	3	1	3				1					2	1
三島	2	8	5	12	12	6	6	9	4	8	9	5	2	2	1	3		2	2		2	1		2		1	1
北河内	2	10	9	9	11	16	10	10	10	15	3	5	3	5	4	1	1	1		4		1		1	1	1	4
中河内		10	7	12	11	15	11	13	7	11	11	9		6	2	2	1		3	1	1	1	2	5	1	4	16
南河内	1	4	1	5	4	3	5	2	2	4	2	1	4	1	1	2	2	1	1				1		2	1	
堺市		5	1	1	7	7	8	7	7	4		7	2				1								1		2
泉州	5	8	4	9	7	17	10	10	9	8	7	2	4	4	2	4	4	2		5	4	3		3	3	3	1
大阪市北部	1	6	3	1	5	3	5	2	6	5	11	1	4	1	3	3		2		1	1		2	1	1	2	
大阪市西部	1		3	5	4	1	2		1		1	1			1		1										
大阪市東部		4	1	3	2	5	4	6	4		2	3	1	2	2	3									1	1	3
大阪市南部		13	4	4	9	9	5	6	2	2	5	11	4	2	3	4	2	1		1				4	1	1	1
合計	12	78	42	63	81	92	69	69	55	59	53	48	27	28	22	23	15	9	6	12	9	6	5	16	11	15	29

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能		0.46	0.18	0.09	0.41	0.46	0.14	0.18	0.14	0.09	0.09	0.14	0.14	0.23	0.14	0.05	0.14				0.05					0.09	0.05
三島	0.12	0.47	0.29	0.71	0.71	0.35	0.35	0.53	0.24	0.47	0.53	0.29	0.12	0.12	0.06	0.18		0.12	0.12		0.12	0.06		0.12		0.06	0.06
北河内	0.07	0.37	0.33	0.33	0.41	0.59	0.37	0.37	0.37	0.56	0.11	0.19	0.11	0.19	0.15	0.04	0.04	0.04		0.15		0.04		0.04	0.04	0.15	0.15
中河内		0.50	0.35	0.60	0.55	0.75	0.55	0.65	0.35	0.55	0.55	0.45		0.30	0.10	0.10	0.05		0.15	0.05	0.05	0.05	0.10	0.25	0.05	0.20	0.80
南河内	0.06	0.25	0.06	0.31	0.25	0.19	0.31	0.13	0.13	0.25	0.13	0.06	0.25	0.06	0.06	0.13	0.13	0.06	0.06				0.06		0.13	0.06	
堺市		0.26	0.05	0.05	0.37	0.37	0.42	0.37	0.37	0.21		0.37	0.11				0.06								0.06		0.11
泉州	0.25	0.40	0.20	0.45	0.35	0.85	0.50	0.50	0.45	0.40	0.35	0.10	0.20	0.20	0.10	0.20	0.20	0.10		0.25	0.20	0.15		0.15	0.15	0.15	0.05
大阪市北部	0.07	0.43	0.21	0.07	0.36	0.21	0.36	0.14	0.43	0.36	0.79	0.07	0.29	0.07	0.21	0.21		0.14		0.07	0.07		0.14	0.07	0.07	0.14	
大阪市西部	0.11		0.33	0.56	0.44	0.11	0.22		0.11		0.11	0.11			0.11		0.11										
大阪市東部		0.27	0.07	0.20	0.13	0.33	0.27	0.40	0.27		0.13	0.20	0.07	0.13	0.13	0.20									0.07	0.07	0.20
大阪市南部		0.72	0.22	0.22	0.50	0.50	0.28	0.33	0.11	0.11	0.28	0.61	0.22	0.11	0.17	0.22	0.11	0.06		0.06				0.22	0.06	0.06	0.06
合計	0.06	0.40	0.21	0.32	0.41	0.47	0.35	0.35	0.28	0.30	0.27	0.24	0.14	0.14	0.11	0.12	0.08	0.05	0.03	0.06	0.05	0.03	0.03	0.08	0.06	0.08	0.15

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月		1	1	1	1	2		1	1								1										
-11ヶ月		7	2	5	6	7	3	3	1	5	5		2	3	2		4	3	1	1	1			2	4	3	3
1歳	2	16	10	16	19	22	20	14	14	13	12	9	6	10	6	12	5	3	1	7	4	2		5	3	6	8
2	3	9	7	15	10	9	11	14	8	6	8	11	9	6	4	3	1	2		1	1	1	3	2	3	3	2
3	3	13	8	10	18	16	9	10	6	7	7	9	3	2	4	1	1	1	2	2	2	1		2			1
4	1	14	6	9	7	12	11	13	11	9	7	5	4	1	2	2	1				1	1		2		2	2
5	2	7	5	1	10	10	5	3	4	5	4	3		3	1	1	1			1				1		4	4
6	1	4	3	4	5	4	1	8	3	6	3	2		1	1	3			1	1						2	2
7		3			2		2	4	1	2	1		1	1				1						1	2		2
8						3	2		2		4	3							1								
9		1			2		1	1		1																	
10-14		2			1	3	2		1	2	1	3		1	1	1											2
15-19						1				1	1	1															2
20-		1			2	1		1	2	3	1	1	2	1	1							1	1		1	1	1
合計	12	78	42	63	81	92	69	69	55	59	53	48	27	28	22	23	15	9	6	12	9	6	5	16	11	15	29

[各感染症データ]

咽頭結膜熱

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
5	1	2	3		3	4	3	1		2	1	3	1	1	1	2	1	4	2	3		4	7	1		126
2	3	4	4	1	8	9	3	6	5	5	7		2	1	1		2	1	2	2	8	7	5	3		196
1	6	3	10	5	5	9	6	10	6	9	6	8	4	5	2	3	5	11	11	9	4	7	7	8	4	300
2	2	3	6	6	7	16	8	14	16	5	11	5	5	7	2	3	6	4	6	4		7	6	8	2	323
1	3	5	6	2	4	4	1	4	1	1	3	3	3		4		4	3	4	1	3	1	3	3	1	118
1		1	1	1	2	1	1	4	2	2	5	2	3	2	3	6	2	3	1	1	4	3	5	3		119
7	7	3	11	9	7	3	2	9	13	8	4	6	4	2	5	8	7	7	7	7	6	10	8	9	3	310
1	1	1	3	1	1	2	1	4	9	4	3	5		3	4	4	1	4	4	4	9	3	5	7	1	155
					1		1		1	1	2		1	1	2	1	2	1		1		2	3	1	2	44
	2	3	3	2	1	5	2	3	9	5	1	5	7	6	5	1	1	5	4	9	8	1	4	2	1	142
5	5	5	6	4	5	5	7	1	3	8	1	3		6	9	11	4	3	8	2	7	4	5	5		216
25	30	30	53	31	44	58	35	56	65	50	44	40	30	34	38	39	35	46	49	43	49	49	58	50	14	2,049

7月				8月				9月				10月				11月				12月				平均		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
0.23	0.05	0.09	0.14		0.14	0.18	0.14	0.05		0.09	0.05	0.14	0.05	0.05	0.05	0.09	0.05	0.18	0.09	0.14		0.18	0.32	0.05		0.11
0.12	0.18	0.24	0.24	0.06	0.47	0.53	0.18	0.35	0.29	0.29	0.41		0.12	0.06	0.06		0.12	0.06	0.12	0.12	0.47	0.41	0.29	0.18		0.22
0.04	0.23	0.12	0.39	0.19	0.19	0.35	0.23	0.39	0.23	0.35	0.23	0.31	0.15	0.19	0.08	0.12	0.19	0.42	0.42	0.35	0.15	0.27	0.27	0.31	0.15	0.21
0.10	0.10	0.15	0.30	0.30	0.35	0.80	0.40	0.70	0.80	0.25	0.58	0.26	0.26	0.37	0.11	0.16	0.30	0.20	0.30	0.20		0.35	0.30	0.40	0.10	0.31
0.06	0.19	0.31	0.38	0.13	0.25	0.25	0.06	0.25	0.06	0.06	0.19	0.19	0.19		0.25		0.25	0.19	0.25	0.06	0.19	0.06	0.19	0.19	0.06	0.14
0.06		0.06	0.06	0.06	0.11	0.06	0.06	0.21	0.11	0.11	0.26	0.11	0.16	0.11	0.16	0.32	0.11	0.16	0.05	0.05	0.21	0.16	0.26	0.16		0.12
0.35	0.35	0.15	0.55	0.45	0.35	0.15	0.10	0.45	0.65	0.40	0.20	0.30	0.20	0.10	0.25	0.40	0.35	0.35	0.35	0.35	0.30	0.50	0.40	0.45	0.15	0.29
0.07	0.07	0.07	0.21	0.07	0.07	0.14	0.07	0.29	0.64	0.29	0.21	0.36		0.21	0.29	0.29	0.07	0.29	0.29	0.29	0.64	0.21	0.36	0.50	0.07	0.21
					0.10		0.10		0.10	0.10	0.20		0.10	0.10	0.20	0.10	0.20	0.10		0.10		0.20	0.30	0.10	0.20	0.09
	0.13	0.20	0.20	0.13	0.07	0.33	0.13	0.20	0.60	0.33	0.07	0.33	0.47	0.40	0.33	0.07	0.07	0.33	0.27	0.60	0.53	0.07	0.27	0.13	0.07	0.18
0.28	0.28	0.28	0.33	0.22	0.28	0.28	0.39	0.06	0.17	0.44	0.06	0.18		0.35	0.53	0.65	0.24	0.18	0.47	0.12	0.41	0.24	0.29	0.29		0.23
0.13	0.15	0.15	0.27	0.16	0.22	0.30	0.18	0.28	0.33	0.25	0.22	0.21	0.15	0.17	0.20	0.20	0.18	0.24	0.25	0.22	0.25	0.25	0.30	0.26	0.07	0.20

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週	
			1		1	2				2												1	1				17
5	4	6	3	1	10	5	2	3	8	8	8	2	3	2	3	4	4	2	4		1	3	3	5	1	173	
10	15	13	30	16	25	35	15	34	38	25	21	18	13	17	21	22	14	30	24	26	21	18	21	16	6	789	
3	5	6	8	4	3	8	8	6	8	8	5	1	5	7	6	7	7	4	8	8	15	11	14	11	1	328	
1	2		7	3	1	5	5	7	2	2	4	3	3	1	4	3	2	5	1	5	3	5	8	9	2	231	
1	2	1	2	2	2	3	2	3	1	2	4	4	2	3	2	1	4	1	4	2	2	3	4	3	3	186	
1	2		1	1				1	2	3		1	3	1	1		2	1	3		3	3	3	2	1	106	
1		1		2						1		2	2	1				1	1		1	2	2	2		72	
1												1		1					2				1	1	1		31
		1	1							1			1		1	1				1			1	1			24
		1				1						1						1				1					11
1					1		2	1				2					1	2					1				31
										2		1						1	1			1		1			13
1			1	1		1			3	1	1	2		1	1				1			2					37
25	30	30	53	31	44	58	35	56	65	50	44	40	30	34	38	39	35	46	49	43	49	49	58	50	14	2,049	

[各感染症データ]

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能	1	19	29	26	34	25	32	30	20	27	26	11	11	11	8	5	2		2	4	2	5	2	7	4	4	8
三島	1	20	15	30	28	31	26	25	22	27	23	14	25	13	12	9	5	6	2	4	6	5	9	14	13	3	14
北河内	33	86	73	102	117	116	92	95	79	67	57	34	31	25	19	16	11	12	7	11	8	8	13	18	14	10	25
中河内	4	40	35	35	46	37	39	48	50	45	39	25	19	26	31	14	14	12	11	11	10	8	8	11	16	28	11
南河内	13	50	61	55	76	59	56	54	33	45	42	29	33	24	26	16	7	10	7	8	4	6	9	8	3	10	15
堺市	1	50	59	67	90	79	66	86	56	58	43	18	25	15	6	1	1	3	1	4		4	2	3	7	5	4
泉州	8	48	52	66	58	70	61	69	56	65	59	45	45	41	26	21	23	20	12	8	10	12	11	19	6	21	8
大阪市北部	8	15	19	11	43	35	32	33	20	24	15	13	17	24	12	6	6	5	7	6	3	7	7	5	1	8	11
大阪市西部	11	16	19	38	26	26	22	28	22	22	14	12	9	9	5	7	1	4	4	5	6	2	3	1		1	3
大阪市東部	1	22	15	18	41	31	13	25	18	10	21	9	13	8	6	4	1	3		4	1	2	1	2	14	14	9
大阪市南部		49	38	76	64	57	42	52	38	42	32	26	26	32	12	9	12	8	7	5	3	8	8	6	5	13	15
合計	81	415	415	524	623	566	481	545	414	432	371	236	254	228	163	108	83	83	60	70	53	67	73	94	83	117	123

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能	0.05	0.86	1.32	1.18	1.55	1.14	1.46	1.36	0.91	1.23	1.18	0.50	0.50	0.50	0.36	0.23	0.09		0.09	0.18	0.09	0.23	0.09	0.32	0.18	0.18	0.36
三島	0.06	1.18	0.88	1.77	1.65	1.82	1.53	1.47	1.29	1.59	1.35	0.82	1.47	0.77	0.71	0.53	0.29	0.35	0.12	0.24	0.35	0.29	0.53	0.82	0.77	0.18	0.82
北河内	1.22	3.19	2.70	3.78	4.33	4.30	3.41	3.52	2.93	2.48	2.11	1.26	1.15	0.93	0.70	0.59	0.41	0.44	0.26	0.41	0.31	0.31	0.50	0.69	0.54	0.39	0.96
中河内	0.20	2.00	1.75	1.75	2.30	1.85	1.95	2.40	2.50	2.25	1.95	1.25	0.95	1.30	1.55	0.70	0.70	0.60	0.55	0.55	0.50	0.40	0.40	0.55	0.80	1.40	0.55
南河内	0.81	3.13	3.81	3.44	4.75	3.69	3.50	3.38	2.06	2.81	2.63	1.81	2.06	1.50	1.63	1.00	0.44	0.63	0.44	0.50	0.25	0.38	0.56	0.50	0.19	0.63	0.94
堺市	0.05	2.63	3.11	3.53	4.74	4.16	3.47	4.53	2.95	3.05	2.26	0.95	1.32	0.79	0.33	0.06	0.06	0.17	0.06	0.22		0.22	0.11	0.17	0.39	0.28	0.22
泉州	0.40	2.40	2.60	3.30	2.90	3.50	3.05	3.45	2.80	3.25	2.95	2.25	2.25	2.05	1.30	1.05	1.15	1.00	0.60	0.40	0.50	0.60	0.55	0.95	0.30	1.05	0.40
大阪市北部	0.57	1.07	1.36	0.79	3.07	2.50	2.29	2.36	1.43	1.71	1.07	0.93	1.21	1.71	0.86	0.43	0.43	0.36	0.50	0.43	0.21	0.50	0.50	0.36	0.07	0.57	0.79
大阪市西部	1.22	1.78	2.11	4.22	2.89	2.89	2.44	3.11	2.44	2.44	1.56	1.33	1.00	1.00	0.56	0.78	0.11	0.44	0.44	0.56	0.67	0.22	0.33	0.10		0.10	0.30
大阪市東部	0.07	1.47	1.00	1.20	2.73	2.07	0.87	1.67	1.20	0.67	1.40	0.60	0.87	0.53	0.40	0.27	0.07	0.20		0.27	0.07	0.13	0.07	0.13	0.93	0.93	0.60
大阪市南部		2.72	2.11	4.22	3.56	3.17	2.33	2.89	2.11	2.33	1.78	1.44	1.44	1.78	0.67	0.50	0.67	0.44	0.39	0.28	0.17	0.44	0.44	0.33	0.28	0.72	0.83
合計	0.41	2.11	2.11	2.66	3.16	2.87	2.44	2.77	2.10	2.19	1.88	1.20	1.29	1.16	0.83	0.55	0.42	0.42	0.31	0.36	0.27	0.34	0.37	0.48	0.42	0.60	0.63

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月		1			2			1				1	1														1
-11ヶ月	1	1	3	1		2	2	1	2	1	1	1	3	1	5		2		1		2	1					1
1歳	2	14	16	10	23	18	7	19	14	12	19	10	14	7	15	5	4	7	1	3	4	4	1	8	3	10	7
2	8	36	20	31	40	43	29	43	21	31	37	22	27	21	14	14	9	5	4	8	4	9	5	9	7	17	9
3	7	33	50	51	60	63	57	55	44	55	60	35	41	39	15	15	12	12	3	6	8	10	11	8	10	14	10
4	11	52	49	72	94	89	59	81	57	63	64	38	46	36	33	23	12	7	8	8	6	11	8	10	19	15	16
5	12	49	57	79	90	79	75	80	54	66	45	37	33	43	18	9	9	9	7	8	3	10	12	10	9	11	16
6	9	64	59	56	82	64	59	68	55	60	49	26	35	24	13	7	8	7	5	5	6	5	10	8	6	8	10
7	10	38	48	63	66	55	57	63	53	33	14	15	12	13	5	8	4	6	6	3	1	4	6	5	6	10	10
8	5	25	34	48	35	40	39	36	35	33	12	9	11	9	11	3	3	4	2	5	1		4	4	2	4	12
9	3	26	20	25	43	28	26	29	18	16	11	8	1	3	5	7	6	4	3	7	1	3	1	7	4	3	5
10-14	9	47	42	59	62	60	48	42	41	39	32	17	11	12	11	8	3	12	8	12	6	3	5	9	8	13	17
15-19		9		6	4	6	5	3	2	4	5	2	3	2	4		3	4	1	1	5	1	2		2		2
20-	4	20	17	23	22	19	18	24	18	19	22	15	16	18	14	9	8	6	11	4	6	6	8	16	7	12	7
合計	81	415	415	524	623	566	481	545	414	432	371	236	254	228	163	108	83	83	60	70	53	67	73	94	83	117	123

[各感染症データ]

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
10	11	5	5	5	5	5	6	3	6	6	7	3	9	3	9	6	9	7	2	10	7	8	5	2	509	
14	5	2	11	5	3	5	6	4	9	7	9	5	4	6	8	5	4	5	8	4	7	7	6	9	2	562
14	21	16	15	10	15	17	19	21	13	22	13	21	12	11	21	13	18	24	17	17	30	24	13	23	5	1,624
33	23	16	18	11	6	19	9	16	18	30	11	11	19	22	17	25	14	23	38	22	29	24	23	16	4	1,170
13	15	8	17	3	4	7	11	6	6	4	3	2	6	6	4	12	7	3	14	8	12	21	10	10	3	974
3	11	7	7	8	3	2	3	3	7	4	10	7	2	4	9	9	5	5	10	5	6	10	12	11	2	919
11	17	7	9	14	8	9	4	7	18	14	6	7	14	15	11	15	20	14	18	15	15	20	15	16	8	1,267
7	2	6	4	7	2	6	5	14	8	8	6	12	7	7	10	9	9	5	7	7	10	8	13	5	6	583
6	6	1	7		3	1	1	1	7	5	1	2	4	6	5	2	3	2	4	3	7	6	5	6	6	416
3	1	5	1	1		1	5	3	7	5	4	5	2	5	3	7	7	7	6	6	10	3	3	14	4	424
18	10	3	9	11	4	5	5	3	16	13	3	13	10	14	17	7	22	12	5	9	9	10	16	6	3	938
132	122	76	103	75	53	77	74	81	115	118	73	88	89	99	114	110	118	107	129	106	142	141	121	118	43	9,386

7月				8月				9月				10月				11月				12月			平均			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
0.46	0.50	0.23	0.23	0.23	0.23	0.23	0.27	0.14	0.27	0.27	0.32	0.14	0.41	0.14	0.41	0.27	0.41	0.32	0.09	0.46	0.32	0.36	0.23	0.09		0.44
0.82	0.29	0.12	0.65	0.29	0.18	0.29	0.35	0.24	0.53	0.41	0.53	0.29	0.24	0.35	0.47	0.29	0.24	0.29	0.47	0.24	0.41	0.41	0.35	0.53	0.12	0.62
0.54	0.81	0.62	0.58	0.39	0.58	0.65	0.73	0.81	0.50	0.85	0.50	0.81	0.46	0.42	0.81	0.50	0.69	0.92	0.65	0.65	1.15	0.92	0.50	0.89	0.19	1.15
1.65	1.15	0.80	0.90	0.55	0.30	0.95	0.45	0.80	0.90	1.50	0.58	0.58	1.00	1.16	0.90	1.32	0.70	1.15	1.90	1.10	1.45	1.20	1.15	0.80	0.20	1.11
0.81	0.94	0.50	1.06	0.19	0.25	0.44	0.69	0.38	0.38	0.25	0.19	0.13	0.38	0.38	0.25	0.75	0.44	0.19	0.88	0.50	0.75	1.31	0.63	0.63	0.19	1.15
0.17	0.61	0.39	0.39	0.44	0.17	0.11	0.17	0.16	0.37	0.21	0.53	0.37	0.11	0.21	0.47	0.47	0.26	0.26	0.53	0.26	0.32	0.53	0.63	0.58	0.11	0.92
0.55	0.85	0.35	0.45	0.70	0.40	0.45	0.20	0.35	0.90	0.70	0.30	0.35	0.70	0.75	0.55	0.75	1.00	0.70	0.90	0.75	0.75	1.00	0.75	0.80	0.40	1.20
0.50	0.14	0.43	0.29	0.50	0.14	0.43	0.36	1.00	0.57	0.57	0.43	0.86	0.50	0.50	0.71	0.64	0.64	0.36	0.50	0.50	0.71	0.57	0.93	0.36	0.43	0.79
0.60	0.60	0.10	0.70		0.30	0.10	0.10	0.10	0.70	0.50	0.10	0.20	0.40	0.60	0.50	0.20	0.30	0.20	0.40	0.30	0.70	0.60	0.50	0.60	0.60	0.85
0.20	0.07	0.33	0.07	0.07		0.07	0.33	0.20	0.47	0.33	0.27	0.33	0.13	0.33	0.20	0.47	0.47	0.47	0.40	0.40	0.67	0.20	0.20	0.93	0.27	0.53
1.00	0.56	0.17	0.50	0.61	0.22	0.28	0.28	0.17	0.89	0.72	0.17	0.77	0.59	0.82	1.00	0.41	1.29	0.71	0.29	0.53	0.53	0.59	0.94	0.35	0.18	0.99
0.67	0.62	0.39	0.53	0.38	0.27	0.39	0.38	0.41	0.58	0.60	0.37	0.45	0.46	0.51	0.59	0.56	0.60	0.55	0.66	0.54	0.72	0.72	0.62	0.60	0.22	0.90

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
																										9
	1	1				2	1				1	1		1		2			2	1		2		2		49
6		2	3	3	5	6	3	5	9	5	2	8	4	5	7	10	4	6	11	3	11	7	3	8	3	396
13	10	4	2	5	9	6	6	9	8	13	4	7	9	7	3	9	5	5	8	8	14	8	12	8	3	718
14	10	7	11	7	9	6	8	12	13	13	11	10	8	12	11	13	14	12	6	9	15	12	13	13	5	1,058
12	8	13	9	11	6	7	15	11	18	15	10	9	13	17	22	18	9	13	23	13	16	19	16	23	9	1,342
23	16	9	13	9	4	15	13	7	14	20	3	8	14	11	14	10	17	17	17	21	18	16	12	9	2	1,262
9	15	4	8	16	5	5	4	14	13	10	10	10	10	9	8	10	16	8	10	10	16	17	13	10	4	1,072
15	13	7	8	3	2	4	9	5	6	5	9	7	9	3	10	5	7	10	11	12	12	11	11	5	3	816
8	12	2	9	5		2	2	2	5	10	4	4	3	7	2	6	4	10	9	2	8	7	10	10	1	570
10	8	4	7	5	2	4	2	3	4	3	5	3	2	6	6		8	5	2	5	7	12	2	4	3	435
10	19	15	22	5	4	7	5	7	12	10	6	13	8	8	19	17	14	13	14	16	10	15	15	16	5	941
	2	1	2		1	3	3		4	3	1		3	3	1	1	2	2	5		5	3	4	3		128
12	8	7	9	6	6	10	3	6	9	11	7	8	6	10	11	9	18	6	11	6	10	11	10	6	5	590
132	122	76	103	75	53	77	74	81	115	118	73	88	89	99	114	110	118	107	129	106	142	141	121	118	43	9,386

[各感染症データ]

感染性胃腸炎

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能	8	92	96	97	118	93	91	97	68	60	49	33	50	29	22	21	13	15	9	17	11	16	21	29	41	47	53
三島	16	90	66	101	99	66	63	67	49	45	38	31	39	18	31	18	24	16	10	19	19	18	27	28	26	27	17
北河内	71	194	123	186	155	171	119	142	96	80	66	37	54	43	34	27	21	22	14	30	29	32	32	40	44	51	53
中河内	40	153	116	138	141	84	102	123	76	78	83	59	45	63	48	43	35	32	20	31	41	41	43	29	57	56	47
南河内	46	137	108	143	143	124	97	107	101	93	73	48	44	37	37	40	29	25	11	26	33	33	47	45	48	53	48
堺市	5	52	61	55	83	81	66	59	38	26	14	14	26	13	18	14	15	13	5	8	19	14	25	27	12	14	23
泉州	48	122	88	104	132	95	114	151	93	97	66	44	36	37	44	38	28	35	14	17	32	31	37	36	44	52	52
大阪市北部	27	98	79	82	90	89	67	62	49	35	38	23	28	16	14	13	7	11	7	7	17	18	17	19	24	21	25
大阪市西部	52	70	65	74	46	36	48	55	42	22	22	17	24	22	14	9	6	8	8	6	9	3	9	21	11	27	27
大阪市東部	1	29	31	37	47	38	32	39	23	9	11	19	12	10	8	5	15	6	6	6	6	8	11	17	26	15	14
大阪市南部	1	90	73	85	77	80	82	94	62	50	39	33	33	38	26	16	31	27	19	22	18	21	22	36	44	44	48
合計	315	1,127	906	1,102	1,131	957	881	996	697	595	499	358	391	326	296	244	224	210	123	189	234	235	291	327	377	407	407

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能	0.36	4.18	4.36	4.41	5.36	4.23	4.14	4.41	3.09	2.73	2.23	1.50	2.27	1.32	1.00	0.96	0.59	0.68	0.41	0.77	0.50	0.73	0.96	1.32	1.86	2.14	2.41
三島	0.94	5.29	3.88	5.94	5.82	3.88	3.71	3.94	2.88	2.65	2.24	1.82	2.29	1.06	1.82	1.06	1.41	0.94	0.59	1.12	1.12	1.06	1.59	1.65	1.53	1.59	1.00
北河内	2.63	7.19	4.56	6.89	5.74	6.33	4.41	5.26	3.56	2.96	2.44	1.37	2.00	1.59	1.26	1.00	0.78	0.82	0.52	1.11	1.12	1.23	1.23	1.54	1.69	1.96	2.04
中河内	2.00	7.65	5.80	6.90	7.05	4.20	5.10	6.15	3.80	3.90	4.15	2.95	2.25	3.15	2.40	2.15	1.75	1.60	1.00	1.55	2.05	2.05	2.15	1.45	2.85	2.80	2.35
南河内	2.88	8.56	6.75	8.94	8.94	7.75	6.06	6.69	6.31	5.81	4.56	3.00	2.75	2.31	2.31	2.50	1.81	1.56	0.69	1.63	2.06	2.06	2.94	2.81	3.00	3.31	3.00
堺市	0.26	2.74	3.21	2.90	4.37	4.26	3.47	3.11	2.00	1.37	0.74	0.74	1.37	0.68	1.00	0.78	0.83	0.72	0.28	0.44	1.06	0.78	1.39	1.50	0.67	0.78	1.28
泉州	2.40	6.10	4.40	5.20	6.60	4.75	5.70	7.55	4.65	4.85	3.30	2.20	1.80	1.85	2.20	1.90	1.40	1.75	0.70	0.85	1.60	1.55	1.85	1.80	2.20	2.60	2.60
大阪市北部	1.93	7.00	5.64	5.86	6.43	6.36	4.79	4.43	3.50	2.50	2.71	1.64	2.00	1.14	1.00	0.93	0.50	0.79	0.50	0.50	1.21	1.29	1.21	1.36	1.71	1.50	1.79
大阪市西部	5.78	7.78	7.22	8.22	5.11	4.00	5.33	6.11	4.67	2.44	2.44	1.89	2.67	2.44	1.56	1.00	0.67	0.89	0.89	0.67	1.00	0.33	1.00	2.10	1.10	2.70	2.70
大阪市東部	0.07	1.93	2.07	2.47	3.13	2.53	2.13	2.60	1.53	0.60	0.73	1.27	0.80	0.67	0.53	0.33	1.00	0.40	0.40	0.40	0.40	0.53	0.73	1.13	1.73	1.00	0.93
大阪市南部	0.06	5.00	4.06	4.72	4.28	4.44	4.56	5.22	3.44	2.78	2.17	1.83	1.83	2.11	1.44	0.89	1.72	1.50	1.06	1.22	1.00	1.17	1.22	2.00	2.44	2.44	2.67
合計	1.60	5.72	4.60	5.59	5.74	4.86	4.47	5.06	3.54	3.02	2.53	1.82	1.99	1.66	1.51	1.25	1.14	1.07	0.63	0.96	1.20	1.21	1.49	1.67	1.92	2.08	2.08

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月	3	7	13	9	13	7	12	2	7	8	8	5	2	2	6	10	7	5	4	3	0	7	1	2	3	8	9
-11ヶ月	23	79	59	78	63	55	43	48	45	41	40	23	25	21	27	26	14	15	7	17	18	14	19	20	29	37	28
1歳	33	180	141	210	165	141	129	114	83	85	69	41	47	48	46	30	43	27	14	29	24	27	33	27	51	49	33
2	28	141	118	119	120	114	89	128	68	59	49	37	38	37	30	38	25	13	10	12	21	24	26	19	30	29	34
3	15	107	87	99	93	95	86	75	86	56	62	38	30	34	33	23	20	21	10	18	18	23	12	26	25	35	31
4	17	78	61	74	119	89	65	91	51	50	43	26	37	25	18	14	11	14	8	12	14	9	19	18	13	22	19
5	17	72	73	67	94	80	56	87	53	52	28	30	37	16	17	15	12	12	6	8	18	14	21	21	28	28	21
6	17	65	60	67	73	66	63	74	46	40	26	22	25	17	12	15	14	13	8	9	9	12	18	10	17	11	25
7	11	54	43	54	47	45	53	60	25	30	16	12	17	10	10	9	9	8	6	11	9	13	11	17	18	25	21
8	10	30	29	33	49	38	39	53	24	26	14	21	12	11	14	7	12	7	5	6	9	9	16	25	16	23	22
9	9	43	17	49	42	35	38	32	36	20	20	4	11	7	7	4	4	8	4	7	11	8	13	12	19	19	16
10-14	28	93	88	96	101	77	71	90	78	45	45	29	36	28	27	17	19	18	12	20	40	34	51	57	53	61	66
15-19	6	30	23	34	31	17	19	21	10	12	11	14	10	9	6	3	5	6	9	4	11	6	11	19	22	18	14
20-	98	148	94	113	121	98	118	121	85	71	68	56	64	61	43	33	29	43	20	33	32	35	40	54	53	42	68
合計	315	1,127	906	1,102	1,131	957	881	996	697	595	499	358	391	326	296	244	224	210	123	189	234	235	291	327	377	407	407

[各感染症データ]

感染性胃腸炎

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
31	38	24	30	38	16	25	28	30	30	23	26	34	25	27	19	22	19	24	22	29	27	23	35	34	6	1,981
24	27	21	25	22	15	31	32	25	22	31	25	24	30	25	25	31	29	35	24	34	36	30	37	39	13	1,780
58	47	39	54	30	21	41	42	41	60	48	46	33	42	37	55	56	58	47	78	68	84	72	105	133	34	3,395
63	75	49	52	49	23	62	48	63	54	62	38	44	50	62	48	50	63	74	58	70	75	65	60	58	14	3,253
49	43	24	51	29	16	42	55	46	62	37	31	45	46	47	40	30	43	43	51	61	40	48	34	65	22	2,876
33	28	19	21	21	9	24	27	26	27	27	20	22	18	19	28	16	13	28	20	17	29	31	33	34	12	1,402
44	60	49	47	47	28	54	37	42	49	57	26	47	52	39	58	54	38	43	62	50	49	50	43	68	33	2,913
34	25	21	23	20	12	20	20	23	25	22	7	28	21	32	16	17	25	27	33	31	26	38	30	26	15	1,600
20	17	16	20	29	12	13	20	20	22	17	18	16	15	16	15	20	22	11	36	15	15	18	15	16	39	1,246
14	10	17	28	17	6	20	11	12	16	13	17	9	19	11	18	18	18	18	19	21	15	22	20	13	9	892
39	47	35	39	38	13	38	63	55	52	47	62	44	36	37	53	45	36	43	46	50	43	49	58	56	19	2,354
409	417	314	390	340	171	370	383	383	419	384	316	346	354	352	375	359	364	393	449	446	439	446	470	542	216	23,692

7月				8月				9月				10月				11月				12月			平均			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
1.41	1.73	1.09	1.36	1.73	0.73	1.14	1.27	1.36	1.36	1.05	1.18	1.55	1.14	1.23	0.86	1.00	0.86	1.09	1.00	1.32	1.23	1.05	1.59	1.55	0.27	1.70
1.41	1.59	1.24	1.47	1.29	0.88	1.82	1.88	1.47	1.29	1.82	1.47	1.41	1.77	1.47	1.47	1.82	1.71	2.06	1.41	2.00	2.12	1.77	2.18	2.29	0.77	1.98
2.23	1.81	1.50	2.08	1.15	0.81	1.58	1.62	1.58	2.31	1.85	1.77	1.27	1.62	1.42	2.12	2.15	2.23	1.81	3.00	2.62	3.23	2.77	4.04	5.12	1.31	2.42
3.15	3.75	2.45	2.60	2.45	1.15	3.10	2.40	3.15	2.70	3.10	2.00	2.32	2.63	3.26	2.53	2.63	3.15	3.70	2.90	3.50	3.75	3.25	3.00	2.90	0.70	3.08
3.06	2.69	1.50	3.19	1.81	1.00	2.63	3.44	2.88	3.88	2.31	1.94	2.81	2.88	2.94	2.50	1.88	2.69	2.69	3.19	3.81	2.50	3.00	2.13	4.06	1.38	3.39
1.83	1.56	1.06	1.17	1.17	0.50	1.33	1.50	1.37	1.42	1.42	1.05	1.16	0.95	1.00	1.47	0.84	0.68	1.47	1.05	0.90	1.53	1.63	1.74	1.79	0.63	1.41
2.20	3.00	2.45	2.35	2.35	1.40	2.70	1.85	2.10	2.45	2.85	1.30	2.35	2.60	1.95	2.90	2.70	1.90	2.15	3.10	2.50	2.45	2.50	2.15	3.40	1.65	2.75
2.43	1.79	1.50	1.64	1.43	0.86	1.43	1.43	1.64	1.79	1.57	0.50	2.00	1.50	2.29	1.14	1.21	1.79	1.93	2.36	2.21	1.86	2.71	2.14	1.86	1.07	2.16
2.00	1.70	1.60	2.00	2.90	1.20	1.30	2.00	2.00	2.20	1.70	1.80	1.60	1.50	1.60	1.50	2.00	2.20	1.10	3.60	1.50	1.50	1.80	1.50	1.60	3.90	2.49
0.93	0.67	1.13	1.87	1.13	0.40	1.33	0.73	0.80	1.07	0.87	1.13	0.60	1.27	0.73	1.20	1.20	1.20	1.20	1.27	1.40	1.00	1.47	1.33	0.87	0.60	1.12
2.17	2.61	1.94	2.17	2.11	0.72	2.11	3.50	3.06	2.89	2.61	3.44	2.59	2.12	2.18	3.12	2.65	2.12	2.53	2.71	2.94	2.53	2.88	3.41	3.29	1.12	2.51
2.09	2.13	1.60	1.99	1.74	0.87	1.89	1.95	1.94	2.13	1.95	1.61	1.77	1.82	1.81	1.92	1.84	1.86	2.01	2.29	2.28	2.24	2.28	2.40	2.77	1.10	2.28

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
5	3	5	2	0	1	5	11	11	4	8	7	7	7	8	7	8	9	8	5	5	9	12	6	5	5	326
32	33	24	24	21	16	19	24	22	34	40	21	21	32	25	25	27	22	37	25	21	28	23	32	24	8	1,574
54	67	47	41	51	33	47	60	52	58	64	44	41	46	44	62	45	47	53	65	85	63	76	67	84	28	3,343
30	48	19	31	33	8	26	35	32	37	39	32	30	40	26	39	25	37	34	39	52	48	43	61	71	16	2,387
27	22	22	32	27	6	29	35	35	25	29	21	29	22	29	28	32	25	28	28	33	33	44	44	54	19	2,016
27	15	21	30	20	11	21	29	18	22	21	21	25	21	22	24	27	15	13	29	34	26	24	35	45	10	1,623
32	24	25	21	13	12	27	11	17	20	20	17	15	18	21	20	16	22	20	26	20	31	25	23	38	15	1,532
15	15	19	19	12	12	14	19	13	12	17	16	16	17	20	14	15	14	17	17	24	15	23	14	23	7	1,253
22	24	8	20	10	5	22	13	18	15	18	14	19	9	18	15	24	17	22	16	24	16	17	16	18	7	1,071
16	17	14	17	19	4	18	12	16	25	11	11	14	15	19	19	14	19	17	17	18	16	13	31	27	7	986
17	25	16	21	14	6	11	18	15	18	15	17	13	16	12	15	14	13	12	14	12	20	20	18	13	7	887
61	57	41	67	29	23	52	57	62	64	46	42	49	52	55	54	52	56	69	73	46	47	58	39	62	14	2,707
25	13	10	16	19	7	16	21	23	25	8	11	18	14	15	7	14	11	18	24	25	23	17	14	24	2	801
46	54	43	49	72	27	63	38	49	60	48	42	49	45	38	46	46	57	45	71	47	64	51	70	54	71	3,186
409	417	314	390	340	171	370	383	383	419	384	316	346	354	352	375	359	364	393	449	446	439	446	470	542	216	23,692

[各感染症データ]

水痘

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月				5月			6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能	2	15	9	3	3	5	3	12	6	10	6	3	3	3	1		2	1	2	1	2	1	4	2			4
三島	3	9	8	3	9	1	2	1	5	1	3	3	2	5	4	6	2	2	2	1		3	1	1			2
北河内	3	12	1	4	7	8	2	11	6	13	11	12	12	5	8	5	1	3	6	4	1	4	5	2	5	4	4
中河内	4	18	8	8	7	9	5	12	6	9	6	6	4	3	3	5	2	3	2	5	1	1	4	3	1	1	2
南河内		10	5	3	1	5	2	4	2	2	4	3	4	2	1	3	1	1	1	4	2		2	2	2	2	1
堺市		7	4	2	4	4	2		6	2	2	1		4			1						1				
泉州	4	14	3	7	4	9	5	9	9	4	6	3	6	2	3	3		3				3		3	1	3	1
大阪市北部	12	13	14	20	7	17	9	8	19	7	6	3	3	3	3	1		2	1	2	3	1	1	1	1	1	2
大阪市西部	11	2	1	2	9	1	6	2	1	1	1	2		2	1	1		1	2			1	1	1	1	1	1
大阪市東部	1	5	4	9	6	8	2	9	2	4	2	3	4	4	1	2	1	4	1		3	1	1	1		2	2
大阪市南部		2	1	4	5	4	4	2		5	4	2			1		1				1	3		1			1
合計	40	107	58	65	62	71	42	70	62	58	51	41	38	33	26	27	10	20	15	18	13	18	20	16	11	14	21

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月				5月			6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能	0.09	0.68	0.41	0.14	0.14	0.23	0.14	0.55	0.27	0.46	0.27	0.14	0.14	0.14	0.05		0.09	0.05		0.05	0.09	0.05	0.18	0.09			0.18
三島	0.18	0.53	0.47	0.18	0.53	0.06	0.12	0.06	0.29	0.06	0.18	0.18	0.12	0.29	0.24	0.35	0.12	0.12	0.12	0.06		0.18	0.06	0.06			0.12
北河内	0.11	0.44	0.04	0.15	0.26	0.30	0.07	0.41	0.22	0.48	0.41	0.44	0.44	0.19	0.30	0.19	0.04	0.11	0.22	0.15	0.04	0.15	0.19	0.08	0.19	0.15	0.15
中河内	0.20	0.90	0.40	0.40	0.35	0.45	0.25	0.60	0.30	0.45	0.30	0.30	0.20	0.15	0.15	0.25	0.10	0.15	0.10	0.25	0.05	0.05	0.20	0.15	0.05	0.05	0.10
南河内		0.63	0.31	0.19	0.06	0.31	0.13	0.25	0.13	0.13	0.25	0.19	0.25	0.13	0.06	0.19	0.06	0.06	0.06	0.25	0.13		0.13	0.13	0.13	0.13	0.06
堺市		0.37	0.21	0.11	0.21	0.21	0.11		0.32	0.11	0.11	0.05		0.21		0.06						0.06					
泉州	0.20	0.70	0.15	0.35	0.20	0.45	0.25	0.45	0.45	0.20	0.30	0.15	0.30	0.10	0.15	0.15		0.15				0.15		0.15	0.05	0.15	0.05
大阪市北部	0.86	0.93	1.00	1.43	0.50	1.21	0.64	0.57	1.36	0.50	0.43	0.21	0.21	0.21	0.21	0.07		0.14	0.07	0.14	0.21	0.07	0.07	0.07	0.07	0.14	0.21
大阪市西部	1.22	0.22	0.11	0.22	1.00	0.11	0.67	0.22	0.11	0.11	0.11	0.22		0.22	0.11	0.11		0.11	0.22			0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10
大阪市東部	0.07	0.33	0.27	0.60	0.40	0.53	0.13	0.60	0.13	0.27	0.13	0.20	0.27	0.27	0.07	0.13	0.07	0.27	0.07		0.20	0.07	0.07	0.07		0.13	0.13
大阪市南部		0.11	0.06	0.22	0.28	0.22	0.22	0.11		0.28	0.22	0.11			0.06		0.06				0.06	0.17		0.06			0.06
合計	0.20	0.54	0.29	0.33	0.32	0.36	0.21	0.36	0.32	0.29	0.26	0.21	0.19	0.17	0.13	0.14	0.05	0.10	0.08	0.09	0.07	0.09	0.10	0.08	0.06	0.07	0.11

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月					2月				3月				4月				5月			6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月		2	1	1								1	2	2		1				1	1						
-11ヶ月	1	1	2	1	1	1		1	1	1	1	1	1	2	1			2	1			1	1	1	2		2
1歳	2	7	5	1	4	4	6	4	2	2	2	5	1	7	1	1	2	1	1	1	5	2	1	1	1	1	1
2		5	3	3	4	4	2	1	2	1	2	2		2	2	5	1	3	2	1	1	1	5	2	3		
3	2	6	5	1	4	4	4	5	5	4	2	3	4	5	1	3		1		1	1	2				2	3
4		11	5	11	6	5	4	8	6	4	3	4	8	4	4	3	2	1	2	2	1		3			1	1
5	3	15	7	8	9	9	4	8	3	14	4	10	7	4	2	5	1	2	2	1		1	1	1	3		3
6	8	10	6	8	5	16	7	7	8	7	3	5	4	6	2	1	2			1	1	2	1	1		1	2
7	3	13	5	3	11	8	6	9	7	8	10	5	2	1				2	1	2	2	2	3	2	2	1	3
8	5	14	6	7	4	8	4	13	6	4	9	3	2	1	3	2		3	1	3	2	1	1		1	1	1
9	5	7	3	8	6	4	3	5	8	7	6	1	1	1		1	1	1	1	2		1	2		2	2	2
10-14	11	14	9	11	8	8	3	8	11	6	8	4	2	3	3	2	2		2	3	3	2	1	4	1	4	2
15-19		1				3					1					2		2						1	1		1
20-		1	1	2		2			1					1	1	1	1	1	2								1
合計	40	107	58	65	62	71	42	70	62	58	51	41	38	33	26	27	10	20	15	18	13	18	20	16	11	14	21

[各感染症データ]

水痘

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週	
3	2	2		4	1	1		1	1		3	1		3		4		3	2	3	7	5	1	5	2	155	
2	1	4		1	4			1	2		2	2		4	2	2	4	9	1	4	4	3	3	2	1	137	
6	6	6	6	3	2	4	1	5	2	3	2		3	1	4	7	4	10	5	17	8	14	10	3	5	296	
	2	2	3	1	2	5	1	4	4	2	3	4	5	5	3		3	5	1	11	6	11	5	4		230	
2		5		6	2	1	1	5	2	5	4	4	2	3		5	2	1	5	2	11	5	6	2	1	151	
1		1	2	2	1			2				3		1	3	1		3	4	7	2	3	6	2	7	1	93
1		1	3	4	1	2	1	2		1	3		1	4	2	2	6	4	15	3	15	10	11	4	4	205	
1	2	4	2	1	1			3	1		2	4	1	2	1	4	2	4	6	6	3	3	2	2	2	4	224
1		2	2		3	1	3			1	1	1				1	2	1	3	4	1	1	3		2	84	
	1		2	1					1	4	6	1	1	1	2	1	2	1	4	2	5	1		4	3	125	
2												2		2	4	1	2	3	3	1	6	3	2	4		76	
19	14	27	20	23	17	14	13	20	10	20	29	16	15	27	22	25	32	47	52	52	69	61	45	37	23	1,776	

7月				8月				9月				10月				11月				12月				平均		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
0.14	0.09	0.09		0.18	0.05	0.05		0.05	0.05		0.14	0.05		0.14		0.18		0.14	0.09	0.14	0.32	0.23	0.05	0.23	0.09	0.13
0.12	0.06	0.24		0.06	0.24		0.06	0.12		0.12		0.12		0.24	0.12	0.12	0.24	0.53	0.06	0.24	0.24	0.18	0.18	0.12	0.06	0.15
0.23	0.23	0.23	0.23	0.12	0.08	0.15	0.04	0.19	0.08	0.12	0.08		0.12	0.04	0.15	0.27	0.15	0.39	0.19	0.65	0.31	0.54	0.39	0.12	0.19	0.21
	0.10	0.10	0.15	0.05	0.10	0.25	0.05	0.20	0.20	0.10	0.16	0.21	0.26	0.26	0.16		0.15	0.25	0.05	0.55	0.30	0.55	0.25	0.20		0.22
0.13		0.31		0.38	0.13	0.06	0.06	0.31	0.13	0.31	0.25	0.25	0.13	0.19		0.31	0.13	0.06	0.31	0.13	0.69	0.31	0.38	0.13	0.06	0.18
0.06		0.06	0.11	0.11	0.06		0.11				0.16		0.05	0.16	0.05		0.16	0.21	0.37	0.11	0.16	0.32	0.11	0.37	0.05	0.09
0.05		0.05	0.15	0.20	0.05	0.10	0.05	0.10		0.05	0.15		0.05	0.20	0.10	0.10	0.30	0.20	0.75	0.15	0.75	0.50	0.55	0.20	0.20	0.19
0.07	0.14	0.29	0.14	0.07	0.07		0.21	0.07		0.14	0.29	0.07	0.14	0.07	0.29	0.14	0.29	0.43	0.43	0.21	0.21	0.14	0.14	0.14	0.29	0.30
0.10		0.20	0.20		0.30	0.10	0.30			0.10	0.10	0.10				0.10	0.20	0.10	0.30	0.40	0.10	0.10	0.30		0.20	0.17
	0.07		0.13	0.07					0.07	0.27	0.40	0.07	0.07	0.07	0.13	0.07	0.13	0.07	0.27	0.13	0.33	0.07		0.27	0.20	0.16
0.11												0.12		0.12	0.24	0.06	0.12	0.18	0.18	0.06	0.35	0.18	0.12	0.24		0.08
0.10	0.07	0.14	0.10	0.12	0.09	0.07	0.07	0.10	0.05	0.10	0.15	0.08	0.08	0.14	0.11	0.13	0.16	0.24	0.27	0.27	0.35	0.31	0.23	0.19	0.12	0.17

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週	
	1										1				1	1	1									1	18
	1			1	1						2		1		1	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	48
1	1	4	1	1		1	1	3		3	3		1		2	3	3	2	5	1	4	7	1	1	3	122	
1	2	2	3	1		3	2	1	1		2	2	1	4	3			5	3	3	6	2			1	106	
2	1		2	3	2	3		1			1		1	2	2	5		3	3	2	5	10	5	3	2	126	
1	1	1	2	4	1		3	2		2	1	2		2	1	1	5	2	5	3	9	3	7	3	2	162	
4	3	3	1		2	1	2	5	4	1	6	2	1	5	1	1	3	8	7	11	8	7	5	5	4	226	
		1	2	3			2	4	1		2	2		1	3	1	2	5	9	7	9	6	7	2	2	185	
2	1	3		2	3	1	1	1	2	5	3	5	3	3	1	2	3	3	7	8	11	7	4	5	2	199	
3	1	5	3	2	5	2	1			2		1	1	1	1	4	2	5	3	4	3	3	3	3		162	
3	1	1	2	4	1	1			1	2	4		3	3	1	1	3	6	3	5	4	7	5	2	1	143	
2	1	7	3	1	1	2		2	1	4	4	2	2	1	5	3	7	3	2	6	7	8	7	9	3	228	
			1	1			1	1						1				1	1					1	1	21	
					1					1				1					1	3	1	2				30	
19	14	27	20	23	17	14	13	20	10	20	29	16	15	27	22	25	32	47	52	52	69	61	45	37	23	1,776	

[各感染症データ]

手足口病

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月								
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週		
豊能			5	2																									
三島				1	2	2	1	1				2					1	1	1	1	2	2	2	1	1	1			
北河内	1	1	2	2	2	4	3	4	1		1	2		3			1			1	5		7	5	1	9	4	2	
中河内		6		2	1	2	4	2					1			1	2	1				1	1	1		3	2	2	
南河内	2	1	3	5	1	3			1		2	1	1								3		6	2		2	2		
堺市		4	1	1	1		1	2		1	2	1					1			1			2	1	1	3	2	3	
泉州	1	3		3		1	1	2	1	1						1		1			1	1	2	2	2		1	4	
大阪市北部	2	2	1	2			1		1					1	2	7	2	3					1			2	5	2	1
大阪市西部						2		1	1																			1	2
大阪市東部		5	1	3	1	3	2	3	1		2	1	2		1			1					1			3			
大阪市南部		5	2	1	2						1	1	4	8	2	1	2	1	1	1	1	1	3	4	5	2			
合計	6	32	13	21	14	19	16	15	9	4	10	7	10	12	7	13	8	8	4	14	5	24	15	18	26	15	16		

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月								
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週		
豊能		0.23	0.09		0.18	0.14	0.14	0.05	0.14	0.09		0.05	0.09			0.05											0.09	0.05	0.18
三島			0.06	0.12	0.12	0.06	0.06				0.12					0.06	0.06	0.06	0.06	0.12	0.12	0.12	0.06	0.06	0.06				
北河内	0.04	0.04	0.07	0.07	0.07	0.15	0.11	0.15	0.04		0.04	0.07		0.11		0.04			0.04	0.19		0.27	0.19	0.04	0.35	0.15	0.08		
中河内		0.30		0.10	0.05	0.10	0.20	0.10					0.05		0.05	0.10	0.05			0.05	0.05	0.05		0.15	0.10	0.10			
南河内	0.13	0.06	0.19	0.31	0.06	0.19			0.06		0.13	0.06	0.06					0.13		0.19		0.38	0.13		0.13	0.13			
堺市		0.21	0.05	0.05	0.05		0.05	0.11		0.05	0.11	0.05				0.06			0.06			0.11	0.06	0.06	0.17	0.11	0.17		
泉州	0.05	0.15		0.15		0.05	0.05	0.10	0.05	0.05					0.05		0.15			0.05	0.05	0.10	0.10	0.10		0.05	0.20		
大阪市北部	0.14	0.14	0.07	0.14			0.07		0.07				0.07	0.14	0.50	0.14	0.21			0.07				0.14	0.36	0.14	0.07		
大阪市西部						0.22		0.11	0.11																	0.10	0.20		
大阪市東部		0.33	0.07	0.20	0.07	0.20	0.13	0.20	0.07		0.13	0.07	0.13		0.07			0.07				0.07			0.20				
大阪市南部		0.28	0.11	0.06	0.11						0.06	0.06	0.22	0.44	0.11	0.06	0.11	0.06	0.06	0.06	0.06	0.17	0.22	0.28	0.11				
合計	0.03	0.16	0.07	0.11	0.07	0.10	0.08	0.08	0.05	0.02	0.05	0.04	0.05	0.06	0.04	0.07	0.04	0.04	0.02	0.07	0.03	0.12	0.08	0.09	0.13	0.08	0.08		

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月				2月				3月				4月				5月				6月						
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月													1										1		1		
-11ヶ月		2	2	1	2	1		1		1			2		1		1		1	1		2	2	2	2	2	
1歳	1	10	6		3	4	5	4	3		4	1	3	2		9	1	6	1	6	1	8	6	4	5	7	3
2	2	4	1	5	3	2	1	3	3	1	2	2	3	2	1	2			1	2	2	6	2	6	7	1	4
3	1	9	2	9	3	1	5	2				1		1	1		3		1	1	1	1	2	1	5	1	3
4	1	2	2	3		5	1	2	3		1		1	4	3	1	2	2		1		2		3	2	3	2
5		2			1	3	1			1	1			1		1				1	1	4		1	1	2	
6				2	1	1	1	2						1							1				1		1
7					2	1	1			1		1											1	1			1
8			2					1									1										
9	1							1				1		1												2	
10-14			1			1						2				1								2			
15-19																										1	
20-												1															
合計	6	32	13	21	14	19	16	15	9	4	10	7	10	12	7	13	8	8	4	14	5	24	15	18	26	15	16

[各感染症データ]

手足口病

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
2	1	1	1			1	1	4	1					1				1	1		2					51
1		1			1		1		1	1					1					1					1	31
2	4	4	1	6	4	6	3	5	3	3	4	3		3					1	1	1			1	116	
		2	1	2	1	2		1	2	2	1	2	2	2	1								2		1	54
1	1	1	1	3		3		3		2	2	2	1	4	1	1			1	5					69	
4	2	1	4			1	3	2	2	1	1	3		1			2								55	
2	4	1	2	1		2	1	1	6	2	1	1		1		1	3	2							59	
1		1	3	1	2		3	3		4		1	1		1					2	2			1	1	62
		1		4				1		1										1	1				1	17
		1				1	3	1	2	1	1							1								41
1	1	1	2	3		2		2	1		1	1				1						1	1	1		67
14	13	15	15	20	8	18	15	23	18	17	11	13	4	10	4	3	5	4	7	9	5	3	3	4		622

7月				8月				9月				10月				11月				12月				平均		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
0.09	0.05	0.05	0.05			0.05	0.05	0.18	0.05					0.05	0.05			0.05	0.05		0.09				0.04	
0.06		0.06			0.06		0.06		0.06	0.06					0.06					0.06				0.06	0.03	
0.08	0.15	0.15	0.04	0.23	0.15	0.23	0.12	0.19	0.12	0.12	0.15	0.12	0.12	0.12	0.15	0.11	0.11			0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.08	
		0.10	0.05	0.10	0.05	0.10		0.05	0.10	0.10	0.05	0.11	0.11		0.05							0.10		0.05	0.05	
0.06	0.06	0.06	0.06	0.19		0.19		0.19		0.13	0.13	0.13	0.06	0.25	0.06	0.06			0.06	0.31					0.08	
0.22	0.11	0.06	0.22			0.06	0.17	0.11	0.11	0.05	0.05	0.16		0.05			0.11								0.06	
0.10	0.20	0.05	0.10	0.05		0.10	0.05	0.05	0.30	0.10	0.05	0.05		0.05		0.05	0.15	0.10							0.06	
0.07		0.07	0.21	0.07	0.14		0.21	0.21		0.29		0.07	0.07		0.07					0.14	0.14			0.07	0.07	0.08
		0.10		0.40				0.10		0.10											0.10	0.10			0.10	0.03
		0.07				0.07	0.20	0.07	0.13	0.07	0.07							0.07								0.05
0.06	0.06	0.06	0.11	0.17		0.11		0.11	0.06		0.06	0.06				0.06			0.06		0.06	0.06	0.06	0.06		0.07
0.07	0.07	0.08	0.08	0.10	0.04	0.09	0.08	0.12	0.09	0.09	0.06	0.07	0.02	0.05	0.02	0.02	0.03	0.02	0.04	0.05	0.03	0.02	0.02	0.02		0.06

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
			1						1	1																6
3	2	2	1	1				1	3	2	1	2		3						1						48
4	4	3	3	6	2	8	2	9	4	6	5	5	3	4	2	1	2	3	4	6	3		1	3	196	
3	1	2	3	6	3	1	4	4		6	2	2				1	2		1		1	3			113	
	2	2	4		1	1	4		4	1	2	2			1			1		2			1	1	83	
1		1	2			1	1	1	2	1	1	2		1								1		1	62	
1		1	1	3	2	2	1	2	1					1	1	1	1								39	
	1	2		1		1	1	3						1											21	
1	1																			1					12	
1			1			1	2		2																11	
				2		3			1																12	
	1	1		1				3					1						1						16	
	1																								2	
																									1	
14	13	15	15	20	8	18	15	23	18	17	11	13	4	10	4	3	5	4	7	9	5	3	3	4	622	

[各感染症データ]

伝染性紅斑

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊 能		4	6	3	2	2	1	3	2	2			1	1		3	1	1				3					
三 島		5	3	4	6	7	2	3	4	3	3	3	3		3				2								
北河内	1	10	8	7	4	6	2	4	3	4	3	1	1	2	1	2		4	1	3		1	1	1	1		
中河内		12	8	10	6	3	3	6	2	4	1		4	2		1	1	2	2								
南河内	12	35	20	16	14	17	3	1	13	11	10	10	13	6	4	2	1	1			1	1					
堺 市		5	5	3	1	2	3	4	3	2		2	2			1	1	1				1				2	
泉 州	1	8	10	8	8	4	3	5	5	4	3	5	4			1	1	1	1		1				1	1	1
大阪市北部	4	8	7	5	4		1	8	4	2	4	3	2	1	1		2			1							
大阪市西部				1	2	1		3				1	2	1								1					
大阪市東部	1	10	6	5	10	5	5	2	1	3	3		1	2	4	2	1			1				1			
大阪市南部		6	9	5	5	6	3	3	1		1	4		1		1							1				
合 計	19	103	82	67	62	53	26	42	38	36	29	27	34	20	13	13	7	10	6	5	2	7	2	2	3	1	

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊 能		0.18	0.27	0.14	0.09	0.09	0.05	0.14	0.09	0.09			0.05	0.05		0.14	0.05	0.05				0.14					
三 島		0.29	0.18	0.24	0.35	0.41	0.12	0.18	0.24	0.18	0.18	0.18	0.18		0.18				0.12								
北河内	0.04	0.37	0.30	0.26	0.15	0.22	0.07	0.15	0.11	0.15	0.11	0.04	0.04	0.07	0.04	0.07		0.15	0.04	0.11		0.04	0.04	0.04			
中河内		0.60	0.40	0.50	0.30	0.15	0.15	0.30	0.10	0.20	0.05		0.20	0.10		0.05	0.05	0.10	0.10								
南河内	0.75	2.19	1.25	1.00	0.88	1.06	0.19	0.06	0.81	0.69	0.63	0.63	0.81	0.38	0.25	0.13	0.06	0.06			0.06	0.06					
堺 市		0.26	0.26	0.16	0.05	0.11	0.16	0.21	0.16	0.11	0.11		0.11			0.06	0.06	0.06				0.06				0.11	
泉 州	0.05	0.40	0.50	0.40	0.40	0.20	0.15	0.25	0.25	0.25	0.20	0.15	0.25	0.20		0.05	0.05	0.05	0.05		0.05				0.05	0.05	
大阪市北部	0.29	0.57	0.50	0.36	0.29		0.07	0.57	0.29	0.14	0.29	0.21	0.14	0.07	0.07		0.14			0.07							
大阪市西部				0.11	0.22	0.11		0.33				0.11	0.22	0.11								0.11					
大阪市東部	0.07	0.67	0.40	0.33	0.67	0.33	0.33	0.13	0.07	0.20	0.20		0.07	0.13	0.27	0.13	0.07			0.07				0.07			
大阪市南部		0.33	0.50	0.28	0.28	0.33	0.17	0.17	0.06		0.06	0.22		0.06		0.06							0.06				
合 計	0.10	0.52	0.42	0.34	0.32	0.27	0.13	0.21	0.19	0.18	0.15	0.14	0.17	0.10	0.07	0.07	0.04	0.05	0.03	0.03	0.01	0.04	0.01	0.01	0.02	0.01	

3) 年齢別・週別報告状況

年 齢	1月					2月				3月				4月				5月				6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
- 5ヶ月						2	1			1												1					
- 11ヶ月																						1	1	1		1	
1歳		4	3	3	5	5	1	4	2	1	2		3	2	2	2	1	1	1			1			1		
2	1	8	4	4	4	5	2	5	3	3	1		4		2	3	2	1		2		1	1				
3	1	6	11	5	7	5	2	6	2	4	1	7	3	2	2		1	4			1						
4	4	11	10	15	10	5	3	7	9	13	5	6	3	1	1	2	2	2	3	2	1						
5	3	11	20	14	12	9	5	8	9	9	1	3	6	4	1	2			1			2		1			
6	3	23	8	7	8	5	7	4	4	3	7	5	6	4	1	1	1	1		1		1					
7	1	10	6	6	5	8		7	5	3	1	1	1	1	1	3											
8	2	11	12	4	2	4		4	1	2	3	2		3		1										1	
9	2	7	2	4	2	2	3	1	2			2	1		1				1								
10-14	2	10	5	5	4	4	3	3	2	2		2	4		2									1	1		
15-19																											
20-		2	1		1									1													
合 計	19	103	82	67	62	53	26	42	38	36	29	27	34	20	13	13	7	10	6	5	2	7	2	2	3	1	

[各感染症データ]

伝染性紅斑

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
				1													1					1				38
														1												52
	1	1											1	1		1						1	1	1		78
1																				1	2			3		75
1	1			1	1			1				1											1			198
																	1						1			40
										2				1									1	1		84
																								1		58
																										12
1					2			1																		67
			1	1								1			1						1	1				52
3	2	2	1	4	1			2		2	2	1	3	1	1	2				2	3	4	4	5		754

7月				8月				9月				10月				11月				12月				平均		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
				0.05													0.05					0.05				0.03
														0.06												0.06
	0.04	0.04											0.04	0.04	0.04							0.04	0.04	0.04		0.05
0.05																				0.05	0.10					0.07
0.06	0.06			0.06	0.06			0.06				0.06												0.06		0.23
																	0.05						0.05			0.04
										0.10					0.05								0.05	0.05		0.08
																								0.07		0.08
																										0.03
0.07				0.13				0.07																		0.08
			0.06	0.06							0.06				0.06						0.06	0.06				0.05
0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01			0.01		0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01				0.01	0.02	0.02	0.02	0.03	0.07

7月				8月				9月				10月				11月				12月				合計		
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週		52週	53週
																										1
					1										1						1				1	11
2			1	1							1		1	1		1					1	1		1		52
					1						1		1	1		1						1	1	1		63
	1			1								1	2				1				1	1				78
																		1							1	114
								2																		124
			1																					1		102
1				1																					2	63
			1																			1				55
																									1	31
	1																						1	1		54
																										0
																								1		6
3	2	2	1	4	1			2		2	2	1	3	1	1	2				2	3	4	4	5		754

[各感染症データ]

突発性発しん

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊 能		10	4	4	5	11	6	10	4	6	5	6	7	3	5	5	7	6	11	8	6	11	17	11	11	12	15
三 島		5	2		1	3	1	1	1	1	4	4	5	1	2	4	2	4	3	4	5	3	2	6	6	3	7
北河内	4	8	9	10	11	5	6	11	10	7	6	6	8	7	7	6	7	4	4	8	6	10	8	21	15	11	11
中河内	2	7	8	8	10	12	6	8	7	9	9	6	6	7	8	5	11	11	6	10	14	13	12	24	21	18	14
南河内	1	6	1	7	9	5	8	4	1	6	3	2	12	5	6	11	10	9	3	11	9	7	8	10	13	13	9
堺 市	1	4	1	1	2	3	3		2	1	1	2	5	3	4	3	2	2	2	4	4	1	5	6	4	5	9
泉 州	1	7	5	13	8	3	8	9	7	10	6	11	10	13	9	9	5	6	4	8	7	10	13	12	11	15	8
大阪市北部	1	2	5	3	7	9	2	4	2	1	4	5	11	9	8	6	4	2	6	6	7	4	7	9	15	13	9
大阪市西部	2	4	1	2	4	1	1	1	2	2	1	2	2	2	1	2	5	1	3	2	3	4	6	2	5	4	4
大阪市東部		4	4	3	2	3	2	5	3	1	1	1	1	2	3	1		7	3	3	1	2	5	4	3	4	7
大阪市南部		3	2	2	3	1	4	4	3	3	5	6	4	2	10	8	3	3	1	6	4	9	10	14	4	6	10
合 計	12	60	42	53	62	56	47	56	42	47	45	51	71	54	63	60	56	55	46	70	66	74	93	119	108	104	103

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊 能		0.46	0.18	0.18	0.23	0.50	0.27	0.46	0.18	0.27	0.23	0.27	0.32	0.14	0.23	0.23	0.32	0.27	0.50	0.36	0.27	0.50	0.77	0.50	0.50	0.55	0.68
三 島		0.29	0.12		0.06	0.18	0.06	0.06	0.06	0.06	0.24	0.24	0.29	0.06	0.12	0.24	0.12	0.24	0.18	0.24	0.29	0.18	0.12	0.35	0.35	0.18	0.41
北河内	0.15	0.30	0.33	0.37	0.41	0.19	0.22	0.41	0.37	0.26	0.22	0.22	0.30	0.26	0.26	0.22	0.26	0.15	0.15	0.30	0.23	0.39	0.31	0.81	0.58	0.42	0.42
中河内	0.10	0.35	0.40	0.40	0.50	0.60	0.30	0.40	0.35	0.45	0.45	0.30	0.30	0.35	0.40	0.25	0.55	0.55	0.30	0.50	0.70	0.65	0.60	1.20	1.05	0.90	0.70
南河内	0.06	0.38	0.06	0.44	0.56	0.31	0.50	0.25	0.06	0.38	0.19	0.13	0.75	0.31	0.38	0.69	0.63	0.56	0.19	0.69	0.56	0.44	0.50	0.63	0.81	0.81	0.56
堺 市	0.05	0.21	0.05	0.05	0.11	0.16	0.16		0.11	0.05	0.05	0.11	0.26	0.16	0.22	0.17	0.11	0.11	0.11	0.22	0.22	0.06	0.28	0.33	0.22	0.28	0.50
泉 州	0.05	0.35	0.25	0.65	0.40	0.15	0.40	0.45	0.35	0.50	0.30	0.55	0.50	0.65	0.45	0.45	0.25	0.30	0.20	0.40	0.35	0.50	0.65	0.60	0.55	0.75	0.40
大阪市北部	0.07	0.14	0.36	0.21	0.50	0.64	0.14	0.29	0.14	0.07	0.29	0.36	0.79	0.64	0.57	0.43	0.29	0.14	0.43	0.43	0.50	0.29	0.50	0.64	1.07	0.93	0.64
大阪市西部	0.22	0.44	0.11	0.22	0.44	0.11	0.11		0.22	0.22	0.11	0.22	0.22	0.22	0.11	0.22	0.56	0.11	0.33	0.22	0.33	0.44	0.67	0.20	0.50	0.40	0.40
大阪市東部		0.27	0.27	0.20	0.13	0.20	0.13	0.33	0.20	0.07	0.07	0.07	0.13	0.20	0.07		0.47	0.20	0.20	0.07	0.13	0.33	0.27	0.20	0.27	0.47	
大阪市南部		0.17	0.11	0.11	0.17	0.06	0.22	0.22	0.17	0.17	0.28	0.33	0.22	0.11	0.56	0.44	0.17	0.17	0.06	0.33	0.22	0.50	0.56	0.78	0.22	0.33	0.56
合 計	0.06	0.31	0.21	0.27	0.32	0.28	0.24	0.28	0.21	0.24	0.23	0.26	0.36	0.27	0.32	0.31	0.29	0.28	0.24	0.36	0.34	0.38	0.48	0.61	0.55	0.53	0.53

3) 年齢別・週別報告状況

年 齢	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月		1	2		2				1		1		2	1	1	1	1			1	2			3	4		
-11ヶ月	4	24	14	8	25	20	10	16	16	17	16	18	23	19	23	17	21	23	19	29	18	27	22	40	39	33	30
1歳	4	28	22	38	31	26	29	30	19	23	19	26	38	26	29	37	28	23	17	35	41	38	46	64	53	59	59
2	4	5	2	6	4	7	5	6	5	6	7	6	4	8	7	4	5	6	7	2	5	8	18	8	9	7	11
3		2	1			1	2	2	1	1	1	1	3		3	1	1	2	2	3		1	4	2	2	5	2
4				1		2	1	2				1		1			1						2	2	1		1
5			1																								
6																							1				
7																											
8																											
9																											
10-14																											
15-19																											
20-																				1							
合 計	12	60	42	53	62	56	47	56	42	47	45	51	71	54	63	60	56	55	46	70	66	74	93	119	108	104	103

[各感染症データ]

突発性発しん

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
13	11	11	13	9	4	12	6	9	9	9	4	9	13	7	8	12	4	8	4	5	9	7	6	4		412
7	5	3	6	3	3	5	3	7	2	3	5	4	5	4	7	5	7	4	3	3	1	4		2		181
22	19	14	22	11	16	17	16	22	11	11	17	11	15	12	17	12	8	8	20	14	11	13	9	7	6	587
20	14	13	19	15	2	15	11	19	14	15	8	11	14	9	8	8	9	12	6	8	10	9	14	4	4	563
6	13	10	9	11	9	6	10	12	27	15	6	4	6	8	4	6	5	15	10	5	5	6	8	7	3	415
1	6	5	2	4	4	4	3	7	5	2	2	2	6	3	3	2	1	4	7	3	1	6	5	6		174
16	9	9	9	16	6	6	14	10	8	10	11	15	6	10	20	11	13	7	9	6	11	7	10	5	5	487
6	9	12	14	4	7	9	9	8	10	10	1	5	6	6	4	6	6	5	11	10	1	9	4	5	2	340
3	5	3	3	4	5	5	8	2	5	2	4	6	4	3	6	2	1	2	2	5	4	4	3	4		163
3	9	3	4	6	7	8	5	10	1	5	3	6	4	1	4	3	2	5	3	1	2	4	3	1	1	179
11	11	8	13	7	4	5	10	10	5	6	6	5	6	10	9	5	4	8	4	7	9	5	2	5	3	308
108	111	91	114	90	67	92	95	116	97	88	67	78	85	73	90	72	60	78	79	67	64	74	64	50	24	3,809

7月				8月				9月				10月				11月				12月			平均			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
0.59	0.50	0.50	0.59	0.41	0.18	0.55	0.27	0.41	0.41	0.41	0.18	0.41	0.59	0.32	0.36	0.55	0.18	0.36	0.18	0.23	0.41	0.32	0.27	0.18		0.35
0.41	0.29	0.18	0.35	0.18	0.18	0.29	0.18	0.41	0.12	0.18	0.29	0.24	0.29	0.24	0.41	0.29	0.41	0.24	0.18	0.18	0.06	0.24		0.12		0.20
0.85	0.73	0.54	0.85	0.42	0.62	0.65	0.62	0.85	0.42	0.42	0.65	0.42	0.58	0.46	0.65	0.46	0.31	0.31	0.77	0.54	0.42	0.50	0.35	0.27	0.23	0.42
1.00	0.70	0.65	0.95	0.75	0.10	0.75	0.55	0.95	0.70	0.75	0.42	0.58	0.74	0.47	0.42	0.42	0.45	0.60	0.30	0.40	0.50	0.45	0.70	0.20	0.20	0.53
0.38	0.81	0.63	0.56	0.69	0.56	0.38	0.63	0.75	1.69	0.94	0.38	0.25	0.38	0.50	0.25	0.38	0.31	0.94	0.63	0.31	0.31	0.38	0.50	0.44	0.19	0.49
0.06	0.33	0.28	0.11	0.22	0.22	0.22	0.17	0.37	0.26	0.11	0.11	0.11	0.32	0.16	0.16	0.11	0.05	0.21	0.37	0.16	0.05	0.32	0.26	0.32		0.18
0.80	0.45	0.45	0.45	0.80	0.30	0.30	0.70	0.50	0.40	0.50	0.55	0.75	0.30	0.50	1.00	0.55	0.65	0.35	0.45	0.30	0.55	0.35	0.50	0.25	0.25	0.46
0.43	0.64	0.86	1.00	0.29	0.50	0.64	0.64	0.57	0.71	0.71	0.07	0.36	0.43	0.43	0.29	0.43	0.43	0.36	0.79	0.71	0.07	0.64	0.29	0.36	0.14	0.46
0.30	0.50	0.30	0.30	0.40	0.50	0.50	0.80	0.20	0.50	0.20	0.40	0.60	0.40	0.30	0.60	0.20	0.10	0.20	0.20	0.50	0.40	0.40	0.30	0.40		0.32
0.20	0.60	0.20	0.27	0.40	0.47	0.53	0.33	0.67	0.07	0.33	0.20	0.40	0.27	0.07	0.27	0.20	0.13	0.33	0.20	0.07	0.13	0.27	0.20	0.07	0.07	0.23
0.61	0.61	0.44	0.72	0.39	0.22	0.28	0.56	0.56	0.28	0.33	0.33	0.29	0.35	0.59	0.53	0.29	0.24	0.47	0.24	0.41	0.53	0.29	0.12	0.29	0.18	0.33
0.55	0.57	0.46	0.58	0.46	0.34	0.47	0.49	0.59	0.49	0.45	0.34	0.40	0.44	0.37	0.46	0.37	0.31	0.40	0.40	0.34	0.33	0.38	0.33	0.26	0.12	0.37

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計				
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週		
2			1	1	2			2	1	1	1	1	2											1	1		43
27	31	27	35	29	14	18	24	33	15	29	15	26	28	16	25	21	20	26	30	18	17	16	25	20	6	1,162	
64	61	50	61	42	40	50	54	66	67	45	41	34	44	38	52	40	30	38	34	34	35	36	34	20	14	2,012	
11	16	7	11	11	9	16	8	12	10	10	7	8	10	13	11	8	8	11	12	12	8	16	2	7	2	428	
2	1	4	2	6	3	5	4	2	3	1	1	5	2	4	1	1	1	1	1	3	2	4	1	2	1	106	
	1	2	3		1	2	3	2	1	2	2	3	1	2	1	1	1	1				2	2	1	1		50
2			1			1																					5
																											1
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
																											0
1																											2
108	111	91	114	90	67	92	95	116	97	88	67	78	85	73	90	72	60	78	79	67	64	74	64	50	24	3,809	

[各感染症データ]

ヘルパンギーナ

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月								
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週		
豊能				1		2														1							1	1	
三島		2	1	4	2	2	2		4	3	2	2	2		2					3			2	2	3	3	3	3	5
北河内									1				1	1			1	1					1				3		2
中河内					2													1	1			1			1				1
南河内															2			1						1	1				1
堺市					1	1	1											1	1				2	1					2
泉州															2		1	1	1			1	6	12	4	1		5	3
大阪市北部					1									3	1		1										1		2
大阪市西部																								2					3
大阪市東部								1																					
大阪市南部				1		1	1	1		2	1		1		2							1			1		1		3
合計		2	1	6	6	6	4	2	5	5	3	2	4	4	9		4	5		3	4	9	18	8	6	9	11	20	

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月				2月				3月				4月				5月				6月								
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週		
豊能				0.05		0.09														0.05							0.05	0.05	
三島		0.12	0.06	0.24	0.12	0.12		0.24	0.18	0.12	0.12	0.12		0.12						0.18		0.12	0.12	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.29
北河内								0.04					0.04	0.04			0.04	0.04				0.04					0.12		0.08
中河内					0.10														0.05			0.05			0.05				0.05
南河内															0.13			0.06						0.06	0.06				0.06
堺市					0.05	0.05	0.05										0.06	0.06				0.11	0.06						0.11
泉州															0.10		0.05	0.05	0.05		0.30	0.60	0.20	0.05		0.25	0.15		0.15
大阪市北部					0.07								0.21	0.07			0.07										0.07		0.14
大阪市西部																								0.22					0.30
大阪市東部								0.07																					
大阪市南部				0.06		0.06	0.06		0.11	0.06		0.06		0.11						0.06					0.06		0.06		0.17
合計		0.01	0.01	0.03	0.03	0.03	0.02	0.01	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02	0.05		0.02	0.03	0.02	0.02	0.05	0.09	0.04	0.03	0.05	0.06	0.10		0.10

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月				2月				3月				4月				5月				6月								
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週		
-5ヶ月							1																						
-11ヶ月					1																	1	1	1	1	3			2
1歳				2					1				2	1		1	1				5	7	1	1	1		4	9	
2					2					1			1	1	1	1	2	2			3	3	2			1	1	2	
3								1		1								1	1	1				4	2	1		2	2
4					1	1							1	1	1	1								1				1	1
5					1			1																				1	1
6															1							1							1
7						1	1																						
8																													
9																1						1							
10-14						1				1																		1	
15-19				1	4										1														
20-			2			2	2	2		4	3	2	2	2	3							3		2	2	3	3	2	2
合計		2	1	6	6	6	4	2	5	5	3	2	4	4	9		4	5		3	4	9	18	8	6	9	11	20	

[各感染症データ]

ヘルパンギーナ

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計				
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週	
		3	2	1	3	3	5	1	1	4			1	2	6	3	3	1	2	1	4	5			1		58
2		1	4	10	4	3	7	5	5	10	1	2	2	3	3	6	6	6	3	2	3			3	1	2	143
2	1	2	4		1	2	8	4	3	2		13	12	7	15	8	17	7	13	4	7	3				2	148
	1	1	1	2				2	2	2	4	7	12	5	6	9	1	5	6		2	2	1				77
		4	1	2	1	2	7	2	6	9	6	16	22	21	17	16	12	25	18	9	12	1	2	3			220
			1	3	2	3	3	10	21	17	3	9	6	14	15	2	1	3	4	5	2						134
15	26	13	20	21	9	22	32	20	28	16	11	15	11	7	4	6	5	3	1	1	1	1					324
1	3	2	5	5	7	4	2	2	9	10	4	5	3	16	5	3	2	1	3	1	2	1	2	2	2		109
		1	1	5	1	2	1	3	4	1	2	3	2	1	4	5	7	1	2	2	3	5	1	3	2		67
		2		2				1	1		1				3		1	1	5	1	6	6		1			32
1			2	1	1	5	13	14	13	22	26	18	10	13	18	26	14	4	5	10	4	3	3				242
21	31	29	40	52	29	46	80	64	93	95	61	94	75	94	96	76	71	59	55	41	47	21	11	11	11	6	1,554

7月				8月				9月				10月				11月				12月			平均				
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週	
		0.14	0.09	0.05	0.14	0.14	0.23	0.05	0.05	0.18		0.05	0.09	0.27	0.14	0.14	0.05	0.09	0.05	0.18	0.23			0.18	0.06	0.12	0.16
0.12		0.06	0.24	0.59	0.24	0.18	0.41	0.29	0.29	0.59	0.06	0.12	0.12	0.18	0.18	0.35	0.35	0.35	0.18	0.12	0.18			0.18	0.06	0.12	0.16
0.08	0.04	0.08	0.15		0.04	0.08	0.31	0.15	0.12	0.08		0.50	0.46	0.27	0.58	0.31	0.65	0.27	0.50	0.15	0.27	0.12			0.08	0.11	
	0.05	0.05		0.10			0.10	0.10	0.10	0.20	0.37	0.63	0.26	0.32	0.47	0.05	0.25	0.30		0.10	0.10	0.05				0.07	
		0.25	0.06	0.13	0.06	0.13	0.44	0.13	0.38	0.56	0.38	1.00	1.38	1.31	1.06	1.00	0.75	1.56	1.13	0.56	0.75	0.06	0.13	0.19		0.26	
			0.06	0.17	0.11	0.17	0.17	0.53	1.11	0.90	0.16	0.47	0.32	0.74	0.79	0.11	0.05	0.16	0.21	0.26	0.11					0.13	
0.75	1.30	0.65	1.00	1.05	0.45	1.10	1.60	1.00	1.40	0.80	0.55	0.75	0.55	0.35	0.20	0.30	0.25	0.15	0.05	0.05	0.05	0.05				0.31	
0.07	0.21	0.14	0.36	0.36	0.50	0.29	0.14	0.14	0.64	0.71	0.29	0.36	0.21	1.14	0.36	0.21	0.14	0.07	0.21	0.07	0.14	0.07	0.14	0.14		0.15	
		0.10	0.10	0.50	0.10	0.20	0.10	0.30	0.40	0.10	0.20	0.30	0.20	0.10	0.40	0.50	0.70	0.10	0.20	0.20	0.30	0.50	0.10	0.30	0.20		0.13
		0.13		0.13				0.07	0.07		0.07				0.20		0.07	0.07	0.33	0.07	0.40	0.40	0.07		0.07		0.04
0.06			0.11	0.06	0.06	0.28	0.72	0.78	0.72	1.22	1.06	0.59	0.77	1.06	1.53	0.82	0.24	0.29	0.59	0.24	0.18	0.18				0.26	
0.11	0.16	0.15	0.20	0.27	0.15	0.24	0.41	0.33	0.47	0.48	0.31	0.48	0.39	0.48	0.49	0.39	0.36	0.30	0.28	0.21	0.24	0.11	0.06	0.06	0.03	0.15	

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計				
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週	
				1						1	1																5
	1	5	3	5	3	7	6	5	6	9	5	6	5	11	5	2	4	6	2		2	2	1				110
9	13	8	16	12	15	15	30	22	44	41	20	31	28	33	31	30	28	22	18	21	18	5	3	4		555	
5	7	5	8	13	4	8	24	18	22	27	16	32	17	24	36	16	19	18	19	10	13	4	1	3	3	3	395
	1	1	3	7	2	4	7	8	8	5	10	14	12	13	13	14	6	7	8	4	3	4	2	3			175
1	2	4	2	8	2	3	2	7	4	7	5	4	4	7	5	8	3	4	2	6	3	3					105
1		1	3	3	1	2	2	2	5	4	2	3	1		3	2						1	1	2			45
	1	2	1	1		1	1	1	2		1	1	5	3			2						1				26
1		1				1									1		1					1			1	1	11
2	1			1	1							1		1	1					1							11
	2	1				1	2										1										9
		2						1					1	1		1	2							1			12
			1			1	3					1	1														13
2	1	1	3	1	1	3	2		2	1		2	1		1	3	3	2	3	2	3		2		2	2	82
21	31	29	40	52	29	46	80	64	93	95	61	94	75	94	96	76	71	59	55	41	47	21	11	11	11	6	1,554

[各感染症データ]

流行性耳下腺炎

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月				3月					4月				5月			6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能							1	1	1		1							1				1				2	
三島			1	2		1		2	3		1			4	1	3	1	2		1	2		1	3	1		1
北河内	1	1	5	3	2		2	2	1			1	1	1	1	2	1	1	3	2	4	3	2	5	2	3	3
中河内			2	1	1	1		1		1	3					1		3	1		1		1		2	1	1
南河内		2	2	2	1			1		1	2			1				3		2		2	3		3		5
堺市		2		2		1					4		1								1		5		1	1	2
泉州			1	1	2				1			1	2	2	1	4	2	2		2	2			1	3	2	
大阪市北部						1	2		1	1	2		1					3	2	2	1	1		2	1	1	
大阪市西部			1	1			3		2			4			2			1	2	1		1	2			1	2
大阪市東部		2	1		1		1			1	2				1	1			2		2	1		1		1	
大阪市南部			3				1	1		1		1	1		2	1	2				1		1		1	1	1
合計	1	10	16	17	7	3	11	7	9	5	15	7	6	8	7	12	7	16	10	11	13	14	10	13	16	12	13

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月				3月					4月				5月			6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能		0.14		0.09			0.05	0.05	0.05		0.05							0.05				0.05			0.09		
三島			0.06	0.12		0.06		0.12	0.18		0.06			0.24	0.06	0.18	0.06	0.12		0.06	0.12		0.06	0.18	0.06		0.06
北河内	0.04	0.04	0.19	0.11	0.07		0.07	0.07	0.04		0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.07	0.04	0.04	0.11	0.07	0.15	0.12	0.08	0.19	0.08	0.12	0.12
中河内			0.10	0.05	0.05		0.05			0.05	0.15					0.05		0.15	0.05		0.05		0.05		0.10	0.05	0.05
南河内		0.13	0.13	0.13	0.06			0.06		0.06	0.13			0.06				0.19		0.13		0.13	0.19		0.19		0.31
堺市		0.11		0.11		0.05					0.21		0.05							0.06		0.28		0.06	0.06	0.11	
泉州			0.05	0.05	0.10				0.05		0.05	0.10	0.10	0.05	0.20	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10				0.05	0.15	0.10	
大阪市北部				0.21		0.07	0.14		0.07	0.07	0.14		0.07					0.21	0.14	0.14	0.07	0.07		0.14	0.07	0.07	
大阪市西部			0.11	0.11			0.33		0.22			0.44			0.22			0.11	0.22	0.11		0.11	0.22			0.10	0.20
大阪市東部		0.13	0.07		0.07		0.07			0.07	0.13				0.07	0.07		0.13		0.13	0.07		0.07		0.07		0.07
大阪市南部			0.17				0.06	0.06		0.06	0.06				0.11	0.06	0.11				0.06		0.06		0.06	0.06	0.06
合計	0.01	0.05	0.08	0.09	0.04	0.02	0.06	0.04	0.05	0.03	0.08	0.04	0.03	0.04	0.04	0.06	0.04	0.08	0.05	0.06	0.07	0.07	0.05	0.07	0.08	0.06	0.07

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月					2月				3月					4月				5月			6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月			1																								
-11ヶ月																											
1歳			1			1					1								1	1							1
2							1		1		1	2	1	3	1						1		1		1		
3		1		1	1		3	3			1		1			1		1		2	4	1		2	3	2	
4		2	5	2	2				1	2	3				2	1	3	2	1	2	1	1	1	2		2	
5			1	2	1				1	2	3	2	3			1	2	1	3					3	2	3	6
6	1	2	1	4	1		1				1	1		1	1	4		4	1		2	3	2	1	6		1
7		1	2	4		1	2		2	1	2				2		1	1		2	1		1	2			1
8							1	1				1				1		1	4	3	1	3	1				
9		3		1		1	2	1			2					2		1		1	1	2				2	
10-14		1	3	3	2				2		2		1	1	1	1	1	2				4	1	4	1	1	4
15-19			1				1											1									1
20-			1					2	2					3		1					2						
合計	1	10	16	17	7	3	11	7	9	5	15	7	6	8	7	12	7	16	10	11	13	14	10	13	16	12	13

[各感染症データ]

流行性耳下腺炎

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
		1													1			2	1	1						22
	5	1	1		2	1	2	3	1	3	3	2	1	3	1	2		2		1			3		2	69
	5	1	4	2	2	2	1	2	1	2	2	2	3					2	1	3	2	1	4	3	1	98
	1	1	1	1	1	2		1		1		4			1	3			1	1	1	1	1	1	2	44
	1	4	1	4	1		3	1	1		1	2	3		1	3			2		3			3	2	66
	1	1							1		1	2		2				1	3		1		2	1		36
	2	1	2		2	1	2	1	2				1	2		1	1	2			2	1		3		58
	1			1	1	3	3	1	5	2			1	1	1			2	2	2		1	1	1	2	53
	1			2	2	2	1				2	2	1		1	1	1			2					1	42
	1	2	1	1		2				2	1		2			1	1	1	1		1	2		2	1	38
			3	1		1	1	1				1	2		1	1				1				1		32
5	19	9	17	11	11	17	7	15	6	13	12	15	12	10	7	10	2	14	10	10	9	8	14	14	5	558

7月				8月				9月				10月				11月				12月			平均			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
		0.05											0.09			0.05		0.09	0.05	0.05		0.05			0.12	0.02
	0.29	0.06	0.06		0.12	0.06	0.12	0.18	0.06	0.18	0.18	0.12	0.06	0.18	0.06	0.12		0.12		0.06		0.18		0.12		0.08
	0.19	0.04	0.15	0.08	0.08	0.08	0.04	0.08	0.04	0.08	0.08	0.08	0.12					0.08	0.04	0.12	0.08	0.04	0.15	0.12	0.04	0.07
	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.10		0.05	0.05	0.05	0.21				0.05	0.16				0.05	0.05	0.05	0.05	0.10	0.10	0.04
0.06	0.25	0.06	0.25	0.06		0.19	0.06	0.06		0.06	0.13	0.19		0.06	0.19			0.13	0.19				0.19	0.13		0.08
0.06	0.06								0.05		0.05	0.11		0.11				0.05	0.16		0.05		0.11	0.05		0.04
0.10	0.05	0.10		0.10	0.05	0.10	0.05	0.10	0.05	0.10			0.05	0.10		0.05	0.05	0.10		0.10	0.05	0.15				0.05
0.07			0.07	0.21	0.21	0.07	0.36	0.14			0.07	0.07		0.07	0.07			0.14	0.14		0.07	0.07	0.07	0.07	0.14	0.07
	0.10		0.20	0.20	0.20	0.10				0.20	0.20	0.10		0.10	0.10	0.10			0.20					0.10		0.08
	0.07	0.13	0.07	0.07		0.13				0.13	0.07		0.13			0.07	0.07	0.07		0.07	0.13		0.13	0.07		0.05
			0.17	0.06		0.06	0.06	0.06			0.06	0.06		0.12		0.06	0.06			0.06			0.06			0.03
0.03	0.10	0.05	0.09	0.06	0.06	0.09	0.04	0.08	0.03	0.07	0.06	0.08	0.06	0.05	0.04	0.05	0.01	0.07	0.05	0.05	0.05	0.04	0.07	0.07	0.03	0.05

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計				
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週	
																										1	
																1					1	2				0	
				1			1	1	1			1	2				1				1	2		1		11	
		1				4		2		2	3	2	1	3	2	2		4	3	1	1	1			1	25	
		3	4	2		2	1	3	2	3	1	2	3	3		1	2	1	1	1	1		4	3		69	
	1	3		4		1	4	1	1		2		2	1	2	1			1	1	2	1	1	2		84	
	1	1		1	1	3	2		2		2	3	4	1	1	2		1	1		1	2	3	1		69	
	1		3	5	5	1	2		1	1	1	1		2		2		1	2	2	2		1	1		51	
	1		2			1		1	1	1	1	1		1	1			2		1		1				33	
	1	5	1	2	3	1	2	1	1		2	2	4	2		1			3		1			1	1	2	71
	1																								1		6
		4				1			3		2											3			3		30
5	19	9	17	11	11	17	7	15	6	13	12	15	12	10	7	10	2	14	10	10	9	8	14	14	5	558	

[各感染症データ]

急性出血性結膜炎

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能																											
三島																											
北河内														1													
中河内			1	1																1							
南河内																											
堺市																					1			1	1		
泉州		2																									
大阪市北部																											
大阪市西部																											
大阪市東部																											
大阪市南部																											
合計		2	1	1										1						1		1		1	1		

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能																											
三島																											
北河内														0.17													
中河内			0.20	0.20																0.20							
南河内																											
堺市																						0.20		0.20	0.20		
泉州		0.33																									
大阪市北部																											
大阪市西部																											
大阪市東部																											
大阪市南部																											
合計		0.04	0.02	0.02										0.02						0.02		0.02		0.02	0.02		

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月																											
-11ヶ月																											
1歳																											
2																											
3																											
4																											
5																											
6																											
7																											
8																											
9																											
10-14																											
15-19																											
20-		2	1	1										1						1		1		1	1		
合計		2	1	1										1						1		1		1	1		

[各感染症データ]

急性出血性結膜炎

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
																										0
																										0
																					1					2
																				1						4
																										0
																										3
																										2
																										0
																										0
																										0
																										0
																										11

7月				8月				9月				10月				11月				12月			平均			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
																										0.00
																										0.00
																					0.17					0.01
																				0.20						0.02
																										0.00
																										0.01
																										0.01
																										0.00
																										0.00
																										0.00
																										0.00
																										0.00
																										0.00
																					0.04					0.00

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										0
																										11
																					2					11

[各感染症データ]

流行性角結膜炎

1) ブロック別・週別報告状況

ブロック	1月					2月					3月					4月				5月			6月					
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	
豊能		1				3	1	2	1	2				1							1	1						2
三島	1	2	1	2	1				1		2	1	1					2					1				1	
北河内		2	1	2	3	1	1		1	2	1		6	1	1	2	2		3			1	1	2	2	1	1	
中河内		1	1	1			1			1	2			2						1							1	
南河内				3		2	1	1			1	1		1		1						1			1	1		
堺市		1								1	1	1		2								1					1	
泉州		2	2				2	1	1		1	1	1		1							2			1	1	1	
大阪市北部				1		2	1	2	1	3	1	1	4	1	1			1						1				
大阪市西部					1	1		1	1		1		1	1		1				1								
大阪市東部		1			1	2	1		2	1			2		1	1	3	3					1			2	2	
大阪市南部		2							1															1			1	
合計	1	12	5	9	10	9	9	7	9	10	8	6	14	9	4	6	7	4	3	3	1	6	3	5	4	4	9	

2) ブロック別・週別定点あたり報告状況

ブロック	1月					2月					3月					4月				5月			6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
豊能		0.20			0.60	0.20	0.40	0.20	0.40			0.20		0.20						0.20		0.20					0.40
三島	0.25	0.50	0.25	0.50	0.25			0.25		0.50	0.25	0.25					0.50					0.25					0.25
北河内		0.33	0.17	0.33	0.50	0.17	0.17		0.17	0.33	0.17		1.00	0.17	0.17	0.33	0.33		0.50			0.17	0.17	0.33	0.33	0.17	0.17
中河内		0.20	0.20	0.20			0.20			0.20	0.40			0.40						0.20							0.20
南河内				0.75		0.50	0.25	0.25			0.25	0.25		0.25		0.25						0.25		0.25	0.25		
堺市		0.20			0.20					0.20	0.20	0.20		0.40		0.20					0.20						0.20
泉州		0.33	0.33			0.33	0.17	0.17		0.17	0.17	0.17		0.17				0.20				0.33			0.17	0.17	0.17
大阪市北部				0.20		0.40	0.20	0.40	0.20	0.60	0.20	0.80	0.20	0.20				0.20						0.20			
大阪市西部					0.50	0.50		0.50	0.50		0.50		0.50	0.50		0.50				0.50							
大阪市東部		0.17			0.17	0.33	0.17		0.33	0.17			0.33		0.17	0.17	0.50	0.50					0.17			0.33	0.33
大阪市南部		0.50							0.25															0.25			0.25
合計	0.02	0.23	0.10	0.17	0.19	0.17	0.17	0.14	0.17	0.19	0.15	0.12	0.27	0.17	0.08	0.12	0.14	0.08	0.06	0.06	0.02	0.12	0.06	0.10	0.08	0.08	0.17

3) 年齢別・週別報告状況

年齢	1月					2月					3月					4月				5月			6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
-5ヶ月																											
-11ヶ月							1																				
1歳												1															
2			1																								
3		1						1	1	2																	
4		1		1																							1
5							1						1														
6																											
7								1		1																	1
8							1				1							1									
9																											
10-14		1		1										1		1											
15-19		1					1				1																1
20-	1	8	4	7	10	7	6	5	7	8	7	5	13	8	4	5	7	3	3	3	1	6	3	5	4	3	7
合計	1	12	5	9	10	9	9	7	9	10	8	6	14	9	4	6	7	4	3	3	1	6	3	5	4	4	9

[各感染症データ]

流行性角結膜炎

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
	1		2	1		1									1	1	2	1				1	1	1		22
						1		5	1	2	1					1	1	2	1			1	1	1		34
	1	2	1			1	1	2	1			1	2	1		1		3	1	4	1					60
1				1		1	1		4			1	1	2		2		1	2		1	4				33
1	1	1					2				3			1				1	1	2	1					28
1		1	4	2			1			1			2	1	1	1	2	1	1	2		1	1			30
						1	4	2	1		1	1		1	2			1	2	1	2	2	1			39
						1		1	2				4	1	1	1			1	1	1			1		33
	1				1		1	1						1					1							15
			1			2	2	2	3	1		2	1		1		3		4	3	1	2	1			52
		1	1			1	1				1		1		1											13
3	4	5	9	5		9	13	13	13	4	6	5	9	9	6	6	5	10	11	10	8	8	9	2		359

7月				8月				9月				10月				11月				12月			平均			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
	0.20		0.40	0.20		0.20										0.25	0.25	0.50	0.25				0.25	0.25	0.25	0.08
						0.25		1.25	0.25	0.50	0.25					0.25	0.25	0.50	0.25			0.25	0.25	0.25		0.16
	0.17	0.33	0.17			0.17	0.17	0.33	0.17			0.17	0.33	0.17		0.17		0.50		0.17	0.67	0.17				0.19
0.20				0.20		0.20	0.20		0.80			0.20	0.20	0.40		0.40		0.20	0.40		0.40	0.20	0.80			0.12
0.25	0.25	0.25					0.50				0.75							0.25	0.25	0.50	0.25					0.13
0.20		0.20	0.80	0.40			0.20			0.20				0.40	0.20	0.20	0.20	0.40	0.20			0.20	0.20			0.11
						0.17	0.67	0.33	0.17		0.17	0.17		0.17	0.33			0.17	0.33	0.17	0.33	0.33	0.17			0.12
						0.20	0.20	0.40						0.80	0.20	0.20	0.20		0.20	0.20		0.20	0.20		0.20	0.12
	0.50			0.50			0.50	0.50							0.50						0.50					0.14
			0.17			0.33	0.33	0.33	0.50	0.17		0.33	0.17		0.17		0.50		0.67	0.50	0.17	0.33	0.17			0.16
		0.25	0.25			0.25	0.25		0.25	0.25	0.25		0.25		0.25											0.06
0.06	0.08	0.10	0.17	0.10		0.17	0.25	0.25	0.25	0.08	0.12	0.10	0.17	0.17	0.12	0.12	0.10	0.19	0.21	0.19	0.15	0.15	0.17	0.04		0.13

7月				8月				9月				10月				11月				12月			合計			
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週		51週	52週	53週
			1																							1
													1				1									3
							1											1	1		1		1			4
				1																						4
													1						1							7
													1						1							6
																										2
												1														1
		1																							1	5
																										3
																										0
										1																5
							1	1	1																	12
3	4	4	8	4		9	11	12	11	4	6	4	6	9	6	5	3	6	10	8	7	7	8	1		306
3	4	5	9	5		9	13	13	13	4	6	5	9	9	6	6	5	10	11	10	8	8	9	2		359

II 五類定点把握感染症 (性感染症)

II 五類定点把握感染症（性感染症）

1) はじめに

本調査の対象疾患は、「性器クラミジア感染症」「性器ヘルペスウイルス感染症」「尖圭コンジローマ」「淋菌感染症」の4疾患である。

性器ヘルペスウイルス感染症については、届出基準の改正に伴い、2006年4月から明らかに再発であるものは除外されている。

2) 概況

2020年における大阪府の年間患者報告数(定点あたり)は、4,864人(76.10人)であった。過去4年間の動向は、2016年は4,502人(68.21人)、2017年は4,825人(71.84人)、2018年は4,639人(68.92人)、2019年は4,815人(71.53人)となっており、患者報告数は、ほぼ横ばいであり、定点あたり報告数は約70~80人の間で変動がみられる。

全国では、51,539人(70.44人)の報告があった。2016年は47,598人(48.32人)、2017年は47,677人(48.26人)、2018年は47,677人(49.06人)、2019年は47,677人(48.21人)となっており、2020年は増加している。

3) 疾患別患者数

疾患別にみると、大阪府では性器クラミジア感染症の患者報告数が2,557人と、前年に引き続き最も多く、全体の52.6%を占めていた。

以下、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマの順となっている。

(図1.2)

図1 大阪 疾病別割合（男女計）2020年
合計 4,864人（前年 4,815人）

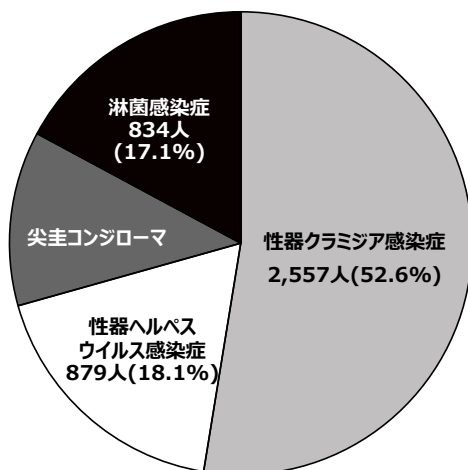
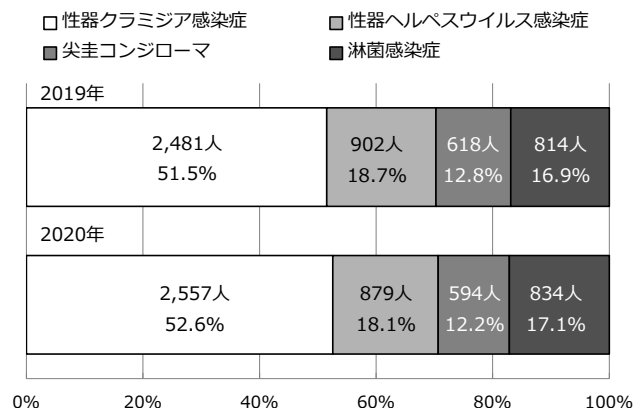


図2 大阪 疾病別割合（男女計）
2019年・2020年



全国でも、性器クラミジア感染症の患者報告数が 28,832 人と、前年に引き続き最も多く、全体の 55.1%を占めた。

以下、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症、尖圭コンジローマの順となっており、大阪と同じ順番である。(図 3.4)

図 3 全国 疾病別割合 (男女計) 2020 年
合計 51,539 人 (前年 46,855 人)

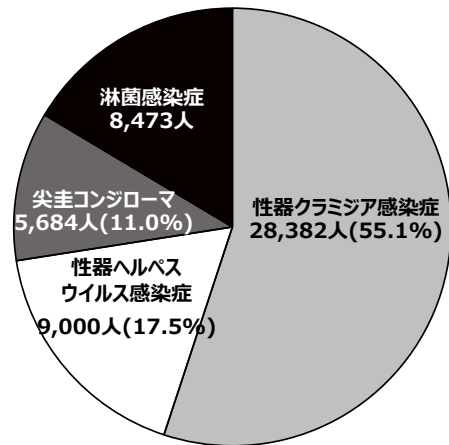
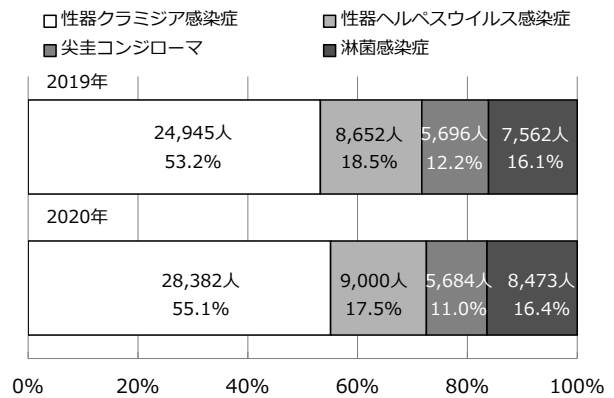


図 4 全国 疾病別割合 (男女計)
2019 年・2020 年



4) 男女別患者数

大阪府の男性患者数は、2,373 人と、前年より 205 人減少している。疾患別の前年比は、性器クラミジア感染症(-71 人)、性器ヘルペスウイルス感染症(-77 人)、尖圭コンジローマ(-64 人)、淋菌感染症(+7 人)であり、淋菌感染症以外は減少していた。(図 5)

図 5 大阪 疾病別割合 (男) 2020 年
合計 2,373 人 (前年 2,578 人)

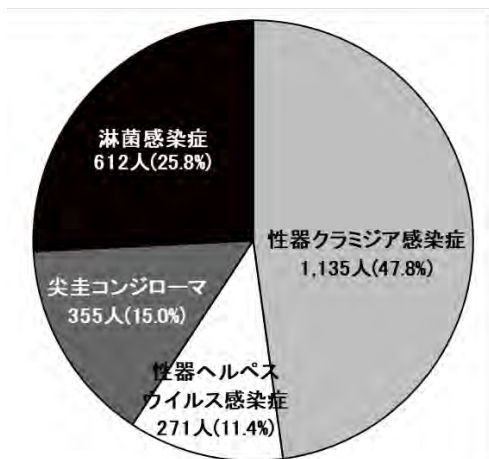
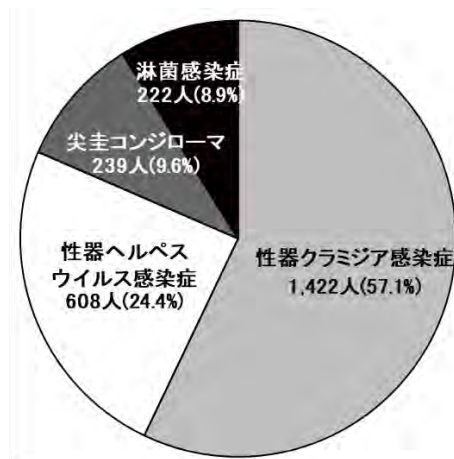


図 6 大阪 疾病別割合 (女) 2020 年
合計 2,491 人 (前年 2,237 人)



大阪府の女性患者数は、2,491人と、前年より254人増加している。疾患別の前年比は、性器クラミジア感染症(+147人)、性器ヘルペスウイルス感染症(+54人)、尖圭コンジローマ(+40人)、淋菌感染症(+13人)であった。女性患者数は全疾患で増加していた。(図6) また、性別の割合で見ると、大阪府全体では女性が51.2%(前年 男性53.5%)を占めている。疾患別では、男性の割合が高いのは、淋菌感染症73.4%(前年 74.3%)、尖圭コンジローマ59.8%(前年 67.8%)で、女性の割合が高いのは、性器ヘルペスウイルス感染症69.2%(前年 61.4%)、性器クラミジア感染症55.6%(前年 51.4%)となっている。傾向は概ね前年と変わらないが、性器ヘルペスと性器クラミジアの女性の割合は前年より高くなった。

全国の男性患者数は、28,341人と、前年より2,636人増加している。疾患別の前年比は、性器クラミジア感染症(+1,914人)、性器ヘルペスウイルス感染症(+108人)、尖圭コンジローマ(-154人)、淋菌感染症(+768人)であり、尖圭コンジローマ以外の3疾患は増加していた。(図7)

図7 全国 疾病別割合（男）2020年
合計 28,341人（前年 25,705人）

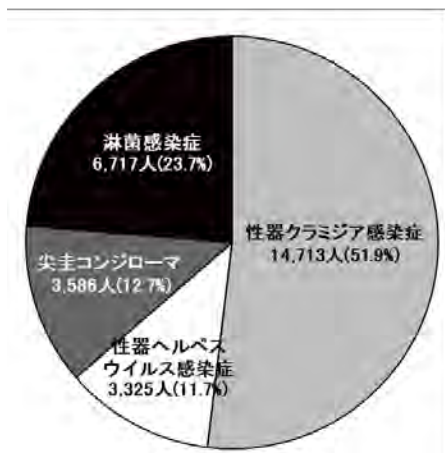
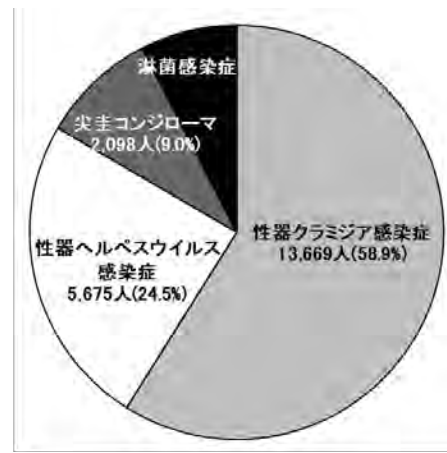


図8 全国 疾病別割合（女）2019年
合計 23,198人（前年 21,150人）



2020年報告数

疾病名	大阪（男）	全国（男）	大阪（女）	全国（女）
性器クラミジア感染症	1,135	14,713	1,422	13,669
性器ヘルペスウイルス感染症	271	3,325	608	5,675
尖圭コンジローマ	355	3,585	239	2,098
淋菌感染症	612	6,717	222	1,756
合計	2,373	28,341	2,491	23,198

全国の女性患者数は、23,198人と、前年より2,048人増加している。疾患別の前年比は、性器クラミジア感染症(+1,523人)、性器ヘルペスウイルス感染症(+240人)、尖圭コンジローマ(+142人)、淋菌感染症(+143人)であった。(図8)

また、性別の割合で見ると、全体では男性が55.0%（前年54.9%）を占めている。疾患別では、男性の割合が高いのは、淋菌感染症79.3%（前年78.7%）、尖圭コンジローマ63.1%（前年65.7%）、性器クラミジア感染症51.8%（前年51.3%）、で、女性の割合が高いのは、性器ヘルペスウイルス感染症63.1%（前年62.8%）となっている。

以上、全体では全国においては男性の占める割合が女性より高く、大阪府においては女性の占める割合が若干男性より高い。疾患別では、大阪府及び全国においても淋菌感染症、尖圭コンジローマは男性の占める割合が高く、性器クラミジア、性器ヘルペスウイルス感染症は女性の占める割合が高い。

5) 月別患者数

大阪府における患者数を月別に見ると、性器クラミジア感染症は、10月(248人)が最も多く、最も少ないのは、3月(194人)であった。性器ヘルペスウイルス感染症は、2月(84人)が最も多く、最も少ない4月(61人)であった。尖圭コンジローマは、6月(64人)が最も多く、最も少ない11月(36人)であった。淋菌感染症は、1月と10月(82人)が最も多く、最も少ないのは3月(52人)であった。(図9-図11)

6) 年齢階級別患者数

大阪府における患者数を年齢階級別に見ると、男性については、性器クラミジア感染症や淋菌感染症は、20歳代前半から後半で多く見られた。また、尖圭コンジローマや性器ヘルペスウイルス感染症は、年齢階級による顕著なピークは見られないものの、20歳代から40歳代後半の幅広い年齢で見られた。

女性については、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症では、20歳代前半にピークがみられた。性器ヘルペスウイルス感染症は、20歳代前半から30歳後半で多くみられた。(図12)

(文責：西田)

図 9-1 大阪 疾病・月別患者報告数（男女計）

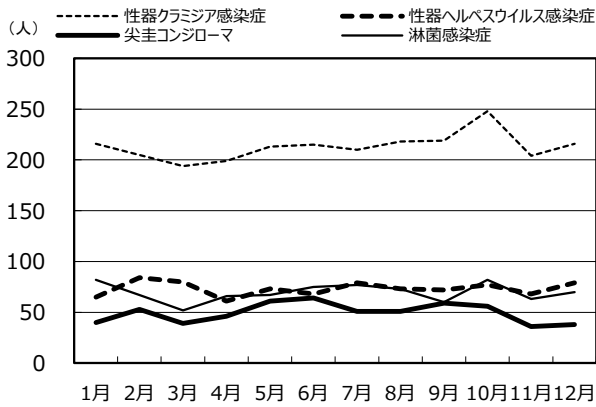


図 10-1 全国 疾病・月別患者報告数（男女計）

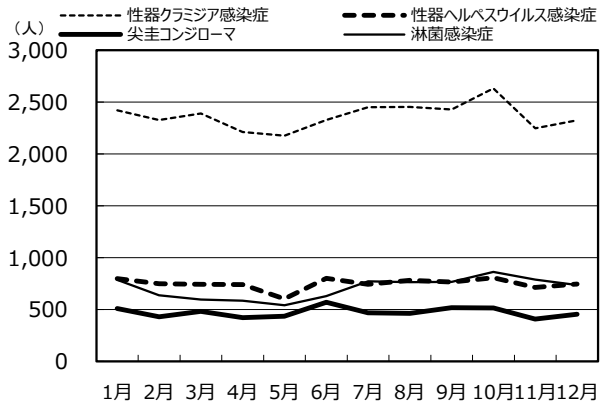


図 9-2 大阪 疾病・月別患者報告数（男）

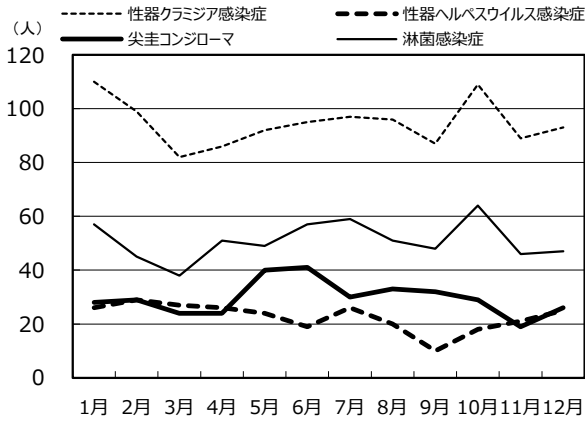


図 10-2 全国 疾病・月別患者報告数（男）

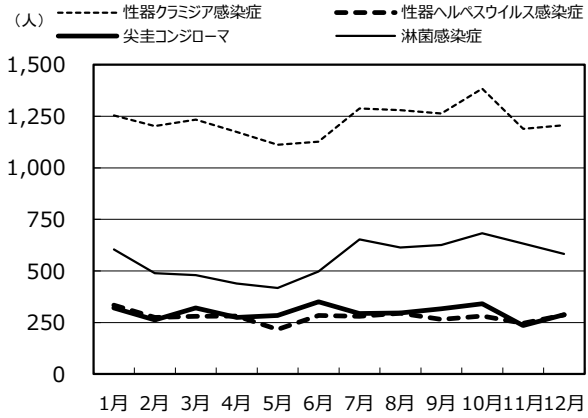


図 9-3 大阪 疾病・月別患者報告数（女）

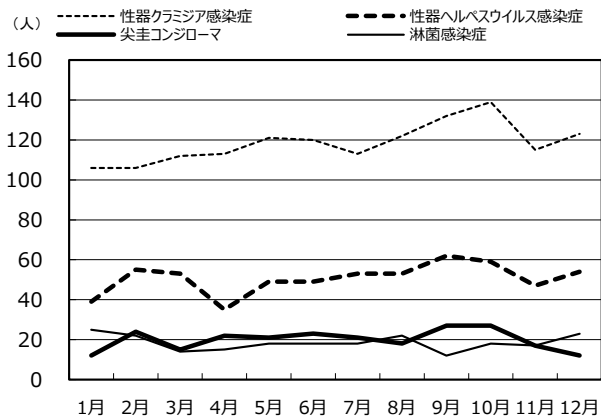


図 10-3 全国 疾病・月別患者報告数（女）

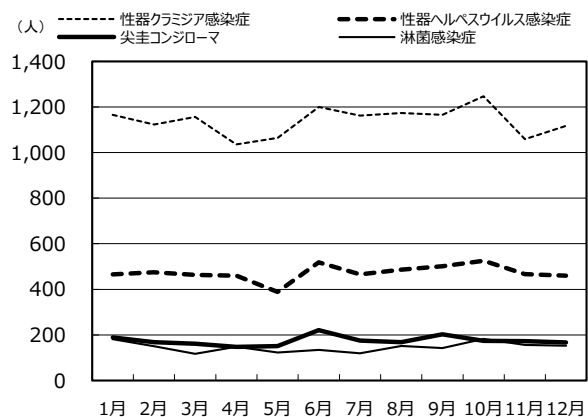


図 11-1 大阪 疾病・月別患者報告数
2018-2020年（合計）

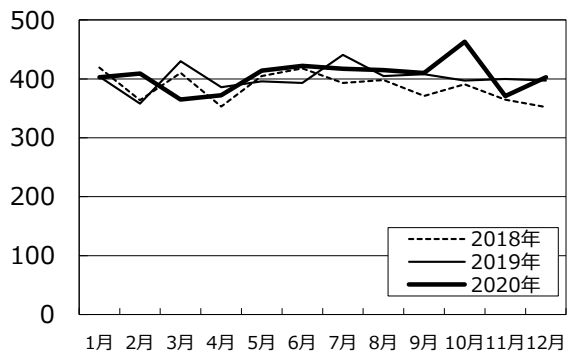


図 11-4 大阪 疾病・月別患者報告数
2018-2020年（尖圭コンジローマ）

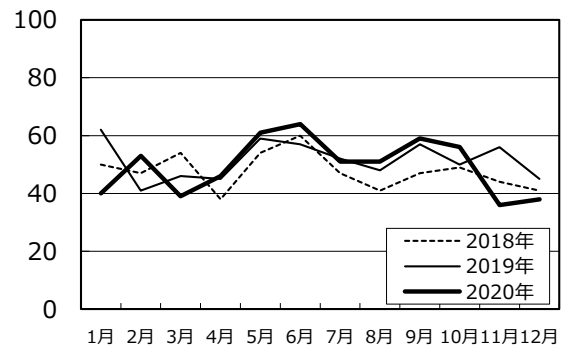


図 11-2 大阪 疾病・月別患者報告数
2018-2020年（性器クラミジア感染症）

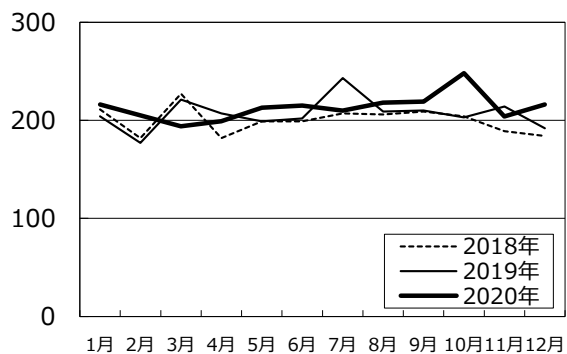


図 11-5 大阪 疾病・月別患者報告数
2018-2020年（淋菌感染症）

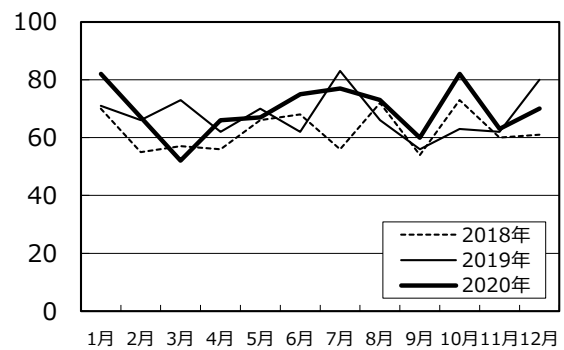


図 11-3 大阪 疾病・月別患者報告数
2018-2020年（性器ヘルペスウイルス感染症）

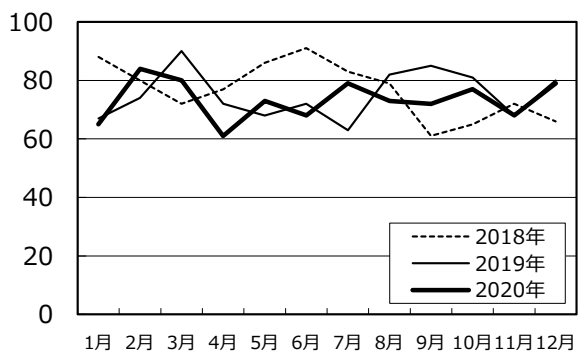


図 12-1 大阪 疾病・年齢階級別患者報告数（男女計）

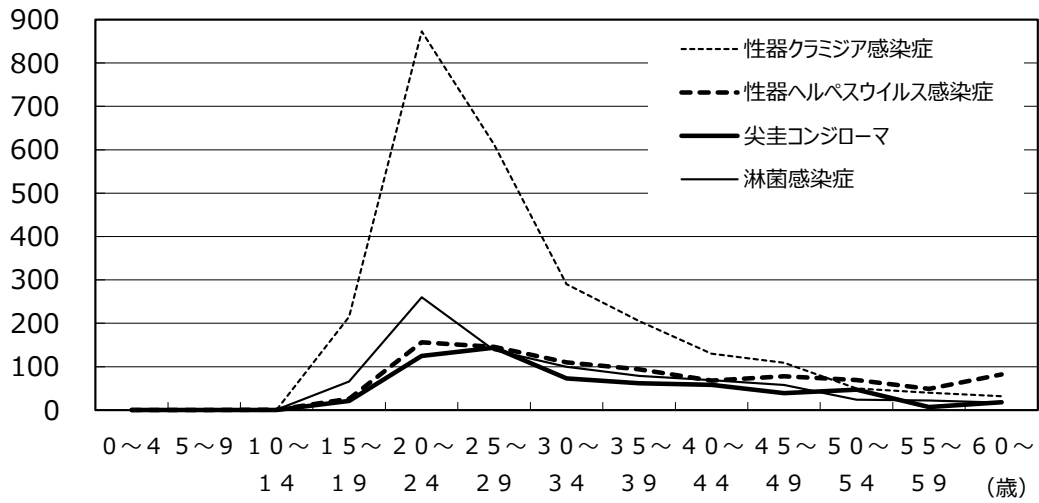


図 12-2 大阪 疾病・年齢階級別患者報告数（男）

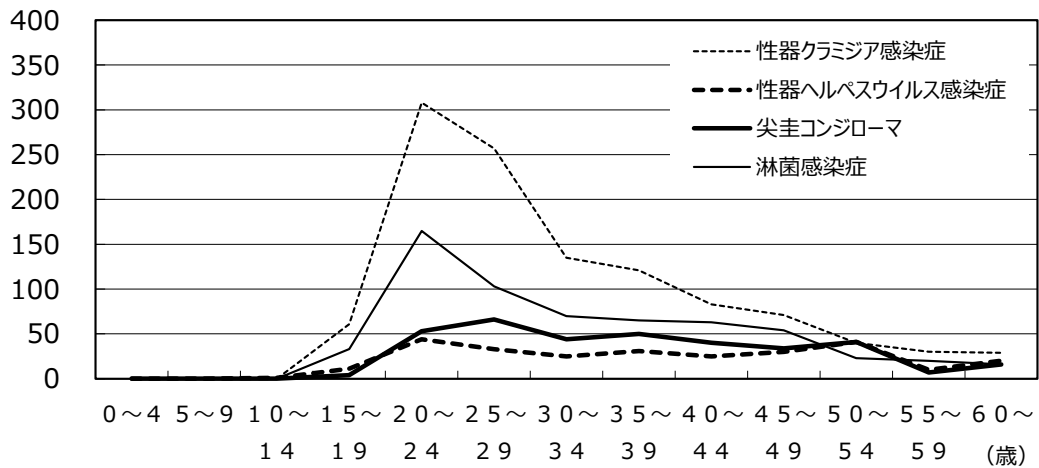
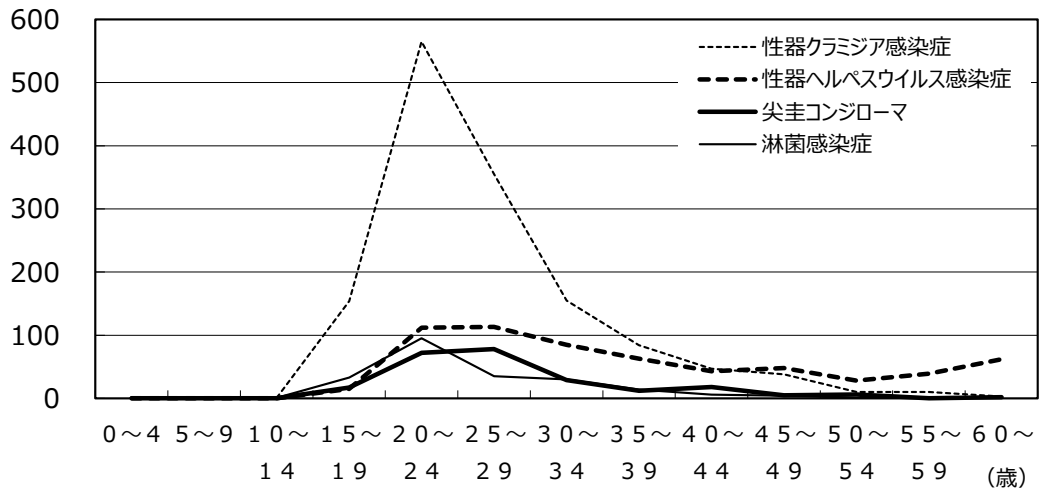


図 12-3 大阪 疾病・年齢階級別患者報告数（女）



1) 疾病別・月別報告数(全国)

疾病名称	性	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
		患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り
性器クラミジア感染症	男	1,254	1.13	1,203	1.03	1,234	1.15	1,174	1.07	1,112	1.13	1,127	1.15
	女	1,166	1.13	1,123	1.03	1,156	1.15	1,036	1.07	1,064	1.09	1,200	1.22
	計	2,420	1.13	2,326	1.03	2,390	1.15	2,210	1.07	2,176	2.22	2,327	2.37
性器ヘルペスウイルス感染症	男	334	1.13	274	1.03	280	1.15	282	1.07	216	0.22	284	0.29
	女	466	1.13	475	1.03	463	1.15	460	1.07	389	0.40	518	0.53
	計	800	1.13	749	1.03	743	1.15	742	1.07	605	0.62	802	0.82
尖圭コンジローマ	男	321	1.13	263	1.03	321	1.15	275	1.07	284	0.29	351	0.36
	女	189	1.13	168	1.03	161	1.15	148	1.07	151	0.15	221	0.23
	計	510	1.13	431	1.03	482	1.15	423	1.07	435	0.44	572	0.58
淋菌感染症	男	604	1.13	489	1.03	479	1.15	439	1.07	418	0.43	497	0.51
	女	181	1.13	150	1.03	117	1.15	148	1.07	123	0.13	134	0.14
	計	785	1.13	639	1.03	596	1.15	587	1.07	541	0.55	631	0.64
合計	男	2,513	4.52	2,229	4.12	2,314	4.60	2,170	4.28	2,030	2.07	2,259	2.31
	女	2,002	4.52	1,916	4.12	1,897	4.60	1,792	4.28	1,727	1.77	2,073	2.12
	計	4,515	9.04	4,145	8.24	4,211	9.20	3,962	8.56	3,757	3.84	4,332	4.43

疾病名称	性	7月		8月		9月		10月		11月		12月		総数	
		患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り
性器クラミジア感染症	男	1,288	1.31	1,279	1.30	1,263	1.29	1,384	1.41	1,189	1.21	1,206	1.23	14,713	14.41
	女	1,162	1.19	1,174	1.19	1,165	1.19	1,247	1.27	1,059	1.08	1,117	1.14	13,669	13.75
	計	2,450	2.50	2,453	2.49	2,428	2.48	2,631	2.68	2,248	2.29	2,323	2.37	28,382	23.78
性器ヘルペスウイルス感染症	男	280	0.29	295	0.30	265	0.27	282	0.29	246	0.25	287	0.29	3,325	6.58
	女	465	0.47	486	0.49	501	0.51	525	0.54	467	0.48	460	0.47	5,675	8.27
	計	745	0.76	781	0.79	766	0.78	807	0.82	713	0.73	747	0.76	9,000	10.46
尖圭コンジローマ	男	294	0.30	296	0.30	316	0.32	341	0.35	236	0.24	288	0.29	3,586	6.83
	女	175	0.18	168	0.17	203	0.21	174	0.18	173	0.18	167	0.17	2,098	5.85
	計	469	0.48	464	0.47	519	0.53	515	0.53	409	0.42	455	0.46	5,684	8.29
淋菌感染症	男	653	0.67	614	0.62	626	0.64	682	0.70	633	0.64	583	0.59	6,717	9.18
	女	119	0.12	151	0.15	142	0.14	182	0.19	156	0.16	153	0.16	1,756	5.57
	計	772	0.79	765	0.78	768	0.78	864	0.88	789	0.80	736	0.75	8,473	10.35
合計	男	2,515	2.57	2,484	2.52	2,470	2.52	2,689	2.75	2,304	2.34	2,364	2.40	28,341	37.00
	女	1,921	1.96	1,979	2.00	2,011	2.05	2,128	2.18	1,855	1.90	1,897	1.94	23,198	33.44
	計	4,436	4.53	4,463	4.52	4,481	4.57	4,817	4.93	4,159	4.24	4,261	4.34	51,539	70.44

2) 疾病別・月別報告数（大阪府）

疾病名	性	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
		患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り
性器クラミジア感染症	男	110	1.69	99	1.55	82	1.28	86	1.34	92	1.44	95	1.48
	女	106	1.63	106	1.66	112	1.75	113	1.77	121	1.89	120	1.88
	計	216	3.32	205	3.20	194	3.03	199	3.11	213	3.33	215	3.36
性器ヘルペスウイルス感染症	男	26	0.40	29	0.45	27	0.42	26	0.41	24	0.38	19	0.30
	女	39	0.60	55	0.86	53	0.83	35	0.55	49	0.77	49	0.77
	計	65	1.00	84	1.31	80	1.25	61	0.95	73	1.14	68	1.06
尖圭コンジローマ	男	28	0.43	29	0.45	24	0.38	24	0.38	40	0.62	41	0.64
	女	12	0.18	24	0.38	15	0.23	22	0.34	21	0.33	23	0.36
	計	40	0.62	53	0.83	39	0.61	46	0.72	61	0.95	64	1.00
淋菌感染症	男	57	0.88	45	0.70	38	0.59	51	0.80	49	0.77	57	0.89
	女	25	0.38	22	0.34	14	0.22	15	0.23	18	0.28	18	0.28
	計	82	1.26	67	1.05	52	0.81	66	1.03	67	1.05	75	1.17
合計	男	221	3.40	202	3.16	171	2.67	187	2.92	205	3.20	212	3.31
	女	182	2.80	207	3.23	194	3.03	185	2.89	209	3.27	210	3.28
	計	403	6.20	409	6.39	365	5.70	372	5.81	414	6.47	422	6.59

疾病名	月	7月		8月		9月		10月		11月		12月		総数	
		患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り	患者数	定点当り
性器クラミジア感染症	男	97	1.52	96	1.50	87	1.38	109	1.73	89	1.39	93	1.45	1,135	17.76
	女	113	1.77	122	1.91	132	2.10	139	2.21	115	1.80	123	1.92	1,422	22.25
	計	210	3.28	218	3.41	219	3.48	248	3.94	204	3.19	216	3.38	2,557	40.01
性器ヘルペスウイルス感染症	男	26	0.41	20	0.31	10	0.16	18	0.29	21	0.33	25	0.39	271	4.24
	女	53	0.83	53	0.83	62	0.98	59	0.94	47	0.73	54	0.84	608	9.51
	計	79	1.23	73	1.14	72	1.14	77	1.22	68	1.06	79	1.23	879	13.75
尖圭コンジローマ	男	30	0.47	33	0.52	32	0.51	29	0.46	19	0.30	26	0.41	355	5.55
	女	21	0.33	18	0.28	27	0.43	27	0.43	17	0.27	12	0.19	239	3.74
	計	51	0.80	51	0.80	59	0.94	56	0.89	36	0.56	38	0.59	594	9.29
淋菌感染症	男	59	0.92	51	0.80	48	0.76	64	1.02	46	0.72	47	0.73	612	9.57
	女	18	0.28	22	0.34	12	0.19	18	0.29	17	0.27	23	0.36	222	3.47
	計	77	1.20	73	1.14	60	0.95	82	1.30	63	0.98	70	1.09	834	13.05
合計	男	212	3.31	200	3.12	177	2.81	220	3.49	175	2.73	191	2.98	2,373	37.13
	女	205	3.20	215	3.36	233	3.70	243	3.86	196	3.06	212	3.31	2,491	38.97
	計	417	6.52	415	6.48	410	6.51	463	7.35	371	5.80	403	6.30	4,864	76.10

3) 疾病別・ブロック別報告数

疾病	性	豊能 (8)	三島 (6)	北河内 (8)	中河内 (7)	南河内 (4)	堺市 (7)	泉州 (6)	大阪市 北部(7)	大阪市 西部(2)	大阪市 東部(4)	大阪市 南部(5)	大阪府	府定点当り
性器クラミジア感染症	男	228	48	116	159	130	179	14	150	49	54	8	1,135	17.76
	女	70	107	151	27	22	118	119	270	25	392	121	1,422	22.25
	計	298	155	267	186	152	297	133	420	74	446	129	2,557	40.01
性器ヘルペスウイルス感染症	男	23	8	3	57	40	66	0	44	3	21	6	271	4.24
	女	39	28	104	4	26	69	35	154	4	99	46	608	9.51
	計	62	36	107	61	66	135	35	198	7	120	52	879	13.75
尖圭コンジローマ	男	57	21	4	53	47	51	13	52	9	47	1	355	5.55
	女	8	38	22	0	15	15	9	27	1	103	1	239	3.74
	計	65	59	26	53	62	66	22	79	10	150	2	594	9.29
淋菌感染症	男	117	30	37	97	102	88	7	78	20	31	5	612	9.57
	女	15	19	13	3	2	20	17	53	5	64	11	222	3.47
	計	132	49	50	100	104	108	24	131	25	95	16	834	13.05
合計	男	425	107	160	366	319	384	34	324	81	153	20	2,373	37.13
	女	132	192	290	34	65	222	180	504	35	658	179	2,491	38.97
	計	557	299	450	400	384	606	214	828	116	811	199	4,864	76.10

() 内の数字はSTD定点医療機関の数
ただし、月により変動することがある

4) 疾病別・年齢別報告数

疾病名	性	0～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60歳～	合計
性器クラミジア感染症	男				61	308	257	135	121	83	71	40	30	29	1,135
	女			1	154	565	355	155	84	47	38	10	10	3	1,422
	計			1	215	873	612	290	205	130	109	50	40	32	2,557
性器ヘルペスウイルス感染症	男			1	11	44	33	25	31	25	30	41	10	20	271
	女				15	112	113	85	63	43	48	28	39	62	608
	計			1	26	156	146	110	94	68	78	69	49	82	879
尖圭コンジローマ	男				4	53	66	44	50	40	34	41	7	16	355
	女				17	72	78	29	12	18	5	6		2	239
	計				21	125	144	73	62	58	39	47	7	18	594
淋菌感染症	男				33	165	103	70	65	63	54	23	20	16	612
	女			1	33	95	35	30	14	6	4	1	2	1	222
	計			1	66	260	138	100	79	69	58	24	22	17	834
合計	男			1	109	570	459	274	267	211	189	145	67	81	2,373
	女			2	219	844	581	299	173	114	95	45	51	68	2,491
	計			3	328	1,414	1,040	573	440	325	284	190	118	149	4,864

III 一～五類 全数把握感染症

III 一～五類 全数把握感染症

1. 一類感染症

全国、大阪府とも発生はなかった。

2. 二類感染症

結核以外の二類感染症は、全国、大阪府とも発生はなかった。

結核については、下記ホームページを参照されたい。

(財)結核予防会結核研究所 疫学情報センター

<http://jata-ekigaku.jp>

(文責：皐月)

3. 三類感染症

●コレラ

大阪府内では、コレラの発生はなかった。

●細菌性赤痢

1例の届出があり、推定感染地域はネパールで、患者は、無症状（無症状病原体保有者）であった。

●腸チフス

1例の届出があり、推定感染地域はインドで、患者は、高熱及び下痢を呈し、脾腫及びバラ疹も見られた。

●パラチフス

大阪府内では、パラチフスの発生はなかった。

(文責：川津)

2020年 三類感染症週別発生状況

コレラ

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
枚方市																											
八尾市																											
寝屋川市																											
吹田市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

細菌性赤痢

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市					1																						
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
枚方市																											
八尾市																											
寝屋川市																											
吹田市																											
合計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

腸管出血性大腸菌感染症

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月			
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週
大阪府					1			1							1						2	1		3	2	1
大阪市			1	1	2							1											3	1	2	2
堺市				2																			1	1	1	
高槻市																								2	1	2
東大阪市																					1		1	1	1	
豊中市																									1	
枚方市																									1	
八尾市	1											1														
寝屋川市																										1
吹田市														1	1											1
合計	1	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	2	2	6	9	8	7

腸チフス

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市		1																									
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
枚方市																											
八尾市																											
寝屋川市																											
吹田市																											
合計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

パラチフス

府・市	1月					2月				3月					4月				5月				6月				
	1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週
大阪府																											
大阪市																											
堺市																											
高槻市																											
東大阪市																											
豊中市																											
枚方市																											
八尾市																											
寝屋川市																											
吹田市																											
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計										
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週		46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週		
																											0	
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計										
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週		46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週		
																											0	
																												1
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計									
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週		46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週	
2	1	2	2			1	3	3	4	2	1		2							1					1	2	39
4	4		1	3	5	1	2	1	2	1	1		1	7	3		2								1	1	52
		1	1			1			1	1	1		2						1	1	1						16
				1					2	1			1														10
																											4
	1	1		1	1			1							1												7
		1				1																					3
												1		1													4
							1						1	1													4
		1				1															1						8
6	6	4	6	4	8	7	7	5	4	6	3	2	5	10	4	1	2	1	2	1	1	0	0	1	3		147

7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計										
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週		46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週		
																											0	
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

7月			8月			9月			10月			11月			12月			合計										
28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週	42週	43週	44週	45週		46週	47週	48週	49週	50週	51週	52週	53週		
																											0	
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
																												0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

●腸管出血性大腸菌感染症

患者 107 例、無症状保菌者 40 例の計 147 例の届出があった。年間を通しての発生状況については、例年同様に 6 月から 9 月にかけて多く発生したが、昨年と違って 10 月に入っても多くの発生があった（図 1）。また、報告のあった事例については、その全てが散発及び家族内発生事例で、食中毒事例や集団感染事例の報告はなかった。感染者の年齢は 20 歳代が最も多く、次いで、10 歳代、30 歳代、40 歳代の順で多く、男女間での比較では、女性の方が、有症率が高かった（図 2）。なお、HUS 患者の報告は 2 例（有症者の 1.9 %）あり、昨年（有症者の 5.3%）より発生率が低かった。

（文責：川津）

図 1 腸管出血性大腸菌感染症 週別発生状況 2020 年 1～53 週

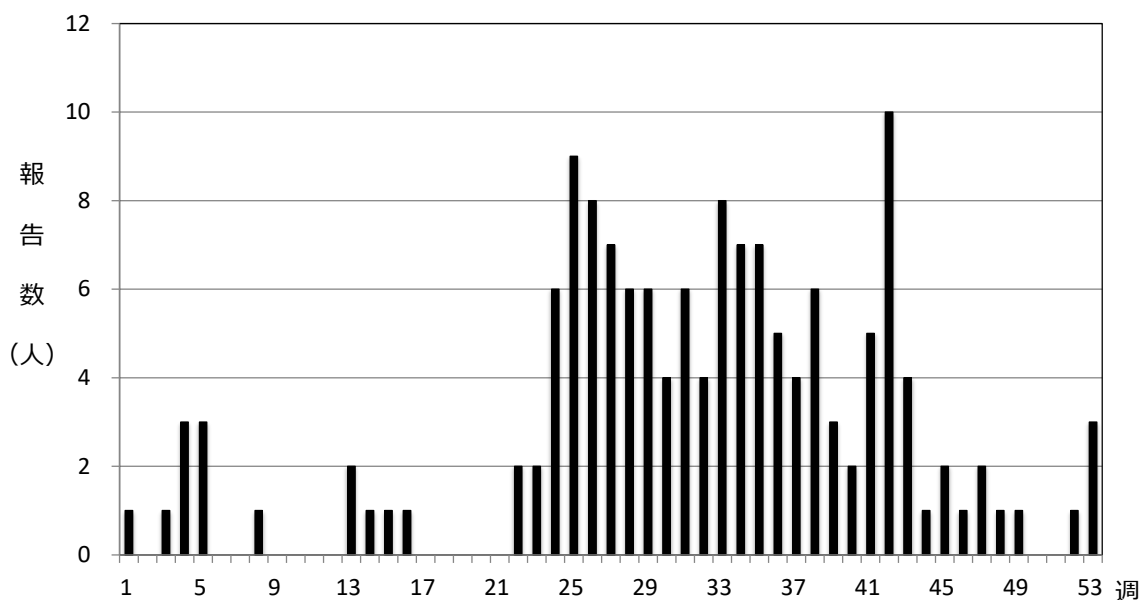
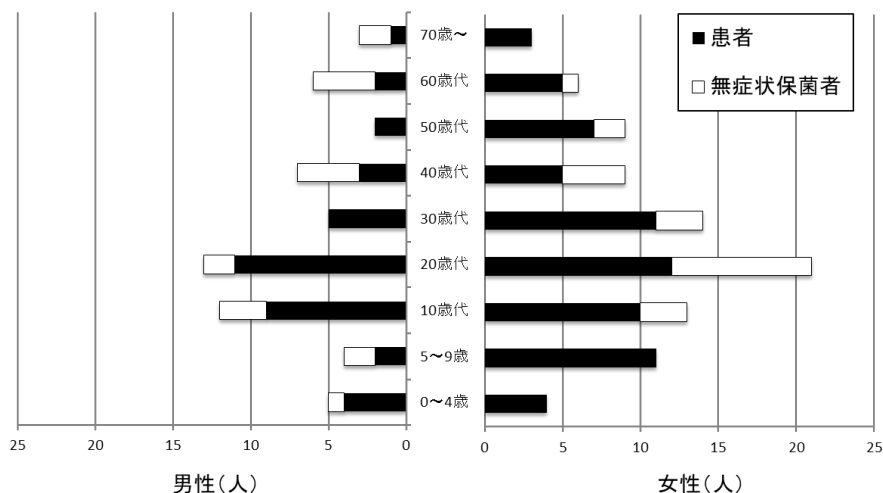


図 2 腸管出血性大腸菌感染症 年齢別発生状況 2020 年 1～53 週



4. 四類・五類感染症（全数把握分）

2020年、大阪府における四類・五類感染症の届出数は、30疾患1,765例であった。2019年の33疾患3,399例に比べて3疾患減少し、届出数は1,634例の減少であった（表1）。

表1 四類・五類全数把握感染症届出数

種別	疾患名	届出数	大阪府内計	全国計
四 類	E型肝炎	4	(5)	454 (493)
	A型肝炎	7	(23)	120 (425)
	エキノコックス症	0	(0)	22 (24)
	オウム病	0	(2)	7 (13)
	回帰熱	0	(0)	15 (7)
	Q熱	0	(0)	0 (2)
	狂犬病	0	(0)	1 (0)
	コクシジオイデス症	0	(0)	6 (2)
	ジカウイルス感染症	0	(0)	1 (3)
	重症熱性血小板減少症候群	0	(0)	78 (101)
	チクングニア熱	0	(4)	3 (49)
	つつが虫病	0	(1)	536 (404)
	デング熱	5	(53)	45 (461)
	日本紅斑熱	11	(8)	421 (318)
	日本脳炎	0	(0)	5 (9)
	ブルセラ症	1	(0)	2 (2)
	ポツリヌス症	2	(0)	4 (3)
	マラリア	3	(4)	21 (57)
	ライム病	0	(0)	27 (17)
	類鼻疽	0	(0)	1 (2)
レジオネラ症	99	(133)	2,058 (2,314)	
レプトスピラ症	0	(0)	16 (32)	
	四類合計	132	(233)	3,843 (4,738)
五 類	アメーバ赤痢	49	(75)	613 (851)
	ウイルス性肝炎	23	(19)	246 (330)
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	157	(200)	1,952 (2,333)
	急性弛緩性麻痺	2	(3)	34 (77)
	急性脳炎	18	(30)	490 (959)
	クリプトスポリジウム症	1	(2)	6 (19)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	7	(8)	154 (193)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	49	(68)	764 (926)
	後天性免疫不全症候群	115	(139)	1,096 (1,233)
	ジアルジア症	6	(6)	28 (53)
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	25	(44)	253 (543)
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2	(7)	14 (48)
	侵襲性肺炎球菌感染症	116	(279)	1,655 (3,342)
	水痘（入院例）	11	(20)	362 (492)
	先天性風しん症候群	0	(1)	1 (4)
	梅毒	902	(1,101)	5,871 (6,639)
	播種性クリプトコックス症	6	(9)	152 (156)
	破傷風	1	(3)	105 (126)
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	22	(32)	136 (80)
	百日咳	111	(836)	2,947 (16,846)
風しん	7	(132)	102 (2,306)	
麻しん	1	(149)	12 (746)	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	2	(3)	10 (24)	
	五類合計	1,633	(3,166)	17,003 (38,326)
	合計	1,765	(3,399)	20,846 (43,064)

()内は2019年のデータ

四類感染症の届出数は 8 疾患 132 例であった。前年と比べ 1 疾患減し、前年届出がなかったブルセラ症、ポツリヌス症について報告があり、前年届出があったオウム病、チクングニア熱、つつが虫病について報告がなかった（表 1）。

四類感染症の届出数は 101 例減少した。増加した疾患は、日本紅斑熱で 11 例の届け出があり、前年に比べて、3 例の増加であった。減少した疾患のうち、E 型肝炎は 4 例の届出があり、前年に比べ 1 例、A 型肝炎は 7 例の届け出があり、前年に比べ 16 例の減少であった。デング熱は、5 例の届け出があり、前年 53 例に比べて 90.6%の減少となった。新型コロナウイルス感染症の流行により渡航制限がなされ、海外旅行者による輸入感染事例が減少したことが原因だと考えられる。マラリアは 3 例の届け出があり、前年に比べて 1 例の減少である。レジオネラ症は 99 例の届出があり、前年に比べ 34 例の減少であった。

五類感染症の届出数は 22 疾患 1,633 例であった。前年に比べ 1,533 例の減少であった。増加した疾患は、ウイルス性肝炎のみで 23 例の届出があり、前年に比べて 4 例の増加となった。減少した疾患のうち、アメーバ赤痢は 49 例の届出があり、前年に比べ 26 例の減少であった。カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症は 157 例の届出があり、前年に比べ 43 例の減少であった。急性弛緩性麻痺は、3 例の届出があり、前年より 1 例の減少である。急性脳炎は、18 例の届出があり、前年より 12 例の減少である。劇症型溶血性レンサ球菌感染症は 49 例の届出があり、前年より 19 例の減少である。後天性免疫不全症候群は 115 例の届出があり、前年に比べて 24 例の減少となった。侵襲性インフルエンザ菌感染症は 25 例の報告があり、前年より 19 例の減少である。侵襲性髄膜炎菌感染症は、2 例の届出があり、前年に比べ 5 例減少した。水痘（入院）は 11 例の報告があり、前年より 9 例の減少である。梅毒は 902 例の報告があり、前年 1,101 例より、199 例の減少し、年以來 1000 例を下回った。播種性クリプトコッカス症は、6 例の届出があり、前年に比べ 3 例減少している。バンコマイシン耐性腸球菌感染症は、22 例の届出があり、前年に比べ 10 例減少していた。百日咳は、111 例であり、前年 836 例に比べ 86.7%の減少となった。風しんは、7 例の報告があり、前年 132 例に比べ 94.7%の減少となった。麻しんについても、大幅に減少しており、別項で後述する。薬剤耐性アシネトバクター感染症は、2 例の届出があり、前年に比べ 1 例減少している。

五類感染症で例年届出数の多い 5 疾患について、大阪府内を大阪府管内、大阪市、堺市、高槻市、東大阪市、豊中市、枚方市、八尾市、寝屋川市、吹田市に区分して再掲する（表 2）。カルバペネム耐性腸内細菌感染症は、寝屋川市のみ増加した。後天性免疫不全症候群は、大阪市が 107 例から 94 例に減少していた。また、侵襲性肺炎球菌感染症は、高槻市のみ増加している。梅毒は、高槻市で 6 例増加した。百日咳は、いずれにおいても著明に減少していた。

全国の 2020 年における四類・五類感染症の届出数を見ると、20,846 例で前年の 43,064

例と比べて 22,218 例減少しており前年の約半数となっている。主に、四類感染症で増加した疾患は、回歸熱が 7 例から 15 例に、つつが虫病が 404 例から 536 例に、日本紅斑熱が 318 例から 421 例に、ライム病が 17 例から 27 例に、それぞれ増加した。一方、大きく減少したのは、A 型肝炎（425 例から 120 例）、デング熱（461 例から 45 例）、マラリア（57 例から 21 例）であった。五類感染症では、バンコマイシン耐性腸球菌感染症が 80 例から 136 例に増加した。その他の感染症は、減少しており特に減少したのは、百日咳（16,846 例から 2,947 例）、風しん（2,306 例から 102 例）、麻しん（746 例から 12 例）であった。

（文責：皐月）

表 2 大阪府、政令中核市保健所別五類全数把握感染症届出数（再掲）

疾患名	届出数	大阪府内再掲								
		大阪府管内	大阪市	堺市	高槻市	東大阪市	豊中市	枚方市	八尾市	寝屋川市
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	27 (46)	58 (67)	31 (65)	11 (46)	3 (7)	3 (9)	3 (11)	8 (14)	3 (1)	10 (-)
後天性免疫不全症候群	8 (12)	94 (107)	5 (7)	2 (3)	2 (0)	1 (4)	2 (5)	0 (0)	1 (1)	0 (-)
侵襲性肺炎球菌感染症	29 (92)	38 (98)	18 (41)	14 (12)	5 (11)	0 (0)	3 (19)	5 (5)	1 (1)	3 (-)
梅毒	110 (179)	639 (773)	34 (43)	14 (8)	20 (32)	12 (14)	11 (22)	21 (25)	4 (5)	37 (-)
百日咳	35 (342)	54 (240)	7 (78)	2 (23)	2 (49)	2 (48)	2 (37)	3 (12)	1 (7)	3 (-)

（ ）内は2019年のデータ

●麻しん

2020 年、大阪府における届出数は、第 11 週の大阪市 1 例のみであり、99.3%の減少となった。新型コロナウイルス感染症の流行により、新しい生活様式の実践や渡航制限により、報告数が減少したと考えられる。

（文責：皐月）

IV 検査情報

IV 検査情報

1. ウイルス検査情報（大阪府・大阪市・堺市）

2020年1月から12月の間に大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課、大阪健康安全基盤研究所微生物部微生物課、堺市衛生研究所微生物グループにおいて検査を行った検体総数は1018件であり、2019年の3,254件から68.7%減少した。2020年のウイルス検出総数は388例で、2019年の1,836例に比べて78.9%減少し、陽性率は2019年の52.4%から38.1%に減少した。

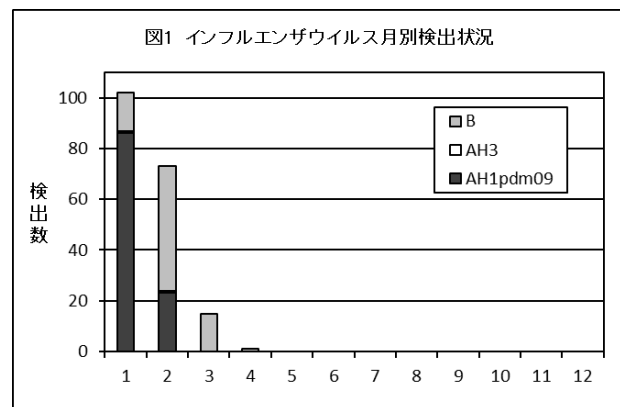
1) 2020年検出ウイルス

(1) 月別ウイルス検出数（表1）

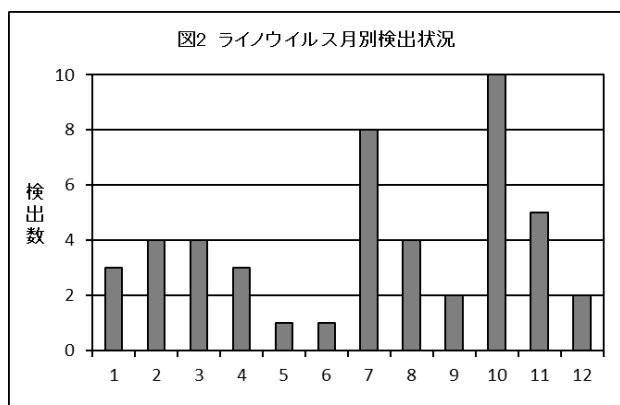
年間で最も多く検出されたウイルスはインフルエンザウイルスの191例で、次いでライノウイルス47例、アデノウイルス40例、ノロウイルス24例、RSウイルス18例、エンテロウイルス18例、ヒトメタニューモウイルス13例の順であった（表1）。

月別のウイルス検出数では、1月が139例と最も多く、次いで2月105例、3月44例、10月26例、11月23例の順であった。1月（102例）、2月（73例）および3月（15例）は、インフルエンザウイルスの検出数が最も多く、10月はライノウイルス（10例）が最も多かった。その他の月はいずれのウイルスも10例未満の検出であった。

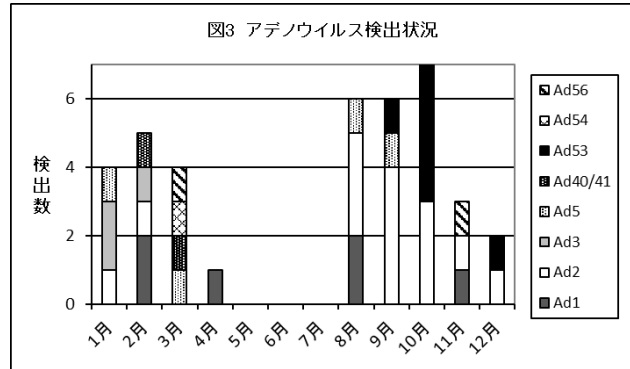
インフルエンザウイルスは、AH1pdm09亜型が109例（57.1%）と最も多く、次いでB型80例（41.9%）、AH3（香港）亜型2例（1.0%）の順であった。B型のうち、Victoria系統が98.8%を占めた。主な検出時期は、AH1pdm09亜型（1、2月）、B型（1-3月）で、5月以降は検出されなかった（図1）。



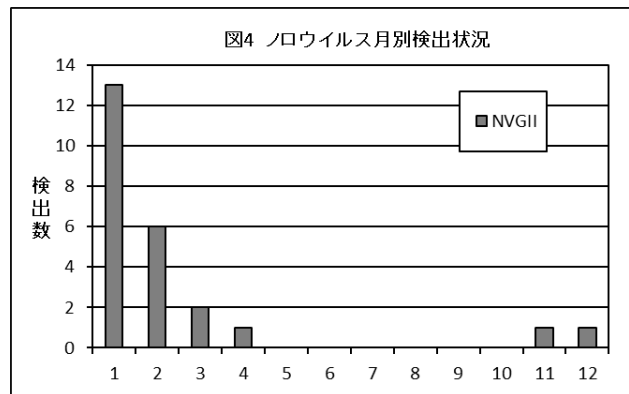
ライノウイルスは、10月に10例（21.3%）と最も多く検出され、次いで7月8例、11月5例、2月、3月および8月4例の順であり、年間を通して検出された（図2）。



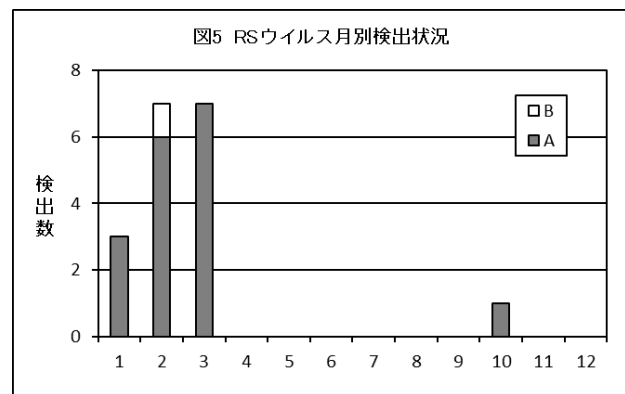
アデノウイルスは5-7月を除く月で検出され、10月に7例と最も多く検出された。型別の検出数は、2型が14例と最も多く、次いで1型および53型6例、5型4例の順であった。(図3)



ノロウイルスは検出された24例すべてがG2であった。1月から4月、11月、12月に検出され、1月が14例(58.3%)と最も多く、次いで2月6例、3月2例であった(図4)。



RSウイルスは1月から3月、10月に検出され、2月と3月が7例と最も多く、次いで1月3例の順であった。型別では、A型が17例、B型が1例であった。(図5)



エンテロウイルスは8月から12月の間に検出され、10月および11月に6例と最も多く、次いで9月3例、8月2例の順であった。エンテロウイルスの中では、コクサッキーウイルスA4型が14例と最も多く、次いで多かったのはコクサッキーウイルスB5の3例であった。

ヒトメタニューモウイルスは1月から4月まで検出され、3月が5例(38.5%)と最も多く、次いで1月4例、2月3例であった。

表1 月別ウイルス検出数 (2020.1~12)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
Adenovirus_untype (Ad_untype)			2										2
Adenovirus 1 (Ad1)		2		1				2			1		6
Adenovirus 2 (Ad2)	1	1						3	4	3	1	1	14
Adenovirus 3 (Ad3)	2	1											3
Adenovirus 5 (Ad5)	1		1					1	1				4
Adenovirus 40/41 (Ad40/41)		1	1										2
Adenovirus 53 (Ad53)									1	4		1	6
Adenovirus 54 (Ad54)			1										1
Adenovirus 56 (Ad56)			1								1		2
Astrovirus type 1 (Astro_type1)		1											1
Astrovirus type 4 (Astro_type4)	1												1
Astrovirus untype (Astro_untype)	2												2
Coxsackievirus A4 (CA4)								2	2	5	5		14
Coxsackievirus B5 (CB5)									1		1	1	3
Dengue virus 1 (Dengue1)		1											1
Dengue virus 2 (Dengue2)			1										1
Dengue virus 3 (Dengue3)											1		1
Enterovirus_untype (EV_untype)										1			1
Influenzavirus AH1pdm09 (FLU_AH1pdm09)	86	23											109
Influenzavirus AH3 (FLU_AH3)	1	1											2
Influenzavirus B (FLU_B)				1									1
Influenzavirus B_Victoria (FLU_B_Victoria)	15	49	15										79
Hepatitis A virus (HAV)	2												2
Human bocavirus (HBoV)											2		2
Human coronavirus 229E (HCoV-229E)		1	1										2
Human coronavirus OC43 (HCoV-OC43)	1	1	2										4
Human herpesvirus 6_untype (HHV6_untype)		1								1			2
Human herpesvirus 7 (HHV7)							1	1					2
Human metapneumovirus (hMPV)	4	3	5	1									13
Human parechovirus 1 (HPeV1)											1		1
Human parechovirus 3 (HPeV3)											3		3
Herpes simplex virus 1 (HSV1)						1	1						2
Norovirus G2_untype (NVG2_untype)	1	4									1	1	7
Norovirus G2-2 (NVG2-2)	1												1
Norovirus G2-4 (NVG2-4)	11	2	2	1									16
Human parainfluenzavirus 1 (PIV1)		2											2
Human rhinovirus_untype (Rhino_untype)	3	4	4	3	1	1	8	4	2	9	5	2	46
Human rhinovirus A (Rhino_A)										1			1
Rotavirus_untype (Rota_untype)												1	1
Respiratory syncytial virus A (RSA)	3	6	7							1			17
Respiratory syncytial virus B (RSB)		1											1
Rubella virus (Rubella)	2												2
Rubella virus 1E (Rubella-1E)	1												1
Sapovirus_untype (Sapo_untype)	1												1
Varicella zoster virus (VZV)			1							1	1		3
計	139	105	44	7	1	2	10	13	11	26	23	7	388

(2) 年齢群別ウイルス検出数 (表 2)

年齢群別で最も多くウイルスが検出されたのは15歳以上の84例であった。次いで1歳の74例、1歳未満の42例であった。

15歳以上で、最も多く検出されたウイルスは、インフルエンザウイルスの66例で、次いでアデノウイルスの9例、デングウイルスおよび風しんウイルスの3例であった。デングウイルス、風しんウイルス、A型肝炎ウイルスは15歳以上の年齢群でのみ検出された。

1歳で最も多く検出されたウイルスはアデノウイルスの17例であり、そのうちアデノウイルス2型の9例が最も多かった。次いでインフルエンザウイルス16例、ノロウイルス10例、ライノウイルス9例、エンテロウイルス5例、ヒトメタニューモウイルス4例、RSウイルス3例の順であった。

1歳未満で最も多く検出されたウイルスはライノウイルスの8例であった。次いでインフルエンザウイルスおよびRSウイルスの6例、ヒトメタニューモウイルスおよびノロウイルス4例の順であった。

2) 2020年検体数およびウイルス陽性率

(1) 検体総数およびウイルス陽性率 (表 3)

2020年の検体総数は1,018件で、うちウイルスを検出した陽性検体は388件、陽性率38.1%であった。

(2) 月別検体数およびウイルス陽性率 (表 3)

検体数が最も多かった月は1月の246件(18.2%)で、次いで2月215件(13.2%)、3月112件(11.1%)、11月74件(9.4%)、10月65件(8.4%)、7月59件(7.4%)、9月50件(6.4%)の順であった。

1月はインフルエンザが124件で最も多く、この月の検査数の50.4%(124/246)を占め、次いでインフルエンザ80件(13.5%)、風しん・麻しん52件(21.1%)、感染性胃腸炎36件(14.6%)であった。2月はインフルエンザが95件で最も多く、この月の検査数の44.2%(95/215)を占めており、次いで風しん・麻しん37件(17.2%)、感染性胃腸炎20件(9.3%)であった。3月はインフルエンザ24件(21.4%、24/112)が最も多く、次いでRSウイルス15件(13.4%)、風しん・麻しん15件(13.4%)であった。

月別ウイルス陽性率は、1月55.7%(137/246)が最も高く、次いで2月47.4%(102/215)、3月39.3%(44/112)、11月36.9%(24/65)であった。

1月および2月の陽性率が高いのは、インフルエンザ検体(1月の陽性率83.9%、104/124; 2月82.1%、78/95)の割合が高かったことによるものである。3月は流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎(100%、4/4)、口内炎・上気道炎(100%、2/2)、11月はヘルパンギーナ(85.7%、6/7)の陽性率が高かった。

表2 年齢別ウイルス検出数 (2020.1~12)

年齢 (才)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15以上	不明	計
Ad_untype												2		2
Ad1		4	1								1			6
Ad2	1	9	2	1			1							14
Ad3		2		1										3
Ad5		2	1								1			4
Ad40/41				1		1								2
Ad53	1			1								4		6
Ad54												1		1
Ad56												2		2
Astro_type1	1													1
Astro_type4	1													1
Astro_untype		1			1									2
CA4	1	5	4	2	1		1							14
CB5			3											3
Dengue1												1		1
Dengue2												1		1
Dengue3												1		1
EV_untype	1													1
FLU_AH1pdm09	4	14	4	5	5	5	1	9	5	3	12	42		109
FLU_AH3											1	1		2
FLU_B						1								1
FLU_B_Victoria	2	2	2	2	1	8	5	3	10	5	16	23		79
HAV												2		2
HBov		2												2
HCoV-229E		1				1								2
HCoV-OC43	1	1			1	1								4
HHV6_untype	1	1												2
HHV7					1						1			2
hMPV	4	4	1	1		1					1	1		13
HPeV1		1												1
HPeV3	3													3
HSV1		1									1			2
NVG2_untype	3	3		1										7
NVG2-2				1										1
NVG2-4	1	7	5	2					1					16
PIV1		1		1										2
Rhino_untype	8	8	8	6	9	2	1	1	2		1			46
Rhino_A		1												1
Rota_untype	1													1
RSA	6	3	3	3		1					1			17
RSB				1										1
Rubella												2		2
Rubella-1E												1		1
Sapo_untype		1												1
VZV	2										1			3
計	42	74	34	29	19	21	9	13	18	8	37	84	0	388

注1 ウイルス名は、表1の()の略称に準じて記載

表3. 月別・疾患別検体数とウイルス陽性（2020.1～12）

疾患名/月	1	2	3	4	5	6	7
インフルエンザ	124(104) Ad3(1) FLU_AH1pdm09(85) FLU_AH3(1) FLU_B_Victoria(15) hMPV(1) Rhino_untype(1) RSA(1) <<2重複1>>	95(78) Ad1(1) FLU_AH1pdm09(23) FLU_AH3(1) FLU_B_Victoria(49) hMPV(1) Rhino_untype(2) RSA(2) <<2重複1>>	24(17) FLU_B_Victoria(15) hMPV(2)	11(2) FLU_B(1) Rhino_untype(1)	5(0)	3(1) HSV1(1)	5(1) Rhino_untype(1)
咽頭結膜熱	4(2) Ad2(1) Ad3(1)	5(4) Ad3(1) hMPV(1) PIV1(1) Rhino_untype(1) RSB(1) <<2重複1>>	2(0)	1(1) Ad1(1)	1(0)	3(0)	1(1) Rhino_untype(1)
感染性胃腸炎	23(18) Ad5(1) Astro_type4(1) Astro_untype(2) NVG2_untype(1) NVG2-2(1) NVG2-4(11) Sapo_untype(1)	20(8) Ad2(1) Ad40/41(1) AstroT1(1) NVG2_untype(4) NVG2-4(2) <<2重複1>>	5(3) Ad40/41(1) NVG2-4(2)	3(1) NVG2-4(1)	2(0)		4(0)
水痘			2(1) VZV(1)		1(0)		
手足口病		5(1) RSA(1)	1(1) Ad5(1)	1(0)	1(0)	3(0)	2(0)
伝染性紅斑							
突発性発疹	1(0)						
ヘルパンギーナ		1(0)	5(1) hMPV(1)				2(1) Rhino_untype(1)
流行性耳下腺炎	1(0)		2(0)	1(0)			
脳症・脳脊髄炎	3(0)	2(0)	8(0)	1(0)			12(0)
無菌性髄膜炎	3(1) FLU_AH1pdm09(1) RSA(1) <<2重複1>>	10(0)		1(0)		3(0)	3(0)
口内炎・上気道炎	5(0)	6(3) PIV1(1) Rhino_untype(1) RSA(1)	2(2) hMPV(1) Rhino_untype(1)	1(1) Rhino_untype(1)		1(0)	5(4) HSV1(1) Rhino_untype(3)
下気道炎	10(5) hMPV(3) Rhino_untype(2)	13(3) HCoV-229E(1) HCov-OC43(1) hMPV(1)	13(5) HCoV-229E(1) HCov-OC43(2) hMPV(1) Rhino_untype(1)	4(2) hMPV(1) Rhino_untype(1)	2(1) Rhino_untype(1)	2(1) Rhino_untype(1)	2(0)
RSウイルス感染症	3(1) RSA(1)	11(3) Ad1(1) RSA(2)	15(9) Rhino_untype(2) RSA(7)	1(0)		1(0)	2(1) Rhino_untype(1)
流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎			4(4) Ad_untype(2) Ad54(1) Ad56(1)				
その他	17(3) HAV(2) HCov-OC43(1)	10(2) Dengue1(1) HHV6_untype(1)	14(1) Dengue2(1)	10(0)	13(0)	16(0)	15(2) HHV7(1) Rhino_untype(1)
風しん・麻しん	52(3) Rubella(2) Rubella-1E(1)	37(0)	15(0)	3(0)	3(0)	15(0)	6(0)
計	246(137)	215(102)	112(44)	38(7)	28(1)	47(2)	59(10)
構成割合(%)	24.2	21.1	11.0	3.7	2.8	4.6	5.8
陽性割合(%)	55.7	47.4	39.3	18.4	3.6	4.3	16.9

注1：() 陽性数、(〽)2種類以上の検出がみられた検体数

注2：ウイルス名は表1の()の略称に準じて記載

8	9	10	11	12	検体数	陽性数	構成割合 (%)	陽性割合 (%)	検出ウイルス
	4(1) Rhino_untype(1)	9(3) Ad2(1) CA4(1) Rhino_untype(1) RSA(1) <<2重複1>>	1(1) Ad1(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>		281	208	27.6	74.0	Ad1(2) Ad2(1) Ad3(1) CA4(1) FLU_AH1pdm09(108) FLU_AH3(2) FLU_B(1) FLU_B_Victoria(79) hMPV(4) HSV1(1) Rhino_untype(8) RSA(4) <<2重複4>>
4(4) Ad2(3) Ad5(1)	5(3) Ad2(3)	1(1) Ad2(1)	2(1) Ad2(1)		29	17	2.8	58.6	Ad1(1) Ad2(9) Ad3(2) Ad5(1) hMPV(1) PIV1(1) Rhino_untype(2) RSB(1) <<2重複1>>
3(0)	5(0)	4(0)	2(1) NVG2_untype(1)	2(1) NVG2_untype(1) Rota_untype(1) <<2重複1>>	73	32	7.2	43.8	Ad2(1) Ad40/41(2) Ad5(1) Astro_type4(1) Astro_untype(2) AstroT1(1) NVG2_untype(7) NVG2-2(1) NVG2-4(16) Rota_untype(1) Sapo_untype(1)
1(0)		1(1) VZV(1)	1(1) VZV(1)		6	3	0.6	50.0	VZV(3)
2(0)	1(1) CA4(1)	1(1) CA4(1) RhinoA(1) <<2重複1>>			17	4	1.7	23.5	Ad5(1) CA4(2) RhinoA(1) RSA(1) <<2重複1>>
1(0)					1	0	0.1	0.0	
					1	0	0.1	0.0	
2(0)	10(3) Ad2(1) CA4(1) CB5(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	9(7) CA4(2) Rhino_untype(5)	7(6) CA4(5) Rhino_untype(1)	9(3) Ad2(1) CB5(1) Rhino_untype(2) <<2重複1>>	45	21	4.4	46.7	Ad2(2) CA4(8) CB5(2) hMPV(1) Rhino_untype(10) <<2重複2>>
1(0)			1(0)		6	0	0.6	0.0	
2(0)		3(0)	3(0)		34	0	3.3	0.0	
3(0)	4(0)	6(1) EV_untype(1)	2(0)	5(0)	40	2	3.9	5.0	EV_untype(1) FLU_AH1pdm09(1) RSA(1) <<2重複1>>
1(1) Ad1(1)	2(0)	3(1) Ad2(1)	1(1) Rhino_untype(1)	3(0)	30	13	2.9	43.3	Ad1(1) Ad2(1) hMPV(1) HSV1(1) PIV1(1) Rhino_untype(7) RSA(1)
4(4) Ad1(1) HHV7(1) Rhino_untype(3) <<2重複1>>		2(1) Rhino_untype(1)	6(3) HBov(2) HPeV1(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	2(0)	60	25	5.9	41.7	Ad1(1) HBov(2) HCov-229E(2) HCov-OC43(3) HHV7(1) hMPV(6) HPeV1(1) Rhino_untype(11) <<2重複2>>
4(1) Rhino_untype(1)	5(1) Ad5(1)	6(2) CA4(1) Rhino_untype(1)	10(0)		58	18	5.7	31.0	Ad1(1) Ad5(1) CA4(1) Rhino_untype(5) RSA(10)
	1(1) Ad53(1)	5(4) Ad53(4)	1(1) Ad56(1)	1(1) Ad53(1)	12	11	1.2	91.7	Ad_untype(2) Ad53(6) Ad54(1) Ad56(2)
16(2) CA4(2)	6(0)	15(2) HHV6_untype(1) Rhino_untype(1)	28(6) CB5(1) Dengue3(1) HPeV3(3) Rhino_untype(1)	9(0)	169	18	16.6	10.7	CA4(2) CB5(1) Dengue1(1) Dengue2(1) Dengue3(1) HAV(2) HCov-OC43(1) HHV6_untype(2) HHV7(1) HPeV3(3) Rhino_untype(3)
5(0)	7(0)		9(0)	4(0)	156	3	15.3	1.9	Rubella(2) Rubella-1E(1)
49(12)	50(10)	65(24)	74(21)	35(5)	1018	375	100.0	36.8	
4.8	4.9	6.4	7.3	3.4	100.0				
24.5	20.0	36.9	28.4	14.3	36.8				

(3) 疾患別検体数およびウイルス陽性率（表3）

疾患別検体数はインフルエンザ 281 件（27.6%、281/1,018）が最も多く、以下、風しん・麻しん 156 件（15.3%）、感染性胃腸炎 73 件（7.2%）、下気道炎 60 件（5.9%）、RS ウイルス感染症 58 件（5.7%）であった。

インフルエンザは1月の検体が124件（44.1%、124/281）と最も多く、次いで2月95件（33.8%）、3月24件（8.5%）の順であった。ウイルスが検出された検体はAH1pdm09亜型が108件で最も多く、次いでB型80件であった。他にライノウイルスが8件、RSウイルスが4件、ヒトメタニューモウイルスが4件から検出された。

風しん・麻しんは1月の検体が52件（33.3%、52/156）と最も多く、次いで2月20件（27.4%）、3月および6月各15件（9.6%）の順であった。風しんウイルスが検出された検体は3件で、麻しんウイルスが検出された検体は0件であった。

感染性胃腸炎は1月の検体が23件（31.5%、23/73）と最も多く、次いで2月36件（12.5%）、3月および9月各5件（6.8%）の順であった。ウイルスが検出された検体は、ノロウイルスが24件と最も多く、次いでアデノウイルスおよびアストロウイルス各4件等であった。

下気道炎は2月および3月の検体が各13件（21.7%、13/60）と最も多く、次いで1月10件（16.7%）、11月6件（10.0%）の順であった。ウイルスが検出された検体は、ライノウイルスが11件と最も多く、次いでヒトメタニューモウイルス6件、季節性のコロナウイルス5件等であった。

RSウイルス感染症は3月の検体が15件（25.9%、15/58）と最も多く、次いで2月が11件（19.0%）、11月10件（17.2%）の順であった。ウイルスが検出された検体は、RSウイルスが10件と最も多く、ライノウイルス5件等であった。

疾患別検体のウイルス陽性率は、流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎（91.7%、11/12）が最も高く、次いでインフルエンザ（74.0%、208/281）、咽頭結膜熱（58.6%、17/29）、水痘（50.0%、3/6）の順であり、他は、50%未満であった。インフルエンザから検出されたウイルスは前述のとおりである。

流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎では、陽性検体11件すべてからアデノウイルスが検出され、53型が6件、54型が1件、56型が2件、64型が1件から検出された。

咽頭結膜熱では、陽性となった17件中、アデノウイルスが13件（76.5%）検出され、2型の9件が最も多く、次いで3型が2件、1型および5型が各1件の順であった。

水痘では、ウイルスが陽性となった6件中3件（50.0%）から水痘帯状疱疹ウイルスが検出された。

また、陽性率の低い疾患は、風しん・麻しん（1.9%、3/156）、無菌性髄膜炎（5.0%、2/40）であった。

(4) 検体の種類別検体数およびウイルス陽性率 (表 4)

検体の種類別では咽頭拭い液 372 件 (36.5%、372/1,018) が最も検体数が多かった。以下、鼻汁・鼻腔拭い液 191 件 (18.8%)、便・直腸拭い 135 件 (13.3%)、血液・血清 94 件 (9.2%) の順であった。ウイルス陽性率は、うがい液 85.2% (46/54) で最も高かった。次いで結膜ぬぐい液 84.6% (11/13)、鼻汁・鼻腔拭い液 70.7% (135/191) の順で、他は、50%未満であった。

検体数の多い疾患について検体の種類をみると、最も多いインフルエンザは、咽頭拭い液 114 件 (40.6%、114/281) が最も多く、陽性率は 50.9% (58/114) であった。次いで鼻汁・鼻腔拭い液、うがい液がそれぞれ 107 件 (38.1%)、52 件 (18.5%) であり、陽性率はそれぞれ 95.3% (102/107)、88.5% (46/52) であった。

風しん・麻しんは、血液・血清 53 件 (40.0%、53/156)、咽頭ぬぐい液 52 件 (33.3%)、尿 50 件 (32.1%) で、陽性率はそれぞれ 1.9% (1/53)、1.9% (1/52)、2.0% (1/50) であった。

感染性胃腸炎の検体では、便・直腸拭いが 97.3% (71/73) を占め、陽性率 45.1% (32/71) であった。

(文責：廣井)

表4. 疾患別にみた検体の種類とウイルス陽性数（2020.1～12）

疾患名/検体名	便・直腸拭い	咽頭拭い液	うがい液	鼻汁・鼻腔拭い液
インフルエンザ	3(0)	114(58) Ad1(2) Ad2(1) Ad3(1) CA4(1) FLU_AH1pdm09(28) FLU_B_Victoria(13) hMPV(3) HSV1(1) Rhino_untype(8) RSA(4) <<2重複4>>	52(46) FLU_AH1pdm09(20) FLU_AH3(2) FLU_B_Victoria(24)	107(102) FLU_AH1pdm09(58) FLU_B(1) FLU_B_Victoria(42) hMPV(1)
咽頭結膜熱		29(17) Ad1(1) Ad2(9) Ad3(2) Ad5(1) hMPV(1) PIV1(1) Rhino_untype(2) RSB(1) <<2重複1>>		
感染性胃腸炎	71(32) Ad2(1) Ad40/41(2) Ad5(1) Astro_type4(1) Astro_untype(2) AstroT1(1) NVG2_untype(7) NVG2-2(1) NVG2-4(16) Rota_untype(1) Sapo_untype(1) <<2重複2>>	1(0)		
水痘		3(2) VZV(2)		
手足口病	2(0)	14(4) Ad5(1) CA4(2) RhinoA(1) RSA(1) <<2重複1>>		
伝染性紅斑				
突発性発疹				
ヘルパンギーナ	1(1) CA4(1)	44(20) Ad2(2) CA4(7) CB5(2) hMPV(1) Rhino_untype(10) <<2重複2>>		
流行性耳下腺炎		6(0)		
脳症・脳脊髄炎	10(0)	2(0)		7(0)
無菌性髄膜炎	5(1) EV_untype(1)	8(1) FLU_AH1pdm09(1) RSA(1) <<2重複1>>		2(0)
口内炎・上気道炎	2(0)	11(3) hMPV(1) HSV1(1) RSA(1)		13(8) Ad1(1) Ad2(1) PIV1(1) Rhino_untype(5)
下気道炎	1(0)	6(3) HCov-OC43(1) HHV7(1) hMPV(1) Rhino_untype(1) <<2重複1>>	1(0)	33(20) Ad1(1) HBov(1) HCov-229E(2) HCov-OC43(2) hMPV(5) Rhino_untype(9)
RSウイルス感染症		50(14) Ad1(1) Ad5(1) CA4(1) Rhino_untype(4) RSA(7)		7(4) Rhino_untype(1) RSA(3)
流行性角結膜炎・急性出血性結膜炎				
その他	40(3) CB5(1) HAV(2)	32(6) CA4(2) HHV6_untype(1) HHV7(1) HPeV3(1) Rhino_untype(1)		22(1) HCov-OC43(1)
風しん・麻しん		52(1) Rubella(1)	1(0)	
計	135(37)	372(129)	54(46)	191(135)
構成割合(%)	13.3	36.5	5.3	18.8
陽性割合(%)	27.4	34.7	85.2	70.7

注1：() 陽性数、(《》)2種類以上の検出がみられた検体数
 注2：ウイルス名は、表1の() の略称に準じて記載

喀痰・気管吸引液	結膜拭い液	髄液	血液・血清	尿	皮膚拭い液・ 水疱	吐物	その他	検体数	陽性数	構成割合 (%)	陽性割合 (%)
3(2) FLU_AH1pdm09(2)	0	1(0)	1(0)					281	208	27.6	74.0
								29	17	2.8	58.6
		1(0)						73	32	7.2	43.8
			1(0)		2(1) VZV(1)			6	3	0.6	50.0
					1(0)			17	4	1.7	23.5
			1(0)					1	0	0.1	0.0
		1(0)						1	0	0.1	0.0
								45	21	4.4	46.7
								6	0	0.6	0.0
2(0)		10(0)	2(0)	1(0)				34	0	3.3	0.0
		25(0)						40	2	3.9	5.0
2(2) Rhino_unttype(2)		1(0)	1(0)					30	13	2.9	43.3
14(2) HBov(1) HPeV1(1) Rhino_unttype(1) <<2重複1>>		3(0)	2(0)					60	25	5.9	41.7
		1(0)						58	18	5.7	31.0
	12(11) Ad_ unttype(2) Ad53(6) Ad54(1) Ad56(2)							12	11	1.2	91.7
3(2) Rhino_unttype(2)	1(0)	32(1) HPeV3(1)	33(5) Dengue1(1) Dengue2(1) Dengue3(1) HHV6_ unttype(1) HPeV3(1)	5(0)			1(0)	169	18	16.6	10.7
			53(1) Rubella(1)	50(1) Rubella- 1E(1)				156	3	15.3	1.9
24(8)	13(11)	75(1)	94(6)	56(1)	3(1)	0(0)	1(0)	1018	375	100.0	36.8
2.4	1.3	7.4	9.2	5.5	0.3	0.0	0.1	100.0			
33.3	84.6	1.3	6.4	1.8	33.3	0.0	0.0	36.8			

2. 細菌検査情報

1) 大阪府内で届け出のあった一類、二類（結核を除く）および三類感染症の病原菌検出状況（表5及び表6）

大阪府ではこの1年間にペスト（一類感染症）、ジフテリア（二類感染症）は発生しなかった。三類感染症は以下のとおりである。

1. コレラ：この一年間に発生はなかった。
2. 細菌性赤痢：1例あり、推定感染国はネパールで、*Shigella flexneri* が分離された。
3. 腸チフス：1例あり、推定感染国は、インド（ファージ型 E1）であった。
4. パラチフス：この一年間に発生はなかった。
5. 腸管出血性大腸菌感染症：147例の届出があった。全体の発生状況としては、O157によるものが最も多く103例あり、次いでO26が18例であった。

表5 大阪府における一類、二類および三類感染症の発生状況 2020年

類型	感染症名	大阪府内計	大阪府内再掲											
			大阪府	大阪市	堺市	高槻市	東大阪市	豊中市	枚方市	八尾市	寝屋川市	吹田市		
一類感染症	ペスト	0												
二類感染症	ジフテリア	0												
三類感染症	コレラ	0												
	細菌性赤痢	1 (1)		1 (1)										
	腸チフス	1 (1)			1 (1)									
	パラチフス	0												
	腸管出血性大腸菌感染症	147	39	52	16	10	4	7	3	4	4	4	8	

()内は輸入例数再掲。

表 6 腸管出血性大腸菌の血清群 2020 年

血清群	VT型	大阪府内小計		大阪府内再掲										
		感染者数	HUS	大阪府	大阪市		堺市	高槻市	東大阪市	豊中市	枚方市	八尾市	寝屋川市	吹田市
				感染者数	感染者数	HUS	感染者数	感染者数	感染者数	感染者数	感染者数	感染者数	感染者数	感染者数
O157	1&2	63	0	15	27		8	3	4		2	2	1	1
	2	26	1	7	8	1	2	4		2	1	1	1	
	1	4	0	4										
	不明	10	1	3	5	1		1					1	
O157小計		103	2	29	40	2	10	8	4	2	3	3	1	3
O37	1	1	0											1
O26	1	18	0	4	6		4			1		2	1	
O81	2	1	0									1		
O91	1&2	2	0		1						1			
O91	1	1	0		1									
O103	1	2	0	1			1							
O103	1&2	1	0	1										
O111	1&2	1	0										1	
O111	2	1	0	1										
O111	1	1	0		1									
O115	1	1	0	1										
O145	1	2	0				2							
O145	2	1	0	1										
O165	1&2	1	0		1									
O群不明	1&2	2	0						1				1	
O群不明	2	5	0	1	1				3					
O群不明	1	3	0		1		1						1	
O157以外小計		44	0	10	12	0	6	2	0	5	0	1	3	5
合計		147	2	39	52	2	16	10	4	7	3	4	4	8

2) 四類感染症の病原菌検出状況

1月と6月にレジオネラ症として届出のあった患者の喀痰から、*Legionella pneumonia* 血清群 1 がそれぞれ分離された。

3) 五類感染症の病原菌検出状況：(表 7-1~7-3)

定点医療機関に病原体サーベイランスについての冊子および検体輸送用のシードスワブを配布し、検体採取の依頼を行った。表 7-1、2 に A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎の月別検出数を示した。

表 7-3 にカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症として届出された症例のうち、収集した菌株について、菌種およびカルバペネマーゼ遺伝子保有状況を示した。検出されたカルバペネマーゼ遺伝子のほとんどが IMP 型であったが、KHM 型が 1 株から検出された。また、今年カルバペネマーゼ遺伝子が検出されない菌株の割合 (74.6%) が、昨年 (63.7%) よりも若干高かった。

表 7-1 診断名：A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、検出病原体：Streptococcus pyogenes

血清型	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
T1	2			1							1		
T4	4	1	1				1			1			
T11	1										1		
TB3264	1				1								
合計	8	1	1	1	1	0	1	0	0	1	2	0	0

表 7-2 診断名：感染性胃腸炎

検出病原体	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Salmonella Enteritidis	1	1											
Salmonella Oranienburg	1		1										
Salmonella Thompson	1							1					
Salmonella Newport	1									1			
Salmonella Braenderup	1									1			
Salmonella Saintpaul	1										1		
Salmonella spp. (型別不能)	1							1					
合計	7	1	1	0	0	0	0	2	0	2	1	0	0

表 7-3 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌検出状況

菌種	株数合計	カルバペネマーゼ遺伝子型		
		IMP型	その他*	検出されず
<i>Klebsiella aerogenes</i>	43	1	0	42
<i>Enterobacter cloacae complex</i>	41	8	0	33
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	23	16	0	7
<i>E. coli</i>	11	5	0	6
<i>Serratia marcescens</i>	5	0	0	5
<i>Citrobacter freundii</i>	2	0	1 (KHM)	1
<i>Providencia rettgeri</i>	1	1	0	0
合計	126	31	1	94

* ()内はIMP型以外に検出されたカルバペネマーゼの種類

4) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症調査（近畿地区の成績）

近畿地区内で報告のあった劇症型溶血性レンサ球菌のうち、菌株の確保できた 75 例 75 株（昨年は 116 例）について解析を実施した（表 8）。血清群ごとの内訳は、A 群が 34 株、B 群が 15 株、G 群が 25 株、型別不能が 1 株であった。A 群及び G 群による劇症例の割合が多いのは、昨年と同様であった。また、A 群及び G 群の内訳については、A 群では、血清型/M 蛋白遺伝子型 T1 型/emm1.0 と TB3264 型/emm89.0 がそれぞれ 7 株（20.6%）で最も多く、G 群では、M 蛋白遺伝子型 stG485.0 が 7 株（28.0%）で最も多く、次いで stG6792.3 が 5 株（20.0%）で多かった。なお、A 群の主要な血清型が T1 型と TB3264 型である点は、ここ数年の全国的な傾向と同様であった。

（文責：川津）

表 8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症例 2020 年 近畿地区

	発症日	年齢	性別	発生区域	菌種	血清群	血清型	emm型	毒素型
1	2020/01/01	4	女	滋賀県	<i>S. pyogenes</i>	A群	T1	emm1.0	speA, speB
2	2020/01/01	86	女	兵庫県	<i>S. agalactiae</i>	B群	Ib		
3	2020/01/01	83	男	大阪府	<i>S. agalactiae</i>	B群	VIII		
4	2020/01/01	97	女	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG652.0	
5	2020/01/03	69	女	和歌山県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG4974.3	
6	2020/01/04	80	男	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm49.0	speB
7	2020/01/05	88	女	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG653.0	
8	2020/01/10	73	女	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm82.0	speB, speC
9	2020/01/13	84	女	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG485.0	
10	2020/01/14	70	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	TB3264	emm89.0	speB, speC
11	2020/01/16	32	女	和歌山県	<i>S. pyogenes</i>	A群	T4	emm4.0	speB, speC
12	2020/01/16	58	男	大阪府	<i>S. canis</i>	G群		型別不能	
13	2020/01/17	64	男	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T1	emm1.0	speA, speB, speC
14	2020/01/26	81	男	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG485.0	
15	2020/01/26	95	女	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG6792.3	
16	2020/02/04	39	女	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	T11	emm44.0	speB
17	2020/02/04	30	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T4	emm4.19	speB, speC
18	2020/02/09	68	男	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	TB3264	emm89.0	speB
19	2020/02/12	82	女	京都府	<i>S. agalactiae</i>	B群	V		
20	2020/02/15	80	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T1	emm1.0	speA, speB, speC
21	2020/02/17	60	男	奈良県	<i>S. pyogenes</i>	A群	T12	emm12.55	speB
22	2020/02/19	63	女	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG485.0	
23	2020/02/23	87	女	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG485.0	
24	2020/02/28	0	男	兵庫県	<i>S. agalactiae</i>	B群	III		
25	2020/03/02	91	女	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	T11	emm11.0	speB, speC

表8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症例 2020年 近畿地区(つづき)

発症日	年齢	性別	発生区域	菌種	血清群	血清型	emm型	毒素型	
26	2020/03/07	78	女	奈良県	<i>S. pyogenes</i>	A群	T3	emm3.1	speB
27	2020/03/17	65	男	和歌山県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG6792.3	
28	2020/04/01	35	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T1	emm1.0	speA, speB
29	2020/04/04	91	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	TB3264	emm89.0	speB
30	2020/05/05	53	男	奈良県	<i>S. pyogenes</i>	A群	T25	emm75.0	speB
31	2020/05/10	85	女	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG6792.3	
32	2020/05/14	85	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T1	emm1.0	speA, speB
33	2020/05/15	47	男	奈良県	<i>S. constellatus</i> subsp. <i>constellatus</i>	型別不能			
34	2020/05/15	68	男	兵庫県	<i>S. agalactiae</i>	B群	V		
35	2020/05/19	56	男	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	TB3264	emm81.0	speB
36	2020/05/20	0	男	兵庫県	<i>S. agalactiae</i>	B群	III		
37	2020/05/20	80	女	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG245.0	
38	2020/05/25	79	男	京都府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG840.0	
39	2020/05/31	87	男	大阪府	<i>S. agalactiae</i>	B群	Ib		
40	2020/05/31	80	女	奈良県	<i>S. agalactiae</i>	B群	Ib		
41	2020/06/01	97	女	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG840.0	
42	2020/06/05	100	男	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG485.0	
43	2020/06/05	83	男	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG6792.3	
44	2020/06/10	85	女	奈良県	<i>S. agalactiae</i>	B群	Ia		
45	2020/06/20	0	男	兵庫県	<i>S. agalactiae</i>	B群	III		
46	2020/06/21	5	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T4	emm4.0	speB, speC
47	2020/07/05	52	男	大阪府	<i>S. agalactiae</i>	B群	V		
48	2020/07/07	95	女	大阪府	<i>S. agalactiae</i>	B群	IV		
49	2020/07/08	90	女	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG840.0	
50	2020/07/25	76	男	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm49.0	speB
51	2020/08/01	70	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm76.0	speB
52	2020/08/01	73	女	大阪府	<i>S. agalactiae</i>	B群	Ib		
53	2020/08/12	88	男	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG245.0	
54	2020/08/27	82	女	京都府	<i>S. agalactiae</i>	B群	Ib		
55	2020/08/29	66	女	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm49.0	speB
56	2020/09/01	57	男	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	T12	emm76.0	speB
57	2020/09/01	94	男	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	A群		stG485.0	
58	2020/09/02	62	男	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm81.0	speB
59	2020/09/04	72	男	京都府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T1	emm1.0	speA, speB
60	2020/09/11	75	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T12	emm76.0	speB
61	2020/09/15	89	男	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm49.0	speB
62	2020/09/15	92	男	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG245.0	
63	2020/10/06	73	女	京都府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG652.14	
64	2020/10/07	0	女	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	TB3264	emm89.0	speB
65	2020/10/09	47	男	京都府	<i>S. pyogenes</i>	A群	TB3264	emm89.0	speB, speC
66	2020/10/19	63	女	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	T1	emm1.0	speA, speB
67	2020/10/24	73	女	兵庫県	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm49.0	speB
68	2020/10/25	70	男	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG6792.3	
69	2020/10/28	72	女	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG6.10	
70	2020/11/02	77	男	大阪府	<i>S. agalactiae</i>	B群	Ib		
71	2020/11/04	81	女	大阪府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG485.0	
72	2020/11/16	77	男	兵庫県	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG245.0	
73	2020/11/21	84	男	京都府	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	G群		stG485.0	
74	2020/12/17	93	男	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	TB3264	emm89.0	speB
75	2020/12/19	83	男	大阪府	<i>S. pyogenes</i>	A群	型別不能	emm49.0	speB

V その他

大阪感染症情報解析委員会 「今週のトピックス」

毎週火曜日に、その前の1週間に府内保健所に報告があった全数把握感染症および、小児科定点把握疾患と眼科定点疾患の数を集計し、水曜日に開催される大阪感染症情報解析委員会において府内における感染症の流行状況を検討し、「今週のトピックス」を決定している。この情報は、大阪府感染症情報センターのホームページ (<http://iph.pref.osaka.jp>) を通じて広く府民に還元した。

2020年 小児科・眼科定点把握感染症の報告数上位5疾患とトピックス

週	1位	2位	3位	4位	5位	TOPICS
1	感染性胃腸炎 1.60	A群溶連菌咽頭炎 0.41	RSウイルス感染症 0.21	水痘 0.20	伝染性紅斑 0.10	インフルエンザ 注意レベル超え続く
2	感染性胃腸炎 5.72	A群溶連菌咽頭炎 2.11	水痘 0.54	伝染性紅斑 0.52	RSウイルス感染症 0.49	
3	感染性胃腸炎 4.60	A群溶連菌咽頭炎 2.11	RSウイルス感染症 0.46	伝染性紅斑 0.42	水痘 0.29	インフルエンザ 今後の動向に注意
4	感染性胃腸炎 5.59	A群溶連菌咽頭炎 2.66	RSウイルス感染症 0.47	伝染性紅斑 0.34	水痘 0.33	インフルエンザ 再び増加
5	感染性胃腸炎 5.74	A群溶連菌咽頭炎 3.16	RSウイルス感染症 0.49	咽頭結膜熱 0.41	水痘/伝染性紅斑 0.31	インフルエンザ 減少するも注意報超え続く
6	感染性胃腸炎 4.79	A群溶連菌咽頭炎 2.75	咽頭結膜熱 0.46	水痘 0.36	RSウイルス感染症 0.35	インフルエンザ 減少が続くもまだ注意が必要
7	感染性胃腸炎 4.47	A群溶連菌咽頭炎 2.44	RSウイルス感染症 0.44	咽頭結膜熱 0.35	突発性発しん 0.24	インフルエンザ 今後の動向に注意
8	感染性胃腸炎 5.05	A群溶連菌咽頭炎 2.73	RSウイルス感染症 0.40	咽頭結膜熱 0.35	水痘 0.33	インフルエンザ 減少するも注意報超え続く
9	感染性胃腸炎 3.54	A群溶連菌咽頭炎 2.10	RSウイルス感染症 0.33	水痘 0.31	咽頭結膜熱 0.28	インフルエンザ 減少傾向続く
10	感染性胃腸炎 3.02	A群溶連菌咽頭炎 2.19	RSウイルス感染症 0.40	咽頭結膜熱 0.30	水痘 0.29	インフルエンザ 減少続くも昨年同時期より高い
11	感染性胃腸炎 2.53	A群溶連菌咽頭炎 1.88	咽頭結膜熱 0.27	水痘 0.26	RSウイルス感染症 0.23	小児科・眼科定点疾患の報告数 減少傾向
12	感染性胃腸炎 1.82	A群溶連菌咽頭炎 1.20	突発性発しん 0.26	咽頭結膜熱 0.24	RSウイルス感染症 0.22	小児科・眼科定点疾患の報告数 更に減少
13	感染性胃腸炎 1.98	A群溶連菌咽頭炎 1.29	突発性発しん 0.36	流行性角結膜炎 0.27	水痘 0.19	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年同時期に比べ少ない
14	感染性胃腸炎 1.65	A群溶連菌咽頭炎 1.16	突発性発しん 0.27	流行性角結膜炎/ RSウイルス感染症/水痘 0.17	水痘 0.17	インフルエンザ 非流行期に
15	感染性胃腸炎 1.48	A群溶連菌咽頭炎 0.83	突発性発しん 0.30	RSウイルス感染症 0.14	水痘 0.13	小児科・眼科定点疾患の報告数 減少続く
16	感染性胃腸炎 1.24	A群溶連菌咽頭炎 0.55	突発性発しん 0.31	RSウイルス感染症/水痘 0.14	水痘 0.14	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
17	感染性胃腸炎 1.14	A群溶連菌咽頭炎 0.42	突発性発しん 0.29	流行性角結膜炎 0.13	咽頭結膜熱 0.08	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
18	感染性胃腸炎 1.06	A群溶連菌咽頭炎 0.41	突発性発しん 0.24	水痘 0.10	流行性目下腺炎/流行性角結膜炎 0.08	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
19	感染性胃腸炎 0.63	A群溶連菌咽頭炎 0.31	突発性発しん 0.23	水痘 0.08	流行性角結膜炎 0.06	
20	感染性胃腸炎 0.96	A群溶連菌咽頭炎 突発性発しん 0.36	水痘 0.09	手足口病 0.07	0.07	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
21	感染性胃腸炎 1.20	突発性発しん 0.34	A群溶連菌咽頭炎 0.27	水痘/ 流行性目下腺炎 0.07	0.07	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
22	感染性胃腸炎 1.19	突発性発しん 0.38	A群溶連菌咽頭炎 0.34	手足口病 0.12	流行性角結膜炎 0.12	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
23	感染性胃腸炎 1.49	突発性発しん 0.47	A群溶連菌咽頭炎 0.37	水痘 0.10	手足口病 0.08	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
24	感染性胃腸炎 1.67	突発性発しん 0.61	A群溶連菌咽頭炎 0.48	流行性角結膜炎 0.1	手足口病 0.09	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
25	感染性胃腸炎 1.92	突発性発しん 0.55	A群溶連菌咽頭炎 0.42	手足口病 0.13	流行性角結膜炎 0.08	小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少
26	感染性胃腸炎 2.08	A群溶連菌咽頭炎 0.60	突発性発しん 0.53	流行性角結膜炎/ 咽頭結膜熱/手足口病 0.08	0.08	感染性胃腸炎 4週連続して増加
27	感染性胃腸炎 2.08	A群溶連菌咽頭炎 0.63	突発性発しん 0.53	流行性角結膜炎 0.17	咽頭結膜熱 0.15	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱 増加
28	感染性胃腸炎 2.09	A群溶連菌咽頭炎 0.67	突発性発しん 0.55	咽頭結膜熱 0.13	ヘルパンギーナ 0.11	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、増加続く
29	感染性胃腸炎 2.13	A群溶連菌咽頭炎 0.62	突発性発しん 0.57	ヘルパンギーナ 0.16	咽頭結膜熱 0.15	ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱 増加
30	感染性胃腸炎 1.60	突発性発しん 0.46	A群溶連菌咽頭炎 0.39	咽頭結膜熱 0.15	ヘルパンギーナ 0.15	夏型感染症（咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ） 今後の動向に注意
31	感染性胃腸炎 1.98	突発性発しん 0.58	A群溶連菌咽頭炎 0.53	咽頭結膜熱 0.27	ヘルパンギーナ 0.20	夏型感染症（咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ） 増加続く
32	感染性胃腸炎 1.55	突発性発しん 0.42	A群溶連菌咽頭炎 0.36	ヘルパンギーナ 0.22	咽頭結膜熱 0.14	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱減少、ヘルパンギーナは増加
33	感染性胃腸炎 0.85	突発性発しん 0.33	A群溶連菌咽頭炎 0.27	咽頭結膜熱 0.22	ヘルパンギーナ 0.15	咽頭結膜熱 再び増加
34	感染性胃腸炎 1.87	突発性発しん 0.47	A群溶連菌咽頭炎 0.39	咽頭結膜熱 0.29	ヘルパンギーナ 0.23	感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、増加
35	感染性胃腸炎 1.95	突発性発しん 0.48	ヘルパンギーナ 0.41	A群溶連菌咽頭炎 0.38	流行性角結膜炎 0.25	ヘルパンギーナ 増加
36	感染性胃腸炎 1.94	突発性発しん 0.59	A群溶連菌咽頭炎 0.41	ヘルパンギーナ 0.32	咽頭結膜熱 0.28	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱 増加
37	感染性胃腸炎 2.12	A群溶連菌咽頭炎 0.58	突発性発しん 0.48	ヘルパンギーナ 0.47	咽頭結膜熱 0.33	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ 増加
38	感染性胃腸炎 1.92	A群溶連菌咽頭炎 0.58	ヘルパンギーナ 0.46	突発性発しん 0.43	咽頭結膜熱 0.24	咽頭結膜熱 減少
39	感染性胃腸炎 1.61	A群溶連菌咽頭炎 0.37	突発性発しん 0.34	ヘルパンギーナ 0.31	咽頭結膜熱 0.22	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 減少
40	感染性胃腸炎 1.76	ヘルパンギーナ 0.48	A群溶連菌咽頭炎 0.45	突発性発しん 0.40	咽頭結膜熱 0.21	ヘルパンギーナ 増加
41	感染性胃腸炎 1.78	A群溶連菌咽頭炎 0.45	突発性発しん 0.42	ヘルパンギーナ 0.38	流行性角結膜炎 0.17	インフルエンザ 例年同時期に比べ少ない
42	感染性胃腸炎 1.80	A群溶連菌咽頭炎 0.51	ヘルパンギーナ 0.48	突発性発しん 0.37	咽頭結膜熱/ 流行性角結膜炎 0.17	ヘルパンギーナ 増加
43	感染性胃腸炎 1.89	A群溶連菌咽頭炎 0.58	ヘルパンギーナ 0.49	突発性発しん 0.45	咽頭結膜熱 0.19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加
44	感染性胃腸炎 1.81	A群溶連菌咽頭炎 0.56	突発性発しん 0.36	ヘルパンギーナ 0.36	咽頭結膜熱 0.20	ヘルパンギーナ 減少
45	感染性胃腸炎 1.86	A群溶連菌咽頭炎 0.60	突発性発しん 0.31	ヘルパンギーナ 0.36	咽頭結膜熱 0.18	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加
46	感染性胃腸炎 1.98	A群溶連菌咽頭炎 0.54	突発性発しん 0.39	ヘルパンギーナ 0.30	水痘/咽頭結膜熱 0.23	水痘 増加
47	感染性胃腸炎 2.26	A群溶連菌咽頭炎 0.66	突発性発しん 0.40	ヘルパンギーナ 0.28	水痘 0.26	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加
48	感染性胃腸炎 2.28	A群溶連菌咽頭炎 0.54	突発性発しん 0.34	水痘 0.27	咽頭結膜熱 0.22	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 減少
49	感染性胃腸炎 2.24	A群溶連菌咽頭炎 0.72	水痘 0.35	突発性発しん 0.33	咽頭結膜熱 0.25	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加
50	感染性胃腸炎 2.28	A群溶連菌咽頭炎 0.72	突発性発しん 0.38	水痘 0.31	咽頭結膜熱 0.25	水痘 減少
51	感染性胃腸炎 2.38	A群溶連菌咽頭炎 0.61	突発性発しん 0.32	咽頭結膜熱 0.30	水痘 0.23	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 減少
52	感染性胃腸炎 2.76	A群溶連菌咽頭炎 0.60	咽頭結膜熱 0.26	突発性発しん 0.26	水痘 0.19	感染性胃腸炎 増加
53	感染性胃腸炎 1.09	A群溶連菌咽頭炎 0.22	突発性発しん 0.12	水痘 0.12	咽頭結膜熱 0.07	インフルエンザ 昨年同時期に比べ激減

注1: 遅延データは含まれていません。

注2: A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶連菌咽頭炎と表示しています。

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第1週 (12月30日～1月5日) ～2020年 第2週 (1月6日～1月12日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 注意報レベル超え続く」

2020年第1週と第2週をあわせて報告する。第1週は年末年始休暇による診療実日数の減少を考慮する必要がある。第1週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は529例であり、前週比81.5%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、水痘、伝染性紅斑の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.60、0.41、0.21、0.20、0.10であった。

第2週の報告数の総計は2,043例であり、前週比286.2%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、伝染性紅斑、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.72、2.11、0.54、0.52、0.49であった。

インフルエンザは第1週が37%減の3,348例、定点あたり報告数は11.16であった。第2週は70%増の5,685例で、定点あたり報告数は18.89となった。大阪府西部38.29、大阪府北部27.90、南河内22.75、泉州20.06、堺市18.45である。全ブロックで注意報レベルである10を超えた。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第2週1月6日～1月12日)

第2週の順位	第1週の順位	感染症	2020年第2週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第2週の定点あたり報告数	2020年第2週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	5.72	257%増	7.15	1歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.11	412%増	1.83	6歳_15%
3	4	水痘	0.54	168%増	0.57	5歳_14%
4	5	伝染性紅斑	0.52	442%増	0.56	6歳_22%
5	3	RSウイルス感染症	0.49	129%増	0.59	1歳未満_54%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	18.89	70%増	36.81	20歳以上_31%

第2週のコメント

～梅毒～ 大阪府における2019年の梅毒報告数は1000例を超えたが、2018年を下回っている

全数把握感染症

梅毒

国内の梅毒の報告数は、2010年より増加傾向にある。大阪府における2019年の報告数は、1000例を超えたが、前年を下回った。感染症法が施行された1999年以降、2018年は最も多い報告数であった。梅毒は、性行為・オラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗菌薬の投与で治癒が期待できる。

感染症疫学センターはこちら(外部リンク)
梅毒とは(国立感染症研究所)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第2週1月6日～1月12日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	府内累計
3類感染症	腸チフス	1					1			1
4類感染症	レジオネラ症 (肺炎型)	6	1	1				1	3	9
5類感染症	アメーバ赤痢	1	1							1
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1							4
	耐産型溶血性レンサ球菌感染症	1		1						3
	後天性免疫不全症候群	2							2	2
	慢性的インフルエンザ菌感染症	3						2	1	7
	慢性的肺炎球菌感染症	3		1					1	5
	梅毒	9	1		1				7	10
百日咳	1								1	
結核	結核 新登録患者数: 102名	(内 肺・喀痰塗抹陽性 31名)								
(2019年11月分)		(府内累計報告数 1,130名、内 肺・喀痰塗抹陽性 434名)								

(2020年1月14日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第3週 (1月13日～1月19日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 今後の動向に注意」

第3週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,672例であり、前週比18.2%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.60、2.11、0.46、0.42、0.29であった。

感染性胃腸炎は前週比20%減の906例で、大阪府西部7.22、南河内6.75、中河内5.80、大阪府北部5.64、北河内4.56である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増減なしの415例で、南河内3.81、堺市3.11、北河内2.70であった。RSウイルス感染症は5%減の91例で、大阪府北部1.00、北河内0.67、南河内・大阪府西部0.56である。伝染性紅斑は20%減の82例で、南河内1.25、泉州・大阪府北部・大阪府南部0.50であった。水痘は46%減の58例で、大阪府北部1.00、三島0.47、豊能0.41である。

インフルエンザは2%減の5,569例で、定点あたり報告数は18.56であった。大阪府西部34.86、南河内27.00、大阪府北部26.75、北河内18.79、泉州18.42である。全ブロックで注意報レベルである10を超えている。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第3週1月13日～1月19日)

第3週の順位	第2週の順位	感染症	2020年第3週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第3週の定点あたり報告数	2020年第3週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	4.60	20%減	6.82	1歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.11	0%増	1.91	6歳_14%
3	5	RSウイルス感染症	0.46	5%減	0.62	1歳_36%
4	4	伝染性紅斑	0.42	20%減	0.56	5歳_24%
5	3	水痘	0.29	46%減	0.27	10-14歳_16%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	18.56	2%減	46.09	20歳以上_21%

第3週のコメント

～バンコマイシン耐性腸球菌感染症～ 2019年の報告数は、大阪府が全国で第一位である

全数把握感染症

バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) は、バンコマイシンに耐性を獲得した腸球菌である。術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの感染症を引き起こす場合があるため、集中治療室や外科治療ユニットなど易感染者を治療する部門で問題となっており、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。VREによる術創感染症や腹膜炎などの治療は、抗菌薬の投与とともに感染巣の洗浄やドレナージなどを適宜組み合わせる。

感染症疫学センターはこちら(外部リンク)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症(国立感染症研究所)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第3週1月13日～1月19日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	府内累計
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1								1
4類感染症	デング熱			1						2
	マラリア	1								1
5類感染症	レジオネラ症 (肺炎型)	1					1			10
	ウイルス性肝炎 (B型)	1						1		1
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	3		1	1			1		8
	急性胆炎	1	1							4
	耐産型溶血性レンサ球菌感染症	1								1
	慢性的肺炎球菌感染症	4		1			2			10
	梅毒	14	2				2		10	34
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1			1					1	
百日咳	4	1							3	
結核	結核 新登録患者数: 102名	(内 肺・喀痰塗抹陽性 31名)								
(2019年11月分)		(府内累計報告数 1,130名、内 肺・喀痰塗抹陽性 434名)								

(2020年1月21日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第4週 (1月20日～1月26日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 再び増加」

第4週の小学生定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は2,021例であり、前週比20.9%増であった。報告数の第1位は感染性胃腸炎以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、伝染性紅斑、水痘の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ5.59、2.66、0.47、0.34、0.33である。感染性胃腸炎は前週比22%増の1,102例で、南河内8.94、大阪府西部8.22、中河内6.90、北河内6.89、三島5.94であった。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は26%増の524例で、大阪府西部・大阪府南部4.22、北河内3.78、堺市3.53、南河内3.44である。
RSウイルス感染症は2%増の93例で、大阪府北部1.29、大阪府西部1.22、中河内0.55、大阪府南部0.50、堺市0.47であった。
伝染性紅斑は18%減の67例で、南河内1.00、中河内0.50、泉州0.40である。
水痘は12%増の65例で、大阪府北部1.43、大阪府東部0.60、中河内0.40であった。

インフルエンザは14%増の6,358例で定点あたり報告数は21.19である。定点あたり報告数の上位は大阪府西部30.43、南河内30.38、中河内22.60、泉州22.00、北河内21.88で、府内11ブロック中9ブロックで定点あたり報告数が増加した。大阪府西部、南河内では、警報レベル基準値30を超えた。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第4週1月20日～1月26日)

第4週 の順位	第3週 の順位	感染症	2020年 第4週 の定点 あたり 報告数	前週 比 増減	2019年 第4週 の定点 あたり 報告数	2020年第4週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	5.59	22%増	7.49	1歳_19%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.66	26%増	2.25	5歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.47	2%増	0.67	1歳未満_38%
4	4	伝染性紅斑	0.34	18%減	0.53	4歳_22%
5	5	水痘	0.33	12%増	0.34	4歳_10-14歳_17%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	21.19	14%増	47.99	10-14歳_21%

第4週のコメント

～侵襲性髄膜炎菌感染症～ 大阪府では、2019年に、7例の報告があった。

全数把握感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症

侵襲性髄膜炎菌感染症は、髄膜炎菌 (*Neisseria meningitidis*) による侵襲性の感染症である。潜伏期は通常2～10日で、髄膜炎例では頭痛、発熱、髄膜炎症候群、痙攣、意識障害を示し、敗血症例では発熱、悪寒、ショック、播種性血管内凝固症候群 (DIC) を呈する。髄膜炎ベルト (meningitis belt) とよばれるアフリカ中部で発生が多く、日本では、学生寮等で集団発生の報告がある。治療には、ペニシリン系抗菌薬と第三世代セフェム系抗菌薬が有効である。患者との接触者には、緊急に、リファンピシンの予防投与が行われる。日本では、2015年より、4価髄膜炎菌 (血清型A、C、Y、W-135) ワクチンの任意接種が開始された

(累積報告数)

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[侵襲性髄膜炎菌感染症とは \(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第4週1月20日～1月26日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積
3 類感染症	3						2		1	5
4 類感染症	1								1	2
	1	1								12
5 類感染症	1								1	2
	2		1						1	11
	3					1	1	1	1	9
	2				1					6
	1								1	4
	2			1						9
	1								1	1
	3	1				1				16
	11	1					1	1		8
	5		1						1	3
10日限										
結核	結核 新登録患者数: 102名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 31名)									
(2019年11月分)	(府内累積報告数 1,130名、内 肺・喀痰塗抹陽性 434名)									
	(2020年1月28日 集計分)									

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第5週 (1月27日～2月2日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 減少するも注意報超え続く」

第5週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は2,155例であり、前週比6.6%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、伝染性紅斑、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.74、3.16、0.49、0.41、0.31、0.31であった。感染性胃腸炎は前週比3%増の1,131例で、南河内8.94、中河内7.05、泉州6.60、大阪府北部6.43、三島5.82であった。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比19%増の623例で、南河内4.75、堺市4.74、北河内4.33であった。
RSウイルス感染症は前週比4%増の97例で、大阪府西部1.00、泉州0.85、南河内0.75である。
咽頭結膜熱は前週比29%増の81例で、三島0.71、中河内0.55、大阪府南部0.50であった。
伝染性紅斑は前週比7%減の62例で、南河内0.88、大阪府東部0.67、泉州0.40である。
水痘は前週比5%減の62例で、大阪府西部1.00、三島0.53、大阪府北部0.50であった。

インフルエンザは20%減の5,065例で、定点あたり報告数は16.88であった。大阪府西部25.29、南河内22.13、中河内19.40、泉州18.61、北河内17.95である。府内全域で注意報レベルの10を超えている。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第5週1月27日～2月2日)

第5週 の順位	第4週 の順位	感染症	2020年 第5週 の定点 あたり 報告数	前週 比 増減	2019年 第5週 の定点 あたり 報告数	2020年第5週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	5.74	3%増	7.20	1歳_15%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.16	19%増	2.25	4歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.49	4%増	0.58	1歳未満_36%
4	4	咽頭結膜熱	0.41	29%増	0.33	1歳_23%
5	4	伝染性紅斑	0.31	5%減	0.48	5歳_19%
5	5	水痘	0.31	7%減	0.31	7歳_18%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	16.88	20%減	34.63	10-14歳_20%

第5週のコメント

～侵襲性肺炎球菌感染症～ 大阪府では毎年250例以上の報告があります

全数把握感染症

侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症は、感染症学上、肺炎球菌 (*Streptococcus pneumoniae*) による感染症のうち、この菌が髄液又は血液等の無菌部位から検出された感染症のことをいう。髄膜炎、敗血症を伴う肺炎、敗血症などが特に問題とされており、小児および高齢者を中心に患者報告がある。抗菌薬が有効であるが、近年薬剤耐性も多くなる報告されている。侵襲性肺炎球菌感染症の予防にはワクチンの接種が有効である。

(累積報告数)

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[侵襲性肺炎球菌感染症とは \(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第5週1月27日～2月2日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積
3 類感染症	1								1	1
	2								2	7
4 類感染症	1			1						1
	1						1			14
5 類感染症	2								1	16
	1					1				8
	3				1	1				22
	6			1						8
	1			1						4
	3	1								2
10日限										
結核	結核 新登録患者数: 145名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 52名)									
(2019年12月分)	(府内累積報告数 1,636名、内 肺・喀痰塗抹陽性 638名)									
	(2020年2月4日 集計分)									

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第6週 (2月3日～2月9日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 減少が概くもまだ注意が必要」

第6週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は1,859例であり、前週比13.7%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜炎、水痘、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.79、2.75、0.46、0.36、0.35である。感染性胃腸炎は前週比17%増の943例で、南河内7.75、大阪市北部6.36、北河内6.19、泉州4.75、堺市4.26、豊能4.23であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比13%減の542例で、堺市4.16、北河内3.70、南河内3.63、泉州3.50、大阪市西部2.89である。咽頭結膜炎は前週比12%増の91例で、泉州0.85、中河内0.75、北河内0.59であった。水痘は前週比13%増の70例で、大阪市北部1.21、大阪市東部0.53、中河内・泉州共に0.45である。RSウイルス感染症は前週比30%減の68例で、南河内0.63、大阪市北部0.57、中河内0.55であった。

インフルエンザは33%減の3,413例で、定点あたり報告数は11.38であった。中河内17.23、南河内14.42、大阪市北部12.50、堺市12.14、泉州11.61であった。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第6週2月3日～2月9日)

第6週の順位	第5週の順位	感染症	2020年第6週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第6週の定点あたり報告数	2020年第6週の年齢別患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	4.79	17%増	6.38	1歳_15%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.75	13%減	2.30	4歳_16%
3	4	咽頭結膜炎	0.46	12%増	0.43	1歳_24%
4	3	水痘	0.36	13%増	0.37	6歳_23%
5	5	RSウイルス感染症	0.35	30%減	0.68	1歳_38%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	11.38	33%減	21.04	10-14歳_22%

第6週のコメント

～ Dengue熱 ～ 海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

全数把握感染症

Dengue熱

Dengue熱は、ネッタイシマカやヒトシマカなどの蚊によって媒介されるDengueウイルスの感染症である。比較的軽症型のDengue熱と、重症型のDengue出血熱がある。熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカで見られ、全世界で年間約1億人がDengue熱を発症する。海外渡航で感染し国内で発症する例(輸入症例)が増加しており、2014年の夏季には輸入症例より持ち込まれたと考えられるウイルスにより、150例以上の国内流行が発生した。2019年にも、3例の国内発生報告があった。感染すると、3～7日程度の潜伏期間の後、38～40℃の急激な発熱を発症し、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛が出現する。2～7日で解熱し、解熱とともに発疹が現れることがある。

(累積報告数)

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[Dengue熱とは\(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第6週2月3日～2月9日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)
新型コロナウイルス感染症は、施行された2月1日以後の集計です。

疾患名 ()内の病名は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	北河内	中河内	南河内	堺市	大阪市	府内累積報告数
4 類感染症								
E型肝炎	1					1		2
Dengue熱 (I型)	1							3
ブルセラ症	1							1
レジオネラ症 (肺炎型)	1							1
5 類感染症								
急性脳炎	1						1	14
慢性的インフルエンザ感染症	2						2	11
慢性的肺炎球菌感染症	1		1					26
梅毒	8	1	1				1	5
百日咳	2							2
結核 (2019年12月分)	結核 新登録患者数: 145名		(内 肺・瘰癧塗抹陽性 52名)					
			(府内累積報告数 1,636名、内 肺・瘰癧塗抹陽性 638名)					

(2020年2月11日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第7週 (2月10日～2月16日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 今後の動向に注意」

第7週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は1,672例であり、前週比10.1%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜炎、突発性発疹の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.47、2.44、0.44、0.35、0.24である。感染性胃腸炎は前週比7%減の881例で、南河内6.06、泉州5.70、大阪市西部5.33、中河内5.10、大阪市北部4.79であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%減の481例で、南河内3.50、堺市3.47、北河内3.41である。RSウイルス感染症は26%増の86例で、泉州0.95、大阪市北部0.71、大阪市西部0.67であった。咽頭結膜炎は24%減の69例で、中河内0.55、泉州0.50、堺市0.42である。

インフルエンザは2%増の3,486例で、定点あたり報告数は11.62であった。大阪市西部17.21、中河内15.00、北河内14.29、南河内13.25、豊能12.59、堺市12.55であった。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第7週2月10日～2月16日)

第7週の順位	第6週の順位	感染症	2020年第7週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第7週の定点あたり報告数	2020年第7週の年齢別患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	4.47	7%減	5.92	1歳_15%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.44	11%減	1.78	5歳_16%
3	5	RSウイルス感染症	0.44	26%増	0.79	1歳_31%
4	3	咽頭結膜炎	0.35	24%減	0.43	1歳_29%
5	6	突発性発疹	0.24	16%減	0.30	1歳_62%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	11.62	2%増	9.28	10-14歳_25%

第7週のコメント

～レジオネラ症～ 2019年の累積報告数は、133例でした。

全数把握感染症

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラ (*Legionella pneumophila*) を代表とするレジオネラ属による細菌感染症である。土壌や水環境に、普遍的に存在する菌である。人工環境 (噴水等の水施設、ビル屋上に立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等) や循環水を利用した風呂から発生したレジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入することで感染する。病型として肺炎型と一過性で自然に改善するポテンテック熱型がある。ヒト・ヒト感染はない。健康者も罹患するが、細胞性免疫機能が低下している。乳幼児、高齢者など、喫煙者、大酒家は重篤化する可能性が高い。

(累積報告数)

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[レジオネラ症とは\(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第7週2月10日～2月16日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)
新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定められた2月1日以後の集計です。

疾患名 ()内の病名は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	北河内	中河内	南河内	堺市	大阪市	府内累積報告数
4 類感染症								
マラリア (不発)	1		1					2
レジオネラ症 (肺炎型)	3			1			1	18
5 類感染症								
アメーバ赤痢	2					1		5
カルバハナム菌性腸内細菌科細菌感染症	1				1			12
急性脳炎	1	1						18
後天性免疫不全症候群	3						1	2
梅毒	6		1		1	1	3	116
百日咳	3						1	2
結核 (2019年12月分)	結核 新登録患者数: 145名		(内 肺・瘰癧塗抹陽性 52名)					
			(府内累積報告数 1,636名、内 肺・瘰癧塗抹陽性 638名)					

(2020年2月18日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第8週 (2月17日～2月23日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 減少するも注意報超え続く」

第8週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,869例であり、前週比11.8%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ5.05、2.73、0.40、0.35、0.33である。感染性胃腸炎は前週比13%増の995例で、泉州7.55、南河内6.69、中河内6.15、大阪市西部6.11、北河内5.26であった。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は12%増の538例で、堺市4.53、北河内3.52、泉州3.45である。RSウイルス感染症は9%減の78例で、南河内1.19、泉州0.90、大阪市西部0.78であった。咽頭結膜熱は1%減の68例で、中河内0.65、三島0.53、泉州0.50である。水痘は55%増の65例で、中河内0.60、大阪市北部0.57、豊能0.55であった。

インフルエンザは6%減の2,249例で、定点あたり報告数は10.98である。中河内15.47、北河内15.12、大阪市北部13.95、大阪市西部13.43、堺市12.21、南河内10.75、豊能10.41であった。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第8週2月17日～2月23日)

第8週の順位	第7週の順位	感染症	2020年第8週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第8週の定点あたり報告数	2020年第8週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	5.05	13%増	7.06	2歳_13%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.73	12%増	2.56	4歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.40	9%減	0.86	1歳_37%
4	4	咽頭結膜熱	0.35	1%減	0.38	2歳_21%
5	6	水痘	0.33	55%増	0.26	8歳_20%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	10.98	6%減	6.49	10-14歳_28%

第8週のコメント

～百日咳～ 生後3か月からの予防接種が重要

全数把握感染症

百日咳

百日咳は、百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) による急性の気道感染症である。潜伏期は通常5～10日であり、かぜ様症状で始まる(カタル期)、百日咳特有の咳が始まる(痙攣期)。新生児や乳児早期では、肺炎、脳症を合併することがある。マクロライド系抗生薬が有効であるが、近年、薬剤耐性菌も報告されている。百日咳の予防には、ワクチン接種が有効であり、乳幼児期に計4回接種されている。2018年1月1日に小児科定点把握感染症から全数把握感染症に変更され、成人の報告数の把握が進んでいる。

(集積報告数)

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[百日咳とは\(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第8週2月17日～2月23日)

注：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります(報告があった疾患のみ記載します。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。)

疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州市	大阪市	府内累計報告数
3類感染症										
	腸管出血性大腸菌感染症	1							1	9
	ウイルス性肝炎(B型)	1							1	3
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2							2	21
	侵袭性肺炎球菌感染症	4			1			1	2	37
	梅毒	6	1			1		1	3	129
	百日咳	6			4		1		1	45
	風しん	1							1	3
結核	結核 新登録患者数：145名 (内 肺・喉症速扶陽性 52名)									
(2019年12月分)	(府内累計報告数 1,636名、内 肺・喉症速扶陽性 638名)									
	(2020年2月25日 集計分)									

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第9週 (2月24日～3月1日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 減少傾向続く」

第9週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は1,405例であり、前週比24.8%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、水痘、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.54、2.10、0.33、0.31、0.28である。感染性胃腸炎は前週比30%減の697例で、南河内6.31、大阪市西部4.67、泉州4.65、中河内3.80、北河内3.56であった。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は23%減の414例で、堺市2.95、北河内2.93、泉州2.80である。RSウイルス感染症は17%減の65例で、南河内1.00、大阪市西部0.78、泉州0.75であった。水痘は5%減の62例で、大阪市北部1.36、泉州0.45、堺市0.32である。咽頭結膜熱は19%減の55例で、泉州0.45、大阪市北部0.43、北河内・堺市0.37であった。

インフルエンザは11%減の2,941例で、定点あたり報告数は9.80であり、警報レベル終息基準値10を下回った。しかし大阪市北部14.25、中河内12.97、大阪市西部12.86、北河内12.69、堺市11.48などの5ブロックでまだ注意報レベルを超えている。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第9週2月24日～3月1日)

第9週の順位	第8週の順位	感染症	2020年第9週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第9週の定点あたり報告数	2020年第9週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	3.54	30%減	6.60	3歳_12%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.10	23%減	2.76	4歳_14%
3	3	RSウイルス感染症	0.33	17%減	0.99	1歳未満_32%
4	5	水痘	0.31	5%減	0.35	10-14歳_18%
5	4	咽頭結膜熱	0.28	19%減	0.48	1歳_25%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	9.80	11%減	4.57	10-14歳_24%

第9週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、中国を中心に世界的に広がりをみせている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日(平均5.6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状を呈し、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗いや咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

(報告数)

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第9週2月24日～3月1日)

注：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります(報告があった疾患のみ記載します。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。)

疾患名	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州市	大阪市	府内累計報告数
4類感染症										
	レジオネラ症(肺炎型)	1	1							19
5類感染症	アメーバ赤痢	3	1	2						8
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1							24
	侵袭性肺炎球菌感染症	2								2
	梅毒	2								2
	百日咳	4				1		1	2	52
指定感染症	新型コロナウイルス感染症									
	4									4
結核	結核 新登録患者数：145名 (内 肺・喉症速扶陽性 52名)									
(2019年12月分)	(府内累計報告数 1,636名、内 肺・喉症速扶陽性 638名)									
	(2020年3月3日 集計分)									

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第10週 (3月2日～3月8日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 減少傾向も昨年同時期より高い」

第10週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は総計11,329例であり、前週比5.4%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、水痘、の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.02、2.19、0.40、0.30、0.29である。感染性胃腸炎は前週比15%減の595例で、南河内5.81、泉州4.85、中河内3.90、北河内2.96、大阪市南部2.78であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%増の432例で、泉州3.25、堺市3.05、南河内2.81である。RSウイルス感染症は20%増の78例で、南河内1.19、泉州0.80、大阪市北部0.57であった。咽頭結膜熱は6%増の59例で、北河内0.56、中河内0.55、三島0.47である。水痘は6%減の58例、大阪市北部0.5、北河内0.48、中河内・豊能0.45であった。

インフルエンザは25%減の1,197例で、定点あたり報告数は7.32であり、北河内11.00、中河内10.52の2ブロックでまだ注意レベルを超えている。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第10週3月2日～3月8日)

第10週 の順位	第9週 の順位	感染症	2020年 第10週の 定点あたり 報告数	前週 比増減	2019年 第10週の 定点あたり 報告数	2020年第10週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	3.02	15%減	7.06	1歳_14%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.19	4%増	2.95	5歳_15%
3	3	RSウイルス感染症	0.40	20%増	1.13	1歳未満_44%
4	5	咽頭結膜熱	0.30	7%増	0.26	1歳_22%
5	4	水痘	0.29	6%減	0.37	5歳_22%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	7.32	25%減	3.18	10-14歳_22%

第10週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗い・咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認され以降、中国を中心に感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関 (WHO)は、2020年1月30日、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHIC)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (平均 5.6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗い・咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

(報告数)

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第10週3月2日～3月8日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「[週報]発生動向調査」全数報告をご覧ください。新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。)

病名 ()内の病名は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府内 累積 報告 数	
4類感染症	レジオネラ症 (肺炎型)	2	1						1	21	
5類感染症	カルバペナム耐性菌内臓科細菌感染症	1								1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1			1					2	
	前症型溶血性レンサ球菌感染症	1							1	14	
	ジアルシア症	1								1	
	慢性的インフルエンザ感染症	1							1	13	
慢性的肺炎球菌感染症	1	1								45	
梅毒	6							1	5	159	
百日咳	5			1		1				3	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	51								55	
結核 (2019年12月分)	結核 新登録患者数: 145名 (内 肺-喀痰塗抹陽性 52名)										(府内累積報告数 1,636名、内 肺-喀痰塗抹陽性 638名)

(2020年3月10日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第11週 (3月9日～3月15日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 減少傾向」

第11週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は総計11,129例であり、前週比15.0%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、水痘、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.53、1.88、0.27、0.26、0.23である。感染性胃腸炎は前週比16%減の498例で、南河内4.56、中河内4.15、泉州3.30、大阪市北部2.71、大阪市西部2.44であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は14%減の371例で、泉州2.95、南河内2.63、堺市2.26である。咽頭結膜熱は10%減の53例で、大阪市北部0.79、中河内0.55、三島0.53であった。水痘は12%減の51例で、大阪市北部0.43、北河内0.41、中河内・泉州0.30であった。RSウイルス感染症は41%減の46例で、大阪市北部0.50、大阪市西部0.44、大阪市0.40であった。

インフルエンザは65%減の759例で、定点あたり報告数は2.53であった。南河内4.08、大阪市北部3.90、中河内3.50であり、全ブロックで注意レベルである10を下回った。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第11週3月9日～3月15日)

第11週 の順位	第10週 の順位	感染症	2020年 第11週の 定点あたり 報告数	前週 比増減	2019年 第11週の 定点あたり 報告数	2020年第11週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.53	16%減	7.06	1歳_14%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.88	14%減	2.69	4歳_17%
3	4	咽頭結膜熱	0.27	10%減	0.48	1歳_23%
4	5	水痘	0.26	12%減	0.36	7歳_20%
5	3	RSウイルス感染症	0.23	41%減	1.15	1歳未満_30%
5	6	突発性赤しん	0.23	4%増	0.38	1歳_49%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	2.53	65%減	1.85	6歳_16%

第11週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗い・咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認され以降、感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関 (WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHIC)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (平均 5.6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗い・咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

(報告数)

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第11週3月9日～3月15日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「[週報]発生動向調査」全数報告をご覧ください。新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。)

病名 ()内の病名は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府内 累積 報告 数	
4類感染症	デング熱	1								4	
5類感染症	アメーバ赤痢	2	1		1					11	
	カルバペナム耐性菌内臓科細菌感染症	1	1							30	
	後天性免疫不全症候群	1							1	21	
	慢性的肺炎球菌感染症	1				1				48	
	水痘 (入院例)	1							1	3	
梅毒	12	1		4	1	1		1	4	188	
百日咳	5				1	1		1	3	71	
麻疹	1								1	1	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	51								106	
結核 (2020年1月分)	結核 新登録患者数: 138名 (内 肺-喀痰塗抹陽性 47名)										(府内累積報告数 138名、内 肺-喀痰塗抹陽性 47名)

(2020年3月18日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第12週 (3月16日～3月22日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 更に減少」

第12週の定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は前週比26.7%減の827例であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンガ球菌咽頭炎、突発性発しん、咽頭結核熱、RSウイルス感染症の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.82、1.20、0.26、0.24、0.22である。感染性胃腸炎は前週比28%減の358例で、南河内3.00、中河内2.95、泉州2.20、大阪市西部1.89、大阪府南部1.83であった。A群溶血性レンガ球菌咽頭炎は36%減の236例で、泉州2.25、南河内1.81、大阪府南部1.44である。咽頭結核熱は9%減の48例で、大阪府南部0.61、中河内0.45、堺市0.37であった。RSウイルス感染症は4%減の44例で、大阪府南部0.44、泉州0.40、南河内0.31である。インフルエンザは60%減の306例で、定点あたり報告数は1.02であった。大阪府西部3.50、北河内1.31、南河内1.29であった。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

第12週の順位	第11週の順位	感染症	2020年第12週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第12週の定点あたり報告数	2020年第12週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.82	28%減	6.15	20歳以上_16%
2	2	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	1.20	36%減	2.30	4歳_16%
3	6	突発性発しん	0.26	13%増	0.29	1歳_51%
4	3	咽頭結核熱	0.24	9%減	0.47	2歳_23%
5	5	RSウイルス感染症	0.22	4%減	1.24	1歳_41%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	1.02	60%減	1.66	20歳以上_20%

第12週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗い咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がっている。世界保健機関 (WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」、3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (平均5.6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗い咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	報告数	府内累積報告数
4								1	1	22
5	アダーバ毒菌	1		1						12
	ウイルス性肝炎 (B型)	1	1							6
	カルバヘナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1	1	32
	後天性免疫不全症候群	1						1	1	14
	慢性的肺炎球菌感染症	1						1	1	49
	梅毒	9	1						8	220
風しん	1							1	5	
指定感染症	24									133
結果	結果 新登録患者数: 138名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 47名)									(府内累積報告数 138名、内 肺・喀痰塗抹陽性 47名)
(2020年3月24日 集計済)										

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第13週 (3月23日～3月29日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年同時期に比べ少ない」

第13週の定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は876例であり、前週比5.9%増であった。報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンガ球菌咽頭炎、突発性発しん、流行性角結膜炎、水痘順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.98、1.29、0.36、0.27、0.19である。感染性胃腸炎は前週比9%増の391例で、南河内2.75、大阪府西部2.67、三島2.29、豊能2.27、中河内2.25であった。A群溶血性レンガ球菌咽頭炎は8%増の254例で、泉州2.25、南河内2.06、三島1.47、大阪府南部1.44、堺市1.32である。流行性角結膜炎は133%増の14例で、北河内1.00、大阪府北部0.80、大阪府西部0.50、大阪府東部0.33、泉州0.17であった。水痘は7%減の38例で、北河内0.44、泉州0.30、大阪府東部0.27、南河内0.25、大阪府北部0.21である。インフルエンザは49%減の157例で定点あたり報告数は0.52であった。大阪府西部1.14、三島0.81、泉州0.79、中河内0.73、南河内0.67である。定点あたり報告数は1を下回り、非流行期に入ったと考えられる。

感染性胃腸炎

インフルエンザ

第13週の順位	第12週の順位	感染症	2020年第13週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第13週の定点あたり報告数	2020年第13週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.98	9%増	5.51	20歳以上_16%
2	2	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	1.29	8%増	2.15	4歳_18%
3	3	突発性発しん	0.36	39%増	0.39	1歳_54%
4	8	流行性角結膜炎	0.27	133%増	0.33	20歳以上_93%
5	6	水痘	0.19	7%減	0.31	4歳_21%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.52	49%減	1.14	4歳_18%

第13週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗い咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がっている。世界保健機関 (WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」、3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (平均5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗い咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	報告数	府内累積報告数
3								1	1	11
4								1	1	24
5	カルバヘナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1							33
	後天性免疫不全症候群	1						1	1	26
	慢性的肺炎球菌感染症	2						1	1	51
	梅毒	8		3	1				4	234
	百日咳	3				1		1	1	73
	指定感染症	75								
結果	結果 新登録患者数: 138名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 47名)									(府内累積報告数 138名、内 肺・喀痰塗抹陽性 47名)
(2020年3月31日 集計済)										

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第14週 (3月30日～4月5日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 非流行期」

第14週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は756例であり、前週比13.7%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンガ球菌咽頭炎、突発性発疹、流行性角結膜炎、RSウイルス感染症、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.65、1.16、0.27、0.17、0.17であった。
感染性胃腸炎は前週比17%減の326例で、中河内3.15、大阪市西部2.44、南河内2.31、大阪市南部2.11、泉州1.85である。
A群溶血性レンガ球菌咽頭炎は前週比10%減の228例で、泉州2.05、大阪市南部1.78、大阪市北部1.71であった。
流行性角結膜炎は前週比36%減の9例で、大阪市西部0.50、堺市-中河内0.40である。
RSウイルス感染症は前週比22%増の33例で、大阪市東部0.40、北河内0.26、南河内0.25であった。
水痘は前週比13%減の33例で、三島0.29、大阪市東部0.27、大阪市西部0.22である。

インフルエンザは41%減の92例で、定点あたり報告数は0.31であった。南河内0.96、大阪市西部0.50、泉州0.42、北河内0.36、中河内0.30である。流行期の目安となる定点あたり1.00を2週続けて下回り、非流行期入りした。

感染性胃腸炎

インフルエンザ

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第14週3月30日～4月5日)

第14週 の順位	第13週 の順位	感染症	2020年 第14週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第14週の 定点あたり 報告数	2020年第14週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.65	17%減	5.33	20歳以上_19%
2	2	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	1.16	10%減	1.85	5歳_19%
3	3	突発性発疹	0.27	24%減	0.39	1歳_48%
4	4	流行性角結膜炎	0.17	36%減	0.37	20歳以上_89%
4	7	RSウイルス感染症	0.17	22%増	1.01	1歳未満_30%
4	5	水痘	0.17	13%減	0.29	6歳_18%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.31	41%減	0.94	20歳以上_23%

第14週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗いや咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関 (WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」を3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。
これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (平均5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸器腫瘍等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗いや咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第14週3月30日～4月5日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります。
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告 をご覧ください。
新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。)

疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1	1							12
4類感染症 A型肝炎	1	1							3
4類感染症 レジオネラ症 (肺炎型)	1							1	26
4類感染症 レジオネラ症 (無症状病原体保有者)	1							1	1
5類感染症 アメーバ赤痢	1		1						15
5類感染症 後天性免疫不全症候群	1							1	31
5類感染症 梅毒	4		1				1	2	252
5類感染症 百日咳	3		1		2				78
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	192								406
結核	新登録患者数: 124名 (内 肺-喀痰塗抹陽性 44名) (2020年2月分) (府内累積報告数 264名、内 肺-喀痰塗抹陽性 93名) (2020年4月7日 集計分)								

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第15週 (4月6日～4月12日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 減少続」

第15週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は625例であり、前週比17.3%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンガ球菌咽頭炎、突発性発疹、RSウイルス感染症、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.48、0.83、0.30、0.14、0.13であった。
感染性胃腸炎は前週比11%減の291例で、中河内2.40、南河内2.31、泉州2.20、三島1.82、大阪市西部1.56である。
A群溶血性レンガ球菌咽頭炎は前週比29%減の163例で、南河内1.63、中河内1.55、泉州1.30であった。
RSウイルス感染症は前週比18%減の27例で、大阪市南部-大阪市西部0.33、中河内0.25である。
水痘は前週比21%減の26例で、北河内0.30、三島0.24、大阪市北部0.21であった。

インフルエンザは第14週に非流行期となったため、記載を省略しました。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンガ球菌咽頭炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第15週4月6日～4月12日)

第15週 の順位	第14週 の順位	感染症	2020年 第15週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第15週の 定点あたり 報告数	2020年第15週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.48	11%減	7.10	1歳_16%
2	2	A群溶血性レンガ球菌咽頭炎	0.83	29%減	2.40	4歳_20%
3	3	突発性発疹	0.30	9%増	0.48	1歳_49%
4	4	RSウイルス感染症	0.14	18%減	1.18	1歳未満_41%
5	4	水痘	0.13	21%減	0.24	1歳_27%

第15週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗いや咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関 (WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」を3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。
4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言を発生させ、大阪府を含む7府県が対象地域に指定された。感染拡大を防止するため、3密の回避や外出自粛など、行動変容が強く求められている。
これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (平均5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸器腫瘍等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗いや咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第15週4月6日～4月12日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります。
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告 をご覧ください。
新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。)

疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1	1							13
4類感染症 レジオネラ症 (肺炎型)	2				1			1	28
4類感染症 カルバペネム耐性菌内臓器科細菌感染症	1							1	36
5類感染症 ジアルシア症	1		1						4
5類感染症 梅毒	2	1						1	267
5類感染症 百日咳	1							1	80
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	384								805
結核	新登録患者数: 124名 (内 肺-喀痰塗抹陽性 44名) (2020年2月分) (府内累積報告数 264名、内 肺-喀痰塗抹陽性 93名) (2020年4月14日 集計分)								

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第16週 (4月13日～4月19日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少」

第16週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は533例であり、前週比14.7%減であった(2019年第16週 3,166例、前年比83.2%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、RSウイルス感染症、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.24、0.55、0.31、0.14、0.14であった。

感染性胃腸炎は前週比16%減の244例で、南河内2.50、中河内2.15、泉州1.90、三島1.06、北河内・大阪市西部1.00である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比34%減の108例で、泉州1.05、南河内1.00、大阪市西部0.78であった。RSウイルス感染症は前週と変わらず27例で、大阪市南部0.67、大阪市西部0.22、中河内0.20であった。水痘は前週比4%増の27例で、三島0.35、中河内0.25、南河内・北河内0.19である。

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していない。)

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第16週の順位	第15週の順位	感染症	2020年第16週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第16週の定点あたり報告数	2020年第16週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.24	16%減	8.41	2歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.55	34%減	2.86	4歳_21%
3	3	突発性発しん	0.31	2%増	0.43	1歳_62%
4	4	RSウイルス感染症	0.14	増減なし	1.31	1歳未満_37%
4	5	水痘	0.14	4%増	0.23	2歳_5歳_19%

第16週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言し、3月11日に「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言が発出され、大阪府を含む7府県を対象地域に指定された。感染拡大を防止するため、3密の回避や外出自粛など、行動変容が強く求められている。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日(平均5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗いや咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

その他のグラフはこちら↓
[感染症情報センター 新型コロナウイルス感染症関連情報](#)

疾患名 ()内の病名は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
3類感染症										
4類感染症										
5類感染症										
指定感染症										
結核 (2020年2月分)	結核 新登録患者数: 124名	(内) 肺・喀痰塗抹陽性 44名								
		(府内累積報告数 264名、内) 肺・喀痰塗抹陽性 93名								

(2020年4月21日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第17週 (4月20日～4月26日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少」

第17週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は430例であり、前週比19.3%減であった(2019年第17週 3,382例、前年比87.3%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.14、0.42、0.29、0.13、0.08であった。

感染性胃腸炎は前週比8%減の224例で、南河内1.81、中河内1.75、大阪市南部1.72、三島1.41、泉州1.40である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比23%減の83例で、泉州1.15、中河内0.70、大阪市南部0.67であった。流行性角結膜炎は前週比17%増の7例で、大阪市東部・三島0.50、北河内0.33である。咽頭結膜熱は前週比35%減の15例で、泉州0.20、豊能0.14、南河内0.13であった。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第17週の順位	第16週の順位	感染症	2020年第17週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第17週の定点あたり報告数	2020年第17週の年齢別患者発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.14	8%減	8.62	1歳_19%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.42	23%減	2.91	3歳、4歳_14%
3	3	突発性発しん	0.29	7%減	0.64	1歳_50%
4	7	流行性角結膜炎	0.13	17%増	0.31	20歳以上_100%
5	6	咽頭結膜熱	0.08	35%減	0.75	1歳未満、1歳_33%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第17週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言し、3月11日に「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

2020年4月7日に改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づいて出された新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言について、4月16日に対象地域が全都道府県に拡大された。感染拡大を防止するため、3密の回避や外出自粛など、行動変容が強く求められている。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日(平均5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗いや咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

その他のグラフはこちら↓
[感染症情報センター 新型コロナウイルス感染症関連情報](#)

疾患名 ()内の病名は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
4類感染症										
5類感染症										
指定感染症										
結核 (2020年2月分)	結核 新登録患者数: 124名	(内) 肺・喀痰塗抹陽性 44名								
		(府内累積報告数 264名、内) 肺・喀痰塗抹陽性 93名								

(2020年4月28日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第18週 (4月27日～5月3日) ～2020年 第19週 (5月4日～5月10日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

〔小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少〕

第18週と第19週を合わせて報告する。行動変容や大型連休のための医療機関の診療日数の減少を考慮する必要があります。

第18週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は406例であり、前週比5.6%減であった(2019年第18週 1,041例、前年比61.0%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、水痘、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.06、0.41、0.24、0.10、0.08であった。

第19週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は276例であり、前週比32.0%減であった(2019年第19週 2,289例、前年比7.9%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、水痘、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ0.63、0.31、0.23、0.08、0.06であった。

感染性胃腸炎は前週比41%減の123例で、大阪市南部1.06、中河内1.00、大阪府西部0.89、泉州0.70、南河内0.69である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比26%減の60例で、泉州0.60、中河内0.55、大阪市北部0.50であった。水痘は前週比25%減の15例で、大阪市西部・北河内0.22、三島0.12であった。

流行性角結膜炎は前週比25%減の3例で、北河内0.50である。

感染性胃腸炎

2019.26w～
2018.26w～
警戒レベル: 20
注意レベル: 未設定

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2019.26w～
2018.26w～
警戒レベル: 8
注意レベル: 未設定

第19週 の順位	第18週 の順位	感染症	2020年 第19週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第19週の 定点あたり 報告数	2020年第19週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	0.63	41%減	5.32	20歳以上_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	26%減	2.27	20歳以上_18%
3	3	突発性発しん	0.23	6%減	0.47	1歳未満_42%
4	4	水痘	0.08	25%減	0.36	2歳, 4歳, 5歳, 10-14歳, 20歳以上_13%
5	5	流行性角結膜炎	0.06	25%減	0.25	20歳以上_100%

〔突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。〕

第19週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗い・咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がっている。世界保健機関 (WHO) は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」を宣言し、3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言を発生させ、大阪府を含む7府県が対象地域に指定された。感染拡大を防止するため、3密の回避や外出自粛など、行動変容が強く求められている。これまでの知見から、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日 (平均5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い・咳エチケットの徹底、換気、早期探知、封じ込めが重要である。

緊急事態宣言 (発出)

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

[感染症情報センター-新型コロナウイルス感染症関連情報](#)

疾患名 () 内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	電 能 三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
4類感染症 レジオネラ症(肺炎型)	2				1			1	35
5類感染症	カルバペネム耐性菌内臓器科細菌感染症	1						1	42
	急性弛緩性麻痺	1	1						1
	慢性的肺炎球菌感染症	1							1
	梅毒	3						1	3
	パロチウイルス急性細菌感染症	3	1		1			1	9
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	61								1,757
結果 (2020年3月分)	結果 新登録患者数: 135名 (内 肺・感染症採菌性 47名) 府内累積報告数 398名、内 肺・感染症採菌性 141名								(2020年5月12日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第20週 (5月11日～5月17日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

〔小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少〕

第20週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は399例であり、前週比44.6%増であった(2019年第20週 2,993例、前年比86.7%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、水痘、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ0.96、0.36、0.36、0.09、0.07であった。

感染性胃腸炎は前週比54%増の189例で、南河内1.63、中河内1.55、大阪市南部1.22、三島1.12、北河内1.11である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比17%増の70例で、大阪市西部0.56、中河内0.55、南河内0.50であった。水痘は前週比20%増の18例で、南河内・中河内0.25、北河内0.15であった。

手足口病は前週比250%増の14例で、南河内・北河内0.19、三島0.12である。

感染性胃腸炎

2019.26w～
2018.26w～
警戒レベル: 20
注意レベル: 未設定

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2019.26w～
2018.26w～
警戒レベル: 8
注意レベル: 未設定

第20週 の順位	第19週 の順位	感染症	2020年 第20週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第20週の 定点あたり 報告数	2020年第20週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	0.96	54%増	6.72	20歳以上_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.36	17%増	3.08	10-14歳_17%
2	3	突発性発しん	0.36	56%増	0.43	1歳_50%
4	4	水痘	0.09	20%増	0.22	8,10-14歳_17%
5	9	手足口病	0.07	250%増	2.55	1歳_43%

〔突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。〕

第20週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗い・咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がっている。世界保健機関 (WHO) は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」を宣言し、3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言を発生させ、大阪府は感染拡大警戒地域に指定された。5月16日以降は、自粛要請・解除などの対策を段階的に実施する大阪モデルをふまえ、これまでの自粛要請等を一部解除している。

これまでの知見から、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日 (通常5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避や外出自粛など、行動変容が強く求められ、早期探知、封じ込めが重要である。

緊急事態宣言 (発出)

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

[感染症情報センター-新型コロナウイルス感染症関連情報](#)

疾患名 () 内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	電 能 三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1				1				15
慢性的肺炎球菌感染症	1		1						60
5類感染症	梅毒	6	1			2			3
	百日咳	2						1	1
	薬剤耐性アネクトバクター感染症	1		1					1
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	22								1,783
結果 (2020年3月分)	結果 新登録患者数: 135名 (内 肺・感染症採菌性 47名) 府内累積報告数 398名、内 肺・感染症採菌性 141名								(2020年5月19日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第21週 (5月18日～5月24日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年と同時期に比べ、大幅な減少」

第21週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は405例であり、前週比1.5%増であった(2019年第21週 3,417例、前年比88.1%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎以下、突発性発疹、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、流行性耳下腺炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ11.20、0.34、0.27、0.07、0.07である。感染性胃腸炎は前週比24%増の234例で、南河内2.06、中河内2.05、泉州1.60、大阪府北部1.21、三島・北河内1.12であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比24%減の53例で、大阪府西部0.67、泉州・中河内0.50である。水痘は前週比28%減の13例で、大阪府北部0.21、大阪府東部0.20、南河内0.13であった。流行性耳下腺炎は前週比18%増の13例で、北河内0.15、大阪府東部0.13、三島0.12であった。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第21週の順位	第20週の順位	感染症	2020年 第21週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第21週の 定点あたり 報告数	2020年第21週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.20	24%増	6.91	10-14歳_17%
2	2	突発性発疹	0.34	6%減	0.49	1歳_62%
3	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	24%減	3.03	3歳_15%
4	4	水痘	0.07	28%減	0.31	10-14歳_23%
4	8	流行性耳下腺炎	0.07	18%増	0.12	3歳_31%

(突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第21週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言し、3月11日に世界的大流行(パンデミック)を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言が発せられ、大阪府は感染拡大警戒地域に指定されたが、5月21日に解除された。5月16日以降は、自粛要請・解除などの対策を段階的に実施する大阪モデルをふまえて、これまでの自粛要請等を一部解除している。これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間11～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸器障害等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避や外出自粛など、行動変容が強く求められ、早期探知、封じ込めが重要である。

緊急事態宣言(4/7-5/21)

感染疫学センターはこちら(外部リンク)

[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

その他のグラフはこちら!

[感染症情報センター 新型コロナウイルス感染症関連情報](#)

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	府内累積	
4類感染症	A型肝炎	1		1					4	
	A型肝炎	2			1		1		22	
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	2							2	
	細菌性溶血性レンサ球菌感染症	3		1	1				1	
	後天性免疫不全症候群	1							1	
5類感染症	細菌性インフルエンザ感染症	2					2		34	
	細菌性肺炎球菌感染症	1					1		62	
	梅毒	10		1	1			8	265	
	百日咳	1						1	94	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	9							1,801	
結核 (2020年4月分)	結核 新登録患者数: 96名								(内 肺・喉痰塗抹陽性 37名) (府内累積報告数 493名、内 肺・喉痰塗抹陽性 181名)	(2020年5月26日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第22週 (5月25日～5月31日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年と同時期に比べ、大幅な減少」

第22週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は469例であり、前週比15.8%増であった(2019年第22週 3,584例、前年比86.9%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎以下、突発性発疹、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ11.19、0.38、0.34、0.12、0.12であった。

感染性胃腸炎は前週比0.4%減の233例で、南河内2.06、中河内2.05、泉州1.55、大阪府北部1.29、北河内1.23であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比26%増の67例で、泉州0.60、大阪府北部0.50、大阪府南部0.44である。手足口病は前週比380%増の24例で、南河内0.38、北河内0.27、大阪府南部0.17であった。流行性角結膜炎は前週比500%増の6例で、泉州0.33、南河内0.25、三島0.25であった。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第22週の順位	第21週の順位	感染症	2020年 第22週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第22週の 定点あたり 報告数	2020年第22週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.19	0.4%減	6.79	20歳以上_15%
2	2	突発性発疹	0.38	12%増	0.51	1歳_51%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.34	26%増	3.37	4歳_16%
4	8	手足口病	0.12	380%増	4.72	1歳_33%
5	9	流行性角結膜炎	0.12	500%増	0.31	20歳以上_100%

(突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第22週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に拡がりを見せている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言し、3月11日に世界的大流行(パンデミック)を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言が発せられ、大阪府は感染拡大警戒地域に指定されたが、5月21日に解除された。5月16日以降は、自粛要請・解除などの対策を段階的に実施する大阪モデルをふまえて、これまでの自粛要請等を一部解除している。これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間11～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸器障害等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避や外出自粛など、行動変容が強く求められ、早期探知、封じ込めが重要である。

緊急事態宣言(4/7-5/21)

感染疫学センターはこちら(外部リンク)

[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

その他のグラフはこちら!

[感染症情報センター 新型コロナウイルス感染症関連情報](#)

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	府内累積	
3類感染症	細菌性肺炎球菌感染症	2	2						16	
	A型肝炎	1							1	
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	4							4	
	クリプトスポリジウム症	1							1	
	細菌性溶血性レンサ球菌感染症	1							1	
	後天性免疫不全症候群	3	1	1					2	
5類感染症	細菌性インフルエンザ感染症	1							1	
	細菌性肺炎球菌感染症	1		1					1	
	水痘(入国前)	1						1	5	
	梅毒	10		2	1			7	289	
	百日咳	2						2	97	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	3							1,799	
結核 (2020年4月分)	結核 新登録患者数: 96名								(内 肺・喉痰塗抹陽性 37名) (府内累積報告数 493名、内 肺・喉痰塗抹陽性 181名)	(2020年6月2日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第23週 (6月1日～6月7日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少」

第23週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は522例であり、前週比11.3%増であった。(2019年 第23週 4,098例、前年比 87.3%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.49、0.47、0.37、0.10、0.08であった。感染性胃腸炎は前週比25%増の291例で、南河内2.94、中河内2.15、泉州1.85、三島1.59、堺市1.39である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比9%増の73例で、南河内0.56、泉州0.55、三島0.53、大阪市北部、北河内共に0.50であった。水痘は前週比11%増の20例で、中河内0.20、北河内0.19、豊能0.18である。手足口病は前週比38%減の15例で、大阪市南部0.22、北河内0.19、南河内0.13であった。

感染性胃腸炎

2020.1w～
2019.1w～
登録レベル: 20
注意報レベル: 未設定

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2020.1w～
2019.1w～
登録レベル: 20
注意報レベル: 未設定

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第23週6月1日～6月7日)

第23週 の順位	第22週 の順位	感染症	2020年 第23週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第23週の 定点あたり 報告数	2020年第23週の 年別別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.49	25%増	6.34	10-14歳_18%
2	2	突発性発しん	0.47	24%増	0.44	1歳_50%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	9%増	3.32	5歳_16%
4	6	水痘	0.10	11%増	0.27	2歳_25%
5	4	手足口病	0.08	38%減	7.09	1歳_40%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第23週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗いや咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が世界的に広がりを来している。世界保健機関 (WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言が発出され、大阪府は感染拡大を地域に指定されたが、5月21日に解除された。自粛要請・解除などの対策を段階的に実施する大取組を進め、6月1日以降は、全ての施設が休止要請が解除された。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日 (通常5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

その他のグラフはこちら↓
[感染症情報センター 新型コロナウイルス感染症関連情報](#)

緊急事態宣言(4/7-5/21)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第23週6月1日～6月7日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載します。詳細は感染症情報センターホームページ【週報】発生動向調査>全数報告をご覧ください。新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。)

疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	1						1	17	
4類感染症	日本紅斑熱	1							1	1	
	レジオネラ症 (肺炎型)	1			1					37	
5類感染症	アメーバ赤痢	1		1						24	
	カルバペム内臓内臓科細菌感染症	1					1	1		52	
	急性脳炎	2				1				13	
	細菌型溶血性レンサ球菌感染症	2							1	23	
	後天性免疫不全症候群	1			1					40	
	慢性肺炎球菌感染症	1				2				64	
	梅毒	8			1		1	1	6	405	
	百日咳	1							1	98	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	3								1805	
結核 (2020年4月分)	結核 新登録患者数: 96名 (府内累積報告数 493名、内 肺・喀痰塗抹陽性 181名)										

(2020年6月9日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第24週 (6月8日～6月14日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年の同時期に比べ、大幅な減少」

第24週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は618例であり、前週比18.4%増であった。(2019年 第24週 4,648例、前年比 86.7%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.67、0.61、0.48、0.10、0.09であった。感染性胃腸炎は前週比12%増の327例で、南河内2.81、大阪市西部2.10、大阪市南部2.00、泉州1.80、三島1.65であった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は29%増の94例で、泉州0.95、三島0.82、北河内0.69、中河内0.55、南河内0.50であった。流行性角結膜炎は前週比67%増の5例で、北河内0.33、南河内0.25、大阪市北部0.20、泉州0.17であった。手足口病は20%増の20例で、大阪市南部0.28、大阪市東部0.20、中河内0.15、大阪市北部0.14であった。

感染性胃腸炎

2020.1w～
2019.1w～
登録レベル: 20
注意報レベル: 未設定

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2020.1w～
2019.1w～
登録レベル: 8
注意報レベル: 未設定

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第24週6月8日～6月14日)

第24週 の順位	第23週 の順位	感染症	2020年 第24週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第24週の 定点あたり 報告数	2020年第24週の 年別別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.67	12%増	5.61	10-14歳_17%
2	2	突発性発しん	0.61	29%増	0.49	1歳_54%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48	29%増	2.86	20歳以上_17%
4	6	流行性角結膜炎	0.10	67%増	0.29	20歳以上_100%
5	5	手足口病	0.09	20%増	1.05	2歳_33%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第24週のコメント

～レジオネラ症～ 2019年の報告数は133例でした。

全数把握感染症

レジオネラ症

レジオネラ症は、レジオネラ・ニューモフィラ (*Legionella pneumophila*) を代表とするレジオネラ属による細菌感染症である。土壌や水環境に、普遍的に存在する菌である。人工環境 (噴水等の水景施設、ビル屋上立つ冷却塔、ジャグジー、加湿器等) や循環水を利用した風呂から発生したレジオネラ属菌を含むエアロゾルを吸入することで感染する。病型として肺炎型と一過性で自然に改善するポインティック熱型がある。ヒト-ヒト感染はない。健常者も罹患するが、細胞性免疫機能が低下している、乳幼児、高齢者など、喫煙者、大酒家は重症化する可能性が高い。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[レジオネラ症とは\(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第24週6月8日～6月14日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載します。詳細は感染症情報センターホームページ【週報】発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数	
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	2					1	3	24	
4類感染症	レジオネラ症 (肺炎型)	3			1				1	41	
5類感染症	急性脳炎	1				1				13	
	後天性免疫不全症候群	3			1			1		44	
	梅毒	9		1	1					7 422	
	百日咳	1								1 100	
結核 (2020年4月分)	結核 新登録患者数: 96名 (府内累積報告数 493名、内 肺・喀痰塗抹陽性 181名)										
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	2								1787	

新型コロナウイルス感染症の集計は、6月8日から6月14日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細リンク先の情報をご覧ください。](#)

(2020年6月16日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第25週 (6月15日～6月21日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「小児科・眼科定点疾患の報告数 昨年と同時期に比べ、大幅な減少」

第25週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は649例であり、前週比5.0%増であった(2019年 第25週 4,336例、前年比 85.0%減)。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発疹、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、流行性耳下腺炎・流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.92、0.55、0.42、0.13、0.08、0.08である。

感染性胃腸炎は前週比15%増の377例で、南河内3.00、中河内2.85、大阪市南部2.44、泉州2.20、豊能1.86であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は12%減の83例で、大阪市東部0.93、中河内0.80、三島0.76、北河内0.54、堺市0.39である。

手足口病は44%増の26例で、大阪市北部0.36、北河内0.35、堺市0.17、南河内0.13であった。

流行性耳下腺炎は23%増の16例で、南河内0.19、泉州0.15、中河内0.10、豊能0.09、北河内0.08である。

流行性角結膜炎は20%減の4例で、北河内0.33、南河内0.25、泉州0.17であった。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第25週6月15日～6月21日)

第25週 の順位	第24週 の順位	感染症	2020年 第25週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第25週の 定点あたり 報告数	2020年第25週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.92	15%増	5.51	10-14歳、20歳以上、14%
2	2	突発性発疹	0.55	9%減	0.44	1歳、49%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.42	12%減	2.59	4歳、23%
4	5	手足口病	0.13	44%増	9.15	2歳、27%
5	8	流行性耳下腺炎	0.08	23%増	0.05	6歳、38%
5	4	流行性角結膜炎	0.08	20%減	0.42	20歳以上、100%

(突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第25週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に広がりを見せている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言し、3月11日に「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言が発出され、大阪府は感染拡大警戒地域に指定されたが、5月21日に解除された。自粛要請・解除などの対策を段階的に実施する大阪モデルをふまえ、6月1日以降は、全ての施設の休止要請が解除された。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは重症化であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

大阪府における新型コロナウイルス感染症の発生状況

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第25週6月15日～6月21日)

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ【調査】発生動向調査>全数報告をご覧ください)

疾患名 ()内の疾患は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	8		2	1			3	1	1	34
4類感染症 A型肝炎	1								1	5
5類感染症	後天性免疫不全症候群	1							1	46
	慢性的インフルエンザ感染症	1			1					20
	水痘(入院済)	1								6
梅毒	14	1	1	1				1	11	443
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	22									1809
総括 (2020年4月分)	総括 新登録患者数：96名	(内 肺-喀痰塗抹陽性 37名) (府内累積報告数 493名、内 肺-喀痰塗抹陽性 181名)								

新型コロナウイルス感染症の集計は、6月15日から6月21日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#) (2020年6月23日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第26週 (6月22日～6月28日)

今週のコメント
～感染性胃腸炎～ 手洗いの励行、排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 4週連続して増加」

第26週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は7403例であり、前週比8.3%増であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱、手足口病の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.08、0.60、0.53、0.08、0.08である。

感染性胃腸炎は前週比8%増の407例で、南河内3.31、中河内2.80、大阪市西部2.70、泉州2.60、大阪市南部2.44であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は41%増の117例で、中河内1.40、泉州1.05、大阪市東部0.93である。

流行性角結膜炎は4例で、大阪市東部0.33、堺市0.20、北河内0.17であった。

咽頭結膜熱は36%増の15例で、中河内0.20、泉州0.15、大阪市北部0.14であった。

手足口病は42%減の15例で、北河内0.15、大阪市東部0.14、南河内0.13である。

小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は、昨年同時期と比べて83.0%減(2019年 第26週 4,131例)と少ない状況であるが、第26週以降増加を続けているので、今後の発生動向に注意が必要と思われる。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第26週6月22日～6月28日)

第26週 の順位	第25週 の順位	感染症	2020年 第26週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第26週の 定点あたり 報告数	2020年第26週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.08	8%増	4.61	10-14歳、15%
2	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	41%増	2.39	2歳、15%
3	2	突発性発疹	0.53	4%減	0.48	1歳、57%
4	6	流行性角結膜炎	0.08	増減なし	0.25	20歳以上、75%
4	7	咽頭結膜熱	0.08	36%増	0.68	1歳、40%
4	4	手足口病	0.08	42%減	9.04	1歳、47%

(突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第26週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認されて以降、感染が国際的に広がりを見せている。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言し、3月11日に「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言が発出され、大阪府は感染拡大警戒地域に指定されたが、5月21日に解除された。自粛要請・解除などの対策を段階的に実施する大阪モデルをふまえ、6月1日以降は、全ての施設の休止要請が解除された。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

大阪府における新型コロナウイルス感染症の発生状況

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第26週6月22日～6月28日)

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ【調査】発生動向調査>全数報告をご覧ください)

疾患名 ()内の疾患は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	6		2				1	1	2	38
4類感染症 レイノウイルス(肺炎型)	5			2			2		1	47
アメーバ赤痢	2			1						26
5類感染症	カルバペネム耐性菌内臓器細菌感染症	1								57
	梅毒	12	1	1	1				9	465
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	12									1821
総括 (2020年4月分)	総括 新登録患者数：96名	(内 肺-喀痰塗抹陽性 37名) (府内累積報告数 493名、内 肺-喀痰塗抹陽性 181名)								

新型コロナウイルス感染症の集計は、6月22日から6月28日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#) (2020年6月30日 集計分)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第27週 (6月29日～7月5日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱 増加」

第27週の小学生定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は751例であり、前週比6.8%増であった。昨年同時期と比べて82.1%減(2019年 第27週 4,205例)と少ない状況である。第20週以降増加を続けているので、今後の発生動向に注意が必要と思われる。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹、流行性角結膜炎、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.08、0.63、0.53、0.17、0.15であった。

感染性胃腸炎は前週と同数の407例で、南河内3.00、大阪府西部2.70、大阪府南部2.67、泉州2.60、豊能2.41である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は5%増の123例で、北河内0.96、南河内0.94、大阪府南部0.83であった。

流行性角結膜炎は125%増の9例で、豊能0.40、大阪府東部0.33、三島、大阪府南部0.25である。

咽頭結膜熱は93%増の29例で、中河内0.80、大阪府東部0.20、北河内0.15であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

流行性角結膜炎

第27週 の順位	第26週 の順位	感染症	2020年 第27週 の定点 あたり 報告数	前週 比 増減	2019年 第27週 の 定点 あたり 報告数	2020年 第27週 の 年齢別 患者 発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.08	増減なし	4.69	20歳以上_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	5%増	2.35	10-14歳_14%
3	3	突発性発疹	0.53	1%減	0.46	1歳_57%
4	4	流行性角結膜炎	0.17	125%増	0.54	20歳以上_78%
5	5	咽頭結膜熱	0.15	93%増	0.66	1歳_28%

(突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第27週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗い・咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」を宣言し、3月11日「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

4月7日、改正新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言が発出され、大阪府は感染拡大警戒地域に指定されたが、5月21日に解除された。自粛要請・解除などの対策を段階的に実施する大取組を進め、6月1日以降は、全ての施設の休業要請が解除された。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸器等での症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期検知、封じ込めが重要である。

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

流行性角結膜炎

疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	泉 州	大 阪 府	府 内 累 積 数	
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	7			2	1	1		1	2	47
4類感染症 レジオネラ症(肺炎型)	1							1		18
5類感染症 ウイルス性肝炎	1							1		14
カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1					60
後天性免疫不全症候群	1								1	48
慢性肺炎球菌感染症	2							1	1	67
梅毒	4	2							2	481
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	64									1885
結果	結果 新登録患者数: 68名	(内 肺・喉炎速発型性 27名)								
(2020年5月分)		(府内累積報告数 571名、内 肺・喉炎速発型性 209名)								

新型コロナウイルス感染症の集計は、6月29日から7月5日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。(2020年7月7日 集計分)

詳細はリンク先の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第28週 (7月6日～7月12日)

今週のコメント
～A群溶血性レンサ球菌咽頭炎～ 手洗い、うがい、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、増加続く」

第28週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は741例であり、前週比1.3%減であった。昨年同時期と比べて81.9%減(2019年 第28週 4,104例)と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.09、0.67、0.55、0.13、0.11であった。

感染性胃腸炎は微増の409例で、中河内3.15、南河内3.06、大阪府北部2.43、北河内2.23、泉州2.20である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7%増の132例で、中河内1.65、大阪府南部1.00、三島0.82であった。

咽頭結膜熱は14%減の25例で、泉州0.35、大阪府南部0.28、豊能0.23であった。

ヘルパンギーナは5%増の21例で、泉州0.75、三島0.12、北河内0.08であった。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第28週 の順位	第27週 の順位	感染症	2020年 第28週 の定点 あたり 報告数	前週 比 増減	2019年 第28週 の 定点 あたり 報告数	2020年 第28週 の 年齢別 患者 発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.09	微増	4.38	10-14歳_15%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.67	7%増	2.34	5歳_17%
3	3	突発性発疹	0.55	5%増	0.42	1歳_59%
4	5	咽頭結膜熱	0.13	14%減	0.68	1歳_40%
5	7	ヘルパンギーナ	0.11	5%増	2.21	1歳_43%

(突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第28週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗い・咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言し、3月11日「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪府のモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒レベル(黄色)が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸器等での症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期検知、封じ込めが重要である。

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	泉 州	大 阪 府	府 内 累 積 数		
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	5	1						1	3	52	
4類感染症 A型肝炎	1	1								6	
4類感染症 日本紅斑熱	1	1								3	
4類感染症 レジオネラ症(肺炎型)	2							2		50	
5類感染症 ウイルス性肝炎(B型)	1	1								16	
慢性肺炎球菌感染症	1					1				28	
梅毒	12	3		2				1	2	4	510
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	142									2027	
結果	結果 新登録患者数: 68名	(内 肺・喉炎速発型性 27名)									
(2020年5月分)		(府内累積報告数 571名、内 肺・喉炎速発型性 209名)									

新型コロナウイルス感染症の集計は、7月6日から7月12日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。(2020年7月14日 集計分)

詳細はリンク先の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第29週 (7月13日～7月19日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱 増加」

第29週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は764例であり、前週比3.1%増であった。昨年同時期に比べて77.0%減(2019年 第29週 3,326例)と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ2.13、0.62、0.57、0.16、0.15であった。

感染性胃腸炎は2%増の417例で、中河内3.75、泉州3.00、南河内2.69、大阪府南部2.61、北河内1.81である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は8%減の122例で、中河内1.15、南河内0.94、泉州0.85であった。

ヘルパンギーナは48%増の31例で、泉州1.30、大阪府北部0.21、中河内0.05である。

咽頭結膜熱は20%増の30例で、泉州0.35、大阪府南部0.28、北河内0.23であった。

ヘルパンギーナ

咽頭結膜熱

表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第29週7月13日～7月19日)

第29週の順位	第28週の順位	感染症	2020年第29週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第29週の定点あたり報告数	2020年第29週の年齢別患者発生数最大新合計
1	1	感染性胃腸炎	2.13	2%増	3.78	1歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.62	8%減	1.80	10-14歳_16%
3	3	突発性発しん	0.57	3%増	0.40	1歳_55%
4	5	ヘルパンギーナ	0.16	48%増	1.89	1歳_42%
5	4	咽頭結膜熱	0.15	20%増	0.55	1歳_50%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はない、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異はほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第29週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒信号(黄色)が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部の場合は、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防止するには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

表 2. 大阪府全数報告数 (2020年 第29週7月13日～7月19日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	府内累積報告数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	6	1				1			4	59
4類感染症 ポリオス症	1								1	1
4類感染症 レジオネラ症(肺炎型)	7			2	2		2		1	58
5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1					63
5類感染症 侵袭性肺炎球菌感染症	1				1					29
5類感染症 侵袭性肺炎球菌感染症	2			1			1			70
5類感染症 梅毒	3					1			2	520
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	393									2420
結核 (2020年5月分)	結核 新登録患者数: 68名	(内 肺・喉痰塗抹陽性 27名) (府内累積報告数 571名、内 肺・喉痰塗抹陽性 209名)								

新型コロナウイルス感染症の集計は、7月13日から7月19日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第30週 (7月20日～7月26日)

今週のコメント
～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「夏型感染症(咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ) 今後の動向に注意」

第30週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は599例であり、前週比21.6%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.60、0.46、0.39、0.15、0.15であった。

感染性胃腸炎は前週比25%減の314例で、泉州2.45、中河内2.45、大阪府南部1.94、大阪府西部1.60、南河内1.50である。

突発性発しんは前週比18%減の91例で、大阪府北部0.86、中河内0.65、南河内0.63であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比38%減の76例で、中河内0.80、北河内0.62、南河内0.50であった。

咽頭結膜熱は前週比0%増の30例で、南河内0.31、大阪府南部0.28、三島0.24であった。

ヘルパンギーナは前週比6%減の3例で、泉州0.65、南河内0.25、大阪府北部0.14であった。

インフルエンザは●の1例で、定点あたり報告数は0.00であった。大阪府西部0.07、大阪府南部0.00、大阪府東部0.00、泉州0.00、堺市0.00である。

咽頭結膜熱

ヘルパンギーナ

表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第30週7月20日～7月26日)

第30週の順位	第29週の順位	感染症	2020年第30週の定点あたり報告数	前週比増減	2019年第30週の定点あたり報告数	2020年第30週の年齢別患者発生数最大新合計
1	1	感染性胃腸炎	1.60	25%減	4.17	1歳_15%
2	3	突発性発しん	0.46	18%減	0.42	1歳_55%
3	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.39	38%減	1.77	10-14歳_20%
4	5	咽頭結膜熱	0.15	0%増	0.67	1歳_43%
5	4	ヘルパンギーナ	0.15	6%減	1.93	1歳_28%
参考		インフルエンザ(インフルエンザ定点報告疾患)	0.00		0.05	1歳_100%

第30週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒信号(黄色)が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部の場合は、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防止するには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表 2. 大阪府全数報告数 (2020年 第30週7月20日～7月26日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

新型コロナウイルス感染症は、指定感染症として定める政令が施行された2月1日以降の集計です。

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	府内累積報告数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3					1	1	1	1	63
4類感染症 レジオネラ症	4	1			1	1			1	62
5類感染症 アメーバ赤痢	1									31
5類感染症 侵袭性肺炎球菌感染症	2				1					74
5類感染症 梅毒	2								2	537
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	586									3040
結核 (2020年5月分)	結核 新登録患者数: 68名	(内 肺・喉痰塗抹陽性 27名) (府内累積報告数 571名、内 肺・喉痰塗抹陽性 209名)								

新型コロナウイルス感染症の集計は、7月20日から7月26日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第31週 (7月27日～8月2日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 手洗い、感染者との密な接触を避けることが重要

定点把握感染症

「夏型感染症 (咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ) 増加続く」

第31週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は764例であり、前週比27.5%増 (増減なし) であった。昨年同時期と比べて72.1%減 (2019年 第31週 2,734例) と少ない状況である。

報告数の第1位は感染性胃腸炎以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.98、0.58、0.53、0.27、0.20であった。

感染性胃腸炎は前週比24%増 (7%) の389例で、南河内3.19、中河内2.60、泉州2.35、大阪市南部2.17、北河内2.08である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は36%増 (16%減) の103例で、南河内1.06、中河内0.90、大阪市西部0.70であった。

咽頭結膜熱は77%増 (77%増) の53例で、泉州0.55、北河内・南河内0.38である。

ヘルパンギーナは38%増 (29%増) の40例で、泉州1.00、大阪市北部0.36、三島0.24であった。

※ 第30週各科定点疾患の報告数には連休による診療日数減の影響がみられたため、(カッコ内) に第29週比の値を併記した。

咽頭結膜熱

ヘルパンギーナ

第31週 の順位	第30週 の順位	感染症	2020年 第31週 の定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第31週 の定点あたり 報告数	2020年第31週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.98	24%増	3.55	10-14歳_17%
2	2	突発性発しん	0.58	25%増	0.46	1歳_54%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.53	36%増	1.41	10-14歳_21%
4	4	咽頭結膜熱	0.27	77%増	0.66	1歳_57%
5	5	ヘルパンギーナ	0.20	38%増	1.70	1歳_40%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第31週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(ホー)157、O26、O111がある。汚染された食肉を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症候群を起こすことがある。3-5日の潜伏期を経て、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる(出血性大腸炎)。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症候群を発症する。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[腸管出血性大腸菌感染症とは\(国立感染症研究所\)](#)

疾患名 ()内の病名は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 報告 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	6	4					1		1	70
4類感染症 日本紅斑熱	1								1	4
5類感染症	アメーバ赤痢	1	1							32
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	1				1			69
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1							1	4
	慢性的肺炎球菌感染症	1						1		76
	梅毒	6	1		1				4	556
指定義感染症	1				1				3	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1,258								4,446
結核 (2020年6月分)	結核 新登録患者数: 67名									(内 肺・喀痰塗抹陽性 29名)

新型コロナウイルス感染症の集計は、7月27日から8月2日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第32週 (8月3日～8月9日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 手洗い、感染者との密な接触を避けることが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱減少、ヘルパンギーナは増加」

第32週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は586例であり、前週比23.3%減であった。昨年同時期と比べて74.6%減 (2019年 第32週 2,306例) と少ない状況である。

報告数の第1位は感染性胃腸炎以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.55、0.42、0.36、0.22、0.14であった。

感染性胃腸炎は前週比22%減の304例で、大阪市西部2.90、大阪市南部2.11、泉州1.85、南河内1.81、豊能1.73である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は32%減の70例で、大阪市西部0.61、泉州0.55、中河内0.50であった。

ヘルパンギーナは10%増の44例で、泉州0.80、三島0.59、大阪市西部0.50である。

咽頭結膜熱は49%減の27例で、泉州0.40、中河内0.25、大阪市西部0.22であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

ヘルパンギーナ

第32週 の順位	第31週 の順位	感染症	2020年 第32週 の定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第32週 の定点あたり 報告数	2020年第32週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.55	22%減	3.99	20歳以上_22%
2	2	突発性発しん	0.42	28%減	0.47	1歳_48%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.36	32%減	1.65	6歳_21%
4	5	ヘルパンギーナ	0.22	10%増	1.46	2歳_25%
5	4	咽頭結膜熱	0.14	49%減	0.63	1歳_52%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第32週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗いや咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行 (パンデミック) を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を超えたため、7月12日、警報信号 (黄色) が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (通常5～6日) であり、その後、発熱や呼吸困難症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発症者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を抑制するには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期検知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

疾患名 ()内の病名は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 報告 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2								2	72
4類感染症	日本紅斑熱	1	1							5
	マラリア (病形)	1							1	3
	レジオネラ症 (肺炎型)	1	1							65
5類感染症	アメーバ赤痢	1	1							33
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1						72
	急性弛緩性麻痺	1								2
	後天性免疫不全症候群	1							1	57
	慢性的肺炎球菌感染症	2		1	1					78
梅毒	4	2	1					1	567	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1,323								5,769
結核 (2020年6月分)	結核 新登録患者数: 67名									(内 肺・喀痰塗抹陽性 29名)

新型コロナウイルス感染症の集計は、8月3日から8月9日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第33週 (8月10日～8月16日)

今週のコメント
 ～感染症予防の基本～ 手洗い、感染者との密な接触を避けることが重要

定点把握感染症

「咽頭結膜熱 再び増加」

第33週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は394例であり、前週比32.8%減であった。昨年同時期と比べて66.8%減(2019年 第33週 1,185例)と少ない状況である。第33週の報告の解釈については、医療機関の診療実日数と受診者の減少を考慮する必要がある。
 報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ0.85、0.33、0.27、0.22、0.15であった。
 感染性胃腸炎は前週比45%減の166例で、泉州1.40、大阪府西部1.20、中河内1.15、南河内1.00、三島0.88である。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は24%減の53例で、北河内0.58、泉州0.40、中河内・大阪府西部0.30であった。
 咽頭結膜熱は63%増の44例で、三島0.47、中河内・泉州0.35である。
 ヘルパンギーナは34%減の29例で、大阪府北部0.50、泉州0.45、三島0.24であった。

咽頭結膜熱

ヘルパンギーナ

第33週の順位	第32週の順位	感染症	2020年 第33週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第33週の 定点あたり 報告数	2020年第33週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	0.85	45%減	1.67	1歳_19%
2	2	突発性発しん	0.33	21%減	0.18	1歳_58%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.27	24%減	0.64	2歳, 3歳_17%
4	5	咽頭結膜熱	0.22	63%増	0.37	1歳_57%
5	4	ヘルパンギーナ	0.15	34%減	0.58	1歳_52%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第33週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態に、3月11日に「世界的大流行(パンデミック)」を宣告した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。
 6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を越えたため、7月12日、警戒レベル(黄色)が点灯した。
 これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が出現し持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発症者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。
 感染拡大予防には、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。
 詳細はリンク先の情報をご覧ください。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

	疾患名 ()内の病名は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 報告数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	7	2				1			4	79
4 類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	3			1		1			1	68
5 類感染症	アメーバ赤痢	1								1	34
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	3							1	2	82
	細菌性溶血性レンサ球菌感染症	1								1	32
	後天性免疫不全症候群	1								1	60
	細菌性肺炎球菌感染症	1					1				81
	梅毒	4								4	582
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	1,076									6,845
総括 (2020年6月分)	総括 新登録患者数: 67名 (内 肺-感染症 29名)										(府内累積報告数 640名、内 肺-感染症 239名)

新型コロナウイルス感染症の集計は、8月10日から8月16日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第34週 (8月17日～8月23日)

今週のコメント
 ～感染症予防の基本～ 手洗い、感染者との密な接触を避けることが重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎、咽頭結膜熱、増加」

第34週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は469例であり、前週比76.9%増(18.9%増)であった。昨年同時期と比べて63.8%減(2019年 第34週 1,928例)と少ない状況である。
 定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.87、0.47、0.39、0.29、0.23であった。
 感染性胃腸炎は前週比121.0%増(20.7%増)の367例で、中河内3.10、泉州2.70、南河内2.63、大阪府南部1.94、三島1.82である。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比45.2%増(10%増)の77例で、中河内0.95、北河内0.65、泉州0.45、南河内0.44であった。
 咽頭結膜熱は前週比29.5%増(111.1%増)の57例で、中河内0.80、三島0.53、北河内0.35であった。
 ヘルパンギーナは前週比55.2%増(2.3%増)の45例で、泉州1.10、大阪府北部0.29、大阪府南部0.22である。
 突発性発しんは昨年同時期と比べて4%減の92例(2019年 第34週 96例)と報告数は変わらない(表1の下を参照)。
 ※ 第33週の各科定点疾患の報告数には連休による診療日数減少の影響がみられたため、(カッコ内)に第32週比の値を併記した。

感染性胃腸炎

咽頭結膜熱

第34週の順位	第33週の順位	感染症	2020年 第34週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第34週の 定点あたり 報告数	2020年第34週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.87	121%増	3.54	20歳以上_17%
2	2	突発性発しん	0.47	42%増	0.49	1歳_54%
3	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.39	45%増	1.03	5歳_19%
4	4	咽頭結膜熱	0.29	30%増	0.47	1歳_61%
5	5	ヘルパンギーナ	0.23	55%増	0.76	1歳_31%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第34週のコメント

～バンコマイシン耐性腸球菌感染症～ 2019年の報告数は、大阪府が全国で第一位である

全数把握感染症

バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)は、バンコマイシンに耐性を獲得した腸球菌である。術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの感染症を引き起こす場合があるため、集中治療室や外科治療ユニットなど重症患者を治療する部門で問題となっており、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。VREによる術創感染症や腹膜炎などの治療は、抗菌薬の投与とともに感染巣の洗浄やドレナージなどを適宜組み合わせで行う。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[バンコマイシン耐性腸球菌感染症\(国立感染症研究所\)](#)

	疾患名 ()内の病名は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 報告数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6			2			1	2	1	88
4 類感染症	レジオネラ症(肺炎型)	1								1	71
5 類感染症	アメーバ赤痢	2						1		1	36
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	2			1					1	86
	後天性免疫不全症候群	1								1	62
	細菌性インフルエンザウイルス感染症	1					1				22
	梅毒	5						1		4	596
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2		1	1						14
	風しん	1								1	6
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	996									7,841
総括 (2020年6月分)	総括 新登録患者数: 67名 (内 肺-感染症 29名)										(府内累積報告数 640名、内 肺-感染症 239名)

新型コロナウイルス感染症の集計は、8月17日から8月23日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第35週 (8月24日～8月30日)

今週のコメント
～ヘルパンギーナ～ 手洗いが重要

定点把握感染症

「ヘルパンギーナ 増加」

第35週の小儿科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は前週比3.0%増の718例であった。昨年同時期と比べて71.1%減 (2019年 第35週2,485例) と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.95、0.48、0.41、0.38、0.25であった。

感染性胃腸炎は前週比4%増の383例で、大阪府南部3.50、南河内3.44、中河内2.40、大阪府西部2.00、三島1.88である。

ヘルパンギーナは78%増の80例で、泉州1.60、大阪府南部0.72、南河内0.44であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%減の74例で、北河内0.73、南河内0.69、中河内0.45である。

流行性角結膜炎は44%増の13例で、泉州0.67、南河内・大阪府西部0.50であった。

第6位の咽頭結膜熱は39%減の35例で、定点あたり報告数は0.18であり、中河内0.40、大阪府南部0.39、北河内0.23であった。

感染性胃腸炎

ヘルパンギーナ

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第35週8月24日～8月30日)

第35週の順位	第34週の順位	感染症	2020年 第35週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第35週の 定点あたり 報告数	2020年第35週の 年別別 患者発生数 前大前合値
1	1	感染性胃腸炎	1.95	4%増	4.01	1歳_16%
2	2	突発性発しん	0.48	3%増	0.51	1歳_57%
3	5	ヘルパンギーナ	0.41	78%増	0.96	1歳_38%
4	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	4%減	1.50	4歳_20%
5	6	流行性角結膜炎	0.25	44%増	0.54	20歳以上_85%

(突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。)

第35週のコメント

～ボツリヌス症～ 大阪府では、2011年以来今年2例の報告がありました

全数把握感染症

ボツリヌス症

ボツリヌス症は、ボツリヌス菌 (*Clostridium botulinum*) が産生する毒素によって起こる全身の神経、筋の麻痺性疾患である。ボツリヌス毒素はリソ作用性神経末梢からのアセチルコリンの放出を抑制し、神経から筋肉への伝達が障害され、麻痺に至る。原因食品を摂取してから、6時間から10日間、通常18時間から48時間で発症する。典型的な臨床症状は、眼輪下重、複視、嚥下障害、構音障害等の脳神経障害であり、進行すると、咽頭筋の麻痺による気道閉塞と、横隔膜および呼吸筋における麻痺 (呼吸機能障害) をきたす。ボツリヌス症が疑われた場合は、乾燥ボツリヌス抗毒素により治療する。特に、生後1年未満の乳児がボツリヌス菌芽胞を口摂取した場合、消化管内で増殖した菌の産生したボツリヌス毒素により発症することがあるので注意が必要である。(乳児ボツリヌス症)。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[ボツリヌス症\(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第35週8月24日～8月30日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	府内累積報告数
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	6	1		2		1		1	1	93
4 類感染症	ボツリヌス症	1	1								2
	レジオネラ症 (肺炎型)	1			1						71
5 類感染症	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	4				1		1		2	92
	侵袭性肺炎球菌感染症	1								1	83
	水痘 (入院例)	1								1	7
	梅毒	7	1		1	1	1			3	610
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	650									8,491
結核 (2020年6月分)	結核 新登録患者数: 67名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 29名)										(府内累積報告数 640名、内 肺・喀痰塗抹陽性 239名)

(2020年9月1日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、8月24日から8月30日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第36週 (8月31日～9月6日)

今週のコメント
～ 感染症予防の基本 ～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱 増加」

第36週の小儿科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は前週比7.7%増の773例であった。昨年同時期と比べて72.3%減 (2019年 第36週2,787例) と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、突発性発しん、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.94、0.59、0.41、0.32、0.28であった。

感染性胃腸炎は前週と同数の383例で、中河内3.15、大阪府南部3.06、南河内2.88、泉州2.10、大阪府西部2.00である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は9%増の81例で、大阪府北部1.00、北河内0.81、中河内0.80であった。

ヘルパンギーナは20%減の64例で、泉州1.00、大阪府南部0.78、堺市0.53であった。

咽頭結膜熱は60%増の56例で、中河内0.70、泉州0.45、北河内0.38であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

咽頭結膜熱

表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第36週8月31日～9月6日)

第36週の順位	第35週の順位	感染症	2020年 第36週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第36週の 定点あたり 報告数	2020年第36週の 年別別 患者発生数 前大前合値
1	1	感染性胃腸炎	1.94	増減なし	3.86	10-14歳_16%
2	2	突発性発しん	0.59	22%増	0.49	1歳_57%
3	4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41	9%増	1.41	6歳_17%
4	3	ヘルパンギーナ	0.32	20%減	1.26	1歳_34%
5	6	咽頭結膜熱	0.28	60%増	0.60	1歳_61%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告表参照)	0.00	増減なし	0.27	15-19歳_100%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第36週のコメント

～日本紅斑熱～ 第36週時点の報告数は7例である

全数把握感染症

日本紅斑熱

日本紅斑熱は、紅斑熱群リキチアの一つ *Rickettsia japonica* を起因病原体とし、野山でマダニに刺咬されることにより感染する。媒介マダニの活動が活発化する4月～10月に発生し、特に9月、10月は多い。自然界で飼育あるいは感染する動物として、げっ歯類、野生のシカ、イノシシなどがあげられる。

潜伏期は2～8日であり、頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症する。発熱、発しん、刺し口が主要三徴候であるが、必ずしも、刺し口があるとは限らない。発しんは、体幹部より四肢末端部に強く出現し、検査所見では、肝臓酵素の上昇、血小板の減少が認められる。治療には、抗菌薬投与が効果的であり、第一選択薬はテトラサイクリン系の抗菌薬である。また、フルオロキノロン系抗菌薬が有効であると報告もある。β-ラクタム系の抗菌薬は全く無効である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[日本紅斑熱\(国立感染症研究所\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第36週8月31日～9月6日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

	疾患名 () 内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	府内累積報告数	
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3			2		1				99	
4 類感染症	日本紅斑熱	2								2	7	
	レジオネラ症 (肺炎型)	1						1			72	
5 類感染症	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1			94	
	侵袭性溶血性レンサ球菌感染症	1								1	34	
	侵袭性インフルエンザ菌感染症	1									1	23
	梅毒	6	1								5	624
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	554									9,045	
結核 (2020年7月分)	結核 新登録患者数: 118名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 43名)										(府内累積報告数 834名、内 肺・喀痰塗抹陽性 304名)	

(2020年9月8日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、8月31日から9月6日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第37週 (9月7日～9月13日)

今週のコメント
～感染予防の基本～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ 増加」

第37週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は前週比7.6%増の832例であった。昨年同週比71.3%減 (2019年 第37週2,898例) と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.12、0.58、0.48、0.47、0.33であった。

感染性胃腸炎は前週比9%増の417例で、中河内3.88、大阪府南部2.83、中河内2.70、泉州2.45、北河内2.31である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は41%増の114例で、中河内および泉州0.90、大阪府南部0.83であった。

ヘルパンギーナは45%増の93例で、泉州1.40、堺市1.11、大阪府南部0.72である。

咽頭結膜熱は16%増の65例で、中河内0.80、泉州0.65、大阪府北部0.64であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

(定点あたり報告数)

ヘルパンギーナ

(定点あたり報告数)

表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第37週9月7日～9月13日)

第37週 の順位	第36週 の順位	感染症	2020年 第37週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第37週の 定点あたり 報告数	2020年第37週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.12	9%増	3.79	10-14歳_15%
2	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	41%増	1.90	4歳_16%
3	2	突発性発しん	0.48	19%減	0.38	1歳_69%
4	4	ヘルパンギーナ	0.47	45%増	1.04	1歳_47%
5	5	咽頭結膜熱	0.33	16%増	0.59	1歳_58%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00	100%減	0.35	0%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第37週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗いや咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒レベル (黄色) が点灯した。これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日 (通常5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

感染症発生学センターはこちらへ(外部リンク)
新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

表 2. 大阪府全数報告数 (2020年 第37週9月7日～9月13日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。)

疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4	1	1			1	1		103
4類感染症 レイノスラ症 (肺炎型)	1		1						74
5類感染症	後天性免疫不全症候群	2						2	68
	慢性肺炎球菌感染症	2			1		1		86
	梅毒	7	1				1	5	634
	百日咳	1					1		103
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	561							9,606
総計	576								10,132

(2020年7月分) 総計 新型コロナウイルス: 118名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 43名)
(府内累積報告数 834名、内 肺・喀痰塗抹陽性 304名)

(2020年9月15日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、9月7日から9月13日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第38週 (9月14日～9月20日)

今週のコメント
～感染予防の基本～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「咽頭結膜熱 減少」

第38週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は770例であり、前週比7.5%減であった。昨年同週比69.2%減 (2019年 第38週2,499例) と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、突発性発しん、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.92、0.58、0.46、0.43、0.24であった。

感染性胃腸炎は前週比9%減の378例で、中河内3.10、泉州2.85、大阪府南部2.61、南河内2.31、北河内1.85である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は1%増の115例で、中河内1.50、北河内0.85、大阪府南部0.72であった。

ヘルパンギーナは2%減の91例で、大阪府南部1.22、堺市0.89、泉州0.80である。

咽頭結膜熱は26%減の48例で、大阪府南部0.44、泉州0.40、北河内0.35である。

咽頭結膜熱

(定点あたり報告数)

感染性胃腸炎

(定点あたり報告数)

表 1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2020年 第38週9月14日～9月20日)

第38週 の順位	第37週 の順位	感染症	2020年 第38週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第38週の 定点あたり 報告数	2020年第38週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.92	9%減	3.50	1歳_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	1%増	1.43	5歳_17%
3	4	ヘルパンギーナ	0.46	2%減	0.67	1歳_41%
4	3	突発性発しん	0.43	10%減	0.37	1歳_51%
5	5	咽頭結膜熱	0.24	26%減	0.32	1歳_50%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.01	-	0.38	20歳以上_100%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第38週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗いや咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒レベル (黄色) が点灯した。これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日 (通常5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

感染症発生学センターはこちらへ(外部リンク)
新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

表 2. 大阪府全数報告数 (2020年 第38週9月14日～9月20日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ【週報】発生動向調査>全数報告 をご覧ください。)

疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4		2				1	1	108
4類感染症 レイノスラ症 (肺炎型)	2		1						76
5類感染症	アムニオニオシス	1						1	37
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	1	1	1			1	101
	新変種溶血性レンサ球菌感染症	1				1			35
	後天性免疫不全症候群	2					1	1	70
梅毒	5		1					647	
百日咳	1				1			104	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	456							10,062
総計	475								10,542

(2020年7月分) 総計 新型コロナウイルス: 118名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 43名)
(府内累積報告数 834名、内 肺・喀痰塗抹陽性 304名)

(2020年9月23日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、9月14日から9月20日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第39週 (9月21日～9月27日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 減少」

第39週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は621例であり、前週比19.4%減であった。昨年同週比71.9%減(2019年 第39週2,207例)と少ない状況である。第39週の報告の解釈については、連休による医療機関の診療日数と受診者の減少を考慮する必要がある。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.61、0.37、0.34、0.31、0.22であった。

感染性胃腸炎は前週比16%減の316例で、大阪府南部3.44、中河内2.00、南河内1.94、大阪市西部1.80、北河内1.77である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は37%減の73例で、中河内0.58、三島・堺市0.53であった。

ヘルパンギーナは33%減の61例で、大阪府南部1.44、泉州0.55、南河内0.38である。大阪府南部は2週連続で1を超えている。

咽頭結膜熱は8%減の44例で、中河内0.58、三島0.41、堺市0.26であった。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第39週 の順位	第38週 の順位	感染症	2020年 第39週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第39週の 定点あたり 報告数	2020年第39週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.61	16%減	2.86	1歳_14%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	37%減	1.44	3歳_15%
3	4	突発性発しん	0.34	21%減	0.31	1歳_61%
4	3	ヘルパンギーナ	0.31	33%減	0.57	1歳_33%
5	5	咽頭結膜熱	0.22	8%減	0.29	1歳_48%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00	-	0.30	-

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第39週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防(手洗いや咳エチケットなど)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定「検査感染症」と指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪府のモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒信号(黄色)が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日(通常5～6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期検出、封じ込めが重要である。

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。

緊急事態宣言(4/7～5/21) 警戒信号(7/12～)

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)
新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

表2. 大阪府全数報告数 (2020年 第39週9月21日～9月27日)

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変動が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 報 告 数
3類感染症 細菌性出血性大腸菌感染症	3		1				1	1	113
4類感染症 レジオネラ症(非定型)	1				1				77
5類感染症 カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	1							1	107
梅毒	3			1					2,661
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	387								10,449
結核 (2020年7月分)	結核 新登録患者数: 118名								(内 肺-喀痰塗抹陽性 43名) (府内累積報告数 834名、内 肺-喀痰塗抹陽性 304名)

(2020年9月29日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、9月21日から9月27日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第40週 (9月28日～10月4日)

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 咳エチケット、手洗いが重要

定点把握感染症

「ヘルパンギーナ 増加」

第40週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数は697例であり、前週比12.2%増であった。(ただし、前週の報告の解釈については、連休による医療機関の診療日数と受診者の減少を考慮する必要がある)。昨年同週比69.3%減(2019年 第40週2,274例)と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.76、0.48、0.45、0.40、0.21であった。

感染性胃腸炎は前週比9%増の343例で、南河内2.81、大阪府南部2.59、中河内2.32、泉州2.25、大阪市北部2.00である。

ヘルパンギーナは54%増の94例で、大阪府南部1.06、南河内1.00、泉州0.75であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は21%増の88例で、大阪府北部0.86、北河内0.81、大阪府南部0.76である。

咽頭結膜熱は9%減の40例で、大阪府北部0.36、大阪府東部0.33、北河内0.31であった。

ヘルパンギーナ

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第40週 の順位	第39週 の順位	感染症	2020年 第40週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第40週の 定点あたり 報告数	2020年第40週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.76	9%増	3.27	10-14歳_14%
2	4	ヘルパンギーナ	0.48	54%増	0.45	2歳_34%
3	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45	21%増	1.47	10-14歳_15%
4	3	突発性発しん	0.40	16%増	0.41	1歳_44%
5	5	咽頭結膜熱	0.21	9%減	0.35	1歳_45%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.02	-	0.31	1歳-2歳_40%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第40週のコメント

～日本紅斑熱～ 大阪府では、2020年は40週までに8例の報告があり、過去4年間同時期と比較して多い

全数把握感染症

日本紅斑熱

日本紅斑熱は、紅斑熱群リキチアの一つ *Rickettsia japonica* を起因病原体とし、野山でマダニに刺咬されることにより感染する。媒介マダニの活動が活発化する4月～10月に発生し、特に9月、10月が多い。自然界で保菌している動物として、げっ歯類、野生のシカ、イノシシなどがあげられる。

潜伏期は2～8日であり、頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症する。発熱、発しん、刺し口が主要な徴候であるが、必ずしも、刺し口があるとは限らない。発しんは、体幹部より四肢末端部に強出現し、検査所見では、肝臓酵素の上昇、血小板の減少が認められる。治療には、抗感染薬投与が効果的であり、第一選択薬はテトラサイクリン系の抗感染薬である。また、ニューキノロン系抗感染薬が有効であるとの報告もある。β-ラクタム系の抗感染薬は全く無効である。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)
日本紅斑熱

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 報 告 数
3類感染症 細菌性出血性大腸菌感染症	2				1			1	113
4類感染症 日本紅斑熱	1				1				8
4類感染症 レジオネラ症(肺炎型)	1							1	79
5類感染症 カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	4						3	1	111
後天性免疫不全症候群	1							1	77
破傷風	1							1	87
水痘(入院例)	1		1						9
梅毒	6	1					1	1	680
パロマイコチン耐性腸球菌感染症	1				1				16
風しん	1	1							7
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	362								10,811
結核 (2020年8月分)	結核 新登録患者数: 112名								(内 肺-喀痰塗抹陽性 40名) (府内累積報告数 976名、内 肺-喀痰塗抹陽性 355名)

(2020年10月6日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、9月28日から10月4日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2020年 第41週（10月5日～10月11日）

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 例年同時期に比べ少ない」

第41週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は4667例であり、前週比4.3%減であった。昨年同週比71.4%減（2019年 第41週2,333例）と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ11.78、0.45、0.42、0.38、0.17であった。

感染性胃腸炎は前週比2%増の349例で、南河内2.88、泉州2.60、中河内2.50、大阪府南部2.06、三島1.76である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は1%増の89例で、中河内0.95、泉州0.70、大阪府南部0.59であった。

ヘルパンギーナは20%減の75例で、南河内1.38、大阪府南部0.59、泉州0.55である。

流行性角結膜炎は80%増の9例で、大阪府北部0.80、北河内0.33、大阪府南部0.25であった。

インフルエンザは40%減の3例で、定点あたり報告数は0.01であった。昨年同週比95%減（2019年 第41週65例）と少ない状況である。

インフルエンザ

感染性胃腸炎

第41週 の順位	第40週 の順位	感染症	2020年 第41週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第41週の 定点あたり 報告数	2020年第41週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.78	2%増	3.37	10-14歳_15%
2	3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45	1%増	1.81	5歳_16%
3	4	突発性発しん	0.42	5%増	0.36	1歳_51%
4	2	ヘルパンギーナ	0.38	20%減	0.47	1歳_37%
5	6	流行性角結膜炎	0.17	80%増	0.19	20歳以上_67%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.01	40%減	0.22	20歳以上_100%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第41週のコメント

～ウイルス性肝炎～ 大阪府では、毎年、15-25例の報告があります。2020年は第41週までに18例の報告がありました

全数把握感染症

ウイルス性肝炎（A型肝炎及びE型肝炎を除く）

ウイルス性肝炎は、ウイルス感染を原因とする急性肝炎（B型肝炎、C型肝炎、その他のウイルス性肝炎）である。慢性肝炎、無症候性キャリア及びこれらの急性増悪例は含まない。全身倦怠感、感冒様症状、食欲不振、悪寒、嘔吐などの症状を自覚し、数日後に褐色尿や黄疸を伴うことが多い。発病直後は、けだるさは急性胃腸炎などと類似した症状を示す。潜伏期間は、B型肝炎では約3か月間、C型肝炎では2週間から6か月間である。病型は、黄疸を伴う急性肝炎、顕性黄疸を示さない無黄疸性肝炎、高度の黄疸を呈する胆汁うっ滞性肝炎、急性肝不全症状を呈する劇症肝炎、に分類される。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)

ウイルス性肝炎

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4		1			1	1	1	119
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	3	1						1	82
5類感染症	ウイルス性肝炎（B型）	1		1						18
	ウイルス性肝炎（その他）	1			1					
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	1	1	1					114
	後天性免疫不全症候群	2							2	81
	梅毒	4	1			1			2	699
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	345								11,156
結核 (2020年8月分)	結核 新登録患者数：112名	(内 肺-喀痰塗抹陽性 40名) (府内累積報告数 976名、内 肺-喀痰塗抹陽性 355名)								

(2020年10月13日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、10月5日から10月11日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2020年 第42週（10月12日～10月18日）

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「ヘルパンギーナ 増加」

第42週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は716例であり、前週比7.3%増であった。昨年同週比60.5%減（2019年 第42週1,814例）と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、突発性発しん、咽頭結膜熱の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.80、0.51、0.48、0.37、0.17である。

感染性胃腸炎は前週比1%増の352例で、中河内3.10、南河内2.94、大阪府北部2.29、大阪府南部2.18、泉州1.95であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は11%増の99例で、中河内1.10、大阪府南部0.82、泉州0.75である。

ヘルパンギーナは25%増の94例で、南河内1.31、大阪府北部1.14、大阪府南部0.76であった。

咽頭結膜熱は13%増の34例で、大阪府東部0.40、大阪府南部・中河内0.35である。

流行性角結膜炎は増減なしの9例で、大阪府南部0.50、中河内・堺市0.40であった。

インフルエンザは1例減の2例で、定点あたり報告数は0.01であった。昨年同週比97.1%減（2019年 第42週 70例）と少ない状況である。

ヘルパンギーナ

感染性胃腸炎

第42週 の順位	第41週 の順位	感染症	2020年 第42週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第42週の 定点あたり 報告数	2020年第42週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.80	1%増	3.05	10-14歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.51	11%増	1.52	4歳_17%
3	4	ヘルパンギーナ	0.48	25%増	0.17	1歳_35%
4	3	突発性発しん	0.37	11%減	0.36	1歳_52%
5	6	咽頭結膜熱	0.17	13%増	0.33	1歳_50%
5	5	流行性角結膜炎	0.17	増減なし	0.29	20歳以上_100%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.01	33%減	0.23	1歳、20歳以上_50%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第42週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食内・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ヘモリシンを産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染された食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症候群を起す場合がある。3-5日の潜伏期において、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症候群を発症する。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)

腸管出血性大腸菌感染症とは(国立感染症研究所)

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10		1	1	1				7 130
4類感染症	日本紅斑熱	2						2		10
	レジオネラ症（肺炎型）	3					1			85
5類感染症	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	4						2	2	119
	後天性免疫不全症候群	5							1	4 87
	細菌性肺炎球菌感染症	1								1 89
	梅毒	12				1	1	1	2	7 722
	播種性クリプトコックス症	1							1	4
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	360								11,516
結核 (2020年9月分)	結核 新登録患者数：112名	(内 肺-喀痰塗抹陽性 40名) (府内累積報告数 976名、内 肺-喀痰塗抹陽性 355名)								

(2020年10月20日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、10月12日から10月18日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2020年 第43週（10月19日～10月25日）

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加」

第43週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は750例であり、前週比4.7%増であった。昨年同週比57.0%減（2019年 第43週1,744例）と少ない状況である。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、突発性発しん、咽頭結膜熱の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.89、0.58、0.49、0.44、0.19である。

感染性胃腸炎は前週比5%増の371例で、泉州2.90、大阪府南部2.88、南河内2.50、中河内2.40、北河内2.12であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比15%増の114例で、大阪府南部1.00、中河内0.85、北河内0.81である。ヘルパンギーナは前週比3%増の97例で、大阪府南部1.12、南河内1.06、堺市0.79であった。

咽頭結膜熱は前週比12%増の38例で、大阪府南部0.53、大阪府東部0.33、大阪府北部0.29である。

インフルエンザは1例減の2例であり、昨年同週比98.7%減（2019年 第43週 77例）と少ない状況である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎

第43週 の順位	第42週 の順位	感染症	2020年 第43週 の定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第43週 の定点あたり 報告数	2020年第43週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.89	5%増	2.95	1歳_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.58	15%増	1.43	4歳_19%
3	3	ヘルパンギーナ	0.49	3%増	0.19	2歳_37%
4	4	突発性発しん	0.44	19%増	0.32	1歳_57%
5	5	咽頭結膜熱	0.19	12%増	0.37	1歳_55%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.00	50%減	0.26	20歳以上_100%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第43週のコメント

～ 破傷風 ～ 大阪府では、年間10名未満の報告があります

全数把握感染症

破傷風

破傷風は、破傷風菌 (*Clostridium tetani*) が産生する毒素のひとつである破傷風毒素により強直性痙攣を引き起こす感染症である。破傷風菌は芽胞の形で土壌中に広く常在し、創傷部位から体内に侵入する。侵入した芽胞は感染部位で発芽・増殖して破傷風毒素を産生する。破傷風の特徴的な症状である強直性痙攣は、破傷風毒素が主な原因であり、潜伏期間（3～21日）の後に局所（痙攣、開口障害、嚥下困難など）から始まり、全身（呼吸困難や後弓反張など）に移行し、重篤な患者では呼吸筋の麻痺により窒息死することがある。発病初期に、抗破傷風人免疫グロブリンの投与が効果的である。破傷風の予防には、ワクチン接種が有効である。

[感染症発生センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[破傷風とは\(国立感染症研究所\)](#)

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	4			1				3	134
4 類感染症 レジオネラ症（肺炎型）	3					1		2	88
5 類感染症	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	2						2	122
	梅毒	11		1	1	2		7	735
	破傷風	1			1				1
	薬剤耐性アシネバクター感染症	1						1	2
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	532								12,048
結核	結核 新登録患者数：112名 (内 肺・喉炎連抹陽性 40名) (2020年8月分) (府内累積報告数 976名、内 肺・喉炎連抹陽性 355名)								

(2020年10月27日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、10月19日から10月25日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2020年 第44週（10月26日～11月1日）

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「ヘルパンギーナ 減少」

第44週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は687例であり、前週比8.4%減であった。昨年同週比64.4%減（2019年 第44週1,931例）と少ない状況である。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、突発性発しん、咽頭結膜熱の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ1.81、0.56、0.36、0.36、0.20である。

感染性胃腸炎は前週比5%減の354例で、泉州2.70、大阪府南部2.65、中河内2.50、北河内2.08、大阪府西部1.90であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は4%減の109例で、中河内1.25、南河内・泉州0.75、大阪府北部0.64である。ヘルパンギーナは27%減の71例で、大阪府南部1.53、南河内1.00、三島0.35であった。

咽頭結膜熱は前週比3%増の39例で、大阪府南部0.65、泉州0.40、堺市0.32である。

インフルエンザは1例増の2例であり、昨年同週比98.1%減（2019年 第44週 106例）と少ない状況である。

ヘルパンギーナ

感染性胃腸炎

第44週 の順位	第43週 の順位	感染症	2020年 第44週 の定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第44週 の定点あたり 報告数	2020年第44週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.81	5%減	3.59	10-14歳_15%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	4%減	2.01	4歳_17%
3	3	ヘルパンギーナ	0.36	27%減	0.18	1歳_37%
4	4	突発性発しん	0.36	18%減	0.31	1歳_55%
5	5	咽頭結膜熱	0.20	3%増	0.34	1歳_56%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.01	100%増	0.35	8歳_20歳以上_50%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第44週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防（手洗い咳エチケットなど）の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月、中華人民共和湖北武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日「世界的な大流行（パンデミック）」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒信号（黄色）が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日（通常5～6日）であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密（密閉、密集、密接）の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症発生センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

疾患名 ()内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	1	1							136
4 類感染症	E型肝炎	1						1	4
	鉤状性溶血性レンサ球菌感染症	2			1		1		92
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	2						1	40
	慢性肺球菌感染症	4		1			1	2	92
	水痘（入腺例）	1			1				10
	梅毒	5				1		4	759
	百日咳	1						1	105
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	830								12,878
結核	結核 新登録患者数：122名 (内 肺・喉炎連抹陽性 54名) (2020年9月分) (府内累積報告数 1,101名、内 肺・喉炎連抹陽性 416名)								

(2020年11月3日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、10月26日から11月1日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2020年 第45週（11月2日～11月8日）

今週のコメント
～感染症予防の基本～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加」

第45週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は696例であり、前週比1.3%増であった。昨年同週比60.9%減（2019年 第45週1,780例）と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、突発性発疹、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.86、0.60、0.36、0.31、0.18であった。

感染性胃腸炎は前週比3%増の364例で、中河内3.15、南河内2.69、北河内2.23、大阪府西部2.20、大阪府南部2.12である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比8%増の119例で、大阪府南部1.29、泉州1.00、中河内0.70であった。ヘルパンギーナは増減なしの71例で、大阪府南部0.82、南河内0.75、大阪府西部0.70である。

咽頭結膜熱は前週比10%減の35例で、泉州0.35、中河内0.30、南河内0.25である。

インフルエンザは6例増の8例であり、昨年同週比94.2%減（2019年 第45週 139例）と少ない状況である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎

第45週 の順位	第44週 の順位	感染症	2020年 第45週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第45週の 定点あたり 報告数	2020年第45週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.86	3%増	3.64	20歳以上_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	8%増	1.81	20歳以上_15%
3	3	ヘルパンギーナ	0.36	増減なし	0.18	1歳_39%
4	3	突発性発疹	0.31	15%減	0.31	1歳_50%
5	5	咽頭結膜熱	0.18	10%減	0.34	1歳_40%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.03	300%増	0.46	20歳以上_38%

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第45週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防（手洗いや咳エチケットなど）の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関（WHO）は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行（パンデミック）」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検査感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪エドルのエンタング指標を踏まえ、7月12日、警戒番号（黄色）が点灯した。これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日（通常5～6日）であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防止には、手洗い、咳エチケット、3密（密閉、密集、密接）の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)
新型コロナウイルスに関するQ&A(厚生労働省)

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3 類感染症 細菌性出血性大腸菌感染症	1								1	137
4 類感染症 レジオネラ症（肺炎型）	2								2	91
5 類感染症	アムニオニオシス	1							1	41
	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	1							1	125
	後天性免疫不全症候群	1							1	94
	保菌型インフルエンザウイルス感染症	1							1	24
	保菌型肺炎球菌感染症	3	1						1	95
梅毒	5	1						1	3	773
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	940									13,814
総括 (2020年9月分)	総括 新登録患者数：122名	(内 那・喀痰塗抹陽性 54名)								
		(府内累積報告数 1,101名、内 那・喀痰塗抹陽性 416名)								

新型コロナウイルス感染症の集計は、11月2日から11月8日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2020年 第46週（11月9日～11月15日）

今週のコメント
～新しい生活様式の実践～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「水痘 増加」

第46週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は752例であり、前週比8.0%増であった。昨年同週比65.7%減（2019年 第46週2,190例）と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹、ヘルパンギーナ、水痘、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.98、0.54、0.39、0.30、0.23であった。

感染性胃腸炎は前週比7%増の388例で、中河内3.70、南河内2.69、大阪府南部2.53、泉州2.15、三島2.06である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比10%減の106例で、中河内1.15、北河内0.92、大阪府南部0.71であった。ヘルパンギーナは前週比17%減の59例で、南河内1.56、三島0.35、中河内0.30である。

水痘は前週比44%増の46例で、三島0.53、大阪府北部0.43、北河内0.38であった。

咽頭結膜熱は前週比29%増の45例で、北河内0.42、泉州0.35、大阪府西部0.33であった。

インフルエンザは6例減の2例であり、昨年同週比99.2%減（2019年 第46週 254例）と少ない状況である。

水痘

感染性胃腸炎

第46週 の順位	第45週 の順位	感染症	2020年 第46週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第46週の 定点あたり 報告数	2020年第46週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.98	7%増	5.25	10-14歳_18%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.54	10%減	2.54	5歳_15%
3	4	突発性発疹	0.39	28%増	0.38	1歳_48%
4	3	ヘルパンギーナ	0.30	17%減	0.11	1歳_37%
5	6	水痘	0.23	44%増	0.47	5歳_17%
5	5	咽頭結膜熱	0.23	29%増	0.38	1歳_64%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.01	75%減	0.84	10-14歳_20歳以上_50%

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第46週のコメント

～バンコマイシン耐性腸球菌感染症～ 2019年の報告数は、大阪府が全国で第一位である

全数把握感染症

バンコマイシン耐性腸球菌感染症

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）は、バンコマイシンに耐性を獲得した腸球菌である。術後患者や感染防御機能の低下した患者では腹膜炎、術創感染症、肺炎、敗血症などの感染症を引き起こす場合があるため、集中治療室や外科治療ユニットなどで患者を治療する部門で問題となっており、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。VREによる術創感染症や腹膜炎などの治療は、抗生薬の投与とともに感染巣の洗浄やドレナージなどを適宜組み合わせて行う。

左：大阪府 右：全国
(2016-2019年) 年間報告数
(2020年) 大阪府 第46週までの累計
全国 第45週までの累計

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症(国立感染症研究所)

疾患名 () 内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数	
4 類感染症 レジオネラ症（肺炎型）	1			1						92	
ウイルス性肝炎(B型)	1								1	20	
5 類感染症	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	2		1		1				128	
	梅毒	8	2	1						5	792
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1							1	19	
指定感染症 新型コロナウイルス感染症	1,605									15,421	
総括 (2020年9月分)	総括 新登録患者数：122名	(内 那・喀痰塗抹陽性 54名)									
		(府内累積報告数 1,101名、内 那・喀痰塗抹陽性 416名)									

新型コロナウイルス感染症の集計は、11月9日から11月15日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第47週 (11月16日～11月22日)

今週のコメント
～新しい生活様式の実践～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加」

第47週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は833例であり、前週比10.8%増であった。昨年同週比62.1%減 (2019年 第47週2,197例) と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、ヘルパンギーナ、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ12.26、0.66、0.40、0.28、0.26であった。

感染性胃腸炎は前週比14%増の443例で、大阪市内3.60、南河内3.19、泉州3.10、北河内3.00、中河内2.90である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比22%増の129例で、中河内1.90、泉州0.90、南河内0.88であった。

ヘルパンギーナは前週比8%減の54例で、南河内1.13、北河内0.50、大阪市内0.33である。

水痘は前週比11%増の51例で、泉州0.75、大阪市内0.43、堺市0.37であった。

インフルエンザは2例増の4例であり、昨年同週比98.9%減 (2019年 第47週 363例) と少ない状況である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎

第47週 の順位	第46週 の順位	感染症	2020年 第47週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第47週の 定点あたり 報告数	2020年第47週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.26	14%増	5.49	10-14歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.66	22%増	2.50	4歳_18%
3	3	突発性発しん	0.40	1%増	0.33	1歳_44%
4	4	ヘルパンギーナ	0.28	8%減	0.10	1歳_39%
5	5	水痘	0.26	11%増	0.46	6歳_18%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.01	100%増	1.21	20歳以上_50%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第47週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗いや咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的な大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒信号 (黄色) が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (通常5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

緊急事態宣言 (4/7-5/21) 警戒信号 (7/12～)

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

3類感染症	疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1							1	140
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1				1				129
5類感染症	急性脳炎	1							1	17
	後天性免疫不全症候群	1		1						96
	慢性肺尖球菌感染症	1							1	97
	梅毒	3	1					1	1	803
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	2,226								17,647
結核 (2020年9月分)	結核 新登録患者数: 122名									(内 肺・喀痰塗抹陽性 54名) (府内累積報告数 1,101名、内 肺・喀痰塗抹陽性 416名)

(2020年11月24日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、11月16日から11月22日の大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の情報をご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第48週 (11月23日～11月29日)

今週のコメント
～新しい生活様式の実践～ 手洗い、咳エチケットが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 減少」

第48週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は795例であり、前週比4.6%減であった。昨年同週比69.5%減 (2019年 第48週2,609例) と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、水痘、咽頭結核熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ12.28、0.54、0.34、0.27、0.22であった。

感染性胃腸炎は前週比1%増の446例で、南河内3.81、中河内3.50、大阪市内2.94、北河内2.62、泉州2.50である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比18%減の106例で、中河内1.10、泉州0.75、北河内0.65であった。

水痘は前週比2%増の52例で、北河内0.65、中河内0.55、大阪市内0.40であった。

咽頭結核熱は前週比12%減の43例で、大阪市内0.60、泉州、北河内0.35であった。

インフルエンザは2例増の6例であり、昨年同週比99.0%減 (2019年 第48週 598例) と少ない状況である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎

第48週 の順位	第47週 の順位	感染症	2020年 第48週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第48週の 定点あたり 報告数	2020年第48週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.28	1%増	6.83	1歳_19%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.54	18%減	3.00	5歳_20%
3	3	突発性発しん	0.34	14%減	0.40	1歳_51%
4	5	水痘	0.27	2%増	0.61	5歳_21%
5	6	咽頭結核熱	0.22	12%減	0.48	1歳_60%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.02	50%増	1.99	9歳_33%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第48週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗いや咳エチケットなど) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的な大流行 (パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

6月中旬以降、報告数が増加し、大阪モデルのモニタリング指標を超えたため、7月12日、警戒信号 (黄色) が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1～14日 (通常5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちらへ\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

緊急事態宣言 (4/7-5/21) 警戒信号 (7/12～)

※グラフは大阪府の報道発表の報告数をもとに作成しています。口

4類感染症	疾患名 ()内の病型は今週報告のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
4類感染症	Dengue熱	1								5
5類感染症	アメーバ脳病	1					1			44
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1								136
	慢性肺尖球菌感染症	1				1				99
	梅毒	5	1					1	1	825
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	2,362								20,011
結核 (2020年9月分)	結核 新登録患者数: 120名									(内 肺・喀痰塗抹陽性 36名) (府内累積報告数 1,222名、内 肺・喀痰塗抹陽性 453名)

(2020年12月1日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の集計は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の (11月1日) と (11月2日) の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2020年 第49週（11月30日～12月6日）

今週のコメント
～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、3密の回避が重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加」

第49週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は844例であり、前週比6.2%増であった。昨年同週比68.9%減（2019年 第49週2,714例）と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘、突発性発疹、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ12.28、0.72、0.38、0.33、0.25であった。

感染性胃腸炎は前週比2%増の439例で、中河内3.75、北河内3.23、大阪市南部2.53、南河内2.50、泉州2.45である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比34%増の142例で、中河内1.45、北河内1.15、南河内・泉州共に0.75であった。

水痘は前週比33%増の69例で、泉州0.75、南河内0.69、大阪市南部0.35である。

咽頭結膜熱は前週比14%増の49例で、大阪市北部0.64、大阪市東部0.53、三島0.47であった。

インフルエンザは5例減の11例であり、昨年同週比99.1%減（2019年 第49週1,165例）と少ない状況である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

水痘

第49週 の順位	第48週 の順位	感染症	2020年 第49週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第49週の 定点あたり 報告数	2020年第49週の 年齢別 患者発生数 最大前割合
1	1	感染性胃腸炎	2.24	2%減	7.24	20歳以上_15%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	34%増	3.19	5歳_13%
3	4	水痘	0.35	33%増	0.43	7歳_16%
4	3	突発性発疹	0.33	4%減	0.31	1歳_55%
5	5	咽頭結膜熱	0.25	14%増	0.66	1歳_43%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.04	83%増	3.87	1歳_27%

突発性発疹については、(1)季節変動はなく、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異はほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第49週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防（手洗い、マスク着用、3密の回避）の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関（WHO）は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行（パンデミック）」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

11月以降、報告数、および、重症病床使用率が増加し、12月4日、**非常事態（赤色）**が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日（通常5～6日）であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表2. 大阪府全数報告数（2020年 第49週11月30日～12月6日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ【速報】発生動向調査＞全数報告をご覧ください。）

疾患名 ()内の疾患は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	1							142
4類感染症	A型肝炎	1							1	7
5類感染症	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	1					1			140
	後天性免疫不全症候群	2							2	102
	優毒性肺炎球菌感染症	2	1	1						107
	梅毒	6	1		1	1	1		3	839
	パノマイシン耐性腸球菌感染症	1							1	19
百日咳	1							1	110	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	2,496								22,505
結核 (2020年10月分)	結核 新登録患者数：120名	(内・喀痰塗抹陽性 36名)								
		(府内累積報告数 1,222名、内・喀痰塗抹陽性 453名)								

(2020年12月8日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。詳細はリンク先の（11月1日まで）と（11月2日以降）の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報（速報） 2020年 第50週（12月7日～12月13日）

今週のコメント
～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、3密の回避が重要

定点把握感染症

「水痘 減少」

第50週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は829例であり、前週比1.8%減であった。昨年同週比70.8%減（2019年 第50週2,837例）と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹、水痘、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ12.28、0.72、0.38、0.31、0.25であった。

感染性胃腸炎は前週比2%増の446例で、中河内3.25、南河内3.00、大阪市南部2.88、北河内2.77、大阪市北部2.71である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比1%減の141例で、南河内1.31、中河内1.20、泉州1.00であった。

水痘は前週比12%減の61例で、中河内0.55、北河内0.54、泉州0.50である。

咽頭結膜熱は前週と変わらず49例で、泉州0.50、三島0.41、中河内0.35であった。

インフルエンザは8例減の3例であり、昨年同週比99.9%減（2019年 第50週2,500例）と少ない状況である。

水痘

感染性胃腸炎

第50週 の順位	第49週 の順位	感染症	2020年 第50週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第50週の 定点あたり 報告数	2020年第50週の 年齢別 患者発生数 最大前割合
1	1	感染性胃腸炎	2.28	2%増	7.70	1歳_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.72	1%減	3.51	4歳_13%
3	4	突発性発疹	0.38	16%増	0.32	1歳_49%
4	3	水痘	0.31	12%減	0.46	3歳_16%
5	5	咽頭結膜熱	0.25	増減なし	0.61	1歳_37%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.01	73%減	8.31	20歳以上_100%

突発性発疹については、(1)季節変動はなく、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異はほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第50週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防（手洗い、マスク着用、3密の回避）の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関（WHO）は、2020年1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」、3月11日に「世界的大流行（パンデミック）」を宣言した。日本では、2月1日に指定・検疫感染症に指定された。

11月以降、報告数、および、重症病床使用率が増加し、12月4日、**非常事態（赤色）**が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日（通常5～6日）であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表2. 大阪府全数報告数（2020年 第50週12月7日～12月13日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ【速報】発生動向調査＞全数報告をご覧ください。）

疾患名 ()内の疾患は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告 数	豊 能	三 島	北 河 内	中 河 内	南 河 内	堺 市	泉 州	大 阪 市	府 内 累 積 数
4類感染症	レジオネラ症（肺炎型）	2					1		1	94
5類感染症	カルバペム耐性腸内細菌科細菌感染症	2						1	1	145
	後天性免疫不全症候群	1							1	103
	優毒性肺炎球菌感染症	2						1	1	109
	梅毒	6	1		1				4	854
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	2,422								24,927
結核 (2020年10月分)	結核 新登録患者数：120名	(内・喀痰塗抹陽性 36名)								
		(府内累積報告数 1,222名、内・喀痰塗抹陽性 453名)								

(2020年12月15日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。詳細はリンク先の（11月1日まで）と（11月2日以降）の情報をご覧ください。

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第51週 (12月14日～12月20日)

今週のコメント
～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、3密の回避が重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 減少」

第51週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は806例であり、前週比2.8%減であった。昨年同週比73.3%減 (2019年 第51週3,020例) と少ない状況である。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、咽頭結膜熱、水痘の順で、定点あたり報告数はそれぞれ12.38、0.61、0.32、0.30、0.23であった。

感染性胃腸炎は前週比5%増の467例で、北河内4.04、大阪府南部3.41、中河内3.00、三島2.18、泉州2.15である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は前週比15%減の120例で、中河内1.15、大阪府南部0.94、大阪府北部0.93である。

咽頭結膜熱は前週比18%増の58例で、泉州0.40、大阪府北部0.36、豊能0.32である。

水痘は前週比2.6%減の45例で、泉州0.55、北河内・南河内0.38であった。

インフルエンザは8例の11例で、昨年同週比99.7%減 (2019年 第51週 4,120例) と少ない状況である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎

第51週 の順位	第50週 の順位	感染症	2020年 第51週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第51週の 定点あたり 報告数	2020年第51週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.38	5%増	8.51	20歳以上_15%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.61	15%減	3.47	4歳_13%
3	3	突発性発しん	0.32	16%減	0.29	1歳_55%
4	5	咽頭結膜熱	0.30	18%増	0.57	1歳_36%
5	4	水痘	0.23	26%減	0.51	4歳_6歳_10-14歳_16%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.04	267%増	13.69	20歳以上_36%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第51週のコメント

～新型コロナウイルス感染症～ 基本的な予防 (手洗い、マスク着用、3密の回避) の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和國湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態、3月11日に世界的な大流行 (パンデミック) を宣言した。日本では、2月1日に指定・検査感染症に指定された。

11月以降、報告数、および、重症病状使用率が増加し、12月4日、非常事態 (赤色) が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的特徴として、潜伏期間は1～14日 (通常5～6日) であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。

感染拡大を防ぐには、手洗い、咳エチケット、3密(密閉、密集、密接)の回避など「新しい生活様式」の実践、感染者の早期探知、封じ込めが重要である。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

報告数	重症	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	報告数 累計	
2108	1	1	1						96	
2	1								22	
2	1			1					149	
2			1						106	
1						1			25	
4						1	1	2	874	
2108									27,037	
結果	結果	新規患者数: 120名	(内 肺・病状塗抹陽性 36名)							
(2020年11月分)			(府内累積報告数 1,222名、内 肺・病状塗抹陽性 453名)							

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の11月1日まで比11月2日以降までご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第52週 (12月21日～12月27日)

今週のコメント
～新しい生活様式の実践～ 手洗い、マスク着用、3密の回避が重要

定点把握感染症

「感染性胃腸炎 増加」

第52週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は846例であり、前週比5.0%増であった。前年同週比は70.4%減 (2019年 第52週2,857例) であった。

定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、突発性発しん、水痘の順で、上位5疾患の定点あたり報告数はそれぞれ12.76、0.60、0.26、0.26、0.19である。

感染性胃腸炎は前週比16%増の541例で、北河内5.12、南河内4.06、泉州3.40、大阪府南部3.29、中河内2.90であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2%減の118例で、大阪府東部0.93、北河内0.88、中河内・泉州0.80である。

咽頭結膜熱は14%減の50例で、大阪府北部0.50、泉州0.45、中河内0.40であった。

水痘は18%減の37例で、堺市0.37、大阪府東部0.27、大阪府南部0.24である。

インフルエンザは9%減の10例で、定点あたり報告数は0.03であり、昨年同週比99.8%減 (2019年 第52週 5,317例) と少ない状況である。

感染性胃腸炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第52週 の順位	第51週 の順位	感染症	2020年 第52週の 定点あたり 報告数	前週比 増減	2019年 第52週の 定点あたり 報告数	2020年第52週の 年齢別 患者発生数 最大割合
1	1	感染性胃腸炎	2.76	16%増	8.09	1歳_16%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.60	2%減	3.02	4歳_19%
3	4	咽頭結膜熱	0.26	14%減	0.69	1歳_32%
3	3	突発性発しん	0.26	19%減	0.40	1歳未満_1歳_40%
5	5	水痘	0.19	18%減	0.49	1歳未満_1歳_15-19歳_20%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告数)	0.03	9%減	17.72	1歳未満_1歳_15-19歳_20%

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第52週のコメント

～梅毒～ 大阪府における2020年の梅毒報告数は、2018年、2019年を下回っている

全数把握感染症

梅毒

国内の梅毒の報告数は、2010年より増加傾向にあったが、2019年は2018年より下回った。大阪府における2020年の報告数は、3年ぶりに、1,000例を下回ることが見込まれる。

梅毒は、性行為・オラルセックスにより、生殖器、口、肛門の皮膚や粘膜の微細な傷口から菌が体内に侵入し感染する。また、妊娠時に胎児が胎盤を介して感染し、「先天梅毒」になることがある。梅毒は、適切な抗感染薬の投与で治療が可能である。

[感染症疫学センターはこちら\(外部リンク\)](#)
[梅毒とは\(国立感染症研究所\)](#)

報告数	重症	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪府	報告数 累計	
1					1				144	
2	1				1				99	
1						1			48	
1				1					23	
2						1	1		48	
1								1	109	
4				1		2		1	113	
8	2		1	1	1			3	886	
1									21	
1,898									28,927	
結果	結果	新規患者数: 92名	(内 肺・病状塗抹陽性 46名)							
(2020年11月分)			(府内累積報告数 1,305名、内 肺・病状塗抹陽性 504名)							

注意: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります (報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ「週報」発生動向調査>全数報告をご覧ください。)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。
[詳細はリンク先の11月1日まで比11月2日以降までご覧ください。](#)

大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2020年 第53週 (12月28日~1月3日)
2021年 第1週 (1月4日~1月10日)

今週のコメント

~新しい生活様式の実践~ 手洗い、マスク着用、3密の回避が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 昨年同時期に比べ激減」

2020年第53週と2021年第1週をあわせて報告する。第53週は年末年始休暇による診療実日数の減少を考慮する必要がある。

第53週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は4330例であり、前週比60.1%減であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎であり、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹、水痘、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ11.09、0.22、0.12、0.12、0.07であった。

2021年第1週の報告数の総計は622例であり、前週比88.5%増であった。前年同時期比では69.6%減(2020年第1週2,043例)であった。定点あたり報告数の第1位は感染性胃腸炎であり、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発疹、水痘、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ1.93、0.38、0.28、0.21、0.21であった。

インフルエンザは2020年第53週が60%減の4例、定点あたり報告数は0.01であった。2021年第1週は125%増の9例で、定点あたり報告数は0.03であり、昨年同時期比99.8%減(2020年第1週、5,685例)と少ない状況である。

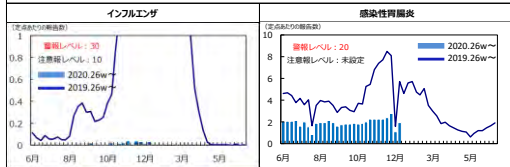


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2021年 第1週1月4日~1月10日)

第1週の順位	第53週の順位	感染症	2021年第1週の定点あたり報告数	前週比増減	2020年第1週の定点あたり報告数	2021年第1週の毎週別定点発生数最大割合
1	1	感染性胃腸炎	1.93	77%増	1.60	1歳_17%
2	2	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	74%増	0.41	5歳_10-14歳_20歳以上_12%
3	3	突発性発疹	0.28	129%増	0.06	1歳_55%
4	4	水痘	0.21	83%増	0.20	10-14歳_19%
4	5	咽頭結膜熱	0.21	215%増	0.06	1歳_44%
参考		インフルエンザ (インフルエンザ定点報告疾患)	0.03	125%増	11.16	20歳以上_33%

突発性発疹については、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。2020年第36週からインフルエンザの新シーズンの集計が始まりました。

第1週のコメント

~新型コロナウイルス感染症~ 基本的な予防(手洗い、マスク着用、3密の回避)の徹底を

全数把握感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)は、2019年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関(WHO)は、2020年1月30日に国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態「3月11日に世界的大流行(パンデミック)」を宣言した。日本では、2月1日に指定-検疫感染症に指定された。

11月以降、報告数、および、重症病床使用率が増加し、12月4日、非常事態(赤色)が点灯した。

これまでの知見より、主な感染経路は飛沫・接触感染である。臨床的な特徴として、潜伏期間は1~14日(通常5~6日)であり、その後、発熱や呼吸器症状、全身倦怠感等の感冒様症状が1週間前後持続することが多い。一部のものは、呼吸困難等の症状が現れ、肺炎を呈する。発病者の多くは軽症であるが、高齢者や基礎疾患等を有する者は重症化する可能性がある。感染拡大を防ぐには、手洗い、マスク着用、3密(密閉、密集、密接)の回避など新しい生活様式の実践、感染者の早期検出、封じ込めが重要である。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク) [新型コロナウイルスに関するQ&A\(厚生労働省\)](#)

表2. 大阪府全数報告数 (2021年 第1週1月4日~1月10日)

注: この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ>>>【速報】発生動向調査>全数報告をご覧ください)

病名	報告数	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累計
4 類感染症									
レジオネラ症 (ポニチアック熱型)	2							1	2
アズーラ菌症 (肺炎菌)	1	1							1
5 類感染症									
先天性免疫不全症候群	1		1						1
細菌性インフルエンザ菌感染症	1							1	1
細菌性肺炎球菌感染症	1							1	1
梅毒	2						1	1	2
パルモマイシシ菌性肺球菌感染症	1							1	1
指定感染症									
新型コロナウイルス感染症	3,680								34,452
総計									
(2020年11月分)	総計 新登録患者数: 92名								(内 肺炎球菌肺炎菌性 46名)
									(府内累積報告数 1,305名、内 肺炎球菌肺炎菌性 504名)

(2021年1月12日 集計分)

新型コロナウイルス感染症の報告数は、大阪府の報道発表の報告数を示しています。
詳細はリンク先の11月10日までと11月2日以降をご覧ください。

VI 資料

大阪府感染症発生動向調査事業実施要綱

(目的)

第1 大阪府は、感染症の発生に関する情報を迅速に収集・分析し、情報の提供・公開を行い、感染症に対する有効かつ的確な予防対策の確立に資するため、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(平成10年法律第114号)第3章の規定、及び、「法の施行に伴う感染症発生動向調査事業の実施について」(平成11年3月19日健医発第458号厚生省保健医療局長通知)における「感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づき、感染症発生動向調査を実施する。本要綱は、その実施にあたり、必要な事項を定めたものである。

(対象感染症)

第2 本事業の対象とする感染症は、次のとおりとする。

1 全数把握対象感染症

[一類感染症]

(1)エボラ出血熱 (2)クリミア・コンゴ出血熱 (3)痘そう (4)南米出血熱 (5)ペスト (6)マールブルグ病 (7)ラッサ熱

[二類感染症]

(8)急性灰白髄炎 (9)結核 (10)ジフテリア (11)重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。) (12)中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。) (13)鳥インフルエンザ(H5N1) (14)鳥インフルエンザ(H7N9)

[三類感染症]

(15)コレラ (16)細菌性赤痢 (17)腸管出血性大腸菌感染症 (18)腸チフス (19)パラチフス

[四類感染症]

(20)E型肝炎 (21)ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む。) (22)A型肝炎 (23)エキノコックス症 (24)黄熱 (25)オウム病 (26)オムスク出血熱 (27)回帰熱 (28)キャサナル森林病 (29)Q熱 (30)狂犬病 (31)コクシジオイデス症 (32)サル痘 (33)ジカウイルス感染症 (34)重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。) (35)腎症候性出血熱 (36)西部ウマ脳炎 (37)ダニ媒介脳炎 (38)炭疽 (39)チクングニア熱 (40)つつが虫病 (41)デング熱 (42)東部ウマ脳炎 (43)鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く。) (44)ニパウイルス感染症 (45)日本紅斑熱 (46)日本脳炎 (47)ハンタウイルス肺症候群 (48)Bウイルス病 (49)鼻疽 (50)ブルセラ症 (51)ベネズエラウマ脳炎 (52)ヘンドラウイルス感染症 (53)発しんチフス (54)ボツリヌス症 (55)マラリア (56)野兔病 (57)ライム病 (58)リッサウイルス感染症 (59)リフトバレー熱 (60)類鼻疽 (61)レジオネラ症 (62)レプトスピラ症 (63)ロッキー山紅斑熱

[五類感染症(全数)]

(64)アメーバ赤痢 (65)ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)(66)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 (67)急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)(68)急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)(69)クリプトスポリジウム症 (70)クロイツフェルト・ヤコブ病 (71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (72)後天性免疫不全症候群 (73)ジアルジア症 (74)侵襲性インフルエンザ菌感染症 (75)侵襲性髄膜炎菌感染症 (76)侵襲性肺炎球菌感染症 (77)水痘(患者が入院を要すると認められるものに限る。)(78)先天性風しん症候群 (79)梅毒 (80)播種性クリプトコックス症 (81)破傷風 (82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症 (84)百日咳 (85)風しん (86)麻しん (87)薬剤耐性アシネトバクター感染症

[新型インフルエンザ等感染症]

(112)新型インフルエンザ (113)再興型インフルエンザ (114)新型コロナウイルス感染症 (115)再興型新型コロナウイルス感染症

[指定感染症]

該当なし

2 定点把握対象感染症

[五類感染症(定点)]

(88)RSウイルス感染症 (89)咽頭結膜熱 (90)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (91)感染性胃腸炎 (92)水痘 (93)手足口病 (94)伝染性紅斑 (95)突発性発しん (96)ヘルパンギーナ (97)流行性耳下腺炎 (98)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)(99)急性出血性結膜炎 (100)流行性角結膜炎 (101)性器クラミジア感染症 (102)性器ヘルペスウイルス感染症 (103)尖圭コンジローマ (104)淋菌感染症 (105)クラミジア肺炎(オウム病を除く。)(106)細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)(107)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 (108)マイコプラズマ肺炎 (109)無菌性髄膜炎 (110)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 (111)薬剤耐性緑膿菌感染症

[法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症]

(116)発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの

3 オンラインシステムによる積極的疫学調査結果の報告の対象

[二類感染症]

(13)鳥インフルエンザ(H5N1)

- 4 その他、新たな感染症の発生により、厚生労働省より通知があるなど、調査が必要と判断された場合は、対象に追加し実施する。

(実施主体)

第3 本事業の実施主体は大阪府とし、次に定める組織をもって対応するものとする。

(組織)

第4 情報処理の総合的かつ円滑な推進を図るため、次の体制により実施する。

(1)大阪府感染症情報センター

次の事項を実施するため、大阪健康安全基盤研究所(以下、「大安研」という。)に大阪府感染症情報センターを置く。

- ① 中央感染症情報センター(国立感染症研究所感染症疫学センター)との連絡調整
- ② 大阪府全域における患者発生情報、疑似症の発生情報及び病原体情報の収集・分析
- ③ 全国情報及び収集・分析した情報を一般社団法人大阪府医師会(以下、「医師会」という。)及び保健所等関係機関への還元

(2)検査実施機関

本事業における検査実施機関は、大安研および大阪府保健所検査課、国立感染症研究所、他自治体の地方衛生研究所とする。検査実施機関は、検査施設における病原体等検査の業務管理要領に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

(3)指定届出機関及び指定提出機関(定点)

定点把握の対象疾病について、患者発生情報、疑似症の発生情報及び病原体の分離等の検査情報を収集するため、患者定点、病原体定点及び疑似症定点を医師会等関係機関の協力のもとにそれぞれ大阪府内の医療機関の中から選定する。

① 患者定点

対象疾病の患者発生状況を地域的に把握するため、人口及び医療機関の分布等を勘案の上、厚生労働省の示す基準に準拠し、小児科定点、インフルエンザ定点(小児科定点と内科定点)、眼科定点、性感染症定点、基幹定点を設置するものとする。

② 病原体定点

病原体の分離等検査情報を収集するため、次の点に留意して医療機関の中から選定する。原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定する。

小児科定点、インフルエンザ定点、眼科定点の概ね10%を目安として選定したもの及びすべての基幹定点を病原体定点とする。

なお、インフルエンザ病原体定点(指定提出機関)の選定にあたっては、小児科定点及び内科定点それぞれから、10%以上を目安として選定する。

③ 疑似症定点

疑似症の発生状況を地域的に把握するため、人口及び医療機関の分布等を勘案の上、厚生労働省の示す基準に準拠し、疑似症定点を設置するものとする。

(4)大阪府感染症発生動向調査委員会

感染症に関する情報についての分析並びに感染症の発生の状況、動向及び原因に関する情報並びに当該感染症の予防及び治療に必要な情報の公表について報告・検討、意見交換を行うため、「大阪府感染症発生動向調査委員会」を設置する。

(5)大阪感染症情報解析委員会

大安研は、感染症の発生状況、動向及び病原体情報等を解析し、感染症の予防及びまん延の防止に資するため、専門家の意見を聴取及び意見交換を行うことを目的とする「大阪感染症情報解析委員会」を設置する。

(事業の実施)

第5 本事業の実施にあたっては、本庁(健康医療部保健医療室医療対策課)、大阪府感染症情報センター(大安研)及び府保健所にコンピューターを設置し構築した、オンラインシステム(感染症サーベイランスシステム(NESID))並びに新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))を活用する。

(1)調査単位及び実施方法

① 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症(第2の(75)、(85)及び(86))、新型インフルエンザ等感染症((114)及び(115)を除く。)及び指定感染症の患者等を診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に該当する感染症の届出様式により患者等の情報の届出を行う。

(114) 新型コロナウイルス感染症又は(115)再興型新型コロナウイルス感染症の患者等を診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に患者等の情報の届出を行う。当該届出は、HER-SYSへの入力により行うことを基本とするが、HER-SYSの入力環境がない場合には、最寄りの保健所に該当する感染症の届出様式により行って差し支えない。

全数把握対象の五類感染症(第2の(75)、(85)及び(86)を除く。)の患者等を診断した医師は、患者情報を診断後7日以内に最寄りの保健所に該当する感染症の届出様式により患者等の情報の届出を行う。さらに必要に応じて、検体を確保し、保健所の求めに応じ、患者情報と共に提供す

る。

小児科定点(第2の(88)～(97))、インフルエンザ定点(98)、眼科定点(99)及び(100)、基幹定点((91)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(98)のうち入院患者に限定されるもの、(105)、(106)、(108)及び(109))の患者情報については一週間(月曜日から日曜日まで)を調査単位とし、保健所に報告をする。

性感染症定点(第2の(101)～(104))及び、基幹定点((107)、(110)及び(111))の患者情報については1か月を調査単位とし、保健所に報告をする。

- ② 病原体検査情報については、原則として1か月を調査単位とするが、(98)については、定点あたり報告数が1を超える時期には、1週間を調査単位とする。
- ③ 結核については、①に定めるところとは別に情報の収集を図るものとするが、その結果は、新登録者に関しては月報、登録除外者に関しては年報、登録者の全体に関しては年末現在につき年報として取りまとめるものとする。

(2)患者定点となる医療機関

患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時における別に定める報告基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

小児科定点、インフルエンザ定点、眼科定点、性感染症定点及び基幹定点においては、該当する定点の届出様式によりそれぞれ調査単位の患者発生状況等を報告する。

(3)病原体定点となる医療機関

病原体定点として選定または指定された医療機関は、別に定める感染症発生動向調査事業病原体検査指針(感染症発生動向調査 病原体サーベイランスについて)により、検体を採取し、別記様式の検査票を添えて検査機関(大安研)へ提出する。

(4)疑似症定点

疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、診療時における別に定める報告基準により、直ちに疑似症発生状況の把握を行うものとする。

疑似症定点においては、原則として汎用サーベイランスシステムへの入力により、疑似症の発生状況等を報告し、保健所に随時、電話連絡を入れる。ただし、疑似症定点において汎用サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合、保健所が代行入力する。

(5)保健所

- ① 管内の医療機関から届出のあった患者情報を、遅滞なくオンラインシステムにより大阪府感染症情報センターに報告する。
- ② 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、新型インフルエンザ等感染症、指定感染症及び五類感染症(全数)の当該患者を診断した医師から届出があった場合など、感染症の発生を

予防し、又は感染症の発生の状況、動向及び原因を明らかにするため必要があると認める場合には、病原体の検査を大安研に依頼する。大安研で実施することが困難なものについては、必要に応じて、本庁を通じて国立感染症研究所に検査を依頼する。

- ③ 医療機関等に検体等の提供を依頼し、その求めに応じない場合は勧告することが出来る。検体採取に際しては、患者に説明し、その同意を得ることが望ましい。
- ④ 鳥インフルエンザ(H5N1等)に係る積極的疫学調査を実施した場合は、直ちに疑い症例調査支援システムに調査内容を入力し、大阪府感染症情報センターに報告する。

(6)大安研

- ① 感染症のまん延を防止するため、保健所より依頼のあった病原体の検体を検査し、その結果を保健所を経由して、診断した医師に通知する。検査のうち、大安研で実施することが困難なものについては、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。
- ② 病原体定点より検体を受付・回収し、検査実施、その結果を本庁を経由して病原体定点に通知する。
- ③ 鳥インフルエンザ(H5N1等)に係る積極的疫学調査について、検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その内容を直ちに疑い症例支援システムに入力し、保健所に通知する。鳥インフルエンザ(H5N1等)に係る積極的疫学調査の結果を厚生労働省に報告する場合にあっては、検体を国立感染症研究所に送付する。
- ④ 大阪府の感染症発生動向を把握するため、他検査施設で検出した菌株等を郵送等で収集し、必要に応じて再同定や型別等、追加検査を実施する。

(7)大阪府感染症情報センター

- ① 管内の患者定点及び保健所から得られた患者情報を収集し、感染症については別途定める日までにオンラインシステムにより中央感染症情報センターへ報告する。
- ② 管内の患者定点から得られた患者情報の集計や検査情報を大阪感染症情報解析委員会において解析評価し、その評価結果を速やかに週報として、また、性感染症の患者情報の集計及び解析結果については、月報として定点医療機関、保健所、医師会及び市町村等の関係機関へ還元する。
- ③ 前項の①及び②により検査された検査情報、管内病原体定点で採取の検査情報を本庁へ適宜報告するとともに、オンラインシステムにより中央感染症情報センターに報告する。
- ④ 特定症例の多発等、感染症事象発生の端緒を感知、広域的な状況把握や一定の分析を行うため、行政等関係機関と連携し、感染症情報・疫学情報の収集解析に協力する。

(8)本庁

大阪府感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、本

庁は直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

第6 その他

本実施要綱に定める事項以外の内容については、必要に応じて健康医療部長が定めることとする。

附則

(施行期日)

- 1 この実施要綱は、昭和62年1月1日から実施する。

(要綱の廃止)

- 1 大阪府感染症サーベイランス事業実施要綱は廃止する。

附則

《略》

この実施要綱の一部改正は、平成27年5月21日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成28年2月15日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成28年4月1日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成29年4月3日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成30年1月1日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成30年5月1日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、平成31年4月1日から施行する。

この実施要綱の一部改正は、令和2年2月1月から施行する。

この実施要綱の一部改正は、令和3年2月10月から施行する。

大阪府感染症発生動向調査委員会設置要綱

(趣旨)

第一条 この要綱は、大阪府感染症発生動向調査委員会（以下「委員会」という。）の組織、委員の報酬及び費用弁償の額その他委員会に関し必要な事項を定めるものとする。

(職務)

第二条 委員会は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成十年法律第一百四号)第十二条から第十五条の三までの規定により収集した感染症に関する情報についての分析、感染症の発生の状況、動向及び原因に関する情報並びに当該感染症の予防及び治療に必要な情報の公表について、報告・検討、意見交換を行うものとする。なお、この会で知り得た個人情報・データ等については、許可なく使用してはならない。

(組織)

第三条 委員会は、委員二十人以内で組織する。

- 2 委員は、次に掲げる者のうちから、保健医療室長（以下「室長」という。）が任命する。
 - 一 学識経験のある者
 - 二 医療関係団体、医療施設等の代表者
 - 三 関係行政機関の職員
 - 四 前三号に掲げる者のほか、室長が適当と認める者
- 3 委員（関係行政機関の職員のうちから任命された委員を除く。）の任期は、三年とする。ただし、再任は妨げない。また、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第四条 委員会に会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理する。
- 3 会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第五条 委員会の会議は大阪府が招集し、会長がその議長となる。

- 2 委員会は原則、年1回、開催するものとする。

(報酬)

第六条 委員の報酬の額は、附属機関委員等の報酬の額に準じ支払うものとする。

(費用弁償)

第七条 委員の費用弁償の額は、職員の旅費に関する条例（昭和四十年大阪府条例第三十七号）による指定職等の職務にある者以外の者の額相当額とする。

(庶務)

第八条 委員会の運営及び事務は医療対策課と大阪府感染症情報センターが行う。

(委任)

第九条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、感染症情報センターが定める。

附 則

この要綱は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 28 年 6 月 15 日から施行する。

附 則

この要綱は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

大阪府感染症発生動向調査委員会委員名簿

(2021年3月31日現在)

委員名	所属
磯ノ上 正明	大阪皮膚科医会
大平 真司	大阪府医師会
亀岡 博	大阪泌尿器科臨床医会
木下 優	大阪府保健所長会
澤田 益臣	大阪産婦人科医会
塩見 正司	大阪府医師会
富吉 泰夫	大阪小児科医会
東野 博彦	大阪府医師会
松本 淳	大阪府医師会
宮浦 徹	大阪府眼科医会
三宅 眞実	大阪府立大学
安井 良則	大阪府済生会中津病院
吉田 英樹	大阪市保健所

大阪感染症情報解析委員会運営要綱

(趣旨)

第一条 この要綱は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所（以下「大安研」という。）が大阪府から受託した「大阪府感染症発生動向調査事業」のうち、大阪感染症情報解析委員会（以下「委員会」という。）を運営するにあたり、組織、委員の報酬及び費用弁償の額その他委員会に関し必要な事項を定めるものとする

(職務)

第二条 委員会は大阪府感染症発生動向調査事業実施要綱第4（5）に基づき感染症の発生状況、動向及び病原体等の情報を解析し、感染症の予防及びまん延の防止に資するため専門家の意見聴取及び意見交換を行うものとする。

(組織)

第三条 委員会は、委員12人以内で組織する。

- 2 委員は、次に掲げる者のうちから理事長が任命する。
 - 一 小児科、内科、眼科、性感染症科等の医師、疫学の専門家、細菌学、ウイルス学の専門家等
 - 二 大安研により選定された者
- 3 委員会は前項の委員および大阪府感染症情報センター員、オブザーバーとして大阪府内各市より参加の感染症発生動向調査事業担当者により組織する。オブザーバーは、委員会において意見を述べることは出来るが、決定権はないものとする。
- 4 委員（関係行政機関の職員のうちから任命された委員を除く。）の任期は、三年とする。ただし、再任は妨げない。また、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第四条 委員会に委員長を置き、第三条第2項の委員の互選によってこれを定める。

- 2 委員長は、委員会の議事を進行する。
- 3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第五条 委員会の会議は大安研が招集し、委員長がその議長となる。

- 2 委員会は、必要に応じ、委員以外の者から意見を聴くことができる。
- 3 委員会は原則、毎週1回開催するものとし、その庶務は大阪府感染症情報センターにお

いて行う。

(報酬)

第六条 委員の報酬の額は、大阪府附属機関委員の報酬区分Cに準ずるものとする。

- 2 前項の報酬は、出席日数に応じて、その都度支給する。
- 3 委員のうち、次に掲げる者に対しては、報酬を支給しない。
 - 一 地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所職員
 - 二 大阪府の経済に属する常勤の職員
 - 三 大阪市の経済に属する常勤の職員

(費用弁償)

第七条 委員の費用弁償の額は第六条第1項の報酬に含まれるものとする。ただしそれにより難しいときは、大阪府と協議の上、別途支給できるものとする。

- 2 前項の委員の費用弁償の額は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所職員等旅費規程による役員以外の者の額相当額とする。
- 3 前項の費用弁償の支給についての路程は、住所地の市町村から起算する。
- 4 前二項の規定にかかわらず、委員のうち第六条第3項第二号及び第三号に規定する職員の費用弁償の額は、その者が当該職員として公務のため旅行した場合に支給される旅費相当額とする。

(委任)

第八条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則

この要綱は平成 29 (2017) 年4月1日から施行する。

この要綱は 2019年4月1日から施行する。

大阪感染症情報解析委員会名簿

(2021年3月31日現在)

委員名	所属
○ 本村 和嗣	大阪健康安全基盤研究所
吉田 英樹	大阪市保健所
山本 憲	堺市衛生研究所
安井 良則	大阪府済生会中津病院
塩見 正司	大阪府医師会
東野 博彦	大阪府医師会
富吉 泰夫	大阪小児科医会
宮浦 徹	大阪府眼科医会
原田 哲也	大阪健康安全基盤研究所
廣井 聡	大阪健康安全基盤研究所
改田 厚	大阪健康安全基盤研究所
柿本 健作	大阪健康安全基盤研究所

○：委員長

VII 指定届出機関一覧

感染症発生動向調査指定届出機関（内科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
豊能	久原医院	072-737-5031	562-0001	箕面市箕面6-10-43
	(医)児成会ハラノ医院	072-724-2010	562-0005	箕面市新稲7-14-17
	箕面市立病院	072-728-2001	562-0014	箕面市萱野5-7-1
	谷野医院	06-6852-1271	561-0801	豊中市曽根西町2-3-28
	大塚医院	06-6334-0005	561-0831	豊中市庄内東町1-7-10 土井ビル2F
	滝広内科医院	06-6846-7272	560-0005	豊中市西緑丘3-26-28
	(医)前防医院	06-6333-0348	561-0815	豊中市豊南町南1-1-11
	さたけ内科クリニック	06-6821-5640	565-0836	吹田市佐井寺4-11-16 ラフィーネ千里1階
	井波医院	06-6388-0705	564-0082	吹田市片山町3-37-3
	いのうえクリニック	06-6319-1515	564-0028	吹田市昭和町13-1
	(医)積善会 小林内科・心療内科	06-6831-1133	565-0873	吹田市藤白台2-4-6
	(医)三裕会 三谷医院	06-6384-7806	565-0063	吹田市江坂町3-18-5
三島	(医)香梅会 マツイ医院	06-6381-4033	566-0024	摂津市正雀本町2-18-26
	茂松整形外科	072-633-8801	567-0851	茨木市真砂3-12-19
	中村医院	072-625-3591	567-0018	茨木市太田1-13-26
	高橋医院	072-661-3831	569-0025	高槻市藤の里町24-29
	津久田医院	072-692-2266	569-0825	高槻市栄町3-7-18
	富永クリニック	072-690-3355	569-1042	高槻市南平台3-29-18
	(医)愛基会黒川医院	072-687-0373	569-1022	高槻市日吉台一番町17-3
	大阪医科大学附属病院	072-683-1221	569-8686	高槻市大学町2-7
北河内	(医)せのお内科	072-855-3377	573-1115	枚方市東船橋1-41
	かいとクリニック	072-897-1001	573-0126	枚方市津田西3-17-3
	青井内科	072-840-4505	573-1162	枚方市田口2-27-31
	(医)優和会 関根医院	072-845-1511	573-0047	枚方市山之上町4-1-1
	市立ひらかた病院内科	072-847-2821	573-1013	枚方市禁野本町2-14-1
	(医)山下医院	072-826-0797	572-0046	寝屋川市成美町1-10
	大屋医院	072-820-1155	572-0847	寝屋川市高宮新町27-7
	(医)誠心会 森口医院	06-6991-0593	570-0054	守口市大枝西町15-8
	益田診療所	06-6901-0231	571-0068	門真市大倉町3-6
	松下記念病院	06-6992-1231	570-8450	守口市外島町5-55
	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	570-8507	守口市文園町10-15
	福田医院	072-876-1666	575-0002	四條畷市岡山2-1-58
	林内科医院	072-878-8191	575-0003	四條畷市岡山東2-1-23
	(医)愛光会 竹本クリニック	072-872-0230	574-0013	大東市中垣内1-3-6
	岡崎医院	072-871-6316	574-0025	大東市御供田4-1-5

感染症発生動向調査指定届出機関（内科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
中河内	(医) 武田クリニック	072-923-8001	581-0846	八尾市上之島南1-4-1
	医療法人うめもと循環器内科クリニック	072-998-1715	581-0085	八尾市安中町3-5-14 JR八尾クリニックビル2F
	(医) 阪本医院	072-941-3222	581-0864	八尾市大字山畑5-1
	(医) 正田医院	072-993-3000	581-0003	八尾市本町5-5-5
	(医) 朋侪会 吉田クリニック	072-925-5388	581-0021	八尾市山本高安町2-1-3
	(医) 奥会 奥医院	06-6721-1324	577-0834	東大阪市柏田本町3-8
	(医) 中和会 中西医院	06-6781-6406	577-0801	東大阪市小阪2-4-23
	(地独) 市立東大阪医療センター	06-6781-5101	578-0947	東大阪市西岩田3-4-5
	医療法人弘仁会 坂本医院	072-981-1551	579-8057	東大阪市御幸町11-3
	冢出医院	072-988-1033	579-8063	東大阪市横小路町5-9-47
	(医) 有元会のしクリニック	06-6725-8258	577-0803	東大阪市下小阪5-12-8 ヴィラ・アルタイル1F
南河内	(医) 御勢医院	072-331-2345	580-0032	松原市天美東8-2-29
	阪南医療福祉センター 阪南中央病院	072-333-2100	580-0023	松原市南新町3-3-28
	(医) 真真会 池田医院	072-955-0720	583-0024	藤井寺市藤井寺2-5-20
	(地独) 大阪はびきの医療センター	072-957-2121	583-0872	羽曳野市はびきの3-7-1
	(医) 中平医院	0721-26-1658	584-0025	富田林市若松町西1-1845-3
	(医) P L病院	0721-24-3100	584-8585	富田林市新堂2204
	(医) 砂川医院	0723-67-1238	589-0009	大阪狭山市池尻北1-1-5
	今井内科小児科医院	0723-66-1061	589-0008	大阪狭山市池尻自由丘1-3-24
堺市	森クリニック	072-363-2662	587-0001	美原区大保16-1
	白畠内科	072-265-5501	593-8326	西区鳳西町3-3-9
	やまさき内科・胃腸科クリニック	072-267-6776	593-8327	西区鳳中町2-31-6 アカイビル1F
	中野医院	072-296-5726	590-0111	南区三原台3-39-20
	医療法人 杉山クリニック	072-276-1717	599-8236	中区深井沢町3294
	大阪労災病院	072-252-3561	591-8025	北区長曾根町1179-3
	秀峰会 岡原診療所	072-286-6110	599-8112	東区日置荘原寺町43-1
	藤田医院	072-251-4110	591-8011	北区南花田町302-14
	(地独) 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター	072-272-1199	593-8304	西区家原寺町1-1-1
	たちばな内科クリニック	072-244-8800	590-0804	堺区家原緑ヶ丘南町3丁2-18
泉州	寺本医院	0725-32-1848	595-0025	泉大津市旭町12-12
	(医) 油谷会 油谷クリニック	0725-32-5111	595-0023	泉大津市豊中町2-5-10
	(医) 久我胃腸科内科	0725-41-6700	594-0071	和泉市府中町7-5-3
	(医) 泉林会 林医院	0725-45-0040	594-0006	和泉市尾井町1-9-12
	とのぎ内科クリニック	072-262-0300	592-0012	高石市西取石1-17-18
	毛利医院	072-431-1716	596-0074	岸和田市本町8-11
	(医) 健松会 高松内科	072-439-7700	597-0061	貝塚市浦田76-1 ヴァンテージ二色1階
	西村内科	072-443-8030	596-0003	岸和田市中井町2-4-7
	(医) 池添医院	072-422-0841	596-0045	岸和田市別所町1-11-10
	山上医院	072-483-2501	590-0521	泉南市樽井6-10-7
	玉井内科クリニック	072-472-7373	599-0201	阪南市尾崎町2-12-11
	武井医院	072-462-7755	598-0057	泉佐野市本町6-27
	(地独) りんくう総合医療センター	072-469-3111	598-0048	泉佐野市りんくう往来北2-23

感染症発生動向調査指定届出機関（内科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
大阪市 北部	大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	534-0021	都島区都島本通2-13-22
	(医) 中尾医院	06-6322-6816	533-0022	東淀川区菅原5-7-11
	柴医院	06-6951-6085	535-0002	旭区大宮3-8-16
	大阪市立十三市民病院	06-6150-8000	532-0034	淀川区野中北2-12-27
	(医) 寺岡内科医院	06-6399-0671	532-0002	淀川区東三国6-19-8
	樋口医院	06-6375-3636	531-0073	北区本庄西2-5-26
大阪市 西部	宮下医院	06-6462-0304	554-0013	此花区梅香3-22-14
	四ツ橋診療所	06-6532-0148	550-0013	西区新町1-22-9
	大塚医院	06-6571-0977	552-0012	港区市岡2-6-21
	本山診療所	06-6551-3812	551-0031	大正区泉尾1-2-19
	(医) 北野クリニック	06-6471-2916	555-0031	西淀川区出来島1-4-18
大阪市 東部	(医) 警和会 大阪警察病院	06-6771-6051	543-0035	天王寺区北山町10-31
	(医) 徳田クリニック	06-6561-2660	556-0022	浪速区桜川2-11-28
	(医) 長田医院	06-6973-5500	537-0002	東成区深江南1-10-8 ピア・メゾン深江1F
	正木クリニック	06-6741-5546	544-0034	生野区桃谷2-18-9
	おのい深江橋診療所	06-6967-2020	536-0022	城東区永田4-11-14
	(医) 杉岡内科医院	06-6968-6632	538-0042	鶴見区今津中5-6-26
	大阪医療センター	06-6942-1331	540-0006	中央区法円坂2-1-14
大阪市 南部	(地独) 大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	558-8558	住吉区万代東3-1-56
	医療法人河南医院	06-6691-1322	558-0032	住吉区遠里小野1-12-9
	わたベクリニック	06-6609-6633	558-0056	住吉区万代東1-4-12
	(医) 田島医院	06-6719-5502	546-0042	東住吉区西今川1-6-16
	(医) 健正会 宮武医院	06-6683-5050	559-0024	住之江区新北島1-9-23
	(医) 長吉総合病院	06-6709-0301	547-0016	平野区長吉長原1-2-34
	いぬいクリニック	06-6706-0551	547-0021	平野区喜連東3-5-50

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
豊能	たむらこどもクリニック	072-741-8143	563-0021	池田市畑1-1-10
	市立池田病院小児科	072-751-2881	563-0025	池田市城南3-1-18
	(医) 石田クリニック	072-727-1177	562-0031	箕面市小野原東4-27-33
	(医) 島こどもクリニック	072-720-0550	562-0001	箕面市箕面6-4-46-203
	箕面市立病院小児科	072-728-2001	562-0014	箕面市萱野5-7-1
	医療法人雄々会 ドクターしんのこどもクリニック	06-6865-7722	561-0852	豊中市服部本町2-2-3 申ビル2階
	西村医院	06-6852-5010	561-0864	豊中市夕日丘1-1-3 シュリー豊中1階
	鳥辺医院	06-6872-0161	560-0082	豊中市新千里東町3-5-4
	医療法人 ふじかわ小児科	06-4865-5020	560-0002	豊中市緑丘4-1-2 イオンタウン豊中緑丘2F
	やびく小児科	06-6862-1335	561-0802	豊中市曽根東町2-1-5
	吉田小児科医院	06-6843-8880	560-0046	豊中市千里園3-15-20
	佐守小児科	06-6845-6123	560-0056	豊中市宮山町4-1-21
	ソノ内科小児科	06-6848-0057	560-0005	豊中市西緑丘3-13-16
	ちさきこどもクリニック	06-6836-5111	560-0085	豊中市上新田3-10-38
	(医) 絹巻小児科クリニック	06-6388-0338	564-0082	吹田市片山町3-17-8
	清水医院	06-6382-5134	564-0026	吹田市高浜町10-28
	大阪府済生会吹田病院小児科	06-6382-1521	564-0013	吹田市川園町1-2
	(医) 山上小児科クリニック	06-6378-2301	565-0841	吹田市上山手町30-6 センチュリー上山手101号
	大阪府済生会千里病院小児科	06-6871-0121	565-0862	吹田市津雲台1-1-6
	市立吹田市民病院小児科	06-6387-3311	564-0082	吹田市片山町2-13-20
たなか小児科クリニック	06-6378-9990	565-0835	吹田市竹谷町36-6	
ほそいがくこども診療所	06-6155-0255	565-0874	吹田市古江台4-2-60 千里ノルテビル5階	
三島	すぎた子こどもクリニック	072-645-7333	567-0035	茨木市見付山1-1-40-8
	(医) はら小児科クリニック	072-646-5532	567-0834	茨木市学園南町14-20
	小原医院	072-641-3237	567-0066	茨木市下井町2-5
	しばさき小児科	072-626-9011	567-0041	茨木市下穂積1-3-101 ホワイトハウス穂積
	隅クリニック	072-622-3858	567-0034	茨木市中穂積3-2-12
	ふくながこどもクリニック	072-630-0753	567-0894	茨木市若園町37-29 メゾン・ヴェルドウール
	尼子小児科医院	075-962-0797	618-0024	三島郡島本町若山台2-6-5-101
	西里医院	072-623-6566	567-0802	茨木市総持寺駅前町6-8
	橋本こどもクリニック	072-631-9001	567-0018	茨木市太田3-21-17
	おぎはらこども医院	072-690-1022	569-0824	高槻市川添2-26-1
	山崎医院	072-687-7200	569-1031	高槻市松が丘1-3-10
	おおくま医院	072-684-0363	569-1117	高槻市天神町2-6-20
	(社) 愛仁会高槻病院	072-681-3801	569-1192	高槻市古曽部町1-3-13
	(社) 祐生会みどりヶ丘病院	072-681-5717	569-1121	高槻市真上町3-13-1
	大阪医科大学附属病院	072-683-1221	569-8686	高槻市大学町2-7
	あまの小児科	072-689-5288	569-1022	高槻市日吉台五番町6-10
	(医) まつしたクリニック	072-661-0415	569-0065	高槻市城西町5-17 ジェネラス8th-103

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
北河内	(医) 保坂小児クリニック	072-854-0413	573-0084	枚方市香里ケ丘3-12-1-B67
	(医) おがた小児科	072-845-2626	573-0053	枚方市伊加賀南町5-4
	うにし小児科	072-841-2579	573-0032	枚方市岡東町3-7
	(医) くらせ小児科	072-850-8080	573-1141	枚方市養父西町32-8
	(医) 七美会 すこやか小児科	072-850-2117	573-0162	枚方市長尾西町1-20-10
	枚方公済病院 小児科	072-858-8233	573-0153	枚方市藤阪東町1-2-1
	(医) にしだ小児クリニック	072-808-5511	573-0125	枚方市津田駅前1-13-8
	市立ひらかた病院小児科	072-847-2821	573-1013	枚方市禁野本町2-14-1
	中村小児科	072-831-6656	572-0084	寝屋川市香里南之町28-24-206
	安原こどもクリニック	072-832-2211	572-0085	寝屋川市香里新町26-3
	(医) 藤野医院	072-831-0760	572-0085	寝屋川市香里新町20-14
	小松病院	072-823-1521	572-0015	寝屋川市川勝町11-6
	(医) えびな小児科クリニック	072-811-2268	572-0802	寝屋川市打上中町11-8
	関西医科大学附属香里病院 小児科	072-832-5321	572-0082	寝屋川市香里本通町8-45
	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	572-0082	守口市文園町10-15
	(医) 高井クリニック	06-6916-8000	570-0011	守口市金田町5-4-32
	松下記念病院小児科	06-6992-1231	570-8450	守口市外島町5-55
	(医) 吉岡医院	072-881-0468	571-0061	門真市朝日町15-1
	よしはら小児科クリニック	072-882-0321	571-0002	門真市岸和田3-36-10 サンピカA 101A号
	(医) 松下こどもクリニック	06-6906-1188	571-0030	門真市末広町18-9
	小菓医院	072-891-2006	576-0016	交野市星田5-10-5
	(医) 寺嶋・塚田こどもクリニック	072-893-3141	576-0034	交野市天野が原町5-14-7
	いるかこどもクリニック	072-862-1188	575-0003	四條畷市岡山東2-3-28
	小林小児科内科クリニック	072-870-7800	574-0046	大東市赤井2-2-21
	こにし小児科クリニック	072-873-0081	574-0036	大東市末広町7-7 東邦ビル4階
	(医) 井上産婦人科クリニック	072-872-3511	574-0062	大東市氷野1-8-26
中河内	山本診療所	072-998-3448	581-0013	八尾市山本町南3-5-21
	八木小児科	072-928-7711	581-0871	八尾市高安町北7-23
	(医) 徳洲会 八尾徳洲会総合病院小児科	072-993-8501	581-0011	八尾市若草町1-17
	しもやま小児科	072-928-1802	581-0085	八尾市安中町3-5-14 JR八尾クリニック3階
	(医) ひょうり小児科	072-925-2888	581-0867	八尾市山本町1-3-20
	(医) あかの小児科	072-990-5556	581-0803	八尾市光町1-26 片岡第4ビル2階
	市立柏原病院	072-972-0885	582-0005	柏原市法善寺1-7-9
	(医) にしむら小児科	072-978-6597	582-0021	柏原市国分本町3-9-3
	医療生協かわち野生活協同組合 東大阪生協病院	06-6727-3131	577-0832	東大阪市長瀬町1-7-7
	杉原小児科	06-6722-2000	577-0817	東大阪市近江堂2-10-39
	(医) 小川クリニック	072-985-3030	579-8051	東大阪市瓢箪山町4-18
	(医) 岡本医院	06-6781-2051	577-0061	東大阪市森河内西2-20-19
	竹村小児科	06-6725-4130	577-0807	東大阪市菱屋西3-4-17
	高丘医院	072-967-0560	578-0915	東大阪市古箕輪1-3-40
	大久保小児科医院	072-984-1118	579-1023	東大阪市西石切町1-11-20-2階
	医療法人 青廉会 藤戸小児科	072-985-1218	579-8003	東大阪市日下町3-2-35
	竹村こどもクリニック	072-960-7807	579-0948	東大阪市菱屋東1-1-26
	(医) 尾崎医院	072-961-2518	578-0941	東大阪市岩田町4-3-5
	長谷川医院	072-961-2074	578-0922	東大阪市松原1-15-21
	(地独) 市立東大阪医療センター	06-6781-5101	578-0947	東大阪市西岩田3-4-5

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
南河内	阪南中央病院小児科	072-333-2100	580-0023	松原市南新町3-3-28
	(医) 石田会 石田診療所	072-330-5570	580-0005	松原市別所3-17-22
	(医) ほづみ小児科クリニック	072-337-1811	580-0026	松原市天美我堂4-61-1
	ふくしまこどもクリニック	072-338-2911	580-0014	松原市岡2-7-3
	(医) 田中小児科	072-938-5288	583-0871	羽曳野市野々上2-24-19
	(地独) 大阪はびきの医療センター	072-957-2121	583-0872	羽曳野市はびきの3-7-1
	医療法人青山会 青山こどもクリニック	072-937-0100	583-0014	藤井寺市野中4-16-32 野中クリニックビル1階
	(医) ふじおか小児科	0721-28-8671	584-0074	富田林市久野喜台2-15-26
	(医) P L病院小児科	0721-24-3100	584-8585	富田林市新堂2204
	なかじまこどもクリニック	0721-40-2501	584-0086	富田林市津々山台2-10-1-102
	みなみうら小児科	0721-23-8806	584-0014	富田林市川面町2-3-12 パレスイダ1階
	泉谷こどもクリニック	0721-52-1110	586-0023	河内長野市野作町3-66
	(医) 西村小児科	0721-56-1770	586-0001	河内長野市木戸1-6-1
	矢ヶ崎小児科	0721-60-3300	586-0048	河内長野市三日月町56-16
	近畿大学医学部附属病院	0723-66-0221	589-8511	大阪狭山市大野東377-2
	さわもと小児科	0721-93-7723	585-0001	南河内郡河南町東山691-2
堺市	樋上小児科	072-273-7100	593-8324	西区鳳東町2-164-5
	村上小児科クリニック	072-235-8880	599-8123	東区北野田1084番地 ヘルビル北野田2階204-6
	明和会 八木医院	072-293-6223	590-0117	南区高倉台3-3-2
	いしいこどもクリニック	072-270-7415	593-8301	堺市西区上野芝町2-3-18 上野芝クリニックモール3階
	医真会 あかざわ小児科	072-297-7771	590-0134	南区御池台3-2-4
	上野内科・小児科クリニック	072-232-1314	590-0023	堺区南三国ヶ丘町1-1-13
	平山こどもクリニック	072-230-0143	590-0103	南区深阪南112-2
	将正会 山口こどもクリニック	072-295-7270	590-0138	南区鴨谷台2-1-5 サンピア2番館2階
	かなざきこどもクリニック	072-289-3100	599-8234	中区土塔町3327
	ベルランド総合病院小児科	072-234-2001	599-8247	中区東山500-3
	一隅会 川上クリニック	072-250-6211	591-8002	北区北花田町4-99-15
	大阪労災病院小児科	072-252-3561	591-8025	北区長曾根町1179-3
	小林小児科医院	072-252-2149	591-8023	北区中百舌鳥町6-861
	(医) 社団ワッフル ぐんぐんキッズクリニック	072-275-8502	591-8023	北区中百舌鳥町2-21 大休ビル1階
	同仁会 みみはらファミリークリニック	072-252-1507	591-8004	北区蔵前町1204-1
	(医) たけなかキッズクリニック	072-240-0080	591-8025	堺市北区長曾根町1467-1 メディカルエイトワンビル2F
	(地独) 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター	072-272-1199	593-8304	西区家原寺町1-1-1
	石村小児科医院	072-258-4752	590-0025	堺区向陵東町2-2-11
	同仁会 みみはら高砂クリニック	072-241-4990	590-0820	堺区高砂町4-109-2

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
泉州	(医) かわい病院	0725-21-6222	595-0023	泉大津市豊中町2-6-5
	(医) 吉村医院	072-261-8434	592-0004	高石市高師浜3-18-23
	川西医院	072-544-8888	594-0023	和泉市伯太町2-25-18
	和気河合医院	0725-41-0357	594-0073	和泉市和気町3-11-18
	和泉市立総合医療センター	0725-41-1331	594-0073	和泉市和気町4丁目5番1号
	なかじまクリニック小児科・循環器科	0725-51-0081	594-1151	和泉市唐国長2-7-86
	中川クリニック	0725-22-1611	595-0805	泉北郡忠岡町忠岡東2丁目22-15-13
	(医) 河村小児科皮膚科	072-441-1199	596-0814	岸和田市岡山町36-1
	エリウ医院	072-422-2616	596-0045	岸和田市別所町2-20-21
	おおまち子どもクリニック	072-443-2030	596-0812	岸和田市大町3-15-4
	(医) 久松マタニティークリニック	072-422-3006	596-0076	岸和田市野田町1-11-1
	あぶみ小児科クリニック	072-439-0031	596-0823	岸和田市下松町1-3-9
	川崎子どもクリニック	072-421-2033	597-0102	貝塚市木積656-7
	くぼ子どもクリニック	072-433-2255	597-0072	貝塚市畠中1-2-6
	(地独) りんくう総合医療センター 小児科	072-469-3111	598-8577	泉佐野市りんくう往来北2-23
	古谷子どもクリニック	072-451-3663	590-0406	泉南郡熊取町大久保東2-6-17 中林ビル2階
	(医) 中井医院	072-471-7376	599-0201	阪南市尾崎町8-1-2
	阪南市民病院小児科	072-471-3321	599-0202	阪南市下出17
	(医) 笠松産婦人科・小児科	072-471-3222	599-0211	阪南市鳥取中192-2
	(医) にわ小児科	072-467-2806	598-0021	泉佐野市日根野7089 アラモード日根野1F
大阪市北部	あさい子どもクリニック	06-6926-1850	534-0016	都島区友淵町2-1-5 ともぶちクリニックビル2階
	こおりやま小児科	06-6926-1155	534-0015	都島区善源寺町2-2-22 善源寺メディカルモール2階
	(地独) 大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	534-0021	都島区都島本通2-13-22
	森川子どもクリニック	06-6327-0415	533-0032	東淀川区淡路2-16-6-101
	淀川キリスト教病院	06-6322-2250	533-0032	東淀川区柴島1-7-50
	(医) 前田子どもクリニック	06-6990-1115	533-0006	東淀川区上新庄2-15-18 旭丘ビル4階
	樋口医院	06-6351-3931	531-0062	北区長柄中1-6-6
	かよう内科・小児科	06-6954-7776	535-0021	旭区清水4-3-29
	中野子ども病院	06-6952-4771	535-0022	旭区新森4-13-17
	大阪市立十三市民病院	06-6150-8000	532-0034	淀川区野中北2-12-27
	鈴木小児科クリニック	06-6396-7555	532-0003	淀川区宮原4-4-2新大阪グランドビル1F
	のだ子どもクリニック	06-6136-7205	531-0074	北区本庄東1-1-10 RISE88ビル1階
	医療法人はるなクリニック	06-4807-5130	532-0006	淀川区西三国1-3-13-302
	北野病院	06-6312-1221	530-8480	北区扇町2-4-20
大阪市西部	(独) JCHO大阪病院	06-6441-5451	553-0003	福島区福島4-2-78
	(公財) 中央急病診療所	06-6534-0321	550-0013	西区新町4-10-13
	さかぎき子どもクリニック	06-6584-4550	550-0027	西区九条1-27-6 住金興産九条ビル303
	多根総合病院	06-6581-1071	550-0025	西区九条南1-12-21
	日本生命病院	06-6443-3446	550-0006	西区江之子島2-1-54
	にいつクリニック	06-6571-0549	552-0023	港区港晴1-1-23
	大塚医院	06-6571-0977	552-0012	港区市岡2-6-21
	大正病院	06-6552-0621	551-0002	大正区三軒家東5-5-16
	ひの小児科	06-6464-8655	554-0011	此花区高見2-13-3
	千船病院	06-6471-9541	555-0001	西淀川区佃2-2-45

感染症発生動向調査指定届出機関（小児科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
大阪市 東部	大阪赤十字病院	06-6774-5111	543-8555	天王寺区筆ヶ崎町5-30
	今石こどもクリニック	06-6774-1980	543-0042	天王寺区烏ヶ辻1-1-1 M Iビル4階
	(医) 警和会 大阪警察病院	06-6771-6051	543-8502	天王寺区北山町10-31
	(医) 寺田町こども診療所	06-6775-2221	543-0045	天王寺区寺田町2-4-7 寺田町第2ビル2F
	川田医院	06-6641-1873	556-0006	浪速区日本橋東3-7-7 川田ビル1F
	高クリニック	06-6973-0065	537-0013	東成区大今里南3-13-13
	(医) 松本医院	06-6731-3830	544-0034	生野区桃谷2-19-20
	共和病院	06-6718-2221	544-0021	生野区勝山南4-16-10
	浦岡小児科	06-6754-0511	544-0006	生野区中川東2-13-17
	大阪府済生会野江病院	06-6932-0401	536-0002	城東区古市1-3-25
	福田クリニック	06-6930-1120	536-0008	城東区関目1-3-11
	(医) にしじまファミリークリニック	06-6786-1115	536-0005	城東区中央2-13-19
	竹中小児科	06-6967-5871	538-0043	鶴見区今津南1-5-38 鶴見グリーンレジデンス1F
	(医) かめおかクリニック	06-6911-2585	538-0051	鶴見区諸口3-4-38
	(医) 田中小児科医院	06-6761-4671	542-0012	中央区谷町6-14-23
大阪市 南部	大阪市立大医学部附属病院	06-6645-3816	545-8585	阿倍野区旭町1-5-7
	(医) 富吉医院	06-6651-4304	545-0042	阿倍野区丸山通1-3-46
	勇村医院	06-6691-2021	545-0021	阿倍野区阪南町5-25-175
	(医) 武田小児科医院	06-6691-6551	558-0041	住吉区南住吉2-14-19 平成ハイツ沓番館1階
	(地独) 大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	558-8558	住吉区万代東3-1-56
	畑小児科	06-6691-5919	558-0003	住吉区长居3-9-3
	武知小児科・内科	06-6691-9471	546-0014	東住吉区鷹合2-17-4
	おうぎもと小児科	06-6760-6220	546-0003	東住吉区今川3-12-12
	(医) 川合内科・小児科医院	06-6797-8512	546-0012	東住吉区中野4-5-18
	西成民主診療所	06-6659-1010	557-0034	西成区松2-1-7
	はまだ小児科	06-6653-5285	557-0042	西成区岸里東2-5-16
	藤山小児科医院	06-6682-7850	559-0024	住之江区新北島3-8-21 アネックス六兵衛三番館
	大阪市立住之江診療所	06-6681-1000	559-0012	住之江区東加賀屋1-2-16
	(医) 長浦小児科	06-6793-0555	547-0046	平野区平野宮町1-6 メガロコープヒラノ1号棟1F
	(医) 長吉総合病院	06-6709-0301	547-0016	平野区長吉長原1-2-34
	(医) にしかわこどもクリニック	06-6707-3741	547-0033	平野区平野西3-9-11
	井藤医院	06-6703-3387	547-0024	平野区瓜破2-1-65 ミタカホーム8番1F

感染症発生動向調査指定届出機関（眼科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
豊能	箕面市立病院	072-728-2001	562-0014	箕面市萱野5-7-1
	安藤眼科医院	06-6852-0559	561-0884	豊中市岡町北3-2-11
	(医) 木村眼科医院	06-6852-5986	561-0881	豊中市中桜塚1-7-1
	治村眼科	06-6337-0022	564-0082	吹田市片山町1-13-7
	宮浦眼科	06-6338-8750	564-0051	吹田市豊津町13-44 コカミ江坂ビル205
三島	(医) 吉原会吉原眼科医院	072-634-1112	567-0828	茨木市舟木町2-7
	澤眼科医院	072-622-1132	567-0802	茨木市総持寺駅前町6-13
	大阪医科大学附属病院	072-683-1221	569-8686	高槻市大学町2-7
	(医) 視生会丸山眼科医院	072-696-2149	569-0812	高槻市登美の里町2-8
北河内	市立ひらかた病院	072-847-2821	573-1013	枚方市禁野本町2-14-1
	山岸眼科	072-861-2157	573-0032	枚方市岡東町5-23 アーバンエース枚方ビル3階
	医療法人光瞳会 城眼科	072-848-5535	573-1197	枚方市禁野本町1-2-38
	(医) 加賀眼科医院	072-822-0852	572-0837	寝屋川市早子町21-6
	松下記念病院	06-6992-1231	570-8450	守口市外島町5-55
	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	570-8507	守口市文園町10-15
中河内	(医) 上江田眼科医院	072-991-1265	581-0086	八尾市陽光園2-1-23
	宮澤眼科クリニック	072-997-7980	581-0803	八尾市光町1-10-1
	つじかわ眼科	06-6748-0101	577-0802	東大阪市小阪本町1-4-1 河内小阪駅南商業ビル2F
	(医) 石田眼科医院	06-6721-1244	577-0807	東大阪市菱屋西1-20-14
南河内	医療法人 さほり眼科	06-6725-8898	578-0942	東大阪市若江本町1-1-35-105
	(地独) 大阪はびきの医療センター	072-957-2121	583-0872	羽曳野市はびきの3-7-1
	藤本眼科	072-952-2131	583-0021	藤井寺市御舟町4-2
	(医) P L 病院	0721-24-3100	584-8585	富田林市新堂2204
堺市	(医) 井出眼科	0723-65-0168	589-0006	大阪狭山市金剛2-9-17
	当麻眼科医院	072-258-1352	591-8022	北区金岡町893
	武田眼科	072-285-0806	599-8114	東区日置荘西町1-47-17
	(地独) 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター	072-272-1199	593-8304	堺市西区家原寺町1-1-1
	米寿会 米本眼科	072-224-2282	590-0011	堺区香ヶ丘町1-3-5
泉州	山田眼科医院	072-246-8866	591-8037	北区百舌鳥赤畑町4-254
	川崎眼科	0725-32-0272	595-0043	泉大津市清水町1-50
	南眼科医院	0725-43-7853	594-0003	和泉市太町158-18
	森川眼科	0725-41-1110	594-0071	和泉市府中町7-3-19
	(医) ひとみ会山本眼科医院	072-436-3871	596-0825	岸和田市土生町2-11-43
	(医) 木下眼科医院	072-422-1639	597-0083	貝塚市海塚274
(医) 岩崎眼科くめだ	072-444-4955	596-0821	岸和田市小松里町461-11	

感染症発生動向調査指定届出機関（眼科定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
大阪市北部	(地独) 大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	534-0021	都島区都島本通2-13-22
	(医) 春田眼科医院	06-6328-5281	533-0004	東淀川区小松1-10-38
	坂本眼科医院	06-6953-0888	535-0021	旭区清水3-2-9
	大阪市立十三市民病院	06-6150-8000	532-0034	淀川区野中北2-12-27
	(医) 森下眼科	06-6353-1399	530-0041	北区天神橋5-6-13
大阪市西部	森山眼科医院	06-6461-0723	553-0005	福島区野田3-15-6
	はぶ眼科	06-6195-2228	555-0013	大阪市西淀川区千舟2-15-28
大阪市東部	N T T西日本大阪病院	06-6773-7290	543-0042	天王寺区烏ヶ辻2-6-40
	脇本眼科	06-6765-8393	543-0014	天王寺区玉造元町2-4 トップス玉造ビル3階
	(医) 沢井眼科	06-6646-3634	556-0006	浪速区日本橋東3-7-7 川田ビル2F
	(医) 塩見眼科	06-6967-0501	538-0042	鶴見区今津中5-1-33
	(独) 大阪医療センター	06-6942-1331	540-0006	中央区法円坂2-1-14
	大手前病院	06-6941-0484	540-0008	中央区大手前1-5-34
大阪市南部	(地独) 大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	558-8558	住吉区万代東3-1-56
	杉浦眼科	06-6628-2881	546-0043	東住吉区駒川3-1-7
	(医) マツシマ眼科クリニック	06-6682-5345	559-0013	住之江区御崎4-10-4 サンライズ住之江公園1階
	吉田眼科医院	06-6707-3834	547-0034	平野区背戸口1-21-21 メゾン平野1階

感染症発生動向調査指定届出機関（STD 定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
豊能	(医) なかクリニック	072-724-8822	562-0001	箕面市箕面5-1-52 みのおアルコスビル1階
	(医) 松崎産婦人科クリニック	072-750-2025	563-0055	池田市菅原町3-1 ステーションN2階202-2
	大里クリニック	072-753-2553	563-0027	池田市上池田1-8-13
	志水医院	06-6855-2334	560-0021	豊中市本町1-11-1 本町ビル4階
	北村皮膚科医院	06-6334-9250	561-0831	豊中市庄内東町4-13-24
	田中医院	06-6850-0088	561-0881	豊中市中桜塚2-2-2
	亀岡クリニック	06-6378-9003	564-0063	吹田市江坂町1-23-17 喜巳ビル5階
	林田レディースクリニック	06-4863-5773	565-0874	吹田市古江台4-2-60 北千里医療ビル5階
三島	友誼会総合病院産婦人科	072-641-2488	567-0058	茨木市西豊川町25-1
	(医) サンタマリア病院	072-627-3459	567-0884	茨木市新庄町13-15
	(医) 健栄会三康病院	072-676-0001	569-0077	高槻市野見町3-6
	(社) 仙養会北摂総合病院	072-696-2121	569-8585	高槻市北柳川町6-24
	田辺レディースクリニック	072-668-4651	569-1116	高槻市白梅4-13 ジオ高槻ミューズEX4F
	檜原産婦人科	072-672-5000	569-0053	高槻市春日町1-27
北河内	市立ひらかた病院泌尿器科	072-847-2821	573-1013	枚方市禁野本町2-14-1
	(医) 徳志会 折野産婦人科	072-857-0243	573-1111	枚方市楠葉朝日3-6-28
	のだ女性クリニック	072-843-3267	573-0032	枚方市岡東町14-48 山口ビル4階
	土井クリニック	072-832-1290	572-0085	寝屋川市香里新町22-12 フィルシティ香里園1階
	松下記念病院泌尿器科	06-6992-1231	570-8450	守口市外島町5-55
	喜多診療所	06-6908-3825	571-0046	門真市本町10-22
	(医) 飯藤産婦人科	06-6909-0815	571-0030	門真市末広町2-7
	(医) 小林医院	072-872-0268	574-0046	大東市赤井2-2-20
中河内	(医) 清祐会 甲野クリニック	072-994-0234	581-0803	八尾市光町2-32 パストラル光町1階
	(医) 正田医院	072-993-3000	581-0003	八尾市本町5-5-5
	瀬口クリニック	072-922-2112	581-0003	八尾市本町4-1-14
	恵生会病院 産婦人科	072-982-5101	579-8036	東大阪市鷹殿町20-29
	安井クリニック	06-6721-0001	577-0848	東大阪市岸田堂西2-1-6
	医療法人爽健会 つじかわ医院	06-4307-5817	578-0946	東大阪市瓜生堂3-1-11 瓜生堂クリニックビル2階
	(地独) 市立東大阪医療センター 泌尿器科	06-6781-5101	578-0947	東大阪市西岩田3-4-5
南河内	高田泌尿器科	072-337-0020	580-0016	松原市上田2-2-22 松原北駅前ビル2階
	(医) 三軒医院	0721-52-2252	586-0026	河内長野市寿町3-46
	(医) うえむらクリニック	0721-29-5500	584-0074	富田林市久野喜台2-15-20
	(医) 斎田マタニティークリニック	0721-55-7000	586-0025	河内長野市昭栄町1-19

感染症発生動向調査指定届出機関（STD 定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
堺市	はしもとクリニック	072-275-5031	593-8303	堺市西区上野芝向ヶ丘町5-6-26
	今井医院	072-257-1682	591-8037	堺市北区百舌鳥赤畑町4丁343-5
	(医) 大貴会ほり泌尿器科クリニック	072-253-7890	591-8023	北区中百舌鳥町2-39 クリスタルなかもず502
	児玉泌尿器科	072-222-1717	590-0028	堺区三国ヶ丘御幸通8 三国ヶ丘ビル4F
	たにわレディースクリニック	072-233-0080	590-0028	堺市堺区三国ヶ丘御幸通2-1 谷和ビル5階
	(医) もりもと泌尿器科クリニック	072-268-2000	590-0138	南区鴨谷台2-1-3 光明池アクト2階
	大槻レディースクリニック	072-290-6000	590-0115	南区茶山台1-2-4 パンジョ西館3階
泉州	和泉市立総合医療センター	0725-41-1331	594-0073	和泉市和気町4-5-1
	泉大津市立病院泌尿器科	0725-32-5622	595-0027	泉大津市下条町16-1
	市立岸和田市民病院泌尿器科	072-445-1000	596-8501	岸和田市額原町1001
	久松マタニティークリニック	072-422-3006	596-0076	岸和田市野田町1-11-1
	市立貝塚病院泌尿器科	072-422-5865	597-0015	貝塚市堀3-10-20
	(医) 谷口病院	072-463-3232	598-0043	泉佐野市大西町1-5-20
大阪市北部	(地独) 大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	534-0021	都島区都島本通2-13-22
	しおじレディースクリニック	06-6355-5010	533-0024	都島区東野田町2-3-19 MFK京橋駅前ビル3階
	河島医院	06-6326-6931	530-0004	東淀川区小松2-5-2 米田ハイツ2F
	こおりたクリニック	06-6394-0055	532-0002	淀川区東三国5-15-27
	大原クリニック	06-6371-3330	530-0021	北区浮田2-1-12 アバ大阪天六ビル6F
	そねざき古林診療所	06-6355-4866	530-0057	北区曽根崎2-5-24 石見ビル3F
	(医) さたクリニック	06-6358-2503	531-0062	北区長柄中1-5-16
大阪市西部	勝瀬クリニック	06-6581-6059	550-0027	西区九条1-12-3
	岸医院	06-6571-2736	552-0012	港区市岡1-1-20
大阪市東部	早川クリニック	06-6245-2100	542-0086	中央区西心斎橋1-4-5 御堂筋ビル3F
	(独) 大阪医療センター	06-6942-1331	540-0006	中央区法円坂2-1-14
	こうむら女性クリニック	06-6966-3063	540-0033	中央区石町1-1-1 天満橋千代田ビル2号館2F
	内田皮膚科クリニック	06-6767-8282	542-0012	中央区谷町7-1-44 タンチ工谷町ビル2F
大阪市南部	(医) レディースクリニックさわだ	06-6641-0981	545-0052	阿倍野区阿倍野筋1-5-1-100
	(医) 中川医院	06-6671-0158	558-0044	住吉区長峡町5-5
	原田皮膚科クリニック	06-6955-8321	546-0023	東住吉区矢田2-9-14 アセンドプラザビル3階
	千住泌尿器科クリニック	06-6655-6377	557-0045	西成区玉出西2-6-6 シェルコンプレックス玉出ビル3F
	(医) 小川産婦人科	06-6791-0567	547-0044	平野区平野本町2-6-32

感染症発生動向調査指定届出機関（基幹定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
豊能	箕面市立病院	072-728-2001	562-0014	箕面市萱野5-7-1
	大阪大学医学部附属病院	06-6879-5111	565-0871	吹田市山田丘2-15
三島	(社) 愛仁会高槻病院	072-681-3801	569-1192	高槻市古曽部町1-3-13
	大阪医科大学附属病院	072-683-1221	569-8686	高槻市大学町2-7
北河内	松下記念病院	06-6992-1231	570-8450	守口市外島町5-55
	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	570-0074	守口市文園町10-15
中河内	八尾市立病院	072-922-0881	581-0069	八尾市龍華町1-3-1
	(地独) 市立東大阪医療センター	06-6781-5101	578-0947	東大阪市西岩田3-4-5
南河内	(地独) 大阪はびきの医療センター	072-957-2121	583-0872	羽曳野市はびきの3-7-1
	(医) P L 病院	0721-24-3100	584-8585	富田市新堂2204
堺市	ベルランド総合病院	072-234-2001	599-8247	中区東山500-3
	(地独) 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター	072-272-1199	593-8304	西区家原寺町1-1-1
泉州	(地独) りんくう総合医療センター	072-469-3111	598-8577	泉佐野市りんくう往来北2-23
大阪市北部	(地独) 大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	534-0021	大阪市都島区都島本通2-13-22
大阪市西部	(独) J C H O 大阪病院	06-6441-5451	553-0003	大阪市福島区福島4-2-78
大阪市東部	大阪赤十字病院	06-6774-5111	534-8555	大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30
大阪市南部	(地独) 大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	558-8558	大阪市住吉区万代東3-1-56

感染症発生動向調査指定届出機関（疑似症定点）

2020年12月末現在

ブロック名	医療機関名	電話番号	郵便番号	所在地
豊能	市立豊中病院	06-6843-0101	560-8565	豊中市柴原町4-14-1
	大阪大学医学部附属病院	06-6879-5111	565-0871	吹田市山田丘2-15
三島	大阪医科大学附属病院	072-683-1221	569-8686	高槻市大学町2-7
	関西医科大学総合医療センター	06-6992-1001	570-0074	守口市文園町10-15
北河内	市立ひらかた病院	072-847-2821	573-1013	枚方市禁野本町2-14-1
	関西医科大学附属病院	072-804-0101	573-1191	枚方市新町2-3-1
中河内	（地独）市立東大阪医療センター	06-6781-5101	578-0947	東大阪市西岩田3-4-5
南河内	（地独）大阪はびきの医療センター	072-957-2121	583-0872	羽曳野市はびきの3-7-1
	近畿大学医学部附属病院	0723-66-0221	589-8511	大阪狭山市大野東377-2
堺市	（地独）堺市立病院機構 堺市立総合医療センター	072-272-1199	593-8304	西区家原寺町1-1-1
泉州	（医）徳洲会 岸和田徳洲会病院	072-445-9915	596-0042	岸和田市加守町4-27-1
	（地独）りんくう総合医療センター	072-469-3111	598-8577	泉佐野市りんくう往来北2-23
大阪市北部	（地独）大阪市立総合医療センター	06-6929-1221	534-0021	都島区都島本通2-13-22
	大阪府済生会中津病院	06-6372-0333	530-0012	北区芝田2-10-39
	北野病院	06-6312-1221	530-8480	北区扇町2-4-20
	淀川キリスト教病院	06-6322-2250	533-0032	東淀川区柴島1-7-50
大阪市西部	（独）JCHO大阪病院	06-6441-5451	553-0003	福島区福島4-2-78
	日本生命病院	06-6443-3446	550-0006	西区江之子島2-1-54
大阪市東部	（独）大阪医療センター	06-6942-1331	540-0006	中央区法円坂2-1-14
	（医）警和会 大阪警察病院	06-6771-6051	543-8502	天王寺区北山町10-31
大阪市南部	（地独）大阪急性期・総合医療センター	06-6692-1201	558-8558	住吉区万代東3-1-56
	大阪市立大医学部附属病院	06-6645-3816	545-8585	阿倍野区旭町1-5-7

執筆者一覧

執筆分担箇所	執筆分担者名	所 属
I 五類定点把握感染症（性感染症を除く）		
1. 2020年の総括	本村 和嗣	大阪健康安全基盤研究所
1) 2020年に注目された感染症 [新型コロナウイルス感染症]	柿本 健作	大阪健康安全基盤研究所
2) 感染症別・週別患者報告状況	本村 和嗣	大阪健康安全基盤研究所
3) 感染症別・ブロック別患者報告状況	本村 和嗣	大阪健康安全基盤研究所
4) 感染症別・年齢別別患者報告状況	本村 和嗣	大阪健康安全基盤研究所
2. 各感染症状況報告		
1) インフルエンザ定点把握疾患	安井 良則	大阪府済生会中津病院
2) 小児科定点把握疾患		
RS ウイルス感染症	山本 憲	堺市衛生研究所
咽頭結膜熱	山本 憲	堺市衛生研究所
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	富吉 泰夫	大阪小児科医会
感染性胃腸炎	吉田 英樹	大阪市保健所
水痘	吉田 英樹	大阪市保健所
手足口病	安井 良則	大阪府済生会中津病院
伝染性紅斑	吉田 英樹	大阪市保健所
突発性発しん	富吉 泰夫	大阪小児科医会
ヘルパンギーナ	本村 和嗣	大阪健康安全基盤研究所
流行性耳下腺炎	富吉 泰夫	大阪小児科医会
3) 眼科定点把握疾患	宮浦 徹	大阪府眼科医会
4) 基幹定点報告（週報）対象疾患	塩見 正司	大阪府医師会
5) 基幹定点報告（月報）対象疾患	原田 哲也	大阪健康安全基盤研究所
2020年 感染症の動向	東野 博彦	大阪府医師会
II 五類 定点把握感染症（性感染症）	西田 陽子	大阪健康安全基盤研究所
III 一～五類 全数把握感染症	川津 健太郎	大阪健康安全基盤研究所
	梶月 由香	大阪健康安全基盤研究所
IV 検査情報		
1. ウイルス検査情報	廣井 聡	大阪健康安全基盤研究所
2. 細菌検査情報	川津 健太郎	大阪健康安全基盤研究所

感染症発生動向調査事業報告書
第 39 報 [2020 年版]

2020 年 10 月 発行

編集

大阪健康安全基盤研究所気付 大阪府感染症情報センター

〒537-0025 大阪市東成区中道 1 丁目 3 番 69 号

TEL : 06-6972-1326 FAX : 06-6972-6725

e-mail: survey@iph.osaka.jp

印刷製本 株式会社フォーラムK

〒530-0013 大阪市北区茶屋町 8 番 29 号

TEL 06-6292-1005
